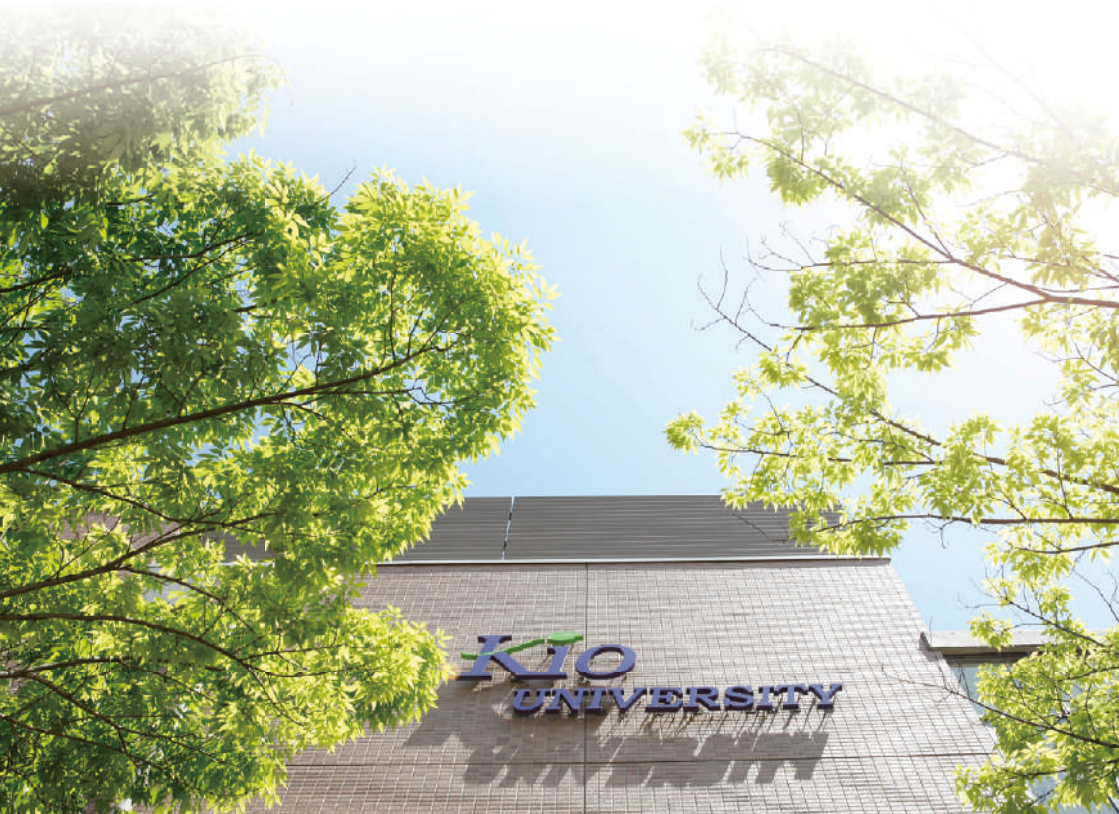
Kio

畿央大学
学生ハンドブック
Handbook for Students
2020



C 棟

エントランスホール、図書館を中心にして、事務室等大学の管理機能と健康栄養学科の実験･実習室を備えた建物です。

L 棟

大中小の講義室と一部実験・実習室もあります。

E 棟

教育学部の実習室や研究室、模擬授業用のオープン教室、講義室を備えています。

D 棟

人間環境デザイン学科用の製図室や実習室、研究室があります。

K 棟

看護医療学科の実習室や研究室、地階には 4 つの講義室が並んでいます。

P 棟

理学療法学科の実習室、大小の講義室、研究室を備えた建物です。

R 棟

講義室、人間環境デザイン学科の実習室などを備えた建物で、1 階・地階に食堂・売店などがあります。

G 体育館

アリーナ・小体育室などがあります。

H 棟

冬木記念ホールを中心とした建物で、地階にはキャリアセンターがあります。

畿央大学

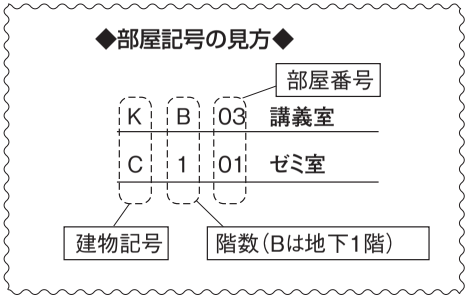
学生ハンドブック

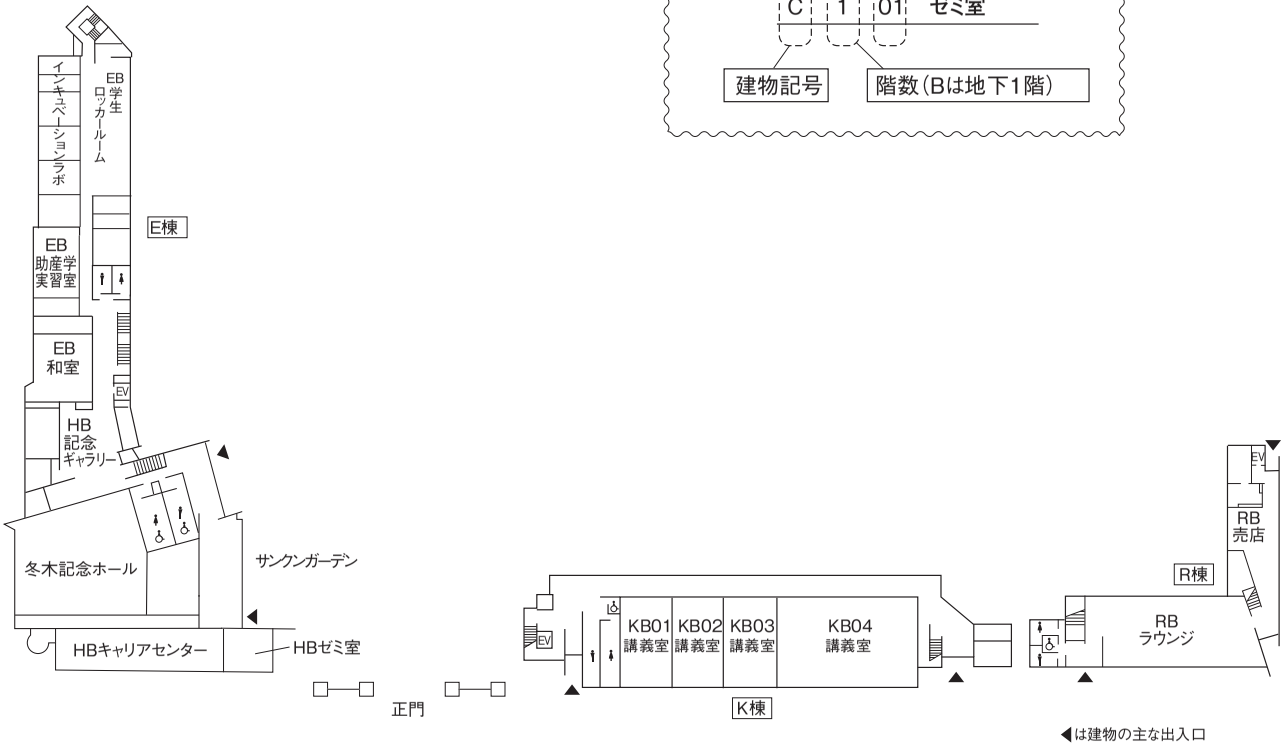
Handbook for Students

2020

CAMPUS MAP

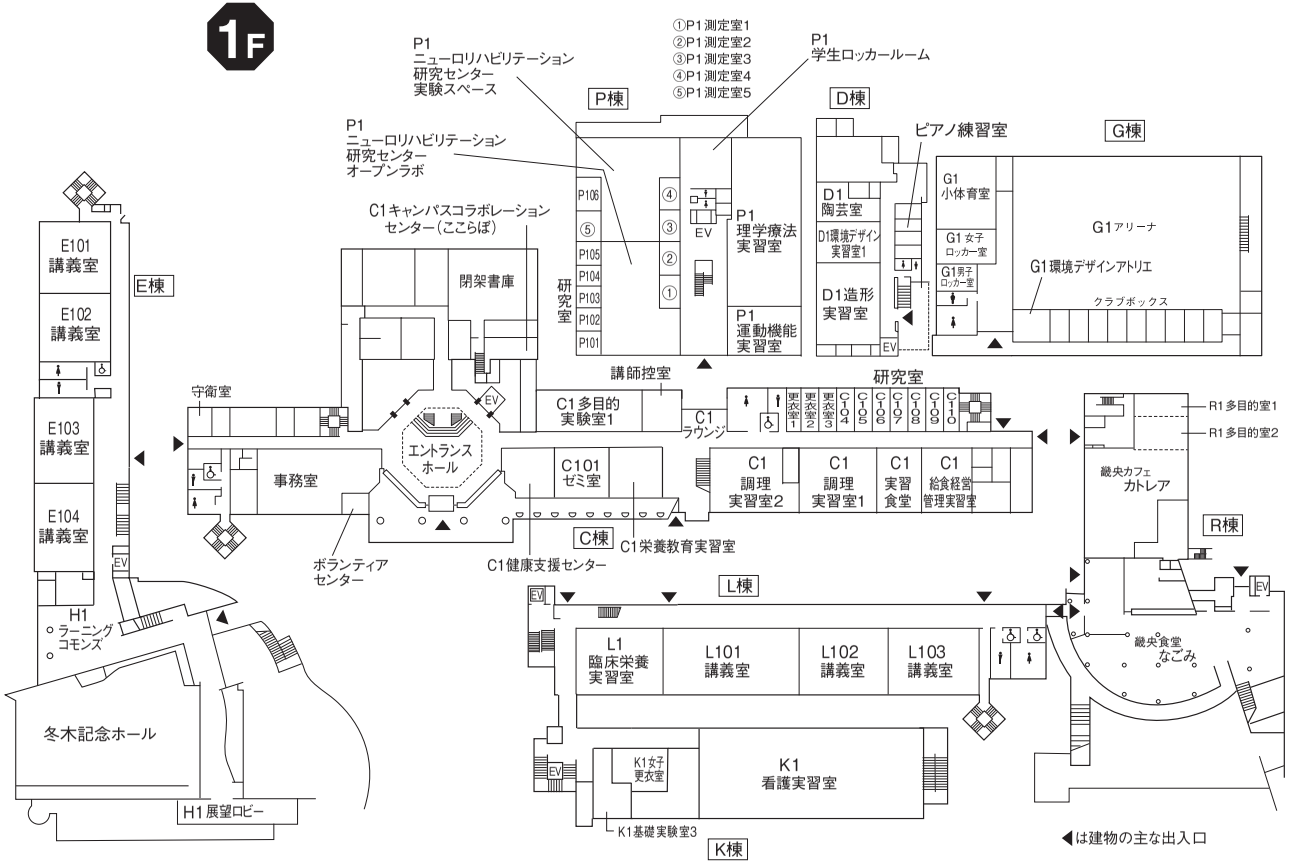
B1





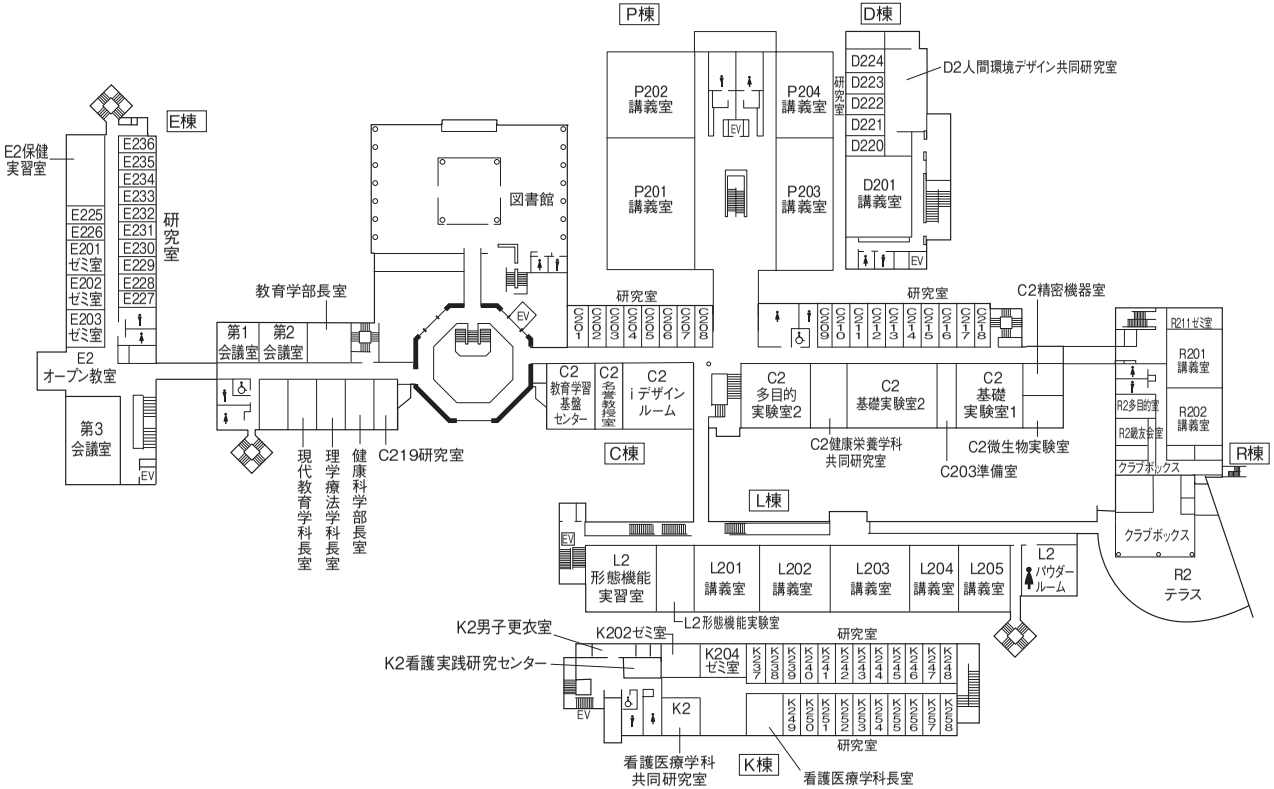
◀は建物の主な出入口

CAMPUS MAP


1F
P1
ニューロリハビリテーション
研究センター
実験スペース
①P1測定室1
②P1測定室2
③P1測定室3
④P1測定室4
⑤P1測定室5
P1
学生ロッカールーム
P棟
D棟
ピアノ練習室
G棟
P1
ニューロリハビリテーション
研究センター
オープンラボ
C1キャンパスコラボレーション
センター（ここらぼ）
P106
P105
P104
P103
P102
P101
研究室
EV
P1
理学療法
実習室
P1
運動機能
実習室
D1
陶芸室
D1環境デザイン
実習室1
D1造形
実習室
G1
小体育室
G1女子
ロッカー室
G1男子
ロッカー室
G1アリーナ
G1環境デザインアトリエ
クラブボックス
E101
講義室
E102
講義室
E103
講義室
E104
講義室
E棟
閉架書庫
講師控室
研究室
守衛室
C1多目的
実験室1
C1
ラウンジ
更衣室1
更衣室2
更衣室3
C104
C105
C106
C107
C108
C109
C110
エントランス
ホール
事務室
C101
ゼミ室
C1
調理
実習室2
C1
調理
実習室1
C1
実習
食堂
C1
給食経営
管理実習室
R1多目的室1
R1多目的室2
総央カフェ
カトレア
R棟
C棟
C1栄養教育実習室
ボランティア
センター
C1健康支援センター
L棟
H1
ラーニング
コモンズ
L1
臨床栄養
実習室
L101
講義室
L102
講義室
L103
講義室
総央食堂
なごみ
冬木記念ホール
K1女子
更衣室
K1
看護実習室
H1展望ロビー
K1基礎実験室3
K棟
◀は建物の主な出入口

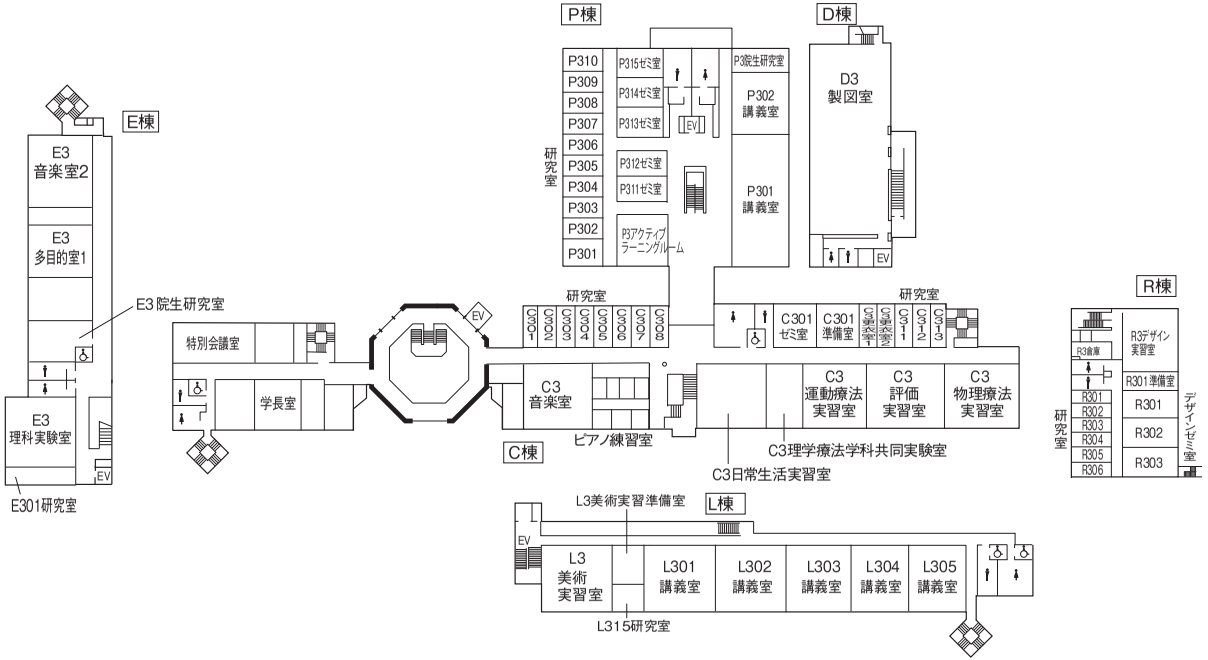
CAMPUS MAP

2F

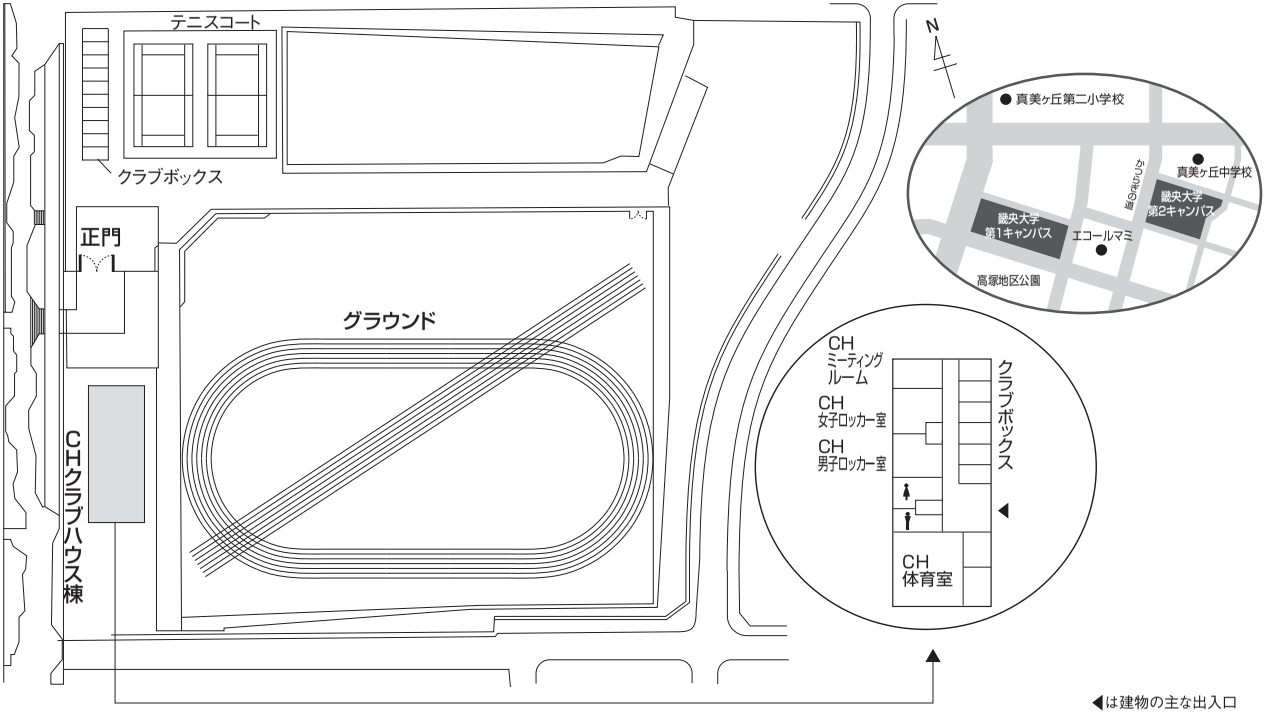


CAMPUS MAP

3F



第2CAMPUS



◀は建物の主な出入口

2020年度　授業日カレンダー

注：※印のついた日はキャンパスに入ることはできません。■は休講日

4月				5月				6月				7月				8月				9月		
1	水			1	金	④		1	月	⑦		1	水	⑪		1	土	⑯	最終授業期間	1	火	前期成績・後期学納金振込票発送予定
2	木	入学式		2	土	④		2	火	⑦		2	木	⑪		2	日			2	水	
3	金		前期オリエンテーション期間	3	日	憲法記念日		3	水	⑦		3	金	⑬		3	月	⑯		3	木	
4	土			4	月	みどりの日		4	木	⑦		4	土	⑫		4	火	⑯		4	金	
5	日			5	火	こどもの日		5	金	⑨		5	日			5	水	⑯		5	土	
6	月			6	水	振替休日		6	土	⑨		6	月	⑫		6	木	⑯		6	日	
7	火			7	木	④		7	日			7	火	⑫		7	金	⑯		7	月	
8	水			8	金	⑤		8	月	⑧		8	水	⑫		8	土		追再試期間	8	火	
9	木			9	土	⑤		9	火	⑧		9	木	⑫		9	日			9	水	
10	金	①授業開始		10	日			10	水	⑧		10	金	補講日		10	月		追再試日（山の日）	10	木	
11	土	①		11	月	④		11	木	⑧		11	土	⑬		11	火			11	金	
12	日			12	火	④		12	金	⑩		12	日			12	水			12	土	
13	月	①		13	水	④		13	土	⑩		13	月	⑬		13	木			13	日	
14	火	①		14	木	⑤		14	日			14	火	⑬		14	金			14	月	
15	水	①		15	金	⑥		15	月	⑨		15	水	⑬		15	土			15	火	
16	木	①		16	土	⑥	履修取消期間	16	火	⑨		16	木	⑬		16	日			16	水	後期オリエンテーション期間
17	金	②履修登録変更〆切		17	日			17	水	⑨		17	金	⑭		17	月			17	木	
18	土	②		18	月	⑤		18	木	⑨		18	土	⑭		18	火			18	金	
19	日			19	火	⑤		19	金	⑪		19	日			19	水			19	土	
20	月	②前期学納金納入期日		20	水	⑤		20	土	補講日		20	月	⑭		20	木			20	日	
21	火	②		21	木	補講日（創立記念日）		21	日			21	火	⑭		21	金			21	月	敬老の日
22	水	②		22	金	⑦		22	月	⑩		22	水	⑭		22	土			22	火	秋分の日
23	木	②		23	土	⑦		23	火	⑩		23	木	⑭授業日（海の日）		23	日			23	水	
24	金	③		24	日			24	水	⑩		24	金	補講日（スポーツの日）		24	月			24	木	前期卒業式
25	土	③		25	月	⑥		25	木	⑩		25	土	⑮	最終授業期間	25	火			25	金	①授業開始
26	日			26	火	⑥		26	金	⑫		26	日			26	水			26	土	①
27	月	③		27	水	⑥		27	土	⑪		27	月	⑮		27	木			27	日	AO・大学院・専攻科入試 ※
28	火	③		28	木	⑥		28	日			28	火	⑮		28	金			28	月	①
29	水	③授業日（昭和の日）		29	金	⑧		29	月	⑪		29	水	⑮		29	土			29	火	①
30	木	③		30	土	⑧専攻科内部推薦入試		30	火	⑪		30	木	⑮		30	日			30	水	①
				31	日							31	金	⑮		31	月					

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑮⑯週の最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。ふだんの時間割と異なることもありますので、この期間の時間割は、前期は７月中旬、後期は１月中旬までに掲示します。
注：補講はふだんの授業曜日・時限に関わりなく６時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。
注：休業日（日曜日・授業のない祝日）の事務取扱は行っておりません。

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	木	① 履修登録変更〆切	1	日		1	火	⑨	1	金	元日 ※	1	月	⑮ 最終授業期間	1	月	
2	金	②	2	月	⑤	2	水	⑨	2	土	※	2	火	⑯	2	火	
3	土	②	3	火	文化の日	3	木	⑩	3	日	※	3	水	⑯	3	水	
4	日		4	水	⑥	4	金	⑩	4	月		4	木	⑯	4	木	
5	月	②	5	木	⑥ 履修取消期間	5	土	⑨	5	火	⑫	5	金	⑯	5	金	
6	火	②	6	金	⑥	6	日		6	水	⑫	6	土	⑯	6	土	
7	水	②	7	土	⑥	7	月	⑩	7	木	⑬	7	日	大学院入試	7	日	
8	木	②	8	日		8	火	補講日	8	金	⑭	8	月	⑯	8	月	
9	金	③	9	月	⑥	9	水	⑩	9	土	⑬	9	火	追再試期間	9	火	
10	土	③	10	火	⑥	10	木	⑪	10	日		10	水		10	水	一般入試
11	日		11	水	補講日	11	金	⑪	11	月	成人の日	11	木	追再試日（建国記念の日）	11	木	
12	月	③	12	木	⑦	12	土	⑩	12	火	⑬	12	金		12	金	
13	火	③	13	金	⑦	13	日		13	水	⑬	13	土		13	土	
14	水	③	14	土	⑦	14	月	⑪	14	木	⑭	14	日		14	日	
15	木	③	15	日	公募推薦入試	15	火	⑩	15	金	休講日（試験会場設営）	15	月		15	月	卒業式リハーサル
16	金	④	16	月	⑦	16	水	⑪	16	土	大学入学共通テスト ※	16	火		16	火	卒業式
17	土	④	17	火	⑦	17	木	⑫	17	日	大学入学共通テスト ※	17	水		17	水	
18	日	AO入試 ※	18	水	⑦	18	金	⑫	18	月	⑬	18	木		18	木	
19	月	④	19	木	⑧	19	土	⑪	19	火	⑭	19	金	一般入試	19	金	
20	火	④ 後期学納金納入期日	20	金	⑧	20	日		20	水	⑭	20	土		20	土	春分の日
21	水	④	21	土	公募推薦入試	21	月	⑫	21	木	⑮ 最終授業期間	21	日		21	日	
22	木	④	22	日	公募推薦入試	22	火	⑪	22	金	補講日	22	月		22	月	
23	金	畿央祭準備	23	月	⑧ 授業日（勤労感謝の日）	23	水	補講日	23	土	⑭	23	火	天皇誕生日	23	火	後期成績・前期学納金振込票発送予定
24	土	畿央祭	24	火	⑧	24	木	補講日	24	日		24	水		24	水	
25	日	畿央祭	25	水	⑧	25	金	⑬	25	月	⑭	25	木		25	木	
26	月	グリーンキャンペーン補講日（午後）	26	木	⑨	26	土	⑫	26	火	⑮ 最終授業期間	26	金		26	金	
27	火	⑤	27	金	⑨	27	日		27	水	⑮	27	土		27	土	
28	水	⑤	28	土	⑧	28	月		28	木	休講日（一般入試）	28	日		28	日	
29	木	⑤	29	日		29	火	※	29	金	⑮				29	月	
30	金	⑤	30	月	⑨	30	水	※	30	土	⑮ 一般入試				30	火	
31	土	⑤				31	木	※	31	日	一般入試				31	水	

目　次

授業日カレンダー ……8
はじめに―学長挨拶― ……12
冬木学園の沿革 ……13
建学の精神・人材育成の目的 ……14
ディプロマ・ポリシー、
カリキュラム・ポリシー ……16

＜大切なこと＞

1. 大学の組織と窓口 ……24
2. 学籍 ……25
学籍番号 ……25
学籍情報変更の届出 ……25
修業年限 ……25
3. 学籍の異動 ……26
休学・復学 ……26
退学・除籍・再入学・転学部・転学科 …27
4. 学納金 ……28
納入方法 ……28
金額 ……29
5. 奨学金 ……30
畿央大学独自の奨学金（在学生対象）…30
畿央大学後援会の奨学金 ……31
地方自治体（都道府県市区町村等）の奨学金制度…31
日本学生支援機構の奨学金（貸与）…32
高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構
給付型奨学金と授業料及び入学金減免）…36
6. 大学からの連絡・情報提供 ……42
掲示板、Web掲示、メールを必ずチェック …42
KiTss、CEASによる情報サービス…42
畿央大学HP・KIO Smile Blog・KIO
キャリアナビ・各種広報誌 ……44

＜畿央大学での学び＞

1. 大学で学ぶということ ……46
授業科目の構成 ……46
特色あるカリキュラム ……48
科目の必修と選択 ……49
資格必修科目 ……49
セメスター制 ……49
単位制度と学修時間 ……50
履修登録制限（CAP制）……50
2. 履修登録 ……51
履修登録の注意点 ……51
シラバス ……52
履修の変更・履修の取消 ……52
履修の変更・取消の手続と注意 ……53
3. 授業 ……54
授業時間 ……54
受講上の注意 ……54
出席・欠席・遅刻・早退・欠課 ……55
学生証による出席確認 ……55
公欠・忌引 ……56
欠席連絡 ……58
休講、補講、集中講座、教室変更 …58
暴風・特別警報発令、交通機関不通の
場合の授業（試験）の取り扱い ……59
4. 学外実習 ……61
学外実習履修の条件 ……61
感染症と予防接種 ……61
実習交通費の補助・
実習用通学定期券の申請 ……62
学外実習スケジュール ……63
5. 試験 ……66
平常試験 ……66
定期試験 ……66
追試験 ……67
再試験 ……70
追試験・再試験受験申請の方法 ……70
レポート・作品 ……71
6. 成績 ……72
成績評価 ……72
GPA ……72
成績通知 ……73
成績に関する疑義申し立て ……73
7. 卒業要件 ……74
卒業要件 ……74
既修得単位の認定 ……74
放送大学との単位互換 ……74

＜畿央大学での暮らし＞

1. 学生証・各種証明書 ……78
学生証 ……78

証明書の発行……79
学生旅客運賃割引証（学割証）……80
2. 学生生活……81
通学方法……81
学生保険制度……83
貸ロッカー……86
郵便物・電話・学内放送……87
拾得物・盗難……87
貴重品ロッカー・コインロッカー…88
アルバイト……88
3. キャンパスライフを快適に……90
畿央生として、地域の一員として、
自覚と節度ある行動を……90
ハラスメントの防止……92
4. 課外活動……93
畿友会……93
畿央祭実行委員会……94
KiPT（Kio Performance Team）……94
クラブ・サークル……94
ボランティア活動（ボランティアセンター）…95
5. 施設の使用……97
施設使用の申し込みについて……97
申し込みが必要な施設とルール……97
施設を使用する際のマナーと注意事項…98

＜畿央大学の学生サポート＞

1. サポート体制……102
ここらぼ……103
なんでも相談メール……103
2. 学修支援……104
図書館……104
ラーニング・コモンズ……108
情報システムの利用サービス……109
ｉデザインルーム……110
3. 進路支援……112
進路支援の流れ……112
キャリアセンター……113
教採・公務員対策室……117
インターンシップ……117
資格対策支援……118
4. 健康支援……120
健康支援センターの役割……120
学校感染症（予防）……120
学校感染症（登学停止と公欠）……121
定期健康診断……122
抗体検査……123
AEDの設置……123

＜カリキュラム表＞

各学科卒業要件……126
科目分類番号……127
カリキュラム表……131
理学療法学科……131
看護医療学科……143
健康栄養学科……155
人間環境デザイン学科……171
現代教育学科……187

＜取得できる資格とその要件＞

取得できる資格とその要件……211
理学療法学科……212
看護医療学科……214
健康栄養学科……222
人間環境デザイン学科……232
現代教育学科……242
介護等体験・教員免許更新制……276

＜規程集＞

畿央大学学則……278
履修に関する規則……286
授業に関する規則……287
試験に関する規則……291
理学療法学科　内規……294
看護医療学科　内規……295
健康栄養学科　内規……296
人間環境デザイン学科　内規……298
現代教育学科　内規……299
学納金納入規則……306
学生生活に関する規則……307
学生懲戒規程……310
ハラスメントの防止等に関する指針…312
畿友会　会則……316
畿桜会　会則……319
＜学歌・応援歌＞
学歌……322
応援歌……324

はじめに

学長
冬木　正彦

学校法人冬木学園の設立にあたり、「徳をのばす」、「知をみがく」、「美をつくる」が建学の精神として定められました。畿央大学においても、この建学の精神に則り、豊かな教養を備え健康と教育の分野において高度な専門的知識と技術を有し日本および国際社会に貢献できる人材の育成を目的とする教育が行われています。

畿央大学に設置されている学部、学科それぞれにおいて教育理念と教育目標が定められ、理念を反映させたカリキュラムが設けられています。その課程を学修し、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を満たすことにより学士の学位が与えられます。この学生ハンドブックには、これら学修に関することを中心に、学生生活に関することや学則などが掲載されています。

大学での学びで最も重要なことは、自ら能動的に学ぶ姿勢です。畿央大学は、学生同士が切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら成長できる場であります。このなかで、学生の皆さんが、将来のあり方・生き方について高い志をもち、そのありたい姿の実現に向かって学び続けることが重要です。学び続けることの原動力は、「分かること」の楽しさを経験することであると考えます。「なぜ」と問う知的好奇心を大切にし、分かるまで考え続けることができれば、分かることの楽しさを経験できます。

さらにグループ学習や現場での実習、地域連携の取組み、国際交流などにも積極的に参加してください。学生の仲間や先生、職員とのつながりを深めるとともに、学外の人と交流する中でも多くのことを学ぶことができます。感動や喜びの経験は卒業後に社会の中で生き抜く力となります。

畿央大学におけるこのような学びをとおし、学生の皆さんが将来の夢の実現に向かって幅広い教養を身につけ、人間として大きく成長されることを期待いたします。

冬木学園の沿革

1946年	5月	冬木文化服装学院開校
1964年	1月	学校法人冬木学園設立
	4月	桜井女子高等学校開校
1966年	4月	桜井女子短期大学（家政科）開学
1967年	4月	桜井女子短期大学児童教育科開設
		家政科を服飾専攻と食物栄養専攻に分離、栄養士養成課程を設置
1979年	4月	桜井女子短期大学付属幼稚園開園
1982年	4月	家政科を生活科学科に、児童教育科を児童教育学科に改称し、コース制を採用
1992年	4月	生活科学科・服飾専攻を生活科学科・生活科学専攻に改称
1993年	4月	専攻科（生活科学専攻）開設
1999年	4月	桜井女子高等学校を関西中央高等学校に校名変更
2000年	11月	保育士養成校認可
2003年	4月	畿央大学（健康科学部）開学
		桜井女子短期大学を畿央大学短期大学部に校名変更し、生活科学科募集停止
2006年	4月	畿央大学教育学部現代教育学科開設
2007年	3月	畿央大学短期大学部廃止
	4月	健康科学部健康生活学科健康栄養専攻を健康栄養学科に、健康生活学科人間環境デザイン専攻を人間環境デザイン学科に改組
		畿央大学大学院健康科学研究科修士課程開設
		畿央大学健康科学研究所開設
2008年	4月	畿央大学健康科学部看護医療学科開設
2009年	4月	畿央大学大学院健康科学研究科博士後期課程開設
2012年	4月	畿央大学助産学専攻科開設
		畿央大学現代教育研究所開設
2013年	4月	ニューロリハビリテーション研究センター開設
2014年	4月	畿央大学大学院教育学研究科修士課程開設
2019年	4月	畿央大学臨床細胞学別科開設
		看護実践研究センター開設

❖ 建学の精神・人材育成の目的 ❖

1.　畿央大学の建学の精神とその展開

学校法人冬木学園は建学の精神として「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」の３つの理念を掲げていますが、畿央大学の建学の精神も同じです。これは、豊かな人間性を追求することこそが教育の最終目標であるという考え方に立ち、創立以来一貫して精神的支柱とし、すべての教育活動の中で具現化すべく取り組んできたものです。

徳をのばす

住みよい社会をつくるためには、先ず個々に敬愛の念をもち、お互いの幸せを願い、恵みを与えあう心を養わなければならない。すなわち小さい徳を積み、社会を潤していく精神を養いたい。

知をみがく

人間の進歩向上とは、自己の才能を最大限に練磨することである。知識欲を失えばただ退歩あるのみである。私達はあくことなく頭脳を磨き、励まし合い、研究的な態度を養成したい。

美をつくる

すべての優れた技術はこの世の中にすばらしい美の贈り物をすることができる。美しいものは見る者の心を澄まし、喜びとやすらぎを与えてくれる。私達の手で、日々ひとつでも多く、美しいものを創造していきたい。

この建学の精神をもとに、具体的な教育目標としては次のように掲げています。

「徳をのばす」　豊かな人間性、コミュニケーション力と思いやりの心を身につけます。

「知をみがく」　科学的認識に支えられた知性とたゆまぬ探究心を培います。

「美をつくる」　豊かな感受性をもち創造する力を磨きます。

そして畿央大学では、開設以来「**やさしさをチカラに変える**」というキャッチフレーズを使用していますが、これは建学の精神を基盤としながら畿央大学のめざすところを表現したもので、畿央大学の社会への約束として今後も大切にしていきたいと考えています。

2. 人材育成の目的

畿央大学では、「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」を教育の基本理念に置き、高潔な人格と幅広く高度な学識・技術を身につけ、地域社会および国際社会の発展に創造的に貢献できる有為な人材を育成することを目的としています。

健康科学部

健康科学部では人間の身体と健康についての科学的視点や高い専門的技術を養うことと合わせて、建学の精神に則り、豊かな人間性をもち、人の心の痛みに共感することができる人材を育みます。

理学療法学科

理学療法学科では、深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、人間を総合的に支援できる幅広い教養と倫理観を持った理学療法士を養成します。

看護医療学科

看護医療学科では人の痛みや健康への願いを汲み取り、「心」の声を聴くことのできる感性を磨き、高い専門性と実践力を持ち「全人的ケア」を行なう人間性豊かな看護師・保健師を養成します。

健康栄養学科

健康栄養学科では食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康のために望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決能力を持った管理栄養士を養成します。

人間環境デザイン学科

人間環境デザイン学科においては、高度な専門知識と技能を備えた建築士や、インテリアやプロダクト、ファッションなど様々な専門分野で、健康で快適な環境をデザインできる実践的な問題解決型の人材を養成します。

教育学部　現代教育学科

教育学部現代教育学科は、建学の精神を教育の基本とし、現代の教育課題に真摯に取り組み、それらを協働して解決していくための「信念」「知識」「実践力」を兼ね備え、教育に関する幅広く高度な専門的知識、実践的な課題解決能力、そして健全な心身と豊かな人間性を持った教育専門家を育成します。

❖ ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー ❖

1. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーとは、どのような力を身に付ければ学位を授与するのかを定める基本的な方針のことで、大学での学修成果の目標ともなるものです。すべての授業科目はディプロマ・ポリシーに定められたいずれかの力を身につけることに関連づけられています。

畿央大学の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学は生命の尊厳を基盤に、豊かな人間性と徳性を培い、専門的知識と的確な技術をもって地域社会および国際社会に貢献する人材を養成することを目標とする。そこで、畿央大学での学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

1．生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち、幅広く豊かな教養を備え、社会で活動できる。
2．人間を総合的に理解し、修得した専門的知識と技術をもって健康と教育に関する諸課題に適切に対応できる。
3．地域の特性に主体的に対応し、地域の諸機関と連携・協働して地域の諸資源を活用できる。
4．健康と教育に関する諸課題を分析評価し、問題解決を図ることができる。
5．国際化に対応した視野をもって、健康問題・教育問題を科学的・創造的に研究できる。

健康科学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学健康科学部では、建学の精神（「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」）に則り、人間の身体と健康についての科学的視点や専門的知識・技術を養うことと合わせて、豊かな人間性を持ち、人の心の痛みに共感することができるような人材を育むことを目標とする。そこで、本学部における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

［※（　）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの］

1．生命の尊厳を基盤に豊かな人間性と確かな倫理観を持ち、人の心の痛みに共感することができる。（徳をのばす／態度・志向性）
2．専門分野および関連分野の専門家との連携・協働に必要な協調性とリーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）
3．豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4．人間の身体と健康についての科学的視点や専門的知識・技術を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5．保健・医療・福祉の各分野の専門家との連携・協働の土台となるコミュニケーション力、プレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）
6．国際化に対応できる知識・理解力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能）
7．修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
8．修得した専門的知識と的確な技術をもって、人間の身体と健康に関する今日的課題を解決し、自らの価値観のもとに創意工夫をこらすことで、地域社会および国際社会に貢献することができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

理学療法学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学健康科学部理学療法学科では、理学療法士としての深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、幅広い教養と倫理観を持った徳性のある人材を養成することを目標としている。さらに、保健・医療・福祉の各分野の専門家と連携・協働し、役割分担をしてチーム医療に参画することのできる人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を

身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。
［※（　）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの］
1．医療従事者としての倫理観を持ち、人間の尊厳や生命への畏敬を理解している。（徳をのばす／態度・志向性）
2．保健・医療・福祉の各分野の専門家と連携・協働しつつチーム医療に参画し、チームの中でリーダーシップを発揮できる。（徳をのばす／態度・志向性）
3．豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4．理学療法学に関する深い専門的知識と高い技術を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5．保健・医療・福祉の各分野の専門家との連携・協働の土台となるプレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）
6．医療をめぐる問題の国際化に対応できる知識・理解力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能）
7．修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
8．理学療法学に関する専門的知識と的確な技術をもって、人間の身体と健康に関する今日的課題を解決し、自らの価値観のもとに創意工夫をこらすことで、地域社会および国際社会に貢献することができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

看護医療学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学健康科学部看護医療学科では、高い専門性と臨地に役立つ実践力、およびチーム医療で活躍できる協調性を持ち、「全人的ケア」の行える人間性豊かな看護師･保健師を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。
［※（　）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの］
1．医療従事者として、人間の尊厳や生命への畏敬について理解し、人の痛みや健康への願いを汲み取ることができる感性を持っている。（徳をのばす／態度・志向性）
2．チーム医療や高度医療、地域の訪問看護などの場面で、様々な医療関係者と円滑なコミュニケーションを図り協働し、リーダーシップを発揮できる。（徳をのばす／態度・志向性）
3．豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4．看護医療分野に関する高い専門性と臨地に役立つ実践力を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5．保健・医療・福祉の各分野の専門家との連携・協働の土台となるプレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）
6．医療をめぐる問題の国際化に対応できる知識・理解力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能）
7．修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
8．看護医療に携わる者として、あらゆる生活の場で生じる利用者のニーズを正しく理解し、責任を持って問題を解決していくことができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

健康栄養学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学健康科学部健康栄養学科では、食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康づくりのための望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決型人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。
［※（　）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの］
1．生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を持っている。（徳をのばす／態度・志向性）

2．食品・栄養・保健・医療分野の専門家と連携・協働するために必要な協調性とリーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）
3．豊かな教養と幅広い視点を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4．食や栄養に関する高度な専門知識・技能を修得している。（知をみがく／知識・理解）
5．食品・栄養・保健・医療の各分野の専門家との連携・協働の土台となるプレゼンテーションスキルを身につけている。（知をみがく／汎用的技能）
6．修得した知識、研究・調査能力を用い、生涯にわたって自ら学び続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
7．健康づくりのための望ましい食生活とライフスタイルのあり方を総合的に解明し、それを実践・普及することができる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

人間環境デザイン学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科では、「すべての人が健康で豊かに生活できる環境をいかに創造するか」という問題意識を持って環境（衣・住）に関わるデザインができる人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

［※（　）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの］

1．幼児から高齢者、障がい者をはじめ、すべての人間に対する深い畏敬の念を持ち、デザインに携わる者としての倫理観を有している。（徳をのばす／態度・志向性）
2．生活環境に関する様々な分野の専門家との連携・協働に必要なコミュニケーション力とリーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）
3．人体の構造・機能や人間の生活全般についての科学的認識を持っている。（知をみがく／知識・理解）
4．建築・デザイン分野に関する総合的な知識と専門的視点を有している。（知をみがく／知識・理解）
5．高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを持ち、自らの意見を正確に相手に伝えることができる。（知をみがく／汎用的技能）
6．一人ひとりの特性に応じてデザインすることができる感性や創造力を生涯にわたってみがき続けることができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
7．修得した専門的知識と技術を土台として、これからの時代に必要とされる環境を適切に分析し、自ら創造していくことができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）

教育学部 現代教育学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学教育学部および同学部現代教育学科では、現代的教育課題への対応を背景として、個人、家庭、学校および職域を含む地域社会全体の教育力の向上発展に寄与できる人材を育成することをめざす。そこで、本学部・学科における学びで以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

［※（　）内は、本学の建学の精神および中央教育審議会答申に示された「学士力」に関する主な内容との対応を記したもの］

1．生命への畏敬の念を持ち、教育に携わる者としての倫理観や子どもに対する深い理解と愛情を持っている。（徳をのばす／態度・志向性）
2．同僚・保護者・地域との連携・協働に必要な協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを身につけている。（徳をのばす／態度・志向性）
3．現代の教育課題に対する確かな理解と豊かな教養を備えている。（知をみがく／知識・理解）
4．学校教育、幼児教育、保健教育に関わる分野の高度専門職業人として必要な教育学の諸理論、子どもの発達、各教科・領域の内容や指導法、学校保健等についての専門的な知識を有している。（知をみがく／知識・理解）
5．高度専門職業人として必要な情報収集・処理能力やプレゼンテーションスキルを修得している。（知をみがく／汎用的技能）
6．グローバル化時代に求められる教育や特別な支援を必要とする子どもへの対応など、教育を

めぐる新たな課題を理解し、それらに適切に対処できる力を身につけている。（知をみがく／知識・理解、汎用的技能、美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）
7．授業や保育、養護に関わる内容・活動について自ら考え、実践し、マネジメントしていく力を身につけている。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）
8．生涯にわたって自律的に学び続け、教育者として自ら成長していくことができる。（美をつくる／態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）
9．修得した専門的知識と技術を活用し、地域社会全体の教育力の向上･発展に寄与できる。（美をつくる／総合的な学習経験と創造的思考力）

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施するのかを定める基本的な方針のことです。

畿央大学の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学では、建学の精神である「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」を教育の基本理念に置き、高潔な人格と幅広く高度な専門的知識・技術を身につけ、以て地域社会および国際社会に貢献できる有為な人材を育成するために必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1．４年間を８セメスターに分け、セメスターごとに評価をすることで、体系的に修得させる。
2．教育課程を大きく教養科目群と専門科目群に分ける。
3．教養教育において生命の尊さやそのあり方について基本的な認識と価値意識を培うため、「生命倫理」を全学必修科目とする。
4．専門科目群は「専門基礎科目」「専門科目」からなり、それぞれの学科の人材養成の目的を達成できるよう体系的に科目を配置する。
5．専門科目群の理解を深め実践力を養うため、実験・実習・演習を重視し数多く配置する。
6．理論と実践の一体的理解を図るため、学外実習・インターンシップ・ボランティア活動を充実させる。
7．長期休暇を利用し、フィールドワークや集中講義を実施する。

健康科学部の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学健康科学部では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1．生命の尊厳について学び、豊かな人間性と確かな倫理観を養うために、「生命倫理」を必修科目とする。
2．協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」やチーム医療に関する科目を設置する。
3．豊かな教養と幅広い視点を身につけることができるよう、人文、社会、言語、情報、自然、健康、運動など広範な領域にわたる教養科目を設置する。
4．人間の身体と健康についての科学的視点や専門的知識・技術を修得するために、各学科の人材養成の目的に応じて専門基礎科目および専門科目を体系的に配置する。
5．健康科学分野に関わる高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを身につけることができるよう、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とする。
6．国際化に対応する知識・理解力を身につけるために、外国語（英語）科目を体系的に配置し、海外研修の機会を充実させるとともに、日本社会および国際社会に関する基礎知識について学ぶための教養科目を設置する。

7．生涯にわたって学び続ける能力と姿勢を形成するための科目を設置する。
8．実践的な問題解決能力を身につけることができるよう、実験・実習・演習および学外実習・インターンシップを充実させ、ボランティア活動を支援する。

理学療法学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学健康科学部理学療法学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。本学科の教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1．医療従事者としての倫理観を養い、人間の尊厳や生命への畏敬について学ぶために、「生命倫理」を必修科目とする。
2．協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」やチーム医療に関する科目を設置する。
3．豊かな教養と幅広い視点を身につけることができるよう、人文、社会、言語、情報、自然、健康、運動など広範な領域にわたる教養科目を設置する。
4．医学的な基礎知識に基づいて理学療法学に関する深い専門的知識と高い技術を修得できるよう、専門基礎科目と専門科目を充実させ、それらを水準別・領域別に、基礎から応用へと体系的に編成する。
5．高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを身につけることができるよう、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とするとともに、その他の科目においても学生によるプレゼンテーションの機会を積極的に設ける。
6．医療をめぐる問題の国際化に対応する知識・理解力を身につけるために、外国語（英語）科目を体系的に配置し、海外研修の機会を充実させ、日本社会および国際社会に関する基礎知識について学ぶための教養科目や英語論文講読に関する科目を設置する。
7．生涯にわたって学び続ける能力と姿勢を形成するために、「ベーシックセミナー」、「キャリア形成セミナー」、「卒業研究」等の科目を設置する。
8．理学療法士としての専門性を土台とした実践的な問題解決能力を身につけることができるよう、実習・演習科目を充実させるとともに、それらを理論に関する科目と有機的に関連づけて配置する。

看護医療学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学健康科学部看護医療学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1．人間の尊厳や生命への畏敬について理解し、人の痛みや健康への願いを汲み取ることができる感性を養うために、「生命倫理」を必修科目とする。
2．チーム医療や高度医療、地域の訪問看護などの場面で求められる協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」や「チーム医療ふれあい実習」、「離島・へき地医療体験実習」等の必修科目を充実させる。
3．豊かな教養と幅広い視点を身につけることができるよう、人文、社会、言語、情報、自然、健康、運動など広範な領域にわたる教養科目を設置する。
4．看護医療分野に関する高い専門性と臨地に役立つ実践力を修得できるよう、専門基礎科目と専門科目を充実させ、それらを水準別・領域別に、基礎から応用へと体系的に編成する。
5．高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを身につけることができるよう、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とするとともに、その他の科目においても学生によるプレゼンテーションの機会を積極的に設ける。
6．医療をめぐる問題の国際化に対応できる知識・理解力を修得できるよう、外国語（英語）科目を体系的に配置し、海外研修の機会を充実させるとともに、日本社会および国際社会に関する基礎知識について学ぶための教養科目や「国際看護」、「外書講読」等の専門科目を設置する。
7．生涯にわたって学び続ける能力と姿勢を形成するために、「ベーシックセミナー」、「キャリア入門セミナー」、「卒業研究」等の科目を設置する。
8．看護医療に携わる者としての責任感や専門性を土台とした実践的な問題解決能力を身につ

けることができるよう、実習・演習科目を充実させるとともに、それらを理論に関する科目と有機的に関連づけて配置する。

健康栄養学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学健康科学部健康栄養学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1. 生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を育むために、「生命倫理」を必修科目とする。
2. 協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」等の科目を設置する。
3. 豊かな教養と幅広い視点を身につけることができるよう、人文、社会、言語、情報、自然、健康、運動など広範な領域にわたる教養科目を設置する。
4. 管理栄養士など、食や栄養に関する分野の高度専門職業人に要求される深い専門的知識と高い技術を修得できるよう、食品科学と栄養学に関する必修科目・選択科目を充実させ、それらを領域別に、基礎から応用へと体系的に編成する。
5. 臨床栄養、スポーツ栄養、食品開発など学生の希望進路に応じたコース別の推奨科目を設置し、それらを体系的に編成する。
6. 食や栄養に関する分野の高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを身につけることができるよう、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とするとともに、実験・演習・実習科目において学生によるプレゼンテーションの機会を積極的に設ける。
7. 学んだ知識・技術に対する理解を深めるために、「臨地実習」など学外実習の機会を充実させる。
8. 生涯にわたって学び続ける能力と姿勢を形成するために、「ベーシックセミナー」、「キャリア形成セミナー」、「卒業研究」等の科目を設置する。
9. 食や栄養に関する専門性を土台とした実践的な問題解決能力を身につけることができるよう、実験・実習・演習科目やインターンシップを充実させるとともに、それらを理論に関する科目と有機的に関連づけて配置する。

人間環境デザイン学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1. すべての人間に対する深い畏敬の念を持ち、デザインに携わる者としての倫理観を身につけることができるよう、「生命倫理」および「ユニバーサルデザイン」を必修科目とする。
2. 協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」や「プロジェクトゼミ」を設置する。
3. 人体の構造・機能や人間の生活全般についての科学的認識を持つことができるよう、関連する領域の専門基礎科目を設置するとともに、人文、社会、言語、情報、自然、健康、運動など広範な領域にわたる教養科目を設置する。
4. 建築・デザイン分野に関する総合的な知識と専門的視点を修得できるよう、学生の希望進路に応じた選択科目を充実させ、それらを専門基礎科目および専門科目に分けて体系的に編成する。
5. 高度専門職業人として求められるプレゼンテーションスキルを身につけることができるよう、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とするとともに、自らの意見を正確に相手に伝えることができるよう、その他の科目においても学生による発表の機会を積極的に設ける。
6. 自らの感性や創造力を生涯にわたってみがき続けることができるよう、「プロジェクトゼミ」や「卒業研究」等の科目を設置する。
7. 建築・デザイン分野に携わる者として、これからの時代に必要とされる環境を自ら創り出していくための分析力や創造力を身につけることができるよう、実習・演習科目を充実させ、理論に関する科目と有機的に関連づけて配置する。

教育学部 現代教育学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学教育学部および同学部現代教育学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである。

1．生命への畏敬の念や教育に携わる者としての倫理観、子どもに対する理解・愛情を育むために、「生命倫理」や「教育原理」を必修科目とし、見学実習に関する科目を設置する。
2．協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」等の科目を設置する。
3．現代の教育課題に対する理解と豊かな教養を身につけることができるよう、オムニバス講義「現代教育論」を設置するとともに、人文、社会、言語、情報、自然、健康、運動など広範な領域にわたる教養科目を設置する。
4．教育学の諸理論、子どもの発達、各教科・領域の内容や指導法、学校保健等についての専門的な知識を修得できるよう、専門分野および学生の希望進路に応じた選択科目を充実させ、それらを専門基礎科目および専門科目に分けて体系的に編成する。
5．高度専門職業人として必要な情報収集・処理能力やプレゼンテーションスキルを身につけることができるよう、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とするとともに、その他の科目においても学生によるプレゼンテーションの機会を積極的に設ける。
6．グローバル化時代への対応や特別な支援を必要とする子どもへの対応といった新たな教育課題を理解し、それらに適切に対処する力を身につけることができるよう、外国語（英語）科目の体系的な配置、日本社会および国際社会に関する基礎知識や異文化コミュニケーションについて学ぶための科目の設置、海外研修の機会の提供を図るとともに、「特別支援教育入門」を必修科目とするなど特別支援教育に関する科目を充実させる。
7．授業や保育、養護の内容・活動に関する自律的な思考力、判断力、実践力、マネジメント力を養うために、「実践演習」等の実践・指導法に関する科目を充実させるとともに、それらを理論・基礎に関する科目と有機的に関連づけて配置する。
8．生涯にわたって学び続ける能力と姿勢を形成するために、キャリア関連セミナーや「卒業研究」等の科目を設置するとともに、読む力・書く力を育成するためのプログラムを入学前から卒業に至る長期的スパンをもって編成する。
9．修得した専門的知識と技術を応用して教育に関する今日的課題を解決する力を育成するために、実習・演習科目やインターンシップを充実させる。

「畿央大学」という名称について

畿央大学の畿とは、中国の古語で帝都より五百里以内の地域を意味し、わが国においては古くより大和・山城・和泉・河内・摂津の五国を指し、「近畿」、「畿内」等の語源となりました。本大学はまさしくその地域の中央部に位置します。「大和は国のまほろば」と詠われたように日本人の心のふるさとして親しまれてきたところであり、長らく日本の政治・経済の中心としてアジアとの交流の歴史を有するところでもあります。このような歴史的、文化的条件を生かし、高等教育機関として地域の要となる内容を持ち、広く日本および世界に羽ばたく人材を養成したいという意味が、畿央大学という名前にこめられているのです。

大切なこと

1. 大学の組織と窓口

- 大学
  - 大学院
    - 健康科学研究科
    - 教育学研究科
  - 学部
    - 健康科学部
      - 理学療法学科
      - 看護医療学科
      - 健康栄養学科
      - 人間環境デザイン学科
    - 教育学部
      - 現代教育学科
  - 助産学専攻科
  - 臨床細胞学別科
  - 健康科学研究所
  - 現代教育研究所
  - ニューロリハビリテーション研究センター
  - 看護実践研究センター

大学	事務室 学生支援センター	(月～金) 8:40～18:00 (土) 8:40～17:00
	事務室 大学総務部	
	事務室 ボランティアセンター	(月～金) 8:40～17:00
	キャリアセンター	(月～金) 8:40～18:00 (土) 8:40～17:00
	入学センター	(月～金) 8:40～18:00 (土) 8:40～17:00
	広報センター	
	健康支援センター	(月～金)10:00～18:00
	キャンパスコラボレーションセンター「ここらぼ」	(月～金)10:00～18:00 (予約は9:00~)
	図書館	(月～金) 9:00～20:00 (土) 9:00～18:00 授業がない期間は異なります。
	教育学習基盤センター	(月～金) 8:40～17:00

2. 学　籍

学籍は本学の学生としての身分を意味します。学籍は所定期日までに入学手続きをすることによって発生し、学費を納入することによって継続し、通常は卒業により終了します。

学籍番号

学籍番号とは学生証に記載されている７桁の数字です。この番号は試験や諸届等、すべての手続きに必要となりますので正確に覚えておきましょう。学籍番号は次のような仕組みになっています。

20　21　321
①　②　③

① 入学年度　西暦の下２桁

② 学科コード２桁

理学療法学科	11	看護医療学科	14
健康栄養学科	12	人間環境デザイン学科	13
現代教育学科	21		

③ 個人番号３桁

学籍情報変更の届出

学生または保証人の住所など、以下の事項に変更があった場合は、速やかに「届出事項変更届」（事務室で入手またはKiTssからダウンロード）に必要事項を記入し、学生支援センターに提出してください。

学　生：氏名・現住所・電話番号・帰省先
保証人：氏名・現住所・電話番号

修業年限

修業年限（卒業に必要な在学年数）は４年とし、在学年数は８年を超えることはできません。

3. 学籍の異動

休学・退学等を願い出る場合は、必ず担任に相談の上、学生支援センターで申請手続を行ってください。

休　学

疾病その他やむを得ない事由により３か月以上修学できない場合、学長の許可を得て休学することができます。

休学願に必要事項を記入し、下記の申請期日までに必要書類を添えて学生支援センターに提出してください。許可されれば「休学許可書」を保証人宛に送付します。

休学を許可された場合の在籍料は半期ごとに３万円とし、前期は４月20日まで、後期は10月20日までに納入しなければなりません。ただし、入学年度の前期に休学した場合は、授業料等は返還しません。また、申請期日以降、当該学期中においての休学も認められますが、その場合は授業料等を納めなければなりません。

事　　由	必要書類
傷病	医師の診断書
大学が必要と認めた場合	大学から指示された証明書

休学申請期日	休学の認められる期間
３月31日	前　期（４月１日～９月15日）
９月15日	後　期（９月16日～３月31日）

［留意点］

・休学期間が満了しても休学事由が解消しない場合は、休学期間の延長を願い出ることができます。ただし、原則として連続して１年以内です。
・休学期間は通算して３年以内です。なお、休学期間は在学期間に算入しません。
・休学中の日本学生支援機構の奨学金は「休止」措置となります。復学の場合は、申請により「復活」させることができます。

復　学

休学中の者が復学を願い出る場合は、復学願に必要事項を記入し、下記の手続期間内に学生支援センターに提出してください。許可されれば「復学許可書」を保証人宛に送付します。

復学の時期は、学期始めとします。なお、当該学期中においての復学も認められますが、その場合でも授業料等は全額納めなければいけません。

復学手続期間

前期復学　（２月14日～２月28日）　後期復学　（８月１日～８月15日）

退　学

事情により退学を願い出る場合は、必ず担任に相談の上、退学願に必要事項を記入し学生証を添えて学生支援センターに提出してください。許可されれば「退学許可書」を保証人宛に送付します。

後期終了時での退学を希望する場合は３月31日まで、前期終了時での退学を希望する場合は９月15日までに本学所定の退学届を提出してください。以降の提出は学則に記されている通り、学期途中の扱いとなり、その学期の授業料全額の支払いが必要となります。

除　籍

除籍とは以下の事由により学籍を失うことです。

事　　由	内　　容
学費未納	学費納入期日を超えても納入されないとき
在学年数超過	在学年限を超えても卒業できないとき（学長が認めた者を除く）
休学期間満了	休学期間満了までに、休学の延長、復学、退学の手続のないとき
休学期間超過	休学期間が通算３年を経てもなお復学、退学の手続がなされないとき
その他	死亡及び長期にわたり行方不明のとき

再入学

退学または学費未納等の理由で除籍となった者が再入学を希望する場合は、その日より一定期間内に限り、再入学願を提出すれば選考の上、教授会の議を経て入学を許可されることがあります。再入学を出願できる学部・学科は原則として在籍していた学部・学科とします。

転学部・転学科

転学部・転学科を希望する者は、転学部・転学科願を提出し、審査を受けることができます。詳細については、「転学部･転学科に関する規則」を確認してください。

転学部・転学科の時期は４月１日とし、出願期間は前年度の10月１日から１月31日までです。なお、転学科した場合の転入年次は学科の卒業要件単位数および認定が見込まれる既修得単位数にもとづき決定されますが、理学療法学科、看護医療学科、健康栄養学科は１年次、人間環境デザイン学科、教育学部は１年次または２年次を基本とします。

4. 学納金

学納金とは、入学金、授業料、教育充実費、諸会費、その他の納付金を指します。それぞれの金額は学則にて定められており、このうち授業料及び教育充実費を納入しない場合は除籍の対象となり、学生の身分を失うことになります。その他の納付金は証明書手数料などの諸費用、手数料等で、その都度納入する必要があります。

前期・後期に納入する授業料、教育充実費、諸会費の納入方法と金額は次のとおりです。

納入方法

前期・後期の成績通知に同封して、翌期の納付書を送付します。送付された納付書を用いて以下の納入期限までに所定の銀行へ振り込んでください。納付書を紛失したり、到着しない場合は学生支援センターに申し出てください。

納入期限　前期分　4月20日まで
　　後期分　10月20日まで

納入期限までに納入することができない場合は、事前に「学納金延納願」を学生支援センターに提出してください。延納を許可された場合は、下記の期日まで延納することができます。

延納期限　前期分　6月30日まで
　　後期分　12月20日まで

また、事情により一部を納入できない場合は「学納金分納願」を学生支援センターに提出してください。分納を許可された場合は、以下のように分割納入することができます。（2回均等分割）

分納期限　前期分（第1回）5月31日　（第2回）6月30日
　　後期分（第1回）11月20日　（第2回）12月20日

※延納または分納手続を行わず、納入期限をすぎても未納の場合、除籍となります。必ず期日までに所定の手続を行ってください。

金　額

平成29年度～令和２年度の入学生

〔前期〕

学　部	学　科	納付額	授業料	教育充実費	諸会費
健康科学部	理学療法学科	835,000	430,000	375,000	30,000
	看護医療学科	835,000	430,000	375,000	30,000
	健康栄養学科	685,000	430,000	225,000	30,000
	人間環境デザイン学科	630,000	430,000	170,000	30,000
教育学部	現代教育学科	630,000	430,000	170,000	30,000

※諸会費：後援会費20,000円　畿友会費6,000円　同窓会費4,000円

〔後期〕

学　部	学　科	納付額	授業料	教育充実費
健康科学部	理学療法学科	805,000	430,000	375,000
	看護医療学科	805,000	430,000	375,000
	健康栄養学科	655,000	430,000	225,000
	人間環境デザイン学科	600,000	430,000	170,000
教育学部	現代教育学科	600,000	430,000	170,000

平成27年度・28年度の入学生

〔前期〕

学　部	学　科	納付額	授業料	教育充実費	諸会費
健康科学部	理学療法学科	820,000	430,000	360,000	30,000
	看護医療学科	820,000	430,000	360,000	30,000
	健康栄養学科	670,000	430,000	210,000	30,000
	人間環境デザイン学科	610,000	430,000	150,000	30,000
教育学部	現代教育学科	610,000	430,000	150,000	30,000

※諸会費：後援会費20,000円　畿友会費6,000円　同窓会費4,000円

〔後期〕

学　部	学　科	納付額	授業料	教育充実費
健康科学部	理学療法学科	790,000	430,000	360,000
	看護医療学科	790,000	430,000	360,000
	健康栄養学科	640,000	430,000	210,000
	人間環境デザイン学科	580,000	430,000	150,000
教育学部	現代教育学科	580,000	430,000	150,000

※平成26年度以前の入学生は入学時の学生ハンドブックを参照してください。

5. 奨学金

経済的に就学困難な学生や学業成績が優秀な学生に対し、奨学金制度があります。本学における各種奨学生の募集は、入試・学業成績によるもの以外は毎年度４月以降に行います。特に「日本学生支援機構」の奨学金制度については説明会を４月中に実施しますので、奨学金の給付・貸与を希望する学生は、機会を逃すことのないよう、掲示板（奨学金情報）・KiTssによる学生支援センターからの連絡に気をつけてください。

畿央大学独自の奨学金（在学生対象）

Ⅰ 冬木智子特別奨励賞（給付）

学業成績・人物ともに他学生の模範となる学生の更なる努力を促すため、年間20万円を給付します。選考は学科長の推薦によるものとし、２回生以上を対象に奨学生選考委員会において各学科１名、全学で５名を選出します。（給付額および選出者数は2019年度実績）

Ⅱ 畿央大学特別奨励賞（給付）

学業成績・人物ともに優秀な学生を奨励するため、年間10万円を給付します。選考は学科長の推薦によるものとし、２回生以上を対象に奨学生選考委員会において各学科各学年１名（教育学部各学年２名）、全学で18名を選出します。（給付額および選出者数は2019年度実績）

Ⅲ 畿央大学特別奨学金（給付）

経済的理由により就学が困難で、かつ学業成績優秀、明朗活発な学生に年間20万円を給付します。２回生以上の学部学生を対象に公募しますので希望者は申請してください。申請のあった者の中から全学で50名を奨学生選考委員会において選出します。（給付額および選出者数は2019年度実績）

畿央大学後援会の奨学金

Ⅰ 家計急変奨学金（給付）

次の要件に該当する場合、畿央大学後援会より奨学金（一人30万円）を給付します。

・学費を負担している父母（保証人）が死亡した場合

・学費を負担している父母（保証人）に重度後遺障害が生じた場合

申請期間：事由が起こってから6か月以内（ただし、本学の学生でない時期（大学入学前など）は対象としない）

※詳細については学生支援センターで確認してください。

地方自治体（都道府県市区町村等）の奨学金制度

都道府県市区町村に住所（あるいは本籍）を有する者に貸与または給付される奨学金で、出願資格、金額、返還の要否など条件は様々です。各自で地方自治体の教育委員会などへ問い合わせてください。なお、本学が窓口になっているものについては掲示により募集します。

日本学生支援機構の奨学金（貸与）

日本学生支援機構の貸与奨学金は経済的理由により修学に困難がある優れた学生などに対して貸与されます。奨学金貸与終了後は、返還の義務が生じ、必ず返還しなければなりません。学業に必要な金額、家庭の経済状況や自分の人生・生活設計に基づいて、十分考慮のうえ申込をしてください。

1）奨学金の種類と貸与期間

奨学金の種類	採用の種類	募集時期	貸与始期	貸与終期
第一種	定期採用	4月	4月	卒業予定期
無利子貸与	緊急採用	随時	※	※
第二種	定期採用	4月	4月～9月の希望する月	卒業予定期
有利子貸与	応急採用	随時	※	※

※奨学金を緊急に必要とする場合、随時奨学生の募集を行っています。申出者には、貸与始期・貸与終期・手続方法などの詳細を説明します。
（緊急採用・応急採用に該当する家計急変事由）
・主たる生計維持者が失職・退職・休職した場合
・主たる生計維持者が死亡又は離別（離婚・失踪）した場合
・主たる生計維持者が破産した場合
・病気、事故、その他の家計急変の事由により、主たる生計維持者について著しく支出が増大、もしくは収入が減少した場合
・震災、風水害、火災その他の災害などにより災害救助法の適応を受ける著しい被害またはこれらの災害に準ずる程度の被害を受けたことにより、主たる生計維持者について支出が著しく増大、もしくは収入が減少した場合

2）奨学金の申込条件（学力基準の目安）

奨学金の種類	学力基準（目安）
第一種	＜1年次＞高校2・3年生の成績3.5以上 ＜2年次＞本人の属する学部（学科）の上位1/3以内
第二種	出身高校または在籍する学校における成績が平均水準以上と認められる者、特定の分野で特に優れた資質能力を有すると認められる者、学修に意欲があり学業が確実に修了できる見込みがあると認められる者など

※学力基準および家計基準についての詳細は、日本学生支援機構発行のパンフレットを必ず参照してください。

3）奨学金の貸与月額

奨学金の種類	自宅通学	自宅外通学
第一種 無利子貸与	20,000円、30,000円、40,000円、54,000円※ から選択	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円※ から選択
第二種 有利子貸与	20,000円～120,000円（10,000円単位）から選択できます。	
入学時特別増額 貸与奨学金 有利子貸与	100,000円、200,000円、300,000円、400,000円、500,000円 から選択できます。（入学時特別増額貸与のみを申込むことはできません。）	

注）下線付きの月額は、2018年度以降入学者から選択できるようになった月額です。
2017年度以前入学者は下線付きの月額を選択できません。
※2018年度以降入学者において、第一種奨学金の最高月額を利用するためには生計維持者の認定所得金額が収入基準額以下であることが必要です。

4）保証制度

日本学生支援機構の奨学金では、次の２つの保証制度のいずれかを選択することになります。

人的保証制度（連帯保証人と保証人を選任）

機関保証制度（保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証する）

5）奨学金の交付日（2020年４月～2021年３月）

４月分	４月21日（火）	８月分	８月11日（火）	12月分	12月11日（金）
５月分	５月15日（金）	９月分	９月11日（金）	１月分	１月８日（金）
６月分	６月11日（木）	10月分	10月９日（金）	２月分	２月10日（水）
７月分	７月10日（金）	11月分	11月11日（水）	３月分	３月11日（木）

6）奨学金に関するスケジュール

時期		内容	対象
4月	初旬	予約採用に関する説明会	1回生
	中旬	進学届入力	1回生
		在学採用（定期採用）に関する説明会	希望者全員
	中旬～下旬	在学採用（定期採用）の申込（入力）および書類の郵送	希望者全員
6月	初旬	採用決定者に対する説明会	1回生（予約採用）
	初旬～下旬	返還誓約書などの提出	
	下旬	採用決定者に対する説明会	該当奨学生全員（在学採用（定期採用））
7月	初旬～下旬	返還誓約書などの提出	
10月	中旬	返還に関する説明会	4回生（3月満期奨学生）
12月	中旬～下旬	継続願に関する説明会	奨学生全員（1～3回生）
12月中旬～2月下旬		継続願の提出（入力）	奨学生全員（1～3回生）

※詳細な日程は、掲示板（奨学金情報）などで連絡します。

7）奨学金貸与の開始

高等学校で予約採用決定の者・大学で新たに採用決定した者は、日本学生支援機構より返還誓約書の関係書類が届き次第、掲示板などで通知します。

・人的保証を選択した者は、4種類の書類が必要です。

返還誓約書、連帯保証人の印鑑登録証明書、
連帯保証人の収入に関する証明書、保証人の印鑑登録証明書

・機関保証を選択した者は、2種類の書類が必要です。

返還誓約書、保証依頼書（兼保証委託契約書）

8）在学猶予願

高等学校または大学などで、日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていた者および奨学金の満期までに途中辞退した者は、在学猶予願をWeb上で提出（入力）することで修業年限まで返還期間が猶予されます。該当する場合は学生支援センターまで申し出てください。

9）適格認定

奨学金の貸与期間中は、毎年１回（12月中旬～２月下旬）「奨学金継続願」をWeb上で提出（入力）してください。「奨学金継続願」を提出した者について奨学金貸与の継続の可否を判断する「適格認定」を行います。学業成績不振などの状況により奨学金の廃止または停止などの処置を取られることのないように勉学に励んでください。また「継続願」を未提出のまま提出（入力）期限を過ぎると奨学生の資格を失い、４月以降の奨学金は振り込まれませんのでくれぐれも注意してください。

10）異動・月額変更

奨学生の資格に異動（住所変更、改氏名、連帯保証人・保証人の変更または転居、休学、復学、退学、辞退など）があった場合および月額を変更（増額・減額）したい場合は、学生支援センターまで申し出てください。

11）返還

奨学金は貸与であり卒業後返還する義務があります。返還金は新たな奨学生に貸与する奨学金の財源となるので、定められた期間内に月賦などの方法により必ず返還しなければなりません。なお、卒業後に失業・疾病・災害などの諸事情により返還が困難になった場合は、願い出ることにより返還期限を猶予されることがあります。

高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構給付型奨学金と授業料及び入学金減免）

高等教育の修学支援新制度は、返還を必要としない給付型奨学金と授業料・入学金の免除または減額により、真に支援が必要な学生が経済的な理由により進学を諦めないように、2020年４月から新たに始まる制度です。従来の給付型奨学金よりも、対象者が広がっていますので、世帯収入の基準をよく確認し申込をしてください。

１）申込時期

毎年４月と10月に在学採用申込希望者への説明会（全学年対象）を実施しますので参加してください。この他、家計が急変した学生の申込を随時受付していますので、学生支援センターまで問合せてください。

２）申込条件

・学業等に係る基準について（以下のいずれかに該当する必要があります。）

（入学後１年以上を経過した者）

ア　累積GPAが在学する学部における上位１/２の範囲に属すること

イ　修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること

（入学後１年を経過していない学生）

ア　高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、又は、入学者選抜試験の成績が入学者の上位１/２の範囲に属すること

イ　高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

ウ　将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること

・家計に係る基準について

収入基準及び資産基準のいずれも条件に該当することが必要です。

〔収入基準〕

住民税非課税世帯【第Ⅰ区分】及びそれに準ずる世帯【第Ⅱ区分】・【第Ⅲ区分】であること

〔資産基準〕

あなたと生計維持者（２人）の資産合計額が2,000万円未満（生計維持者が１人

のときは1,250万円未満）であること
※その他の基準を含め申込条件についての詳細は、日本学生支援機構発行のパンフレットを必ず確認してください。

3）給付奨学金の月額及び授業料減免額

世帯の所得金額に基づく区分	私立大学		
	給付奨学金		授業料減免額（年額）
	自宅通学（月額）	自宅外通学（月額）	
第Ⅰ区分	38,300円（42,500円）	75,800円	700,000円
第Ⅱ区分	25,600円（28,400円）	50,600円	466,700円
第Ⅲ区分	12,800円（14,200円）	25,300円	233,400円

※1　自宅通学とは、学生が生計維持者（父母等）と同居している状態のことをいいます。「自宅外通学」の月額を選択する場合、証明書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）の提出が毎年度必要です。
※2　生活保護（扶助の種類は問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。
※3　新入生については入学金も減免対象となります。
注）新しい給付奨学金を受給する際の第一種奨学金の貸与月額について
　第一種奨学金の貸与を受けている学生が、新しい給付奨学生に採用された場合、給付奨学金の支給を受けている期間中に同時に受け取ることができる第一種奨学金の月額が調整されます。詳しくは日本学生支援機構発行のパンフレットやホームページを確認してください。

4）奨学金の交付日（2020年４月～2021年３月）

P.33の貸与奨学金の交付日と同様です。

5）学納金と授業料及び入学金減免額の取り扱い

（新入生）

	納付期限	減免額の取扱
入　学　金	入学前に納入済	９月頃に還付
前期学納金	入学前に納入済	後期授業料に充当
後期学納金	毎年10月20日	２月頃に還付

（２～４回生）

	納付期限	減免額の取扱
前期学納金	毎年４月20日	後期授業料に充当
後期学納金	毎年10月20日	２月頃に還付

※　上記の取り扱いは、予約採用で４・５月に奨学金の支給が開始された学生

のスケジュールです。それ以外の月に奨学金の支給が開始された場合は、別途お知らせします。

※　2021年度以降の減免額の取り扱いについては、決定次第通知します。

6）適格認定

継続願を提出した者について継続の可否や家計基準の支援区分を判断する適格認定を実施します。

家計　　毎年８月～９月に家計に関する適格認定があり支給区分の見直しなどを行います。(10月以降の区分が変更となる場合があります。)

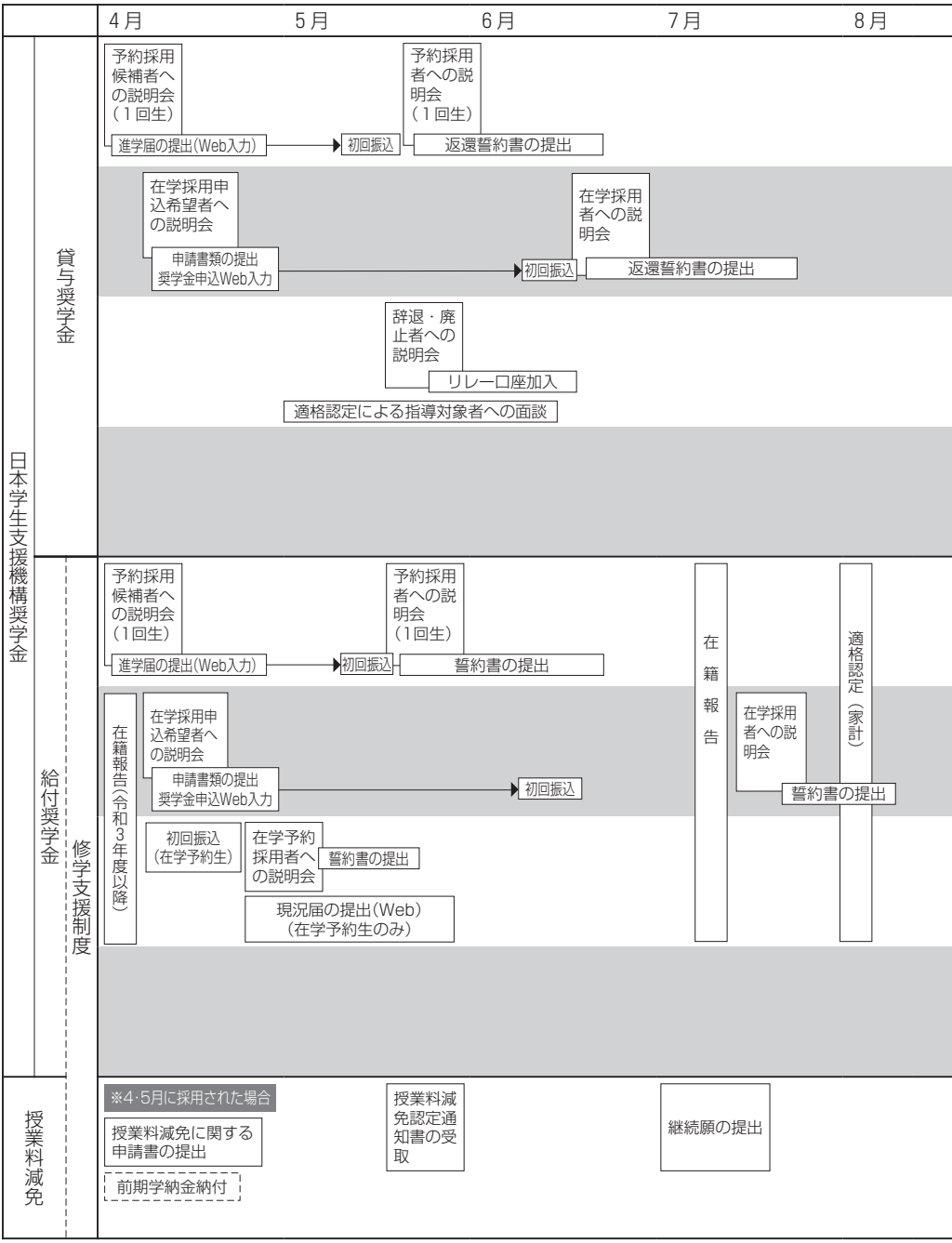
学力　　毎年３月に学力に関する適格認定があり、廃止や警告（２回連続）の場合、認定が取消されることがあります。

※　上記の他にも不正に支給を受けた場合や退学・停学（無期限又は３か月以上のものに限ります。)の懲戒処分を受けた場合は支給が打ち切られたうえで返還が求められます。

7）在籍報告

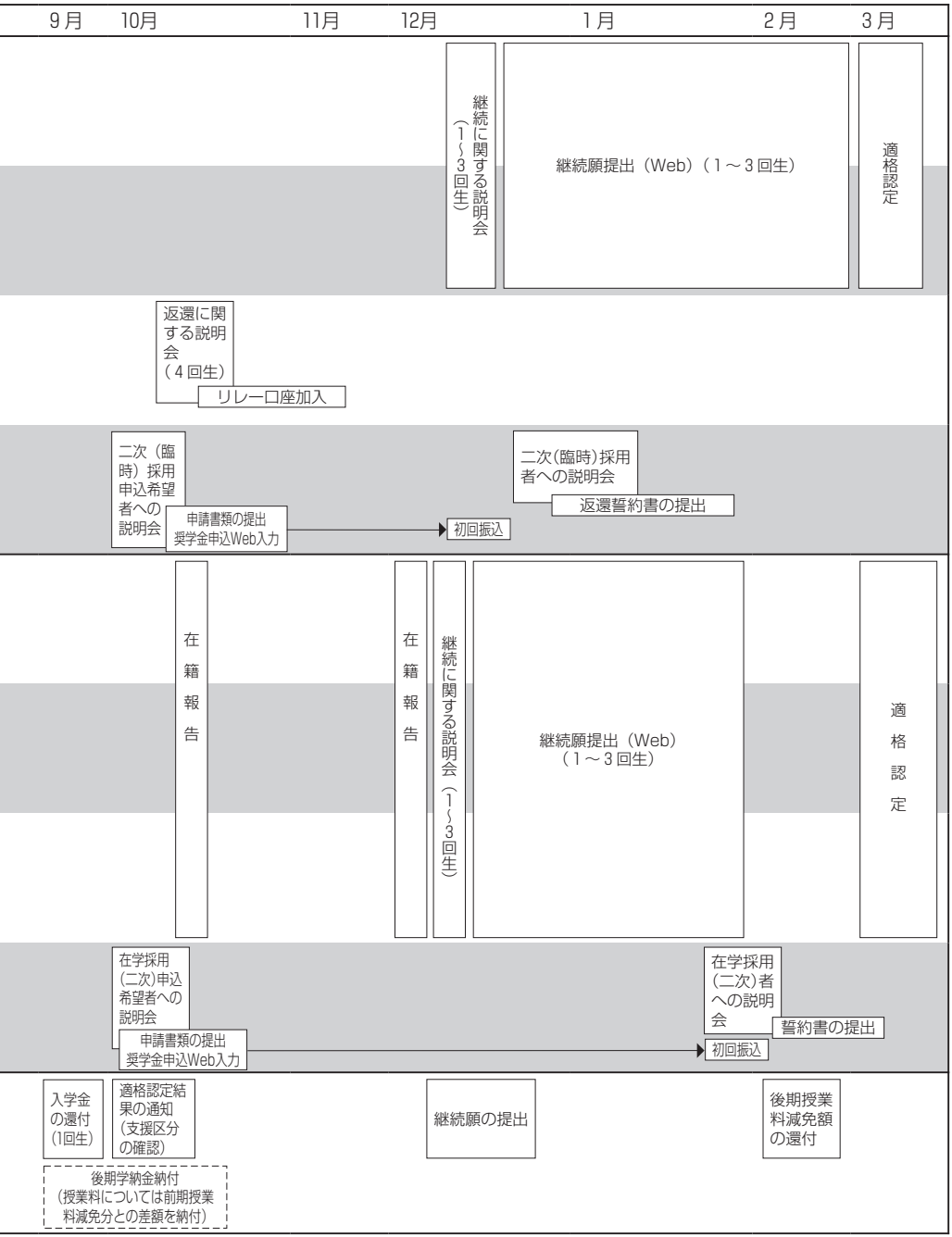
在籍状況や通学形態などの申告内容に変更がないかなど、概ね四半期ごと（４、７、10、12 月 ～２月頃）に報告を求めます。期限までに報告がないときは、給付奨学金の支給が止まります。

■日本学生支援機構奨学金および修学支援制度に関する年間スケジュール



※上記は2020年２月現在のスケジュールとなります。具体的な日時・締切等は学内の奨学金掲示板やKiTss掲示板、各説明会にて確認するようにしてください。

※貸与奨学金の緊急・応急採用、給付奨学金の家計急変学生の申込などに関するスケジュールは採用決定後に案内します。



※貸与奨学金の二次（臨時）募集は毎年行われるわけではありません。
※2019年度以前に採用された給付奨学生のスケジュールは別途案内します。
※授業料減免に関するスケジュールは4・5月に給付奨学生として採用された場合のスケジュールです。
　それ以外の月に採用された場合は別途案内します。

6. 大学からの連絡・情報提供

掲示板、Web掲示、メールを必ずチェック

大学から学生への重要な伝達・連絡は学内に設置された掲示板への掲示とKiTss（総合支援システム）のトップページへの掲示により行ないます。掲示事項を見なかったために受ける不都合は自分の責任になるので十分注意してください。なお、学生への便宜をはかるため、内容によっては大学が学生に付与したアカウントにメールを送ることにより連絡します。また、授業に関する授業担当教員からの連絡は、CEAS（授業支援システム）のトップページへの掲示または、メールによって行ないます。１日１回は、必ずチェックしましょう。

KiTss、CEASによる情報サービス

畿央大学では大学からの連絡や情報をいつでも見ることができるようにWebシステムのKiTss（総合支援システム）、CEAS（授業支援システム）による情報提供を行なっています。大学ホームページのトップページからアクセスすることができます。

［KiTss］

KiTssでは、大学事務局からの重要な連絡事項をトップページの掲示板で確認できるほか、次のような情報を見ることができます。

メニュー	内　　容
履修	履修登録、時間割の確認ができます。
成績	現在の成績の状況を確認できます。
休講・補講・教室変更	休講･補講･教室変更を確認できます。
出欠管理	授業への出欠の状況を確認できます。
シラバス	学科ごとの科目一覧からシラバスを閲覧できます。
施設・設備予約情報	学内施設･設備の予約状況を確認できます。（申し込みは窓口）
図書館ホームページ	蔵書の検索など図書館の情報を確認できます。

試験のお知らせ	定期試験の実施科目、試験時間割などが掲示されます。
就職支援情報	大学への求人情報を検索できます。
オフィスアワー・教員紹介	各教員のオフィスアワーを案内しています。教員の紹介も閲覧できます。
ボランティア情報	ボランティアセンターからのお知らせ、ボランティア情報を案内します。
畿友会・クラブ	畿友会、クラブ・サークルの紹介や連絡を確認できます。
ICT利用の手引き	KiTss、CEAS、学内のIT機器などの利用方法を掲載しています。
規程集	学生生活に必要な諸規程を見ることができます。
学生提出書類	公欠届、忌引届などの様式をダウンロードできます。
学生ハンドブック	学生ハンドブックのPDFファイルを見ることができます。
CAMPUS MAP	キャンパスの案内図のPDFファイルを見ることができます。
アルバイト情報	アルバイト求人情報を閲覧できます。

［CEAS］

CEASを使って、次のようなことができます。

・授業担当教員、担任からの連絡事項の確認（トップページの掲示板、内容によってはメールにも配信されます。）
・担当教員からの授業資料の提供
・授業での課題等の提出
・教員が出したアンケートへの回答

災害時の安否確認

震災等の大きな災害があった際の学生の安否確認は大学からのメールによって行なうことにしています。

大学からのメールが携帯電話・スマートフォンに転送される設定を推奨しています。

※具体的な方法はオリエンテーションなどで教育学習基盤センターよりお知らせします。

畿央大学HP・KIO Smile Blog・KIOキャリアナビ

畿央大学ホームページ（https://www.kio.ac.jp）では大学の行事のお知らせやその結果についての情報を随時更新して掲載しています。KIO Smile Blog（https://www.kio.ac.jp/information）では授業やクラブ・サークル活動の様子、KIOキャリアナビ（https://www.kio.ac.jp/job_blog/）では就職活動や教員採用試験経験者の生の声を随時掲載しています。

各種広報誌

畿央大学図書館だより

大切な１冊を教員が推薦する巻頭エッセイをはじめ、教員著作物の紹介、図書館を活用するための特集、貸出ベスト10、図書館からのお知らせなどを掲載し、新鮮さにもこだわる読みやすいものとなっています。大学ホームページの畿央大学図書館のTOPページからバックナンバーもご覧いただけます。

ボランティアセンターNEWS

学生のボランティア活動の様子の紹介、ボランティア情報の紹介などを通じてボランティアセンターの取り組みを学内向けに発信しています。

健康だより

「健康情報」「身近な話題」「保健行事の連絡・保健指導の資料」など、自分の身体や健康について関心を持ち、健康な生活を送ることができる内容を伝えるのが目的です。何かあったらいつでも、一緒に考えましょう。

ここらぼだより

学内のイベントや季節に応じた身近な出来事と起こりうる心の反応・状態を取り上げ、「自分の声」、「本音」や「今の状態」に意識を向ける機会を提供できるよう、情報を発信しています。また、予約方法など利用案内も載せています。

畿央大学での学び

1．大学で学ぶということ

畿央大学では、建学の精神を身につけディプロマ・ポリシーに定められた、専門的能力と豊かな人間性をかねそなえた人材を社会に送り出したいと考えています。それを可能にする４年間の学びのプログラムを教育課程（カリキュラム）と言います。ここでは畿央大学の教育課程について紹介します。

授業科目の構成

人間力をつける 教養科目

これからの時代に求められるのは自らより良い生き方を実現しようという意志と、そのために必要な知識、判断力、行動力です。その基盤となる教養を身につけるために、畿央大学では「人間と社会」「歴史と文化」「自然･科学と人間」「言語と情報」「健康とスポーツ」についての教養科目を用意しています。合わせて基礎的な学びのスキルを学修する「教養実践プログラム」を設けています。

基礎をきたえる 専門基礎科目

それぞれの学科の専門的な内容を理解するために必要な基礎知識や実験手法、技術を身につけるための科目群です。一部の科目を除いては１年次、２年次に開講されます。畿央大学ではどの学科も、高度なスキルを持ったスペシャリストの養成をめざしていますが、そのためにはこの専門基礎の内容をしっかり理解することが必要です。

スペシャリストになる 専門科目

専門基礎科目で得た知識・技術をもとに、各学科の専門領域の知識・技術を身につけます。一部の科目は１年次から始まりますが、主に２年次・３年次に開講されます。卒業後、それぞれの分野で専門家として働くときに必要とされる知識・技術であると同時に、国家試験、採用試験合格のためにも完全マスターすることが求められるものです。

学外実習（健康科学部）

理学療法学科、看護医療学科、健康栄養学科では主に３年次・４年次に病院や福祉施設、学校等での実習を行い、人間環境デザイン学科ではインターンシップに取り組みます。専門科目で学んだ知識・技術が試され、またプロになるということはどういうことかを実感します。

学外実習（教育学部）

教員免許状や保育士資格を取得するために学校、幼稚園、保育所、福祉施設等での実習に取り組みます。大学で学んだことが現場で試されることになります。

がんばりが花開く 卒業研究

対象を科学的にとらえる態度、洗練された技術を身につけるために、４年間の学びの集大成として取り組みます。３年次から指導教員を決め、その個別指導のもとにテーマを設定し、実験やデータ分析を繰り返し、論文作成や作品制作、プレゼンテーションの準備を進めます。11月～２月にかけて学科ごとに研究発表会を行い、また成果物を提出します。

特色あるカリキュラム

［初年次教育］

大学での学び方を知るために「ベーシックセミナー」を１年次に開講します。自分でテーマを設定して、調べ、まとめて、発表するという参加型の授業です。「日本語と表現」では、文章表現力をみがきます。また専門科目に必要な基礎学力を身につけるために「看護へのベーシックサイエンス」などの専門準備科目を設置しています。

［キャリア教育］

キャリア形成とは単に自分に合った職業につくことだけでなく、自分の一生の生き方を見つけることです。畿央大学では１年次から「キャリア入門セミナー」「キャリア形成セミナー」で社会生活をおくる上で必要なルールやマナー、コミュニケーション力を身につけ、そして、現職の社会人の話を聞いたり職場訪問をするなど、職業についての理解を深めます。一方、キャリアセンターが提供する多彩なプログラムで希望の進路先への就職を実現すると同時に、大学のすべての授業、課外活動を通じて人生の生き方・ものごとの考え方を学びます。

［語学教育］

「英語コミュニケーション」では基礎的な英語力を、「オーラルコミュニケーション」ではネイティブスピーカーから実践的な語学力を学びます。「短期語学留学」では夏季・春季休暇期間にイギリスやカナダへの短期留学を実施しています。

卒業研究に向けて英語論文を読みこなすことも必要です。そのために「科学英語論文講読法」「外書講読」などを設置しています。第二外国語としては、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、韓国語、イタリア語等を放送大学との単位互換で学ぶことができます。

［情報教育］

「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目として設置し、情報の仕組み（システム）や情報モラルについて学びます。また人間環境デザイン学科には「コンピュータグラフィック」や「建築CAD」、教育学部には「プログラミング教育実践」などがあり、専門分野の情報スキルを学びます。

科目の必修と選択

＜必修科目＞

必ず単位を取得しなければならない科目です。その年次に配当されている必修科目の単位を取得できないと、次年度以降は時間割上受講できなくなるため、卒業が延期になることもあります。また上回生になるほど専門の勉強に集中しなくてはならなくなりますので、必修科目は配当年次に単位を修得することが必要です。

＜選択必修科目＞

選択必修科目は、複数の科目中から定められた単位数以上を修得することが義務付けられているものです。たとえば教養科目群についていうと、「人間と社会」や「歴史と文化」などの６区分で各１科目以上を修得し、合計で26単位以上を修得することが卒業要件となっています。合計の単位数を超えていても、各区分ごとの最低単位数という条件も満たさないと卒業できませんので注意が必要です。

＜選択科目＞

選択科目は、学問的興味や関心に合わせて自由に履修することができます。必修科目と選択必修科目、選択科目を合わせて全部の単位数が卒業要件単位数（学科によって124～132単位）以上になるように履修してください。

＜推奨科目＞

卒業要件からいうと必修ではありませんが、本学としてぜひ履修して欲しい科目を推奨科目と呼んでいます。

資格必修科目

卒業するために必要な必修科目・選択必修科目以外に、資格や免許取得のために必修とされている科目があります。

P.211以降には各資格・免許ごとに必要な科目のリストが掲載されています。よく調べた上で履修登録をしてください。特に、卒業要件としては選択科目、資格取得には必修科目という場合をチェックすることが重要です。

セメスター制

セメスター制とは、一つの授業を学期（セメスター）ごとに完結させる制度のことです。畿央大学では、１年を前学期（前期）・後学期（後期）の２学期に分け、一部の科目を除いて学期ごとに学修を完結させ単位を認定します。半年で集中し

て勉強ができること、半年ごとに学修成果の確認と新たな目標設定ができるのが、セメスター制の大きなメリットです。 学則では前学期は４月１日～９月15日、後学期は９月16日～３月31日までとなっていますが、曜日の関係や学外実習の都合もあって、実際の授業開始日は毎年異なります。詳細は授業日カレンダーを参照してください。

単位制度と学修時間

大学では、毎週90分授業（講義･演習）を半年で15回受講すると２単位（実験･実習・実技科目は１単位）が与えられるというのが一般的です。

本学の授業で「１時間」と言えば実際は45分をさしています。１コマ90分（２時間分）の授業を半年（15回）受けて成績が「可」以上であれば、その科目の「単位」を修得できます。一方、大学設置基準には「１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成すること」が標準だという定めもあります。これはどういう意味でしょうか。

＜講　義＞　45分（１時間）×２＝90分（２時間）を15回（30時間）で２単位

＜大学設置基準＞　２単位には本来45時間×２＝90時間の学修が必要

＜必要な授業外の学修時間＞　90時間－授業時間の30時間＝60時間

つまり、事前・事後の学修を60時間分していることが前提で２単位が修得できるということです。予習で授業のポイントを整理したうえで授業にのぞみ、復習や課題で授業内で身につけた新しい知識や考え方を再確認する、という「授業時間以外での学び」があって、はじめて単位が修得できるのだと認識してください。

最近大学教育において「主体的な学修」「質を伴った学修時間の確保」がうたわれています。学生の本分は学修にあることをわきまえて、学びを最優先する大学生活を送ってください。

履修登録制限（CAP制）

履修登録制限（CAP制）とは「１学期に履修登録できる単位の上限を決める制度」のことで、事前・事後に十分な学修ができるように時間の余裕をもって、４年間で計画的に学びを深めようとするものです。

畿央大学では、「履修に関する規則」で、１学期あたり30単位以内の履修に制限することを定めています（30単位を超えて履修する必要がある場合には申請が必要です）。やみくもに多くの科目を履修しても学修の成果はあがりません。しっかり計画をたてて無理のないように履修してください。

2. 履修登録

大学での学びは「学習」ではなく「学修」であるといわれます。これは「学生が学びの主体であり、能動的に学ぶことが求められている」ということを意味しています。将来の目標や自分の考えに基づいて科目を選択し、学修計画を立て、学生一人ひとりが自分にあった時間割を作ります。そして、自分が決めた時間割にしたがって大学に「私はこの授業を受けます」と届けることを履修登録といいます。

履修登録の注意点

・履修登録は各学期始めの指定された期間にKiTssへのWeb入力によって行います。
・履修登録をしていない科目は、いかなる理由があっても単位は認定されません。
・カリキュラムの配当年次に従って受講可能な年次、学期の開講科目を履修登録してください。
・履修登録は自分自身でしっかり責任を持ち、卒業要件や自分が目指す資格取得要件を十分チェックしながら行ってください。
・当該学期の卒業必修科目は、原則としてすべて履修登録してください。次年度以降には時間割の関係で履修できない場合があります。
・教養科目など一部の選択科目について、配当された年次で履修できない場合があります。
・クラス指定のある科目は、指定されたクラスの科目を履修登録してください。
　※やむをえず異なるクラスの履修を希望する場合は申請が必要です。
　※当該科目の配当年次を超える年次の学生は指定クラスに関係なく履修できます（たとえば２回生が１回生配当の科目を履修する場合など）。
・同一曜日、時限においては原則として１科目しか履修登録できません。
・単位修得済の科目の再履修はできません。
・入院その他やむを得ない理由により所定の期間内に履修登録ができない場合は、事前に学生支援センターへ申し出てください。
・授業科目によっては定員を設けている場合があります。また、教室定員を超えた履修者がある場合は履修者数を絞る場合があります。この場合は選考または抽選により受講者を決定します。

シラバス

シラバスとは各授業科目の授業計画のことです。授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、授業外学修の指示、教科書・参考図書、科目分類番号、履修に関して留意すること等が記されており、各授業科目の履修・準備学修等を進めるための基本となるものです。履修登録前にその授業が「どんな授業か」、「学びの到達目標が何か」「関連するディプロマ・ポリシー」などを知っておくことでより高い学修成果が期待できます。シラバスはKiTss、ホームページ等で閲覧できます。

履修の変更（開講直後）

定められた期間内に申請をすることで、当初計画から履修科目を変更することができます。削除した科目は成績通知書には表示されず、GPA（P.72参照）の計算対象外になります。

・追加した科目は登録されるまでに数日かかる場合があります。その間に授業がある場合は、学生証での出席確認はできませんので授業担当者に各自で報告してください。

・履修変更終了時点で、履修者数が２名以下の授業は非開講になります（資格必修科目を除く）。

【履修変更の条件】

・履修変更できる科目は各セメスターで追加３科目、削除３科目までです。

【申請期間】

前期：４/10～17　　後期：９/25～10/１

履修の取消（開講約５週間後）

合理的な理由があって履修科目を取り消したい時は、定められた期間内に申請をすることができます。許可された場合、取消科目は成績通知書には表示されず、GPAの計算対象外になります。

【履修取消の条件】

・履修の取消ができる科目は各セメスターで２科目までです。

【申請期間】

前期：５/16～20　　後期：11/５～９

履修の変更・取消の手続きと注意

・所定の用紙（事務局で入手またはKiTssからダウンロード）に必要事項を記入し、期間内に学生支援センターに提出してください。
（月～金）　8：40～18：00、（土）8：40～17：00、（日祝）受付不可
・提出後の再変更はできません。
・実習等で期間内に手続きできない場合や忌引・学校感染症等で期間中に申請できなくなった場合は、申請期間前または期間中に学生支援センターに相談してください（状況によって事前申請を認める場合があります）。期間後の申し出には対応できません。
・代理申請はできません。必ず本人が責任を持って手続きを行ってください。
・通年科目の履修変更、履修取消は前期にのみ可能です。

3. 授業

授業時間

本学の授業は１コマ（授業を数える単位です）90分で実施されます。実験・実習などは２コマ続き、３コマ続きの授業もあります。

時　限	1	2	3	4	5	6
時間帯	9：00～10：30	10：40～12：10	13：00～14：30	14：40～16：10	16：20～17：50	18：00～19：30

受講上の注意

授業は大学教育の基本です。事前にシラバスをチェックし、必要な準備をしておきましょう。授業に集中して取り組むことは当然として、事前・事後学修も大切です。

真剣勝負ともいえる授業を、私語等で妨害することは許されません。また居眠りをしていたのでは時間の無駄遣いになってしまいます。良い意味で緊張した、熱気ある授業でこそ学ぶ喜びを感じることができます。授業環境は教員と学生が協力して作り上げていくものです。

［受講マナー］

・講義授業は静粛に集中して受講してください。私語は厳禁です。他人の迷惑となる場合には退出を命じ欠席扱いにする場合があります。
・実験・実習は教員の指示に従って参加してください。遅刻は実験・実習の進捗を乱します。絶対に遅れないようにしてください。
・授業中は携帯電話・スマートフォンの電源を切るかマナーモードにして鞄の中にしまってください。
・授業中の飲食は禁止します。
・授業中に無断で退出することは禁止します。

［教室内のマナー］

・最後の退室者は不要な照明・冷暖房を切ってから退室してください。
・机・椅子を移動した場合は元の状態に戻してください。

［授業アンケート］

各学期の授業期間に、全授業科目についてアンケートを実施します。良かった点、改善してほしい点、その他授業について感じたこと等、率直な意見を伝えてください。今後の授業を充実させるための参考とします。

出席・欠席・遅刻・早退・欠課

出席、欠席、遅刻、早退、欠課は次のように定められています。

出席：授業開始時から終了時まで受講した者

欠席：出席確認時に出席を確認できず、かつ受講しなかった者および講義開始後20分を経過した以降に入室した者。

遅刻：出席確認時に出席を確認できなかった者で講義開始後20分以内に入室した者。ただし、授業担当者により一切の遅刻を認めない場合がある。

早退：やむを得ない理由により授業中に受講を中断した者。ただし、授業時間の３分の２を超えてからであることを原則とする。

欠課：遅刻、早退あわせて２回になった場合、欠席１回とみなす。

出席の確認については学生証の読み取りによる方法と、授業担当教員独自の方法によるものとがあります。各授業の出席確認方法については、オリエンテーションで配布される時間割表で確認してください。

なお、「履修に関する規則」では「出席時数が授業時間数の３分の２に満たない者は、原則としてその授業科目の単位は認定されない。また、専門科目・実習科目等について各学科で別に定められた成績評価に関する基準時数がある場合はそれに従う」と定められています。

学生証による出席確認

出席確認の方法のひとつに学生証の読み取りによる方法があります。各教室に設置されたICカード読み取り機に学生証をかざすことによって出席したことを確認します。正常に学生証を読み取ると緑色のランプが点灯し氏名が画面に表示されますので、必ず確認してください。学生証による出席確認は必ず自分自身で行ってください。他人に学生証を預ける行為は不正行為となります。

［学生証を忘れた場合］

授業前に学生支援センターに置いてある「出席申告書」に学籍番号、氏名、授業名、担当教員名などの必要事項をボールペンで記入し、授業担当教員へ提出し

てください。

［出席データの変更申請］

学生証をICカード読み取り機にかざし、画面を確認したにもかかわらず、KiTssの出欠画面に正しく反映されていない場合は、申請により変更を願い出ることができます。当該授業から１週間以内に学生支援センターに「出席データ変更願」を提出してください。

［出席データの取消申請］

学生証による出席確認を行ってから、事情により早退（授業時間の３分の２を過ぎてから）にならないうちに授業を退出した場合は、出席データの取消を申請することができます。当該授業の当日のうちに（やむをえない事情がある場合のみ翌日午後１時までに）学生支援センターに「出席取消申請書」を提出してください。

［出席確認における不正行為］

出席確認時において次のような不正行為を行った者は、学部長による厳重注意処分となります。不正行為が同一科目で複数回に及んだ者は、当該の科目が失格となります。また、学則第57条に基づき懲戒処分を行うことがあります。

⑴　出席確認後、授業担当教員の許可無く退室し、かつ所定の届け出をしていない者
⑵　出席確認を目的とし、他人に学生証を貸与した者
⑶　代人として他人の学生証を出席確認に使用した者
⑷　「出席申告書」の不正利用
⑸　以上に準ずる行為として授業担当教員もしくは大学が認めた者

公欠・忌引

次頁の事由により、授業を欠席する（した）場合は学生支援センターに「公欠届」もしくは「忌引届」を提出することができます。必要な証明書を添えて学生本人が提出してください。

公欠・忌引の場合は、該当の授業日を15回の授業回数から減じて、その学生の出席率を算定します。

所定の期限までに手続きをしない場合は、通常の欠席の扱いになります。病状

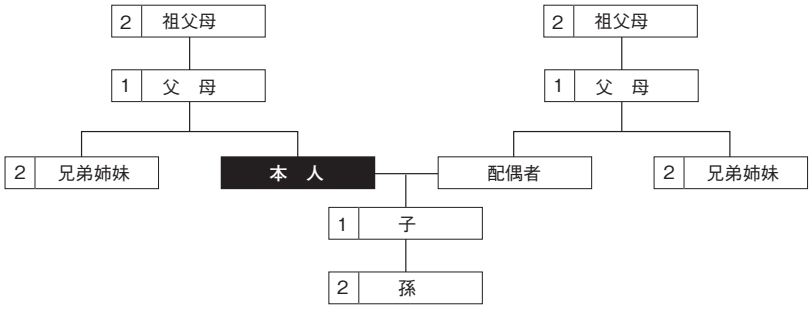
が診断書記載の療養期間内に回復しないなどやむを得ない理由で期限内の提出ができない場合は、期限までに学生支援センターに相談してください。

［公欠・忌引の扱いになる事由］

	事　由	必要書類	日数	手続期間※
公欠	公欠の対象となる実習科目	公欠届（学外実習用）	各実習や体験に要する日程ならびに実習事前（または事後）訪問１日	事前申請 公欠処理は実習開始日までに事務局で行う
	学校保健安全法施行規則第19条に定められた感染症	公欠届＋医師の診断書等	医師の診断による出席停止期間	登学可能日から３日以内
	裁判員選任	公欠届＋裁判所からの呼出状	裁判所から指定された期間	事前申請
	通学区間の公共交通機関の遮断による登学不能	公欠届＋交通機関のＨＰ等交通遮断を証明する書類	交通遮断の日	登学可能日から３日以内
	学生が居住する地域、通学中通過する地域に暴風(特別)警報が発令された場合	公欠届＋気象庁等のＨＰ等暴風(特別)警報が発令・解除された時刻を示す書類	公欠となる時限の基準はＰ53の授業の取扱いとなる時限に準じる	登学可能日から３日以内
	学科長の申請により教務委員会が特別に認める場合	公欠届＋事情を証明する書類	教務委員会が認めた期間	事前申請
忌　引		忌引届＋死亡に関する公的証明書または会葬礼状等証明となるもの	一親等：告別式または通夜の日を含み連続した５日間以内（本学の休業日を含む） 二親等：告別式または通夜の日を含み連続した３日間以内（本学の休業日を含む）	登学可能日から３日以内

※申請は学生支援センターにて行なうこと。
※申請期限には本学の休業日は含まない。

※親等図　数字が親等の度数を示します



［公欠の対象となる学外実習］

学　科	実習名
理学療法学科	チーム医療ふれあい実習
	臨床指導（2020年度入学生は「通所・訪問リハビリテーション実習」）
	臨床評価実習
	総合臨床実習
看護医療学科	チーム医療ふれあい実習
	基礎看護学実習
	看護学実習（急性期・慢性期・老年・精神・母子・在宅）
	公衆衛生看護学実習
	離島・へき地医療体験実習
	地域看護学実習
	病院インターンシップ
健康栄養学科	チーム医療ふれあい実習
	臨地実習
現代教育学科	小学校（または幼稚園）一日見学
	保育実習
	養護臨床実習
教 職	教育実習（小学校／幼稚園／養護／特別支援／中・高英語／中・高家庭／栄養教諭）
	介護等体験

※公欠届（学外実習用）提出後に実習等の日程が変更され、授業に出席した場合は別途「公欠データ変更願」を当該日より１週間以内に学生支援センターへ提出すること。

欠席連絡

公欠・忌引以外の理由で授業を欠席する（した）際は、事前もしくは登学可能日から３日以内に所定の「欠席連絡届」を学生支援センターに提出することができます。「欠席連絡届」は授業担当教員や担任に欠席とその理由を連絡するためのものであり、扱いは「欠席」です。

休講、補講、集中講座、教室変更

【休講】大学や教員の都合により授業を休講することがあります。事前に掲示板への掲出ならびにKiTss掲示板への表示により通知します。休講の掲示がなく、授業開始後10分を経過しても授業が行われない場合は学生支援センターで確認してください。

※授業当日の急な休講の場合には、メールで連絡することがあります。

【補講】休講があれば補講をすることが原則となっています。また、進度調整のために実施される場合もあります。曜日・時限は普段の時間とは関係なく、土曜日や6時限目などの時間を使って実施される場合もあります。連絡は事前に掲示板へ掲出し、KiTss掲示板への表示でも通知しています。

【集中講座】曜日・時限を固定せず、授業を一定期間に集中して行う形態のことです。該当の授業は時間割表で示します。日程詳細の連絡は掲示板により行います。

【教室変更】都合により授業の教室が変更になることがあります。変更が発生した場合は、事前に掲示板へ掲出し、KiTss掲示板への表示でも通知しています。

暴風警報・特別警報発令、交通機関不通の場合の授業(試験)の取扱い

＊奈良県北葛城郡広陵町を含む地域に暴風警報または特別警報（その他の警報は対象外）が発令された場合

暴風警報または特別警報の解除時刻	授業の取扱い
6：00以前に解除された場合	平常通り１時限から授業を実施する
8：00以前に解除された場合	２時限から授業を実施する
10：00以前に解除された場合	３時限から授業を実施する
12：00以前に解除された場合	４時限から授業を実施する
12：00の時点で解除されていない場合	全日休講とする

※　授業開始後に暴風警報が発令された場合は、その時限終了までは授業を実施します。
※　授業開始後に特別警報が発令された場合は、直ちに授業を中止します。
※　連続時限で実施している授業については、途中時限からの授業開始は行ないません。
※　上記規則を原則としますが、鉄道の運行状況や天候の変動（授業開始直前の警報発令）等に応じて休講措置、あるいは時限終了を待たずに授業を中止すること等があります。

＊ストライキ・自然災害により交通機関が始発から不通になった場合の授業の取扱い

<table>
<tr><th>交通機関の状況</th><th>授業の取扱い</th></tr>
<tr><td>近鉄大阪線（布施駅～大和八木駅の全区間）で「不通」が生じた場合</td><td>1.　対象交通機関が運行を再開した場合は、次のとおりの運行再開時刻にもとづき、授業を開始する。
<table>
<tr><th>運行再開時刻</th><th>授業の取扱い</th></tr>
<tr><td>6：00以前</td><td>平常通り1時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>8：00以前</td><td>2時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>10：00以前</td><td>3時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>12：00以前</td><td>4時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>12：00の時点で
再開していない場合</td><td>全日休講とする</td></tr>
</table>
2.　連続時限で開講している授業については、途中時限からの授業開始は行なわない。</td></tr>
</table>

※　上記区間以外で「不通」「遅延」等が生じた場合は平常どおり授業を実施する。
※　上記区間であっても事故等による「一時的な運転見合わせ」「遅延」等が生じた場合は平常どおり授業を実施する。ただし、運転見合わせが長時間にわたり休講措置を取る場合は大学ホームページまたは学内Webサイトにて告知する。
※　その他、緊急の事態が生じた場合等も大学ホームページまたは学内Webサイトにて措置を告知する。

［休講範囲外の対応］

広陵町を含む地域以外に暴風（特別）警報が発令された場合や、近鉄大阪線（布施駅～大和八木駅の全区間）以外で「不通」が生じた場合は授業・試験は通常どおり実施されますが、それによって通学が不可能となった場合には、申請によって公欠・追試験の対象となることがあります。授業については「授業に関する規則」（P.287）試験については「試験に関する規則」（P.291）をよく読んで、必要に応じて手続きを行ってください。

［関連情報の確認］

気象予報や交通情報は各自で確認し、各自の責任において行動してください。休講措置を講ずる場合は、本学ホームページ等でも情報を発信します。電話等による問い合わせは控えるようにしてください。

なお、正課授業外の各種イベントの実施も授業と同様の対応とします。

［遅延証明書の提出］

交通機関の遅延により授業を欠席または遅刻した際は、次週授業時までに本人が直接授業担当教員に「遅延証明書」提出してください。但し、出席状況にどのような形で反映されるかは担当教員の裁量に委ねられます。

4. 学外実習

畿央大学は健康と教育の分野で活躍できる専門的職業人の養成をめざしており、その教育課程では現場での実習を重視しています。学外実習では病院や保健所、学校等で直接に患者さんや子どもたちと向き合い、医療や教育の一端にふれます。

学外実習履修の条件

学外実習の科目を履修するための条件は、各学科の内規によって定められています。必ず巻末の内規を確認してください。

感染症と予防接種

本学では、医療機関や教育機関で学外実習を行なっています。医療機関にはさまざまな疾患を持ち、免疫の低下した方が受診する機会も多く、教育機関は抵抗力が未熟な子どもが通っています。そのため、実習受け入れの条件として感染症の恐れがない（＝抗体がある）ことが求められています。日本環境感染学会から出された「医療関係者のためのワクチンガイドライン」では実習生であっても、感染症から自分自身の身を守るとともに、感染症の運び屋とならないように一般の人々よりも高いレベルの抗体価を求めており、その抗体価が基準を満たさない場合にはワクチンの接種を推奨しています。手洗い・うがいやマスクだけでは予防できません。ワクチンの接種が最も有効な予防法です。本学では入学時の健康診断の際に学科で必要な抗体検査を実施していますので、各自で自身の抗体価を確認してください。

麻疹 （ましん、はしか）	感染力の強さは、インフルエンザの比ではありません。空気感染しますので、抗体のない人はほぼ100%感染すると思ってください。合併症を起こしやすく、健康な人が命を落とすことや、重い後遺症が残ることもあります。
風疹	感染しても発症しないことがあり、会話などによる飛沫感染で、知らないうちに他の人に感染させてしまいます。大人が感染すると、症状が重くなり期間も長引くと言われています。
水痘 （みずぼうそう）	空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、成人や妊婦、免疫不全患者等は重症化のリスクが高く、時に致命的となります。
流行性耳下腺炎 （ムンプス、おたふくかぜ）	接触あるいは飛沫感染で、その感染力は強力です。難聴となることや、思春期以降の罹患では不妊症の原因ともなります。

実習交通費の補助・実習用通学定期券の申請

本学では学外実習における交通費の補助および実習用通学定期券の申請をおこなっています。実習用通学定期券とは、学生が履修しなければいけない学外実習のために、大学以外の場所に通う場合に適用される通学定期券です。通常の通学定期券とは異なり、「学生証」や「通学証明書」では購入できません。事前に大学から各鉄道会社等に申請し承認を得る必要がありますので、下記のマニュアルにしたがい余裕をもって申請してください。

2018年12月

畿央大学　学外実習　交通費補助に関する取り決め

（目的）

学外実習交通費補助は、本学が指定した学外実習施設（以下「実習施設」という。）で実習を行なう学生について、実習用通学定期券の申請および交通費の補助を行なうことにより、交通費負担額格差の減少をはかることを目的とします。

（対象となる実習）

学外で５日間以上実施される実習を補助の対象とし、同一科目であれば複数の実習先の場合も対象とします。担当教員が認めた事前事後の実習施設訪問日についても補助の対象とします。

（対象となる交通機関）

交通機関は、鉄道、バス等の公共交通機関の利用を原則とします。鉄道における交通費補助の適用対象は普通乗車券代としますが、同一交通機関での移動が片道100キロを超える場合には、特急料金（自由席）も補助の対象にします。この場合の補助は学割適用金額（乗車券代金が２割引）としますので、乗車券購入前に各自で学割証を発行してください。

（実習日数の確認）

各学生の実習日数（事前事後の実習施設訪問を含む）と実習施設については、学生支援センターが実習担当教員に確認するものとします。

（申請の種類と期日）

①実習用通学定期券申請（通学定期券を利用した方が安価な場合）

実習開始日の５週間（35日）前までに学生支援センターに提出してください。事前事後の実習用施設訪問日は、実習用通学定期券の利用はできません。実習用通学定期券は通常の通学定期券と同額です。

②交通費補助申請

実習開始日の前日まで受け付けます。

①②ともそれぞれの期日を過ぎた申請は受け付けません。

（補助の基準）

補助額は、実習施設までの経路と方法の妥当性を、学生支援センターが確認し算出します。事前事後訪問で大学から出発する場合は、その経路で算出します。妥当性が認められた交通費の総額から実習日数に1,000円を乗じた金額を差し引いて補助するものとし、切符の購入より通学定期券購入の方が安価な場合は、通学定期券の金額を適用します。学生本人の事情により通学定期券を購入または発行申請ができなかった場合も同様とします。

宿泊をともなう実習の場合は、実習施設または実習時の居住地までの交通費の全額を補助します。この場合の事前事後訪問の交通費補助については、１日あたり1,000円を超える金額を補助します。ただし、教育実習ならびに保育実習のために帰省する交通費は、補助の対象になりません。

（補助金の支給）

交通費補助金は、学生本人名義の銀行口座に、実習終了後に振り込みます。

以上

学外実習スケジュール（予定）

理学療法学科

※2020年度入学生からは「通所・訪問リハビリテーション実習」に変わります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回生					チーム医療ふれあい実習（1週間）							
2回生											臨床指導※（1週間）	
3回生											臨床評価実習（3週間）	
4回生	総合臨床実習（Ⅰ期）（8週間）		総合臨床実習（Ⅱ期）（8週間）									

看護医療学科

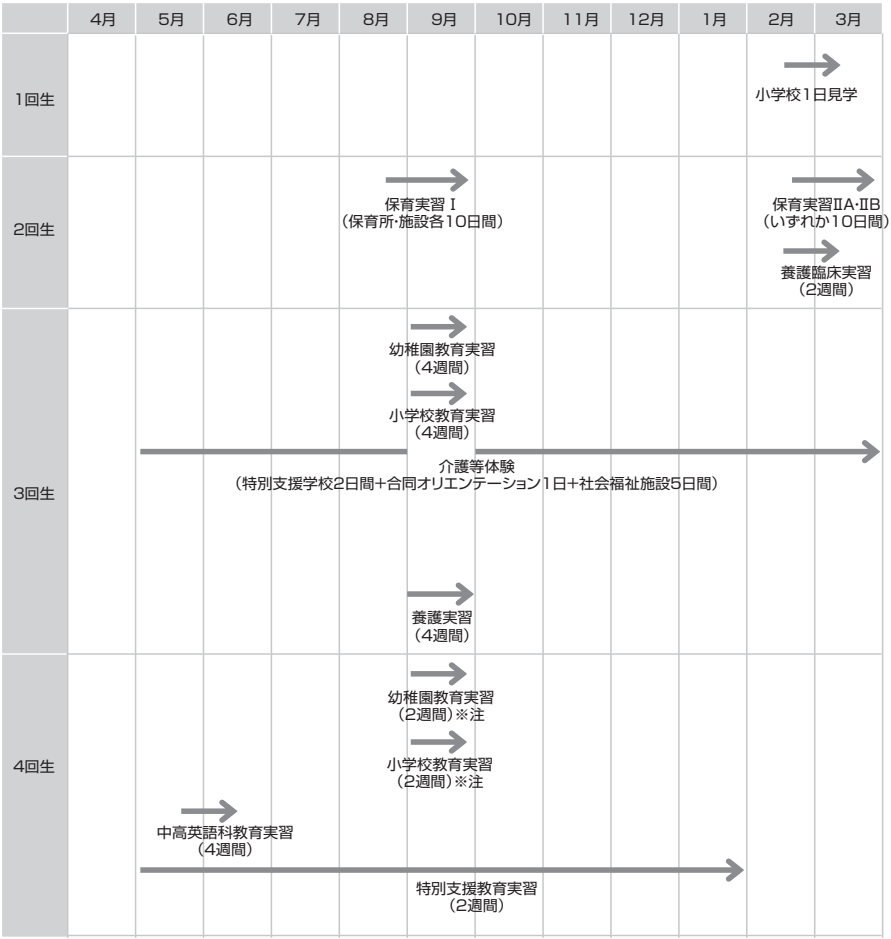
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回生					チーム医療ふれあい実習（1週間）						基礎看護学実習（2週間）	
2回生												
3回生					臨地実習（急性期・慢性期・母子・精神・老年・在宅看護）（各2 ～4週間、計18週間）							
4回生		臨地実習（離島・へき地医療・地域看護・病院インターンシップ）（各2週間、計6週間）				臨地実習（公衆衛生看護学）（3週間） 養護実習（4週間）						

健康栄養学科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回生												
2回生					チーム医療ふれあい実習（1週間）							
3回生					臨地実習Ⅰ・Ⅱ（各1週間）							
4回生			栄養教育実習（2週間）		臨地実習Ⅲ（2週間） 臨地実習Ⅳ（1週間）	臨地実習Ⅴ（1週間）						

人間環境デザイン学科

現代教育学科



※注）幼稚園と小学校の免許取得を両方希望し、主免許の教育実習を3回生時に済ませた学生が対象です。

5. 試験（平常試験・定期試験・追試験・再試験）

平常試験

授業中に実施する試験です。実施時期や方法はすべて授業担当教員に一任されていますので、指示にしたがってください。

定期試験

学期末に実施される試験で、その方法には筆記試験・実技試験・レポート試験・成果物の提出などさまざまな形態があります。

［受験資格］

・当該科目が正しく履修登録されていない者には、定期試験の受験は認められません。

・定期試験開始前に「受験資格のない科目」をKiTssの成績修得状況画面で一定の期間のみ掲示をします。疑問のある場合は授業担当教員に確認してください。

受験上の注意

・試験時間中は学生証を机上に置いてください。
学生証を忘れた場合は、学生支援センターで仮学生証（当日限り有効）の交付を受けてください。

・試験開始時刻に20分を超えて遅刻した場合は受験できません。

・試験に使用を許可されたもの以外は、机上には置けません。携帯電話・スマートフォンは電源を切りかばんの中にしまってください。

・試験監督者の指示にしたがわないときは、退室を命ずることがあります。

・試験開始後40分を経過するまでは退室できません。ただし試験により途中退出を認めない場合もありますので監督者の指示にしたがってください。

・答案の提出方法は監督者の指示にしたがってください。

・氏名記入漏れなど個人が特定できない答案は無効になります。

・健康支援センター等、指定された教室以外での受験はできません。

［試験時間・時間割］

・前期・後期とも13週目の授業を開始する日までに定期試験の時間割を発表します。通常授業時とは曜日・時限・教室が異なる場合がありますので注意してください。また、受験科目が同じ時間に重複している場合は学生支援センターに相談してください。

［不正行為］

不正行為とは、次のような行為をいいます。

・代人に受験させる、または代人になって受験する行為。
・持込を許可されていない図書類、ペーパー類またはノート類等を使用する行為。
・机、壁または所持品等への書き込み。許可されていない情報源を使用する行為。
・答案の交換、他人の答案を見る行為ならびに答案を他人に見せる行為。
・同室受験者の答案作成または同室受験者に答案を作成してもらう行為。
・不正行為をする目的をもっての準備行為。
・その他監督者の指示に従わないなど公正な試験の実施を阻害すると認められる行為。

上記のような行為があった場合は、当該期間中の全履修科目を失格処分とします。また学則第57条にもとづき懲戒処分を行うことがあります。

追試験

次に示すやむを得ない理由で定期試験を受験できなかった場合、当該セメスター期間内に各科目１回限り追試験の受験を申請することができます。追試験の成績評価基準は、定期試験の成績に準じます。

※追試験該当事項と手続き方法は次頁。

追試験手続きフローチャート

定期試験を欠席する理由によって「申請期日」と「必要書類」が違います。

欠席理由	申請期日	必要書類
本学の正課授業との重複	当該科目の定期試験実施日の**前日**まで	①追試験願
就職試験教員採用試験		①追試験願（キャリアセンター、教採・公務員対策室の認印が必要） ②就職・教員採用試験日を証明する書類
裁判員選任		①追試験願 ②裁判所からの呼出状
通学区間の公共交通機関の延着	当該科目の定期試験実施日の**当日中**	①追試験願 ②延着証明（20分以上の延着時間が記載されているもの）
病気・負傷・不慮の事故等	当該科目の定期試験実施日の**翌日**まで ※インフルエンザ等で長期の欠席が必要な場合でも最初に欠席した（する）試験の翌日までに連絡が必要	①追試験願 ②医師の診断書、事故証明書等
忌引き		①追試験願 ②死亡に関する公的証明書・会葬礼状等（一親等は告別式又は通夜の日を含み連続した5日間、二親等は同3日間以内が追試験の対象）
通学区間の公共交通機関の遮断による登学不能		①追試験願 ②交通機関のＨＰ等交通遮断を証明する書類
試験実施日に、学生が居住する地域または通学中通過する地域に暴風（特別）警報が発令された場合		①追試験願 ②気象庁等のＨＰ等暴風（特別）警報が発令＋解除された時刻を示す書類
その他やむをえない理由	当該科目の定期試験実施日の**翌日**まで	①追試験願 ②理由を証明できるもの（届出により教務委員長が妥当性を判断する）

期日までに申請ができる→
すぐに**【申請】**

【申請】
①欠席理由に応じた必要書類を添えて「追試験登録願」を学生支援センター窓口へ
②追試験実施当日の試験開始までに証明書発行機で手続き→「申込書控（受験票）」を受け取る

やむを得ない事情で**期日までに申請ができない→**まずは**【相談】**

【相談】
相談イコール申請ではないので注意!
①メールに必要事項を記載の上、**欠席理由に応じた申請期日までに**送信
アドレスshiken@kio.ac.jp
②受信メール（自動返信）を受け取る（届かなければメールは正しく送信されていない→相談そのものが無効）

〔相談を行うに当たっての注意事項〕
①相談メールに記載された理由が不適切な場合や下記の〔メールに記載する内容〕の項目の記載に漏れがあった場合、追試験の対象にならない（申請が許可されない）ことがあります。
②相談メールに記載した「欠席理由解消日（登学し、窓口での手続きが可能となる日）」に学生支援センター窓口で申請の手続きをしなければ、相談した内容はすべて無効になります。

〔メールに記載する内容〕
①学籍番号・氏名
②申請を希望する科目名（複数記載可）
※試験日・時限・担当者名も必ず記載すること。
③上記科目の試験を欠席した（する）理由
※感染症等による場合は申請手続き時に当該期間の試験欠席の必要性が証明できる診断書提出が必要
④期日までに申請ができない理由（具体的に）
⑤欠席理由解消日（登学し、窓口での手続きが可能となる日）

【申請】を許可された
自動返信メール受信後、休業日を除く２日以内に改めて「追試験対象」である旨のメールが届いた。

【申請】
①**相談メールに記載した「⑤欠席理由解消日（登学し、窓口での手続きが可能となる日）」**に、欠席理由に応じた必要書類を添えて「追試験登録願」を学生支援センター窓口へ
②**追試験実施当日の試験開始まで**に証明書発行機で手続き→「申込書控（受験票）」を受け取る

〔申請を行うに当たっての注意事項〕
相談時に届け出た「欠席理由解消日」にやむをえず申請できない理由が生じた場合は、必ずその日までに申請許可メールへの返信で連絡を入れること。この連絡を怠った場合は申請を放棄したものとみなされ、追試験の受験は許可されないので注意！

【申請】を許可されなかった
自動返信メール受信後、休業日を除く２日以内に改めて「追試験対象外」である旨のメールが届いた。

追試験を受験できる（試験日程は掲示で確認）

追試験を受験できない

【注意】

・フローチャートで示された方法により正しく申請を行ってください。学生から教員に直接連絡するなどの方法では有効な申請とは見なされず、追試験を受験することはできません。
・追試験の受験を許可された者の学籍番号、試験日等はKiTssで発表します。再試験対象者と同時に発表する場合もありますので注意してください。
・追試験予定日に「試験に関する規則」別表第１に定められた事由で受験できなかった場合のみ授業担当教員の判断で再度の追試験が実施される場合があります。その他の理由での追試験の再度の追試験は実施しません。
・追試験による不合格科目についての再試験は行いません。

再試験

単位修得に必要な成績評価が得られず、科目担当者が特に認めた場合は、当該セメスター期間内に各科目１回に限り再試験を実施することがあります。

再試験を実施するか、またどの学生を受験対象とするかは授業担当教員の判断によります。ただし、教養科目のうち卒業必修でない科目については、原則として再試験は実施されません。

再試験の実施については該当者に対してのみKiTssで告知します。

【注意】

・定期試験の欠席者には再試験の受験資格はありません。
・再試験の欠席者にはいかなる理由があっても単位は与えられません（再試験の追試験、再試験の再試験は行いません）。
・再試験の受験（レポート提出・実技試験等による再試験も含む）には１科目につき1,500円の手数料が必要です。証明書発行機により当該再試験実施前日の事務室開室時間内に所定の手続きを行ってください。この手続きを怠った場合は再試験の受験は認められません。
・再試験に合格した場合の成績評価はすべて「可」（60点）となります。

追試験・再試験受験申請の方法

追試験・再試験は、以下の要領で申請してください。

【手続きの流れ】

（1）事務室内に設置している「証明書発行機」で「申込書」を発行。
　　⇒発行には学生証が必要です！

手数料の納付は証明書発行機で行います。
（追試験は無料、再試験は1科目につき1,500円）

（2）「申込書」に受験科目と時限を記入して学生支援センター窓口に提出。
⇒受付印を押印した「申込書控」を受け取ってください（受付印の押された「申込書控」は、当日必ず携帯し、机上に学生証を提示して受験して下さい。「申込書控」は教員の指示があれば提示してください）。

【注意事項】

・学生証を持参していなければ「申込書」の発行はできません。
・代理人による申請はできません。
・再試験は試験日程別に申込書が異なります。いつのどの科目を受験するかをあらかじめ確認してください。
・再試験の申請期限は、指定された再試験日の前日（レポートの場合は締切日）18時（土曜日は17時）までです。ただし前日が休日の場合は前々日の18時（土曜日は17時）までになります。期限を超過した場合の試験申請・レポート提出はいかなる理由があってもいっさい認められません。
・「証明書発行機」の稼働時間は月～金曜日は18時まで、土曜日は17時までです。それ以降は、たとえ再試験前日であっても「申込書」の発行ができなくなりますので、必ず日程・時間に余裕を持って手続きを済ませるようにしてください。なお、休業日は証明書発行機を使用することができません。追試験・再試験の受験申請はできませんので注意してください。
・私的な都合による追試験・再試験日程の変更はいっさい認められません。

レポート・作品

筆記試験を実施せず、レポートまたは作品の提出によって単位認定を行う科目もあります。提出先および提出期限については、授業担当教員の指示にしたがってください。

【提出先が学生支援センターである場合の注意】

・提出期限を過ぎたレポート・作品などは、いっさい受理できません。
・一旦提出されたレポート・作品は返却できません。
・レポート・作品提出により成績評価される科目には原則として再試験はありません。

6. 成績

成績評価の方法は科目や授業担当教員によって異なります。

各科目の成績評価の方法はシラバスに示されていますので必ず確認してください。

成績評価

成績は点数により評価する科目と、合否により評価する科目の２種類の評価方法があります。

評価方法	評点	評語	合否	GPA対象の有無	GPAのポイント
点数による評価	100～90 89～80 79～70 69～60 59～０	秀 優 良 可 不可	合格 合格 合格 合格 不合格	GPA計算対象	4 3 2 1 0
合否による評価	なし なし	合 否	合格（単位のみ認定） 不合格	GPA計算対象外	なし なし
その他	なし	失格	不合格	GPA計算対象	0

「失格」は欠席過多のため定期試験の受験資格を失った者に対する評価です。

なお、他大学等（放送大学を含む）で修得した単位を本学が認定した科目は「認」と表示されます。

・各評語は以下を示しています。

秀：「基準を大きく上回っている」

優：「基準を上回っている」

良：「基準に達している」

可：「単位認定の最低限には達している」

不可：「基準を下回っている」

ＧＰＡ（Grade Point Average）

GPAとは履修登録をした全授業科目の成績の平均を数値化したものです。学修の質を評価する成績評価のひとつの世界標準となっており、留学や就職の際に一定以上の数値を求められることもあります。また、本学における奨学生選考の評価項目となっています。自分のGPAは、KiTssの成績照会のページや成績通知書で確認できます。

合格した科目だけではなく、不合格となった科目もGPAに影響しますので、履修登録の際には必要な科目をよく考え、必要以上に多くの授業を履修しないよう

注意することが大切になってきます。

なお合否による評価の科目、他大学で取得した単位を本学の単位として認めた科目はGPAの計算の対象にはなりません。

●「GPA」の算出式

$$\frac{\text{秀の単位数}\times 4+\text{優の単位数}\times 3+\text{良の単位数}\times 2+\text{可の単位数}\times 1+\text{不可・失格の単位数}\times 0}{\text{秀〜不可・失格の単位数の合計}}$$

●「GPA」の計算例

秀の成績を得た科目の単位数の合計	12単位	×	4ポイント	＝	48
優の成績を得た科目の単位数の合計	10単位	×	3ポイント	＝	30
良の成績を得た科目の単位数の合計	20単位	×	2ポイント	＝	40
可の成績を得た科目の単位数の合計	12単位	×	1ポイント	＝	12
不可・失格の成績を得た科目の単位数の合計	2単位	×	0ポイント	＝	0
	合計 56単位		合計 130ポイント		

ＧＰＡ ＝ 130／56 ＝ 2.32

【注意】

・KiTssには入学時からのすべての履修科目の成績を対象に算出した累積GPAと学期毎のGPAを算出した学期GPAが表示されますが、成績通知書には累計GPAを表示して通知します。

成績通知

前期終了後（９月初旬）と後期終了後（３月下旬）に、保証人宛に成績通知書を発送します。学生は発送日以降、KiTssで確認することも可能です。なお、成績は重大な「個人情報」ですので、電話・メールによる照会には一切応じられません。

４回生の卒業判定結果は２月末〜３月初旬に行われる卒業判定会議のあと、KiTssおよび掲示板で卒業認定者の学籍番号を発表します。成績は卒業判定会議の翌日からKiTssで確認できます。

成績に関する疑義申し立て

成績について質問があれば、成績通知後１か月以内に「成績確認申立書」を学生支援センターに提出すれば、授業担当教員から成績判定の理由、経緯等が回答されます。なお、成績の疑義申し立てができるのは学生本人のみです。実習科目の先修条件になっている科目など一部科目については成績を先行して開示される場合がありますが、そのような科目に対する「申立書」提出期限は開示翌日から３日以内になります。

7. 卒業要件

卒業要件

大学のあり方について定めた「大学設置基準」では、大学を卒業するのに必要な条件は「大学に4年以上在学し、124単位以上を取得すること」となっています。畿央大学では124～132単位(学科・年次によって異なります)を卒業要件単位数(卒業に必要な単位数）としています。

ただし、総単位数を満たしたとしても学科・年次ごとに決められた卒業要件を満たさないと卒業はできません。『領域・区分ごとに必要な単位数を修得すること』『必修科目の単位をすべて修得すること』『選択必修科目の中から必要な単位数を修得すること』などです。必修科目の単位を修得できなかった場合、翌年度以降に再履修し、単位を修得しなければなりません。

※卒業要件単位数や卒業に必要な条件は学科・年次により異なります。後掲のカリキュラム表を参照してください。

既修得単位の認定

教育上有益と認める場合は、入学前に他の大学、短期大学、高等専門学校または専修学校専門課程で修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます（編入学等の場合は学科により認定単位数が異なります)。

認定を希望する場合は入学後2週間以内に下記の書類を学生支援センターまで提出してください。

・既修得単位等認定申請書（用紙は事務局に申し出てください）
・(単位を修得した大学等の）成績証明書および当該科目のシラバス

放送大学との単位互換

畿央大学では放送大学との単位互換により第二外国語の以下の科目の履修および単位修得を可能にしています。

【受講方法】

曜日・時間の制限はなく、放送教材を利用しての自己学修が基本になっています。

【単位認定】

・学期途中に1回課題が出され「通信指導」で添削を受けます。これに合格しないと単位認定試験の受験資格を得られません。

・単位認定試験日は放送大学より指定されます。指定された日時に受験（会場は申請時に選択）し、合格すると本学教養科目「言語と情報」の区分にて単位認定されます。

・単位認定試験を未受験、不合格の場合、出願した学期の次学期に限り単位認定試験を再受験することができます。不明な点は放送大学「学生生活の栞」を確認するか、本学学生支援センターで尋ねてください。

【履修可能科目】

※2019年度前期の場合

ドイツ語	ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅱ
フランス語	フランス語Ⅰ	フランス語Ⅱ
中国語	中国語Ⅰ	中国語Ⅱ
韓国語	韓国語Ⅰ	韓国語Ⅱ
スペイン語	初歩のスペイン語	
イタリア語	初歩のイタリア語	

【出願期間】前期：１月上旬　　後期：７月上旬

※１回生前期、４回生後期は履修できません。

※出願時に１科目につき11,000円が必要です。ただし単位修得できた場合教材費を除く授業料分の金額8,000円を返金します。

※学修・試験等で必要になる交通費等はすべて自己負担となります。

※申し込み方法等詳細は出願時期に学生支援センターから掲示連絡をしますので注意してください。

※試験日程が本学の定期試験と重複する場合は学生支援センターへ相談に来てください。

畿央大学での暮らし

1．学生証・各種証明書

学生証

学生証はみなさんが本学の学生であることを証明する大切なものですので、常に携帯し、次のような場合には必ず提示してください。

- 本学教職員から求められた場合
- 定期試験受験時
- 学割・各種証明書交付時
- 通学定期券や学割乗車券等購入時、乗車船時に係員から求められた場合

[学生証を使う学内サービス]

・出席確認

講義室の入口に設けられた、あるいはポータブルのICカードリーダーに学生証をかざすことで授業への出席を確認します（出席確認は学生証読み取り以外の方法もあります）。

・図書館の入館、図書貸し出し

図書館への入館時、図書の貸し出しの際に必要です。忘れた際は図書館窓口に申し出てください。

・証明書発行機の利用

学生支援センターに設置されている証明書発行機を利用する際に必要です。

[注意事項]

・学生証は他人に貸与または譲渡してはいけません。

・紛失や盗難にあった場合は学生支援センターに届け出て、再発行の手続きをしてください。

・新たな学生証の交付を受けたとき、または卒業・退学等で学籍を失ったとき

は、直ちに学生支援センターに返還してください。

[通学定期乗車券発行控の更新]

学生証裏面の通学定期券発行控の有効期限は、入学時から卒業年の３月31日までの期間です。記入欄がなくなったときや、通学区間が変更になったときは、学生支援センターに申し出てください。

虚偽の通学区間での購入、通学以外の目的（クラブ活動・アルバイトなど）での購入は不正購入となります。不正な通学定期券の購入・使用があった場合は、本人に運賃の追徴金が課せられるだけでなく本学学生の通学定期乗車券の販売が制限されることもあります。不正購入は絶対に行なわないでください。

[仮学生証]

定期試験受験の際に学生証を忘れた場合は、試験開始前に学生支援センター窓口で「仮学生証」の交付を受けてください。「仮学生証」は当日のみ有効です。

証明書の発行

内　　容	申込	交付日	手数料
在学証明書［和文］	証明書発行機	即時	100円
卒業見込証明書［和文］			
成績証明書［和文］			
健康診断証明書［和文］☆			
学割証			―
卒業証明書［和文］	窓口	申込日の２日後	100円
単位取得見込証明書			
資格取得見込証明書			
学生証（再交付）			1,500円

※英文証明書が必要な場合は窓口申請・手数料500円とし、申込日の７日後に交付します。
※本学の休業日の発行業務は行ないません。窓口で金曜日に申し込んだ場合は月曜日、土曜日に申し込んだ場合は火曜日の発行になります。
※代理申請、代理人への交付はできません。窓口での交付時は学生証を提示してください。
☆発行機で発行される健康診断証明書以上の診断項目が必要な場合は窓口で申請をしてください。

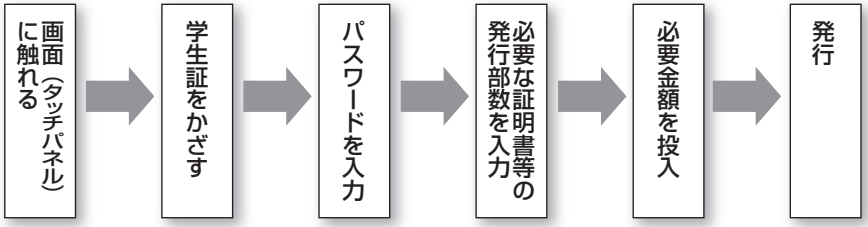
［証明書発行機］

証明書発行機の利用には学生証とパスワードが必要です。

【稼働時間】（月～金） 8：40～18：00 （土） 8：40～17：00

※本学休業日は稼働しません。

◆使用手順



※模擬試験等の代金も証明書発行機で徴収する場合があります。

学生旅客運賃割引証（学割証）

学生旅客運賃割引証（学割証）は下記の利用を目的として、同一の交通機関で片道100キロメートルを超える場合に限り使用でき、乗車券を２割引で購入することができます。

休暇、所用による帰省／実験実習などの正課の教育活動／大学が認めた正課外の教育活動／就職または進学のための受験等／大学が修学上適当と認めた見学または行事への参加／傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理／保護者の旅行への随行

・学割証は、証明書発行機で即時発行可能です。各自で出力してください。
・学割証発行の際には、学生証とパスワードが必要です。
・同時に発行できるのは４枚までですが、学割証１枚で往復乗車券を購入できます。ただし乗車券の有効日数に気をつけてください。
・学割証は、記名本人に限り使用することができます。使用上の注意は学割証の裏面に記載されているので、必ず読んでください。
・学割証の有効期間は発行日から３か月です。
・学割証を他人に貸与したり、その他不正に使用したときは、本人に対し交通機関から多額の追徴金が課せられるのはもちろん、発行停止処分を受ける場合がありますので注意してください。

2. 学生生活

通学方法

通学については、公共交通機関の利用を心掛け、安全に十分配慮しましょう。本学では、バイク・自転車による通学は、事前に許可を受けた者についてのみ認めています。また、自動車による通学は全面的に禁止しています。

[通学経路と方法の届出]

自宅または下宿先からの通学経路とその方法を学生支援センターに届け出なくてはなりません。オリエンテーション時に記入してもらいますが、以降変更があれば、必ず変更の届け出をしてください。

この届け出をしていない場合、あるいは届け出と違った経路・方法で通学していた場合の傷害には、学生教育研究災害傷害保険（P.83）は適用されません。

[通学定期券の購入]

通学定期券は、現住所の最寄駅から大学までの最短区間について下記の方法で購入できます。

1）学生証の裏面に「通学定期乗車券発行控」が貼付されています。そこに学籍番号、氏名、現住所、通学区間を記入してください。

2）各公共交通機関に設置してある「通学定期券購入申込書」に必要事項を記入します。

3）上記申込書に「(裏面に必要事項を記入した）学生証」を添えて、発売窓口で購入してください。

なお長期にわたる学外実習で、通学定期券を購入する方が経済的な場合、定期券購入が可能なように便宜を図っています。事前に案内しますので、ご利用ください。

[バイク・自転車による通学]

・バイク・自転車の通学により学内への車両の乗り入れを希望する学生は、学生支援センターに申請して許可を受け、乗入許可証を必ず車両に貼ってください。バイクは排気量400CC以下のもの、自転車は自転車保険に加入しているもののみ乗り入れを許可しています。また、バイクは自賠責・任意保険

（対人賠償額は無制限、対物賠償は加入していることが条件）のコピーの提出が必要です。

・登録台数はバイク・自転車併せて１人１台までです。買い替えなどにより登録車両を変更する場合は、再度手続きが必要です。

・バイクは必ず東門から入出門し、東門横の駐輪場に駐輪してください。

・自転車は大学内の指定された駐輪場に駐輪してください。

・大学構内でのバイク･自転車の走行は禁止しています。必ず降車してください。

・バイク・自転車は駅周辺、大学周辺、大学内の指定された駐輪場以外への迷惑駐輪を絶対にしないでください。迷惑駐輪が確認された場合、懲戒処分の対象となることがあります。

［自転車保険に加入すること］

2020年４月から、奈良県においても自転車事故の増加を受けて、自転車保険への加入が義務化されました。自転車事故により多額の補償が発生する場合がありますので、通学に自転車を利用する学生は、万が一のことを考え、必ず自転車保険へ加入してください（インターネットで「自転車保険」を検索）。本学では自転車保険への加入を必須としています。

［自転車のルール］

自転車は「車両」です。自転車も交通事故を起こせば責任を問われます。ルールを守らずに起こした事故の責任はさらに重大です。

◆次のことは厳禁です。

・信号無視　・一旦停止の無視　・二人乗り　・併進　・走行中の携帯電話

・ヘッドホンなどの使用　・夜間の無灯走行

・前輪および後輪にブレーキがない自転車運転

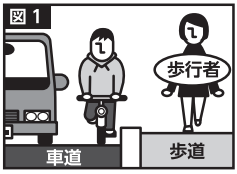
・飲酒運転

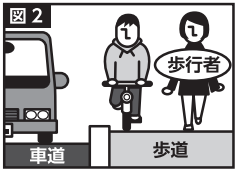
◆車道通行の原則（図１）

自転車は、車道を通行するのが原則です。また車道では左側端を通行しなければいけません。

◆歩道を通行する場合（図２）

歩行者優先で車道寄りの部分を徐行し、歩行者の通行を妨げることになるときは一時停止しなければなりません。





◆交通事故の場合の措置

交通事故があったときは、直ちに負傷者を救護し、道路の危険を防止するなど、必要な措置を講じ、警察に連絡しなければいけません。

［歩行マナー］

五位堂駅から大学までは道幅が狭い道路も多く、通学・帰宅時間帯は大変混雑します。並列歩行や私有地侵入、大きな声での歩行は周りの人に迷惑となりますのでやめてください。

◆道路交通法の改定（2015年６月１日施行）

自転車運転による交通の危険を防止するための講習に関する規定

一定の危険な違反行為をして３年以内に２回以上摘発された自転車運転者（悪質自転車運転者）は、公安委員会の命令を受けてから３ヵ月以内の指定された期間内に講習を受けなければいけません。

［自動車による通学の禁止と特例］

・本学では、周辺環境への配慮と交通事故防止、迷惑駐車などにより近隣住民や商業施設に迷惑をかけないようにするため、学生の運転による自動車通学を「全面禁止」しています。授業の有無や駐車時間に関わらず大学での用件のために自動車を運転して通学し、本学及び商業施設、公園などの大学周辺の敷地に迷惑駐車した者は懲戒処分の対象とします。また、本学の学生が運転する自動車に同乗し通学した場合も運転者同様に処分の対象とすることがあります。

・怪我や特殊な事情などで自動車通学を必要とする場合、卒業制作の搬入・搬出で担当教員が必要と認めた場合など、特別に自動車による通学を認める場合があります。学生支援センターに相談の上、申請してください。

学生保険制度

［学生教育研究災害傷害保険（学研災）］

本学学生が災害にあったときのために、学生保険に加入しています。保険期間は在籍期間中で、保険料は大学が負担しています。詳細は、「加入のしおり」で確認してください。

1）保険金が支払われる事故の範囲

1. 正課中

講義、演習、実験、実習または実技による授業中の事故

2. 学校行事中

大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式等の学校行事に参加している間の事故

3. 学校施設内にいる間

大学が教育活動のために所有、使用または管理している学校施設内にいる間の事故

4. 学校施設外で大学に届け出た課外活動中

大学公認の学生団体の管理下で行う文化活動、体育活動等、または大学が認めたボランティア活動をしている間の事故

5. 通学中

大学の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的で、合理的な経路および方法により、住居と学校施設等との間を往復する間の事故（ただし、大学に届け出た経路および方法に限ります）

2）保険金の種類と金額

補償範囲	死亡保険金	後遺障害保険金	医療保険金	入院加算金（日額）
正課・学校行事中	1,200万円	傷害の程度に応じて72万円～1,800万円	治療日数１日以上３千円～30万円	１日につき4,000円
学校施設内・課外活動中	600万円	傷害の程度に応じて36万円～900万円	治療日数14日以上３万円～30万円	１日につき4,000円
通学中	600万円	傷害の程度に応じて36万円～900万円	治療日数４日以上６千円～30万円	１日につき4,000円

＊接触感染予防保険金支払特約に、2011年度生から（理学・栄養・看護のみ）加入しています。臨床実習中の事故で感染症予防措置を受けた場合に１事故につき15,000円が支給されます。

3）保険金が支払われない場合

故意または重大な過失行為、闘争行為、犯罪行為、疾病、自殺行為、無資格運転、酒酔運転、心神喪失、地震、噴火、津波、戦争、内乱、暴動、放射線照射、放射能汚染、むちうち症、腰痛などで医学的他覚所見のないもの、施設外の課外活動で危険なスポーツを行っている間の事故、または飲酒による急性アルコール中毒症など。

4）保険金の給付手順

1. 事故が発生したら

応急処置や病院で手当てを受けた後は、必ず領収書、診察券を受け取り、学生支援センターに連絡してください。

2. 治療が終わったら

治療がすべて終了したら、保険金請求の手続き（申請書類の作成）をしますので学生支援センターに申し出てください。その際は、「印鑑」「診察券」「領収書」を必ず持参してください。

3. 保険金の受領

保険会社から直接本人名義の口座に振り込まれます。なお、支払われる保険金および詳細は「学生教育研究災害傷害保険のしおり」で確認してください。

［学研災付帯賠償責任保険（学研賠）］

本学学生が正課中、学校行事中及びその往復途中で、他人に怪我をさせたり、他人の物を損壊したことによる損害賠償を補償するために、学生保険に加入しています。保険期間は在籍期間中で、保険料は大学が負担しています。詳細は、「加入のしおり」で確認してください。

1）補償の対象となる事故例

1. 正課中の賠償事故
2. 学校行事中の賠償事故
3. 通学中での賠償事故（ただし、大学に届け出た経路および方法に限ります）
4. 大学が認める課外活動中の賠償事故

2） 保険金

対人・対物賠償共通	1名1年あたり1事故1億円限度（免責金額0円）

3） 保険金が支払われない場合

故意による事故、地震・噴火・津波による事故、戦争・変乱・暴動による事故、自転車・バイク等の所有・使用・管理に起因する事故、他人からの借り物や預かり物の損壊、紛失、盗難などによる損害など。

4）保険金の給付手順

1. 事故が発生したら

学生支援センターに自分の氏名、学籍番号、事故の発生場所、原因、発生日時、被害の程度などを連絡してください。同時に事故現場の写真を撮っておいてください。

2. 保険金の請求

学生支援センターにて申請書類を受け取り、記入して提出してください。

［看護医療学科生のための総合補償制度will］

看護医療学科の病院実習では、上記保険が傷害しか担保されず、病院での感染が不安です。したがって、実習期間中における、接触感染や院内感染の予防措置費用、検査費用等に対応するための保険に本学負担で加入しています。

［学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）］

学研災及び学研賠では補償されない正課・学校行事の枠を超えた活動中も補償（学内外を問わず学生生活を24時間補償）される保険です。学内外における怪我や病気の治療費用を補償する他、加害事故時の賠償責任などを補償します。

この保険は任意加入で保険料は個人負担となります。（保険料は団体割引（30％割引）が適用されます。）在学途中であっても、残りの在学期間に応じた保険料を納めることにより加入できます。詳細は、案内リーフレットなどで確認してください。

問い合わせ先

株式会社　東海日動パートナーズかんさい　奈良支店
電話　0742-33-0523　ＦＡＸ　0742-35-7353

貸ロッカー

E棟地下１階、K・L・P棟１階に学生用ロッカーを設置しています。４月に案内しますので利用希望者は申し込んでください。翌年度更新する場合は１月に手続きをしてください。

使用料　　年間1,000円

・利用できる期間は、４月から翌年の２月までとします。
・施錠等管理については、使用者の責任で行ってください。
・収納している物品の損傷や紛失については、大学はその責を負いません。

郵便物・電話・学内放送

[郵便・宅配物]

・個人に対する学内外からの郵便物・注文品等の取り次ぎは一切行いません。
・大学に配達された各団体あての郵便物は学生支援センターで預かります。各団体が大学をあて先として商品の発注を希望する場合は、必ず発注前に学生支援センターに相談してください。発注前に相談のないものは受け取りません。また、量や内容物によっては預かれない場合があります。
・現金・有価証券の類は、団体・個人にかかわらず一切預かりません。

[電話]

・個人に対する私的な電話の取り次ぎ、呼び出しは、緊急かつ重要性のある場合を除き一切取り扱いませんので家族等に周知してください。

[学内放送]

・公的な用件（大学行事・正課授業など）以外での使用はできません。

拾得物・盗難

[自己管理に努めましょう]

・教材など持ち物にははっきり名前を書いてください。
・不要な金品はキャンパス内に持ち込まないでください。
・貴重品は目の届く範囲に置いてください。（短時間であっても放置せず、携帯するようにしてください。）
・ロッカー使用時は必ず施錠してください。

[拾得物]

・窓口は、貸与ＰＣについては教育学習基盤センター、その他の物は学生支援センターです。拾得した時は上記窓口に届け出をお願いします。
・学生支援センターでは、事務室内に教科書類、事務室外に衣服等を陳列しています。財布・ＵＳＢ等は別に預かっていますので、開室時間内に確認してください。
・遺失物の電話・メールでの問い合わせには応じていませんので、各自で開室時間内に確認してください。ただし、定期券・財布・学生証など速やかな返

却が必要と大学が判断した場合、KiTssで個人あてに連絡をすることがあります。
・保管期間は遺失物法に準拠し3か月とします（傘・衣類は1か月）。

［盗難］
・盗難の疑いがあるときは学生支援センターに相談してください。
・キャッシュカードやクレジットカードは悪用される場合があります。停止の手続き、警察への届けを速やかに行なってください。また、身に覚えのない請求が来た場合はカード会社に相談をしてください。

貴重品ロッカー・コインロッカー

体育館使用時は、貴重品ロッカー・コインロッカーを必ず利用してください。
貴重品ロッカーは体育館の踊り場、コインロッカーは体育館の男女更衣室内にあります。

［利用上の留意事項］
・貴重品ロッカー・コインロッカーは、体育館使用時における一時利用のために設置しています。体育館使用時以外は利用できません。（不正利用の物品は処分します。）
・貴重品ロッカーは、財布や携帯電話、鍵を入れるためのロッカーです。靴やテキストなどを入れることはできません。

アルバイト

［畿央大学アルバイト紹介システム］
アルバイトの紹介は，畿央大学が業務委託をしている(株)ナジック・アイ・サポートが運営する求人情報提供サイト「畿央大学学生アルバイト情報ネットワーク」で紹介しています。

https://www.aines.net/kio/

このシステムは、本学が発行するメールアドレス（○△□@kio.ac.jp）を使ってログインし、ID とパスワードを取得すればすぐ利用できます。
・このサイトに掲載している求人は、職種が危険な仕事、人体に有害とされる仕事、法令に違反する仕事、教育上好ましくない仕事、労働条件が不明確なもの、出来高払い、違約金や損害賠償を予定するもの、就労中の事故に対し

て対象学生に負担を負わせるものなどは取り扱っていません。自身でアルバイトを探す場合も、これらのことには十分注意してください。

[留意事項]

・学生の本分は学業です。無理な計画で学業を疎かにしたり、また健康を害したりすることのないよう自己管理をして就労してください。
・高賃金に惑わされず、労働内容・条件は就労前に必ず確認してください。
・畿央大学の学生としての自覚・責任を持ち、遅刻、無断欠勤、突然の退職などモラルやマナーに反する行為はしないようにしてください。
・トラブルに巻き込まれたら学生支援センターに相談してください。なお、アルバイト中の怪我は、大学が一括加入している学生教育研究災害傷害保険は適用されません。

[注意！ブラックバイト]

以下のようなブラックバイトが社会的に問題となっています。

・雇用契約書を交わさない。労働条件が明確でない。
・募集内容と実際の業務内容が異なる。
・アルバイトを始めるにあたり、登録料や会費を払わせる、業務に必要な道具を購入させる。
・労働基準法に違反した長時間労働をさせられる。
・ノルマを課せられたり、罰金を要求されたりする。
・勝手にシフトを入れられる。辞めさせてくれない。
・セクハラ、パワハラや脅しがある。

危険や不安を感じたら、一人で悩まず、家族や労働基準監督署、学生支援センターなどに相談してください。

3. キャンパスライフを快適に

畿央生として、地域の一員として、自覚と節度ある行動を

［禁煙しましょう］

・健康増進法第25条の定めにより、大学敷地内及び周辺道路、住宅地内などでの喫煙を禁止します。

・喫煙は本人にとって害となるだけでなく、周りの人の健康にも悪影響を与えます。畿央大学で学び、将来は健康や教育にかかわる仕事に従事する者として、喫煙の習慣はやめましょう。

・他人の迷惑とならないところでの喫煙であっても、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てなどの街を汚す行為は重大なマナー違反です。絶対にやめましょう。

［飲酒の禁止］

・大学の行事などで特別に許可された場合を除いて、大学敷地内での飲酒は禁止しています。

・学外でのコンパなどでも、イッキ飲みや飲酒を強要する危険な行為は絶対にしてはいけません。

イッキ飲みはしない、させない！！

アルコールは少量なら気持ちをリラックスさせたり会話を増やしたりする効果がありますが、大量になると麻酔薬のような効果をもたらし、運動機能を麻痺させたり意識障害の原因になったりします。急性アルコール中毒は、体内のアルコール濃度が高まって、意識レベルが低下し、嘔吐、血圧低下、呼吸数低下などを来します。短時間に大量摂取する時に発症しやすく、その典型例がイッキ飲みで、死に至ることもあります。

その危険性を認識し、イッキ飲みはしない、させないことを厳守してください。

未成年者の飲酒、未成年者への飲酒の強要は厳禁！！

未成年者の飲酒は法律で禁じられています。健康や発達への悪影響から考えても、未成年者は絶対に飲酒しないでください。また、未成年者と知りながら同席者が飲酒を制止しなかった場合、同席者の責任を問われることがあります。未成年者の飲酒は制止し、飲酒の強要は絶対にしないでください。

［学内や教室でのマナー］

・授業中の私語は厳禁です。他人の迷惑となる場合には退出を命じる場合があります。
・教室内での飲食は禁止です。ただし、昼休み時間内に限って許されますが、C棟２階ｉデザインルームでは一切厳禁です。
・携帯電話は場所をわきまえて使用しましょう。授業中・試験中は電源を切ってください。
・公共の場所で騒いだり、床に座り込んでたむろしたりすることは慎んでください。
・学内の美化・整頓に努めましょう。ゴミの分別収集にも協力をお願いします。
・大学構内は自転車・バイクの走行は厳禁です。大きな事故や怪我につながりますので、絶対に走行しないでください。

［学内での遊び］

キャンパス内のスケートボード・キックボード・フリスビー・球技などは、周囲の人にとって危険な行為のため禁止しています。通学時も同様です。

［服装について］

実験･実習、体育の服装は、担当教員の指示のあるものを着用してください。特に学外での実習については先方に不快なイメージを与えないよう、髪型や服装は教員の指示を守ってください。

［学内外での迷惑行為について］

本学では学生が安全で快適な学生生活を送るために、様々なルール・マナーを定めています。畿央生として、地域の一員として自覚と節度ある行動を心がけてください。ルール・マナーを守らず以下の迷惑行為を行った場合は厳重注意の上、懲戒処分の対象とします。懲戒処分の履歴はすべて記録・保持されます。また、停学などの懲戒処分を受けた場合、試験の受験資格を失う、学外実習に参加できなくなるなど、学修上の不利益を被る場合があります。

・五位堂駅周辺や大学の敷地及び大学周辺の公園や商業施設などへの迷惑駐車や迷惑駐輪。
・大学敷地内及び大学周辺での喫煙・吸い殻のポイ捨て。
・その他、違法な行為や近隣への迷惑行為と大学が判断したもの。

マナー・ルール違反に対する処分の基準　　**（2019年３月　改定）**

■自動車を運転して通学し、大学敷地内への乗り入れ、または大学周辺の公園や商業施設などへ迷惑駐車をした場合は、「誓約書」の提出を求めると同時に保護者に連絡し、２回目で懲戒処分の対象とする。なお、本学の学生が運転する自動車へ同乗し通学した場合も、運転者同様の扱いとすることがある。
■五位堂駅周辺、大学周辺でバイク･自転車の迷惑駐輪を行った場合は「誓約書」の提出を求めると同時に保護者に連絡し、３回目で懲戒処分の対象とする。
■大学敷地内及び大学周辺で喫煙した場合は「誓約書」の提出を求めると同時に保護者に連絡し、３回目で懲戒処分の対象とする。
■その他、違法な行為や大学が認めた近隣への迷惑行為が発覚した場合は、上記に準じてしかるべき処分を行う。
■クラブ・サークルなど、本学公認団体の活動中、またはその前後に上記の違反が行われた場合は、その団体に対し活動制限などの処分を行う場合がある。

ハラスメントの防止

セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント及びその他のハラスメントは許されません。畿央大学のすべての学生は公正、安全で快適な環境の下に、学修、研究を行う権利を保障されています。畿央大学では教職員や学生などすべての構成員が互いの立場を尊重しあう人間関係を作りあげ、維持することをめざしますが、もしハラスメントが発生した場合は厳正、迅速な手続きによって公正かつ適正に対処します。

詳しくは巻末の「ハラスメントの防止等に関する指針」を参照してください。

ハラスメントについての相談は学生支援センター、もしくはハラスメント相談員に気軽に声をかけてください。

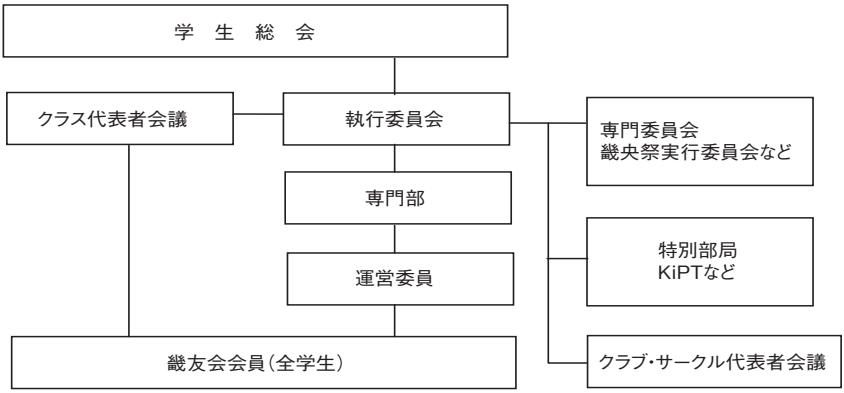
4. 課外活動

畿友会

畿友会は、本学の学部在籍の全学生をもって構成され、組織・運営される学生自治会です。会員の自治と自主的な諸活動により会員相互の親睦をはかり、学生生活の発展向上と本学の発展に寄与することを目的としています。積極的に活動に参加して仲間を作り、豊かな成長の場となることを期待しています。

また畿友会は、会費（一人年額６千円）と本学後援会からの補助金を財源とし、以下のような行事の開催、クラブへの補助や活動の調整などを行っています。

［畿友会組織図］

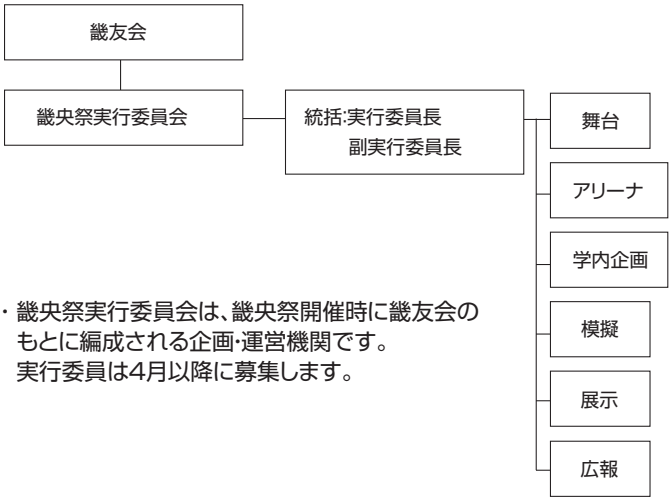


［年間行事］

昨年は次のような畿友会主催の行事を行いましたが、学生からの提案で、毎年新しい行事が増えています。情報を見逃さずに、積極的に参加してください。

５月	クラス代表者会議、クラブ・サークル代表者会議
６月	運動会、緊急対応講習会
８月	夏の学習キャンプ
10月	畿央祭・クリーンキャンペーン
12月	クリスマス会
１月	クラブ・サークル代表者会議
２月	冬の学習キャンプ
３月	キャンパス歓迎会

畿央祭実行委員会



・畿央祭実行委員会は、畿央祭開催時に畿友会のもとに編成される企画･運営機関です。
実行委員は4月以降に募集します。

KiPT（Kio Performance Team）

・イベント企画・運営の専門団体。各イベントの企画、運営、司会などを行い、学外からの依頼も受け付けています。

クラブ・サークル

［サークルの設立］

新しくサークルを設立する場合、必要書類すべてを事務室内の畿友会ボックスへ提出してください。申請にあたっては、５名以上の同意者および顧問（専任教員）の承諾が必要です。畿友会・学生支援センターで検討の上、承認されます。

［サークルからクラブへの昇格］

サークルのメンバーが10名を超え、週２回以上の活動を１年以上安定して継続し、さらにその活動内容がクラブとしてふさわしいと認められる場合は、クラブへの昇格を申請することができます。畿友会・学生支援センターで検討の上、承認されます。

［クラブ・サークルなどの継続］

引き続き団体として活動する場合、当年度のクラブ・サークル活動の状況報告や次年度計画などの必要書類を事務室内の畿友会ボックスへ提出してください。必要書類を提出しない場合、解散したものとみなします。なお、活動の継続が不可能になった場合は、「解散届」を提出してください。

［クラブ室の使用］

クラブ室には限りがあり、すべてのクラブに提供できないこと、また１つのクラブ室を複数の団体で共用してもらうことをお願いしています。使用にあたっては、以下の行為は謹んでください。

⑴　団体として学則・諸規則に反する行為
⑵　室内での暴力行為
⑶　クラブ室の改造または改築
⑷　火災・盗難の危険性のある行為

※常に清潔に保ち、団体活動の場にふさわしい使用を心がけてください。

［クラブ・サークルによる施設使用］

大学の施設使用については、団体ごとに予定表を作成し、顧問・畿友会・学生支援センター・施設の管理責任者と相談の上使用してください。ただし、各施設とも正規の授業・大学行事が優先です。また施設使用後は美化・整頓に留意し、戸締り、火の元に十分注意してください。

ボランティア活動（ボランティアセンター）

ボランティア活動に参加したり、ボランティア活動について学習したりできるように、本学ではボランティアセンターを開設しています。情報提供や相談、活動交流などを通して学生のボランティア活動を支援していますので利用してください。

［ボランティア活動中の保険］

ボランティア活動中の自身の事故やけが、活動先の人にけがをさせたり物を壊してしまったりした場合は、大学で加入している「学研災」「学研賠」にて補償されます。

但し補償の対象は、大学が承認した活動に限ります。大学が承認した活動を行

うためには、各活動前に「参加登録カード」を、活動後に「活動報告カード」を提出する必要があります。クラブ・サークル、その他任意の団体で活動する場合は、活動前に「ボランティア団体活動登録カード」を提出してください。

大学に承認を得ない活動については補償の対象外となり、個人でボランティア保険に加入する必要があります。ボランティアセンターに相談してください。

［ボランティア活動への参加］

1）情報収集

C棟1階ラウンジのボランティア募集掲示板、閲覧ファイル等でボランティア情報を紹介しています。

また、KiTssの「ボランティア情報」のページにも掲載しています。

希望するボランティアが見つからない場合には、担当職員に相談してください。

2）参加申込

参加を決めたら、「参加登録カード」を提出してください。ボランティアの内容や詳細（場所・時間・服装・準備物等）、申込方法は、事前に各自で確認をしましょう。

個人で見つけたボランティアについても、大学が承認した場合は「学研災」「学研賠」の補償の対象となりますので、活動の1週間前までにボランティアセンターに届け出てください。

ボランティア活動には責任が伴います。安易に欠席したり、体調不良で休むことのないよう体調管理に気をつけましょう。

3）活動報告

参加した活動を振り返り、「活動報告カード」を提出してください。活動の交流、紹介に役立てるほか、自身の記録として保管します。

※「エントリーカード」「参加登録カード」「活動報告カード」はいずれもKiTssの「ボランティア情報」にフォーマットを用意しています。
volu@kio.ac.jpまでメールに添付して送信しても構いません。

［ボランティアに関する疑問、相談］

「活動内容が当初のものと不本意に変わってきた」「活動先から不当なハラスメントを受けた」「コミュニケーションがうまくいかなくなり活動を続けられない」等、疑問や困ったことがあるときは、ボランティアセンターに相談してください。

5. 施設の使用

施設使用の申し込みについて

体育施設や各実験・実習室、ピアノ練習室等は授業等で使用していない時間帯に学生の皆さんに貸し出しを行っています。また、講義室・ゼミ室をクラブ・サークル・ゼミ等の活動・会合のために貸切ることが可能です。いずれも使用希望日の1ヶ月前から当日の使用前までに事前申し込みを行うことができます（施設によっては教員の許可印が必要になります）。

また、自習やグループ学習を目的とする皆さんのために、それぞれ一定数の講義室等を「自習室」「グループ学習室」として開放しています（申し込みは不要です）。

施設の使用・開放状況はKiTssの「施設・設備予約状況」ページで確認することができます。

申し込みが必要な施設とルール

申し込みの必要の有無や施設の使用可能時間帯は使用目的や施設種別によって異なります。概略については次の表を、詳細については申し込み時に提出する「大学施設使用願」を参照してください。

施設種別	授業期間内の18:00（土曜日は17:00）まで	授業期間内の18:00（土曜日は17:00）以降及び休業日、授業期間外
講義室・ゼミ室　※1	クラブ・サークル・ゼミ等の活動・会合のために貸切る場合は申し込みが必要です（1度の申し込みで最大3時間までとします）。自習・グループ学習を目的とする場合は「自習室」「グループ学習室」を活用してください。	原則として閉室施錠します。使用に際しての申し込みルールは左記のとおりですが、休業日の使用については直近3日以内（日曜日であれば木～土曜日）に申し込みを行ってください。
ピアノ練習室（C棟・D棟）　※2	学生支援センター窓口で学生証と引き換えに鍵をお渡しします。1回の使用は30分または60分です。連続して使用する場合は、混雑していなければ部屋を変えて使用できます。ただし、使用はピアノの練習を目的とする場合に限ります。	「大学施設使用願」を提出することによって申し込みが可能です。

体育施設・スタジオ等	第２キャンパス各施設は20:00まで、その他は21:00まで原則として使用可能です（１度の申し込みで最大３時間までとします）。	使用に際しての申し込みルールは左記のとおりですが、休業日の使用については直近３日以内（日曜日であれば木～土曜日）に申し込みを行ってください。
実験・実習室	使用を希望する場合は教員の許可を得た上で申し込みを行ってください（１度に申し込みできる時間の制限はありません）。Ｃ３音楽室は20:00まで、その他は23:00まで原則として使用可能です。	使用に際しての申し込みルールは左記のとおりですが、休業日の使用については直近３日以内（日曜日であれば木～土曜日）に申し込みを行ってください。なお、看護実習室は、休業日は使用できません。

※１　L棟講義室は授業期間内・外いずれも18：00以降使用できません。
※２　D棟ピアノ練習室は、授業期間内・外いずれも18：00（土曜日17：00）以降および休業日は使用できません。

施設を使用する際のマナーと注意事項

離席する際は盗難防止のために貴重品（財布・携帯電話等）の管理を徹底するのはもちろんのこと、席取りのために荷物を放置しておくなどの行為も絶対に避けてください。大学の施設は学生の皆さんが共同使用していただくものです。互いにルールやマナーを遵守し、心地よく使用できる環境を自分たちで保っていけるように心がけてください。

畿央大学エコキャンパス推進方針

本学では、建学の精神のもと、学生教職員による環境負荷低減に向けた取り組みとして、「省エネルギー」「廃棄物削減」「環境貢献活動」の３つのエコアクションを推進します。

健康で豊かな生活の源である地球環境への畏敬の念を忘れず、徳をのばし、心くばりにあふれたキャンパスの醸成を目標に、教育・研究活動をはじめ、学内において使用するエネルギーや資源の効率的な利用方法と再利用の可能性をひとりひとりが考え、知をみがき、環境意識の構築を積極的に推進します。そして、自発的な活動の芽を育み、社会や地域への輪を広げ、美しい環境の継承を目指します。

■省エネルギーへのエコアクション

教育･研究活動においてエネルギー使用は必要不可欠ではありますが、様々な活動に気を配り、エネルギー使用の省力化と健康な身体づくりを推進します。

1） 空調エネルギー負荷低減を推進します。過剰温度設定はエネルギー負荷が高くなるとともに、室内外温度差による健康への影響も懸念されるため、冷暖房の適正な温度設定を図ります。

2） 待機エネルギーの省力化を推進します。教育・研究活動において使用する各種機器や設備に対し、未使用時の省力化に配慮し、待機エネルギー削減を図ります。

3） 動力エネルギーの省力化を推進します。エレベーターや自動車等の使用を控えることは適度な運動となり、健康な身体づくりと移動に関わるエネルギーの省力化に寄与します。

4） 高効率機器の導入を推進します。設備機器等更新時に高効率型機器を導入することで、機器稼働時におけるエネルギーの省力化を図ります。

■廃棄物削減へのエコアクション

教育･研究活動や学校生活における各活動や業務内容を見直し、資源の有効活用と分別回収の徹底により廃棄物の削減を推進します。

1） 廃棄物量の抑制を推進します。各活動や業務の改善や見直しにより、使用資源の抑制および廃棄物削減を図ります。

2） 資源や製品のリユース・リサイクルを推進します。各活動や業務により排出される廃棄物の分別回収を徹底し、資源や製品の再使用･再利用の可能性を検討します。

■環境貢献活動へのエコアクション

教育･研究機関に所属する一員として、環境負荷低減に向けた実践可能な取り組みを自ら考え、学び、活動する意義を認識し、持続可能な社会の実現に貢献することを推進します。

エコキャンパス推進委員会

畿央大学の学生サポート

1．サポート体制

畿央大学では学生の学びや暮らしのサポートをするために、次のような体制を整えています。積極的に利用して充実した学生生活を送ってください。

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">こんなとき</th></tr>
<tr><td>担任</td><td colspan="2">本学では学生全員がクラス、ゼミもしくはコースに所属し、学生一人一人に専任教員が担任として配置されています。履修登録指導などを行うとともに、年２回、全員を対象とした個別面談も行います。困ったことがあったり、進路に迷ったり、学習に行き詰ったときにはまず担任に相談してください。</td></tr>
<tr><td>オフィスアワー</td><td colspan="2">専任の教員は、質問や相談を受けるため、毎週決まった時間帯に研究室で待機しています。学修上のこと、進路のことなど、気軽に訪問して相談できる制度です。各教員のオフィスアワーは研究室前の掲示やKiTssのメニュー「オフィスアワー・教員紹介」で確認できます。また、非常勤の教員は授業時間前後にＣ棟中央の講師控室で待機しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学生支援センター
（月～金）８:40～18:00
（土）８:40～17:00</td><td colspan="2">授業、課外活動など学生生活全般の相談・手続き窓口です。わからないこと、心配なことがあれば、まず相談に来てください。また、障がいのある学生・配慮の必要な学生への学修・学生生活支援も学内関係機関と連携して行なっています。</td></tr>
<tr><td>授業</td><td>・履修・成績等についての相談
・「公欠届」「欠席連絡届」等の提出
・「事務室に提出」と指定されたレポートの提出
・教育実習についての相談
・障がいがある学生・配慮の必要な学生への授業支援</td></tr>
<tr><td>証明書</td><td>・成績証明書・在学証明書等の申し込み
・学生証・仮学生証の発行
・健康診断証明書の申し込み
・学割の発行</td></tr>
<tr><td>学生生活</td><td>・休学・復学・転学科・退学・再入学の手続き
・本人・保証人の氏名・住所・連絡先・通学経路の変更
・奨学金についての相談
・バイク・自転車通学の届け出
・忘れ物の確認、拾得物の届け
・サークルの設立や、課外活動の相談
・大学施設の利用申請
・ロッカーの申し込み
・掲示申請
・授業中や通学中のけがによる学生保険の手続き</td></tr>
</table>

	こんなとき
ボランティアセンター （月～金）8：40～17：00	ボランティアに関心のある人はボランティアセンターへ。様々な団体や学校・病院等からのボランティアの募集情報を提供しています。またボランティアについての相談も受け付けています。
図書館 （月～金）9：00～20：00 （土）9：00～18：00 授業がない期間は異なります。	本を借りたい、電子ジャーナルを利用したい、調べたいことがあるけどどうしたら良いか分からないときは図書館カウンターへ。本学にない書籍は他の図書館から取り寄せることも含めて相談にのります。
教育学習基盤センター （月～金）8：40～18：00 （土）8：40～17：00	パソコンや情報ネットワーク、情報機器全般に関することを取り扱います。機器の貸出や関係書類提出等の手続き、また紛失や故障時の相談なども受け付けています。なお、休講日などはメンテナンス作業等により閉室することがありますので、随時掲示板等でお知らせします。
キャリアセンター （月～金）8：40～18：00 （土）8：40～17：00	就職に関すること、進路に関することの相談窓口です。各学科ごとの担当者をおいて、就職についての情報収集・提供に努めています。キャリアセンター内の「教採・公務員対策室」では、教員や公務員をめざす人をサポート。就職活動間際ではなく、早い時期からの相談、利用をお薦めします。
健康支援センター （月～金）10：00～18：00	けがをした時、身体の調子が悪い時は健康支援センターを訪ねてください。専任のスタッフが対応します。また健康について不安を感じることがあれば相談することもできます。
キャンパスコラボレーションセンター「ここらぼ」 （月～金）10：00～18：00 （予約は9：00～）	人間関係で悩んだり、勉強や進路のことで不安になったとき、相談に乗ってもらえるのが「ここらぼ」です。相談には臨床心理士が応じます。心身の安全と十分な時間を確保するために予約制となっています（下記参照）。また、個人の秘密は厳守します。

ここらぼ（キャンパスコラボレーションセンター）

相談は予約制です。ＨＰの問いあわせフォームを利用し、希望日時をいくつか書いてメールしてください。受付担当より、日程調整の連絡をします。急ぎの方は受付時間内に電話または直接来室してください。

直通電話 080-2527-0062 （予約受付時間 月～金 9：00～18：00）

※電話・メールでの具体的な相談には応じていません。

※メールの返信、電話対応は開室の時間中のみの対応となります。

なんでも相談メール　メールアドレス nandemo@kio.ac.jp

学生生活で困ったことや学校への要望など、なんでも相談できるメールによる窓口です。個人の秘密は厳守します。

2. 学修支援

社会におけるグローバル化や情報化の進展はめまぐるしく将来の予測は困難です。このような時代を生きるためには生涯学び続け、主体的に考える力を身に付けることが求められています。そのためには、自ら問題意識を持って調べたり、考えたり、双方向で意見を交わしてより理解を深めたりという、能動的な学び（アクティブラーニング）が大切です。畿央大学では充実した図書館や最先端の情報環境を用意して、みなさんの積極的な学修をサポートしています。

図書館

本学の図書館は、図書・雑誌の他、オンラインデータベースや電子ジャーナル等の電子情報やDVD・CD等の視聴覚資料などさまざまな媒体での情報を提供しています。学修、研究のためだけでなく、知的好奇心を満たすためにも積極的にご利用ください。

［開館時間］

	授業日	授業日以外
月～金	9:00～20:00	9:00～18:00
土	9:00～18:00	9:00～18:00

・休館日：日曜・祝日（授業日以外）・夏期および冬期休業中の一定期間・館内整理日等

※臨時休館を含め休館日は、その都度、図書館ＨＰ・館内掲示でお知らせします。

［入退館方法］

▼入館

図書館入口の入館ゲートに学生証をタッチして、一人ずつ入館してください。学生証を忘れた場合は、カウンターへお申し出ください。

▼退館

出口に設置されているゲートを通って退館してください。

貸出手続が済んでいない資料を持って退館しようとすると、無断持出防止装置が作動して、ブザーが鳴りゲートがロックされます。まれに、携帯電

話や他館で借りた資料、その他金属製品等に反応し、誤作動することがあります。その際には所持品の確認にご理解とご協力をお願いいたします。

［閲覧］

開架閲覧室の資料は自由に閲覧できます。地階の閉架書庫へは入庫することができませんので、閉架書庫の資料を利用したい場合は、「閉架書庫出庫申込書」に必要事項を記入の上、カウンターへお申込みください。

［貸出］

借りたい図書と学生証をカウンターへ持参し、手続きをしてください。

図書の貸出上限冊数及び貸出最長期間は、次の通りです。

冊数	期間
５冊	２週間

・他人の学生証で図書を借りたり、自分が借りた図書を又貸ししたりしないでください。

・２週間以上の長期実習へ行く場合に限り、通常の期間（２週間）より長く貸出することができます。貸出手続き時にお申し出ください。（実習開始日の１週間前より手続きができます）

・長期休業中の貸出期間については、都度、図書館HP・館内提示にてお知らせします。

■館外貸出のできない資料

・禁帯出ラベルの貼られている資料（辞書・辞典・年鑑・白書等）

・雑誌・新聞などの逐次刊行物

・視聴覚資料（DVD・CD・ビデオ等）

※視聴覚資料の閲覧は館内に限り可能です。

［貸出期間の延長］

貸出期間の延長を希望する場合は、返却期限までに期間を延長したい図書と学生証をカウンターへ持参し、手続きをしてください。ただし、他の利用者からの予約が入っている場合や他に借りている図書が１冊でも延滞している場合は延長できません。

※図書を持参しなくても貸出図書１冊につき１回のみ、手続きの日から２週間の期間延長ができます。返却期限までにカウンターへお申し出ください。

［予約］

借りたい図書が貸出中の場合は、予約をすることができます。「予約申込書」に必要事項を記入の上、カウンターへお申し込みください。予約した図書が返却され次第、ご連絡します。

［返却］

借りた図書は、書架に戻さず、期限までに必ず借りた本人がカウンターへ返却に来てください。

［延滞・貸出停止］

期限を過ぎて返却した場合、延滞した日数分だけ貸出停止となります。延滞日数57日目から未返却図書の再購入金額を請求いたします。また、延滞日数71日目以降からは懲戒の対象となります。
※延滞中の図書がある場合には、貸出・延長・予約の手続きはできませんのでご注意ください。

［紛失・汚損］

借りている図書を紛失したり、汚してしまった場合は、すぐにカウンターへお申し出ください。現物（または時価）による弁償を原則としています。

［資料の複写］

図書館所蔵の資料は、著作権法で認められた範囲内で複写できます（有料）。「文献複写申込書」に必要事項を記入の上、カウンターへお申し込みください。複写はセルフサービスです。なお、ノートやプリント等の私物は複写できません。

［リクエスト］

図書館で所蔵していない図書をリクエストすることができます。「リクエスト申込書」に必要事項を記入の上、カウンターへお申し込みください。購入の可否については、選定の上決定されます。

［レファレンス・サービス］

探している資料がみつからない、どのように探したらいいのかわからない、など、図書館の利用や資料についての質問や相談を受け付けています。図書館を利用するにあたってわからないことや、困ったことについては、カウンターまでお気軽にご相談ください。

［相互利用サービス］

探している資料が本学図書館や本学で利用できる電子ジャーナル、データベースにない場合、所蔵している他の図書館に複写・貸借・閲覧の依頼をすることができます。

▼文献複写

他大学図書館等より図書の一部や雑誌論文のコピーを取り寄せることができます。※複写料と郵送料が必要です。

▼図書貸借

他大学図書館等より図書の現物を借りることができます。※送料が必要です。

借りた図書は、館内閲覧のみに限られています（館外持出不可）。

また、雑誌は借りることができませんので、文献複写をご利用ください。

▼訪問利用

必要な資料を所蔵している他の大学図書館を直接訪問し、利用することができます。

図書館を通じて事前連絡や紹介状の発行が必要となる場合がありますので、利用したい資料名（本や雑誌）と訪問希望日時をカウンターまでお申し出ください。

図書館によっては紹介状等の発行など手続きに数日かかりますので、余裕をもってお申し込みください。

※基本的に自習目的の利用はできません。

［学術情報データベース／電子ジャーナル］

本学の教育・研究に関連する分野の学術情報データベースや電子ジャーナルを利用できます。図書館HPの「文献･情報を探す」よりご利用ください。本学で利用契約しているデータベースや電子ジャーナルは、学内のネットワーク環境から自由にアクセスすることができます。また、オープンアクセス（無料で閲覧可能）

のデータベース等は、学外からでも利用できます。利用にあたっては、守らなければならないいくつかの注意事項が定められています。ルールを守って、正しくご利用ください。

［図書館常設パソコンの利用］

図書館には、常設パソコン・カラーレーザプリンタ・スキャナ等を設置しています。オンラインデータベースや電子ジャーナルの利用、CD・DVD・VHS等の視聴覚資料の鑑賞など多目的に利用できます。イヤフォン、ヘッドフォンは、各自でご用意ください。

［持ち込みパソコンの利用］

各自で持ち込まれたパソコン・タブレット等は館内で自由に利用できます。ただし、動画・音声ファイル等を再生する場合は、イヤフォン、ヘッドフォンを使用するか、音が出ない設定で使用してください。館内のカラーレーザプリンタ・スキャナ等への接続はできません。

［図書館利用上の注意］

・館内では飲食はできません。飲食物の持ち込みはご遠慮ください。
・館内では私語や雑談、騒音の出る行為は慎んでください。
・携帯電話、スマートフォン等の音の出る機器はマナーモードに設定し、通話はご遠慮ください。
・私物や図書を机の上に放置しないようにしてください。貴重品は必ず各自で管理してください。荷物を放置したまま、閉館時間を過ぎてしまった場合、荷物は翌開館日以降までお渡しできません。
・図書館資料は大切に扱ってください。切り抜きや書き込みなどはしないでください。
・その他、館内では職員の指示にしたがってください。

ラーニング・コモンズ

H棟１階ラーニング・コモンズは、学生の皆さんの主体的な学びをサポートするためにもうけられた場所です。Wi-Fi接続が可能であり、資料の印刷やグループディスカッションなど幅広い用途に活用できますので、授業の空き時間などに積極的に利用してください。

情報システムの利用サービス

本学では学生の皆さんの主体的な学びをサポートするために、以下のような情報システムの利用サービスを提供しています。

［印刷環境］

ラーニング・コモンズ、C棟1階ラウンジにはプリンタを設置しています。印刷は年間上限400枚（カラー印刷の場合は1枚につきモノクロ3枚分の換算）まで可能です。上限を超えてさらに利用したい場合は、学生支援センター内にある証明書発行機で追加申込書を購入し、教育学習基盤センターへ提出してください。なお、制限枚数の未消化分は翌年度に持ち越すことができます。

［キャンパス内のWi-Fi接続］

大学貸与PCについてはキャンパス内でWi-Fiに接続が可能です。また、大学貸与以外のPCやスマートフォンについてもラーニング・コモンズのFree Wi-Fiに接続が可能です。なお、キャンパス内のWi-FiではWindows Updateの更新はできない設定になっています。

［有線LANの利用］

ｉデザインルーム及びE103・E104講義室では、高速な有線LANを利用することができますので、大きなサイズのファイルのダウンロードやWindows Updateの更新が可能です。

［公衆回線のWi-Fiアクセスポイント］

畿央食堂なごみ、RBラウンジ、ラーニング・コモンズ、図書館では「au Wi-Fiスポット」「ソフトバンクWi-Fiスポット」「docomo Wi-Fiスポット」が利用できます。

［大学貸与PCの卒業時条件付き譲渡］

本学では入学時に全学生に対してPCを貸与しますが、卒業時に譲渡を希望する学生には認定講習を受講していただきます。認定講習修了者には卒業時に大学貸与PCを無償譲渡します。認定講習は4年次後期に実施し、スケジュールはKiTss・掲示等で告知します。なお、認定講習未修了者及び自己責任による故障の

ため交換した者には大学貸与PCは譲渡できません。

[卒業後のOffice365（Word、Excel、Powerpoint、Access）の利用権利]

卒業後はOffice365（Word、Excel、Powerpoint、Access）の利用権利を失いますので、ひきつづき利用を希望する場合は、卒業時までにOffice365ライセンス（買取永久ライセンス）の購入申込が必要です。大学貸与PC以外のPCに自身でインストールした場合も、同様に利用権利を失ってしまいますので、注意してください。

ただし、大学メールについては卒業後も利用することができます。

[Tips]

PCの利用に関する基本的な知識やトラブルに遭遇した際の対処方法等について、「ICT利用の手引き」サイトにTips（ヒント）を公開しています。Tipsは適宜追加していきますので、積極的に活用してください。

http://kioictweb01.cloudapp.net/index.php/2018/05/07/tips/

ｉデザインルーム

ｉデザインルームでは、授業が無い時間帯は学生が持ち込んだノートパソコンに大きなモニターや有線LAN、外付けキーボード、マウスを接続して利用することができます。

ｉデザインルーム　　（月～土）８：40～22：00

※）個人またはグループでの独占的利用の予約はできません。

情報ネットワークシステム利用のマナー

情報ネットワークを利用することは大変便利で、教育研究活動を進めるためには必要不可欠のものになっています。しかし一方では、その利用方法次第では個人情報の漏えい、人権の侵害、著作権法違反など、様々な問題を起こす可能性があるのも現実です。本学では「情報セキュリティポリシー」を定めて、ルールにのっとった利用をお願いしています。

情報ネットワークシステムの利用にあたっては特に、次のような行為を禁止しています。

⑴　他人のプライバシーを侵害する行為
⑵　他人を誹謗・中傷する行為
⑶　著作権法等の関連法規に違反する行為
⑷　本学のシステムに損害または不利益を与える行為
⑸　営利及び売買行為を目的とした行為
⑹　本学及び他のネットワークに対する不正アクセス行為
⑺　違法行為を支援、助長する行為
⑻　ユーザID及びパスワードの譲渡・貸与及び第三者への開示行為
⑼　公序良俗、建学の精神に反する行為
⑽　法令、学則、学内規則に反する行為
⑾　その他本学が不適当と判断する行為

以上のような行為を行った場合には情報ネットワークシステムの利用を停止することがあります。

3. 進路支援

「○○になりたい、○○に就職したい」という目標が決まっている人、「こんな仕事につきたい」というイメージはある人、自分が何をしたいか、何ができるか分からない人。 それぞれに違いはあっても4年間の学生生活の中で、卒業時には自分の人生についての見通しを持ち、社会人としての一歩を踏み出すことができるよう、畿央大学では充実した進路支援のシステムと体制を整えています。

進路支援の流れ

1回生 **キャリア入門セミナー・キャリア形成セミナーを行います。**

社会人として通用するマナー、コミュニケーション力を学び、また実際に現場で働いておられる方々や卒業生たちの話を聞かせてもらう中で、自分のめざす進路を確かめます。

⇩

2回生 **各種インターンシップ・実習が始まります。**

企業や学校でのインターンシップ、病院での実習も始まります。それぞれの仕事に何が求められているのか、自分が何に向いているのかが分かります。

⇩

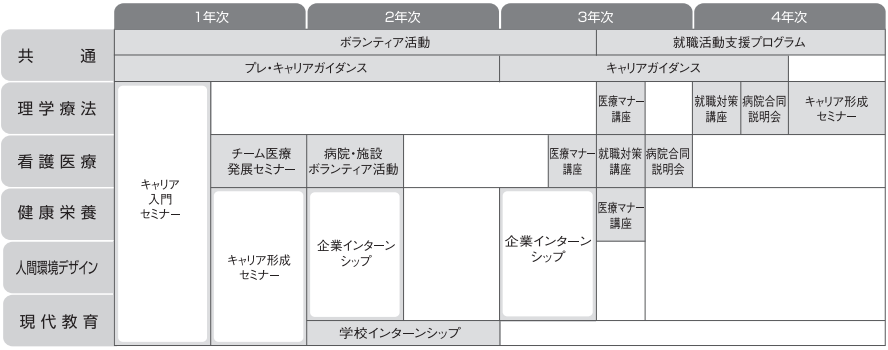
3回生 **進路希望登録・キャリアガイダンス・教育実習や病院実習が本格化**

企業就職希望者には毎週のキャリアガイダンスで就職活動に必要な姿勢、情報、スキルを身につけます。現場での実習では大学での学びが試されます。

⇩

4回生 **採用試験、国家試験対策と就職活動にフル回転**

それぞれめざす進路によって就職活動や試験対策は多様ですが、畿央大学ではそれぞれの内容に専門スタッフをおき、担任教員と協力して一人一人の学生の希望進路を実現します。



キャリアセンター

キャリアセンターは進路支援の総合窓口です。進路についての悩み・相談は何でも受け付けます。必要な学年、時期にキャリアガイダンスや就活パワーアップ講座を企画・実施して、企業就職、病院・施設、私立幼稚園・保育所への進路を希望する学生をサポートしています。キャリアセンターの中に設置された「教採・公務員対策室」では、学部・学科を問わず教員や公務員をめざす学生をサポートします。先輩たちの就職活動を成功させてきたベテランスタッフによる個別面談、個別指導も繰り返し行い、内定を獲得するまでバックアップします。畿央大学のキャリア支援は卒業で終わるわけではありません。卒業後も困ったり、悩んだりすることがあれば相談に応じています。

企業就職までのサポート

対象	実施時期	プログラム	テーマ・内容
1回生	6月	キャリア形成セミナー	キャリアセンターの紹介
	1月	キャリア形成セミナー	キャリアガイダンス・現場訪問
2回生	4月	企業インターンシップ説明会	企業インターンシップの概要と申込方法
	6月	奈良県大学連合インターンシップ面接会	
		企業インターンシップ事前研修会	
	7月	第1回プレキャリアガイダンス	社会を知る・就職環境を知る
	10月	奈良県大学連合インターンシップ事後研修会	
		畿央インターンシップ事後研修会	
	1月	第2回プレキャリアガイダンス	3回生に向けての心構え～春休みの活用法～
3回生	4月	企業インターンシップ説明会	企業インターンシップの概要と申込方法
		第1回キャリアガイダンス	今日からスタート！就職活動基礎ガイダンス（就職ナビ登録会）
		第2回キャリアガイダンス	自分の強みを就活に活かす（適性診断受検＆解説会）
		第3回キャリアガイダンス	意外と知らない社会人の常識 ～生活設計：給料・ボーナス・年金　労働法：働く権利と義務～
	5月	第4回キャリアガイダンス	第一印象とカラー～身だしなみ（女子メイク・男子スーツ）～
		第5回キャリアガイダンス	学科担当が語る！「先輩の就職先と目指す業界」
		第6回キャリアガイダンス	成功する就職活動とは？
		第7回キャリアガイダンス	エントリーシート①（基礎編）
		第8回キャリアガイダンス	就職サイト・プレオープン～業界研究・インターンシップのススメ～
	6月	奈良県大学連合インターンシップ面接会	
		第9回キャリアガイダンス	採用試験の傾向と対策～適性検査（能力・性格）編～
		第10回キャリアガイダンス	ＳＰＩ対策①（入門編）
		第11回キャリアガイダンス	エントリーシート②（自由記述編）
		第12回キャリアガイダンス	ＳＰＩ対策②（基礎編）
		企業インターンシップ事前研修会	

（注）日程・内容は変更する場合があります

対象	実施時期	プログラム	テーマ　・　内　　容
3回生	7月	第13回キャリアガイダンス	身だしなみとビジネスマナー（基礎・常識編）
		第14回キャリアガイダンス	ＳＰＩ対策③（応用編）
		第15回キャリアガイダンス	就職模試（WEB方式）
	10月	奈良県大学連合インターンシップ事後研修会	
		第16回キャリアガイダンス	インターンシップを活かして就活本番へ
		第17回キャリアガイダンス	履歴書・ビジネスレター・メールの書き方
		第18回キャリアガイダンス	内定した４回生に聞く「成功する就職活動の進め方！」
		第19回キャリアガイダンス	小論文対策①
		第20回キャリアガイダンス	小論文対策②
		畿央インターンシップ事後研修会	
	11月	第21回キャリアガイダンス	話し方講座
		第22回キャリアガイダンス	業界別・職種別ガイダンス①
		第23回キャリアガイダンス	業界別・職種別ガイダンス②
		第24回キャリアガイダンス	説明会・面接におけるマナー（実践・応用編）
		合同業界・企業説明会	
	12月	第25回キャリアガイダンス	学科担当が語る！　各業界の最新採用情報とおススメ企業
		第26回キャリアガイダンス	総まとめ
		就活パワーアップ講座	エントリーシート作成と面接のノウハウ①
		就活パワーアップ講座	エントリーシート作成と面接のノウハウ②
		グループ面接練習会	グループ面接・グループディスカッションの模擬体験・事後指導
		履歴書用写真撮影会	履歴書・エントリーシート用の顔写真撮影

（注）日程・内容は変更する場合があります

病院・施設就職までのサポート

	対象	実施時期	プログラム	テーマ　・　内　　容
理学療法学科	3回生	12月	医療接遇講座	病院で必要とされるマナーについての講座
	4回生	8月	夏期就職対策講座	就職活動の進め方、病院合同説明会について
			夏期就職対策講座	自己紹介書の書き方と自己ＰＲ①②
			夏期就職対策講座	論作文の書き方と課題作成①②③
			夏期就職対策講座	面接マナーとビジネスマナー　※スーツ着用
			夏期就職対策講座	履歴書の書き方とルール
			夏期就職対策講座	勝つ！就職活動とは
			病院合同説明会	※スーツ着用
		9月	グループ面接指導	
看護医療学科	3回生	6月	医療接遇講座	病院で必要とされるマナーについての講座
			就職ガイダンス	就職活動準備ガイダンス
		12月	就職対策講座	勝つ！就職活動とは
			就職対策講座	履歴書の書き方とルール
			就職対策講座	自己紹介書の書き方と自己ＰＲ①②
			就職対策講座	面接マナーとビジネスマナー　※スーツ着用
			就職対策講座	論作文の書き方と課題作成①②③
		3月	病院合同説明会	※スーツ着用
			グループ面接指導	グループ面接指導
栄養	3回生	7月	医療接遇講座	病院で必要とされるマナーについての講座

（注）日程・内容は変更する場合があります

進路希望登録とは？

3回生になった時点で「進路希望登録」を行います。このデータは就職希望者に対する情報の提供、相談、連絡、応募に際しての証明書の作成・交付等の基礎資料となります。またこの登録をしないと大学からの就職斡旋や推薦書の発行ができません。データは部外秘資料として扱われ、成績にも一切関係しませんので、自己分析の第一歩と思って正確に入力してください。

幼稚園・保育所就職までのサポート

対象	実施時期	プログラム	テーマ　・　内　　容
3回生	4月	第1回幼保施設ガイダンス	意外と知らない社会人の常識 ～生活設計：給料・ボーナス・年金　労働法：働く権利と義務～
	5月	第2回幼保施設ガイダンス	第一印象とカラー ～身だしなみ（女子メイク・男子スーツ）～
		第3回幼保施設ガイダンス	成功する就職活動とは？
	6月	第4回幼保施設ガイダンス	幼保職の基礎知識とスケジュール
	7月	第5回幼保施設ガイダンス	身だしなみとビジネスマナー（基礎・常識編）
	10月	第6回幼保施設ガイダンス	履歴書・ビジネスレター・メールの書き方
		第7回幼保施設ガイダンス	【講演】現場で活躍する卒業生から／ 私立保育園の保育士として求められるもの
	11月	第8回幼保施設ガイダンス	【講演】児童施設の仕事、やりがい／ 私立幼稚園教諭として求められるもの
		第9回幼保施設ガイダンス	話し方講座
		第10回幼保施設ガイダンス	説明会・面接におけるマナー（実践・応用編）
	12月	就活パワーアップ講座	自己分析・自己PRと面接のノウハウ①
		就活パワーアップ講座	自己分析・自己PRと面接のノウハウ②
	1月	第11回幼保施設ガイダンス	今後の就職活動について
		グループ面接練習会	グループ模擬面接・事後指導

（注）日程・内容は変更する場合があります

ガイダンスに出よう！

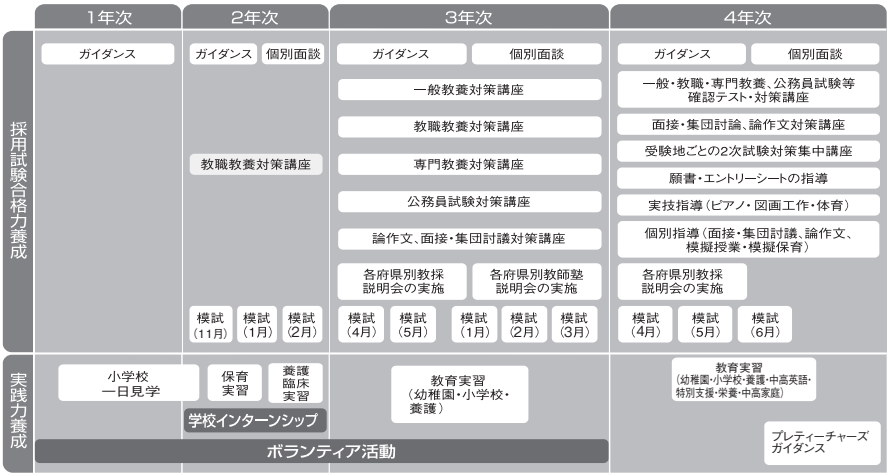
ガイダンスへの出席がカギ

進路について必要なことはすべて各種ガイダンスで説明をします。企業就職者向けのキャリアガイダンス、教員をめざす学生のための教職ガイダンス、病院就職をめざす学生のためのガイダンスなど、志望に応じて、必要な時に必要な情報を詳しく提供しています。ガイダンスには必ず出席しましょう。

教採・公務員対策室

教員や公務員を希望する本学学生や卒業生が希望進路を実現するためのさまざまな活動を支援しています。教員・公務員をめざすためのガイダンスから始まり、採用試験合格まで各種対策講座や模擬試験の実施、模擬面接、実技指導の企画、個別相談などを行なっています。

教員採用試験・保育士採用試験対策の流れ



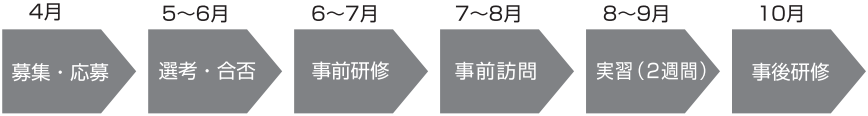
インターンシップ（担当窓口：キャリアセンター）

畿央大学では実践的な学びを重視していますが、その一環として、実際に現場を体験することのできるインターンシップの機会を学生のみなさんに幅広く提供しています。

［企業インターンシップ］

夏期休暇期間に企業や官公庁、各種団体等で就業体験を行います。マナー指導を含めた事前研修、体験発表等の事後研修を実施し、キャリア教育の一環として単位も認定しています。一般企業就職者の多い人間環境デザイン学科では、3回生の60％以上が企業インターンシップに参加しています。

畿央大学インターンシップ	大学が依頼して受け入れを了解してくれた企業で行います。建築関連業界が多いのが特色です。
奈良県大学連合インターンシップ	奈良県下のさまざまな業種・業界が受け入れ先としてノミネートされています。
オープンデスク制度	設計事務所や建築事務所などで、実務を経験する制度です。
自己開拓型インターンシップ	インターネット等で希望する企業を探し申し込みます。



[学校インターンシップ]（担当窓口：学生支援センター）

近隣12市町教育委員会と協定を結び、大学から近く、通いやすい小学校や幼稚園などで定期的に現場研修を行う取り組みです。教育実習では先生の立場から子どもを教えますが、学校インターンシップには先生と子どもの間に立つ「補助教員」として参加することが特色です。長期にわたり参加できるため、教育実習ではできないことが体験できます。

現場のさまざまな課題に実際に直面し、その解決方法を知っていくことで大きく成長することができます。

※研修先の許可を得て、ボランティアとして後期も活動を継続することができます。

資格対策支援

TOEIC（Test Of English for International Communication）

グローバル化する社会で英語力は必須スキルです。どんな職場でも活躍できる人材になる基礎作りとしてTOEICの受験を推奨し学内での受験を可能にしています。

TOEICは90カ国で500万人が受験しているグローバルなテストです。合否ではなく点数で結果が分かるため、実力や努力の結果が分かりやすいのが特徴です。内容はリスニングとリーディングで、マークシート方式で行われます。

ITパスポート

ITパスポート試験は経済産業省が認定する、国家試験です。「ＩＴパスポート試験」では、「パソコン操作ができる」、「表計算ソフトを使ってデータを処理できる」というレベルには留まらず、これからの社会人にとって必要な、ＩＴを正しく理解し、積極的に活用する知識を身につけます。本学では試験対策をサポートしています。

MOS (Microsoft Office Specialist)

MOSとは、Microsoft Officeの利用能力を証明する世界的な資格試験です。試験に合格することで利用能力を証明でき、また、合格を目指すことで社会に出て役立つIT技術力を身に付けることができます。先ずは表計算ソフトである「Excel」を修得します。

簿記３級

年間50万人超が受験する認知度と信頼性の高い資格です。先ずは基本的な商業簿記を修得し、「日商簿記検定３級」合格を目指します。経理・財務担当者以外でも、職種に関わらず評価する企業が多いです。会社の経営状態を把握する力を付けることで就職にも有利となります。

4. 健康支援

健康支援センターの役割

大学生活を有意義に過ごすために、心身ともに健康でありたいものです。また、大学生ともなれば自分の健康は自分で管理する責任があると考えるべきです。

健康支援センターでは、けがや、身体の調子が悪い時の手当、健康状態についての相談など、学生の健康全般のサポートをしています。

〔健康相談〕

身体の調子がおかしい、痛いところがある、食欲がない、眠れない日が続いているなどの健康不安があれば、どんなことでも相談してください。必要に応じて専門の医療機関を紹介することもできます。

〔応急処置〕

講義中、課外活動中、登学途中などに、身体の調子が悪くなったり、けがをした時は応急処置をおこなったり、状況によっては医療機関の紹介をしています。

※健康支援センターでは内服薬の提供はできません。

〔禁煙サポート〕

これまでの喫煙状況、禁煙の意志を伺い、禁煙に向けてのアドバイスをしています。

〔救急カバンの貸し出し〕

課外活動や学校行事で必要な時は救急カバンを貸し出しています。事前に相談、申し込みをしてください。

学校感染症（予防）

大学のような集団生活を営む場所で感染症が拡大してしまうと、短期間に多くの人へ感染が拡がり、大きな影響を及ぼします。皆さんが健康な状態で教育を受けることができるよう、日ごろから感染対策（病原体を持ち込まない。持ち出さない。拡げない。）につとめてください。

＜日常できる感染症予防対策＞

1） 外出後の手洗い・うがい

2） 適度な湿度の保持

3） 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

4） 人混みや繁華街への外出を控える

5） 咳エチケット

・マスクを着用

（鼻から顎までを隙間なく覆う。適宜取り換え）

・咳・くしゃみをする時はティッシュなどで口や鼻を覆う

（他の人から顔をそらす。使用後のティッシュは適切に処理）

・ 咳・くしゃみをした時は石鹸と流水での手洗い

（抑えた手から感染させないよう）

＜感染したかな？と感じたら＞

発熱，咳などの症状が出たら、マスクを着用し、最寄りの医療機関で受診してください。

学校感染症（登学停止と公欠）

学校保健安全法では感染症に罹患した場合は出席停止等の措置を講じることとされています。罹患した場合は、感染拡大を防ぐため、主治医から修学可能の判断を受けるまで登学はせず、病院または自宅で静養してください。

なお、本学では次頁に記載された、特に感染の拡大が懸念される感染症に罹患した場合は、学生本人が定められた申請をすることで、授業は公欠の扱いになります。

公欠とは、本学の定める公的な理由で授業を欠席することで、欠席の扱いにはなりません。該当の授業日を全体の授業回数から減じてその学生の出席率を算定します。なお、医師から「登学禁止」を指示される場合がありますが、本学では、特に広く感染するおそれがあると本学が認めた感染症のみを公欠の対象としていますので、「登学禁止を指示されること」と「公欠の扱いになること」は必ずしも一致しません。大学が公欠と指定した疾患名以外の場合は、「欠席連絡届」で大学に欠席理由を届けるようにしてください。

※公欠、欠席連絡届の申請方法については56～58頁を参照してください。

公欠と本学が認める学校感染症

	疾患名	出席停止の期間
第一種	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう　南米出血熱　ペスト マールブルグ病　ラッサ熱 急性灰白髄炎　ジフテリア 重症急性呼吸器症候群(SARS) 中東呼吸器症候群(MERS) 特定鳥インフルエンザ 指定感染症および新感染症	治癒するまで
第二種	インフルエンザ	発症した後５日を経過し、かつ、解熱した後２日を経過するまで
	百日咳	特有の咳 が消失するまで又は５日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻しん	解熱した後３日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹 が発現した後５日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発しんが消失するまで
	水痘	すべての発しんがかさぶたになるまで
	咽頭結膜熱	発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後２日を経過するまで
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	
第三種	コレラ　細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス　パラチフス 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 　なお、感染性胃腸炎（ノロウィルス感染症）、サルモネラ感染症、カンピロバクター感染症、マイコプラズマ感染症については第三種と同様の扱いとする	

※上記の出席停止期間はめやすであり、本学では医師の診断書に記載された期間を公欠の対象となる期間とします。

定期健康診断

学校保健安全法に基づき、本学では４月に健康診断を実施しています。学生は毎年受診する必要があります。指定された日に受信できなかった場合は、速やかに健康支援センターに相談し指示を受けてください。受診できなかった場合は、自己負担で最寄りの医療機関で受診し結果を大学に提出してください。

就職試験や学外実習などで必要な「健康診断証明書」はこの受診結果に基づいて５月頃から発行します。

健康診断の結果は面談時等に担任から渡します。再検査が必要な場合は速やかに医療機関で検査や相談を受け、再検査の結果を健康支援センターに報告してください。

抗体検査

学科により、学外実習時に必要になる抗体検査を入学時に実施します。抗体が陽性でなかった場合、学外実習を受けいれてもらえなかったり、感染症の集団発生の元となる場合があります。所属学科の指示に従い、予防接種を受けるようにしてください。

また、抗体検査の結果についても所属学科の指示にしたがい自己管理をしてください。

AED（自動体外式除細動器）の設置

本学では、「エントラスホール」「P棟入り口」「第2キャンパスグランドのクラブハウス内」に設置しています。AEDは、電気ショックによって心臓の働きを正常なリズムに戻すための医療機器で、操作方法を音声でガイドしてくれますので落ち着いて指示にしたがってください。

心肺停止患者の生存の鍵を握るのは、「病院での処置を開始するまでの時間」で、蘇生の成功率を高めるためには救命の連鎖が重要です。1. 早く通報（119番）2. 早く心肺蘇生　3. 早く除細動（AED）4. 早く救急隊・病院での治療をすることの4つの鎖がつながっていることが大切なのです。万が一の場合に備え、設置場所を確認しておきましょう。

危険ドラッグは人生を壊します

危険ドラッグは、原料に何が含まれているかわかりません。使用すると死に至ることがある非常に危険な薬物です。

「ハーブ」「お香」「アロマオイル」などと称して危険ドラッグが販売されています。これらは、一時的に気分が高揚したり、多幸感が得られるようですが、呼吸困難、意識消失を起こしたり、異常行動を起こして他人に危害を加えたりするなど大変危険なものです。

インターネットや繁華街の店頭、自動販売機など販売手口は巧妙になり、だれでも接触してしまう可能性のある問題となってきています。

薬物依存に陥ってしまえば、「治す」特効薬は、残念ながらいまだにありません。いったん異常となった神経系は、半永久的に元には戻らない可能性があるとされています。

「やせられる」「自信がつく」「気分爽快になる」などの文句に魅せられ、危険な薬物であることを知らずに、薬物依存に陥るケースも少なくありません。騙されないように注意してください。

卒業要件
カリキュラム表

各学科 卒業要件

卒業必修科目をすべて修得した上で以下の要件をすべて満たすこと。

理学療法学科	総単位数：126単位	
	教養科目	26単位 （ただし各区分から１科目以上修得）
	専門基礎科目	合計96単位（ただし、2019年度以前の入学生は90単位）
	専門科目	
	その他、上記以外に教養科目・専門基礎科目・専門科目のいずれかから４単位（ただし、2019年度以前の入学生は10単位）	
	専門準備科目	卒業単位に含まれません

看護医療学科	総単位数：132単位	
	教養科目	26単位 （ただし各区分から１科目以上修得）
	専門基礎科目	25単位
	専門科目	81単位（ただし「地域看護学実習」または「病院インターンシップ」のいずれかを履修すること）
	教育職員免許状科目	卒業単位に含まれません
	専門準備科目	

健康栄養学科	総単位数：124単位	
	教養科目	26単位 （ただし各区分から１科目以上修得）
	専門基礎科目	合計78単位
	専門科目	
	その他、上記以外に教養科目・専門基礎科目・専門科目のいずれかから20単位	
	教育職員免許状科目	卒業単位に含まれません
	専門準備科目	

人間環境デザイン学科	総単位数：124単位	
	教養科目	26単位 （ただし各区分から１科目以上修得）
	専門基礎科目	合計78単位
	専門科目	
	その他、上記以外に教養科目・専門基礎科目・専門科目のいずれかから20単位	
	教育職員免許状科目	卒業単位に含まれません
	専門準備科目	

現代教育学科	総単位数：124単位	
	教養科目	26単位 （ただし各区分から１科目以上修得）
	専門基礎科目	合計78単位
	専門科目	
	その他、上記以外に教養科目・専門基礎科目・専門科目のいずれかから20単位	
	専門準備科目	卒業単位に含まれません

※2016年度以前の入学生は入学時の学生ハンドブックを参照してください。

科目分類番号

各科目の区分や学問分野、難易度をあらわす 7 桁の科目分類番号をつけています。それぞれの科目の位置づけをよく理解して履修してください。科目分類番号は次のような仕組みになっています。

例）理学療法学科 「理学療法概論」の科目分類番号＝PTF1131

PTF：学問分野・科目群「基礎理学療法学」を表しています。

11　：「理学療法学科」の科目であることを表しています。学籍番号の 3 桁目、4 桁目で表される学科コードです。00 は複数の学科共通の科目を表しています。

3　：「専門科目」であることを表しています。

0 ：専門準備科目
1 ：教養科目
2 ：専門基礎科目
3 ：専門科目
4 ：健康科学部の教育職員免許状取得に関する科目

1　：配当年次を表しています。

学問分野・科目群記号

教養科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
人間と社会	People and Society	PES
歴史と文化	History and Culture	HIC
自然・科学と人間	Nature, Science and People	NSP
言語と情報	Language and Information	LAI
健康とスポーツ	Health and Sports	HES
教養実践プログラム	Practical Liberal Arts Programs	PLA

健康科学部の共通科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
共通科目	Faculty of Health Sciences Common Subjects	FHS

健康科学部の教育職員免許状取得に関する科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
教育職員免許状に関する科目	Subjects for Teacher Certification	STC

専門準備科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
専門準備科目	Remedial Education Programs in Preparation for Special Subjects Learning	REP

理学療法学科の専門基礎科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
人体の構造と機能及び心身の発達	Structure and Function of the Human Body, Mind and Body Development	SFH
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	Health Care Welfare and Rehabilitation Concepts	HCW
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	Mechanisms of Disease and Disabilities, Promotion of Recovery Processes	MDD

理学療法学科の専門科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
基礎理学療法学	Physical Therapy Fundamental	PTF
理学療法管理学	Physical Therapy Management	PTM
理学療法評価学	Physical Therapy Evaluation	PTE
理学療法治療学	Physical Therapeutics	PHT
地域理学療法学	Community Physical Therapy	CPT
臨床実習	Clinical Practics	CLP

看護医療学科の専門基礎科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
人体の構造と機能	Structures and Functions of the Human Body	SFH
疾病の成り立ちと回復の促進	Disease Mechanisms and Promotion of Recovery	DMP
社会のしくみと健康	Societal Mechanisms and Public Health	SMP

看護医療学科の専門科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
基礎看護学	Fundamentals of Nursing	FUN
成人看護学	Adult Nursing	AND
母子看護学	Maternity and Child Nursing	MCN
老年・精神看護学	Geriatric and Psychiatric Nursing	GPN
地域看護学	Community Health Nursing	CHN
統合・発展科目	Integrated and Constructive Subjects	ICS

健康栄養学科の専門基礎科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
社会・環境（人間と生活）と健康	Society, Environment and Health	SEH
人体の構造と機能・疾病の成り立ち	Structures and Functions of the Human Body, Disease Mechanisms	SFH
食べ物と健康	Food and Health	FOH

健康栄養学科の専門科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
基礎栄養学	Fundamentals of Nutrition	FUN
応用栄養学	Applied Nutrition	APN
栄養教育論	Nutrition Education	NUE
臨床栄養学	Clinical Nutrition	CLN
公衆栄養学	Public Nutrition	PUN
給食経営管理論	School Lunch Management	SLM
総合演習	Comprehensive Seminar	COS
臨地実習	On-Site Training	OST
卒業研究	Graduation Research Project	GRP

人間環境デザイン学科の専門基礎科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
社会・環境	Society and Environment	SOE
身体機能	Function of the Human Body	FHB
知覚と認識	Perception and Cognition	PEC
表現の技術	Techniques of Expression	TEE

人間環境デザイン学科の専門科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
専門分野Ⅰ	Specialized Subjects Ⅰ	SSⅠ
専門分野Ⅱ	Specialized Subjects Ⅱ	SSⅡ
専門分野Ⅲ	Specialized Subjects Ⅲ	SSⅢ
専門分野Ⅳ	Specialized Subjects Ⅳ	SSⅣ
プロジェクトゼミ	Project Seminar	PRS
卒業研究	Graduation Research Project	GRP

現代教育学科の専門基礎科目・専門科目

学問分野・科目群名称	英語名称	記号
教育学の基礎	Fundamentals of Pedagogy	FUP
教育と社会システム	Education and Social Systems	ESS
教育と教職	Education and the Teaching Profession	ETP
教育と情報	Education and Information	EDI
心の理解	Understanding of the Human Mind	UHM
多文化教育・異文化理解	Multicultural Education and Cross-Cultural Understanding	MUE
幼児教育・保育の基礎	Fundamentals of Early Childhood Education and Child Care	FEC
幼児教育・保育の内容	Curriculum for Early Childhood Education and Child Care	CEC
幼児教育・保育の方法	Methodology for Early Childhood Education and Child Care	MEC
幼児教育・保育の実践	Practices in Early Childhood Education and Child Care	PEC
教科教育の基礎	Fundamentals of School Subject Pedagogy	FSS
教科教育の内容	Curriculum for School Subject Pedagogy	CSS
教科教育の方法	Methodology for School Subject Pedagogy	MSS
教科教育の実践	Practices in School Subject Pedagogy	PSS
教科外活動の基礎	Fundamentals of Extracurricular Activities	FEA
教科外活動の内容	Curriculum for Extracurricular Activities	CEA
教科外活動の方法	Methodology for Extracurricular Activities	MEA
教科外活動の実践	Practices in Extracurricular Activities	PEA
学校保健の基礎	Fundamentals of School Health Nursing	FSH
学校保健の内容	Curriculum for School Health Nursing	CSH
学校保健の方法	Methodology for School Health Nursing	MSH
学校保健の実践	Practices in School Health Nursing	PSH
特別支援教育の基礎	Fundamentals of Special Needs Education	FSN
特別支援教育の内容	Curriculum for Special Needs Education	CSN
特別支援教育の方法	Methodology for Special Needs Education	MSN
特別支援教育の実践	Practices in Special Needs Education	PSN
英語教育に関する科目	Subjects in English Education	SEE
セメスター留学	Study Abroad program（One Semester）	SAP
教育実習・見学	Teaching Practice and Field Trips	TPF
卒業研究	Graduation Research Project	GRP

カリキュラム表

学科ごとに１年次から４年次まで、開講されるすべての科目を示したものがカリキュラム表です。畿央大学では毎年カリキュラム改革を進めているため、入学年度によって開講される科目や卒業までに単位修得しなければならない科目の扱いが異なります。

健康科学部
理学療法学科　１回生用（2020年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期							
						１回生		２回生		３回生		４回生	
						前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推				２					
		PES0012	東洋思想	２推					２				
		PES0011	心理学概論	１選		２							
		PES0012	人間関係論	２選				２					
		PES0011	法学概論	１選		２							
		PES0012	日本国憲法	２選					２				
		PES0011	経済学概論	１選			２						
		PES0011	人権教育	１選			２						
		PES0012	国際社会論	２選				２					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選				２					
		HIC0012	科学史	２選					２				
		HIC0011	文化芸術論	１選			２						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選		２							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選		２							
		NSP0012	生命倫理	２必	○			２					
		NSP0012	地球環境論	２選				２					
		NSP0011	数理科学入門	１選			２						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	１必	○	２							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	１必	○		２						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	２選				２					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	２選					２				
		LAI0011	短期語学留学	１選		①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必	○	１							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必	○		１						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１選			２						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	１選			１						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	１選			①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	１必	○	１							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必	○	１							
		PLA1114	キャリア形成セミナー	４必	○								１
		PLA0011	日本語と表現	１選		１							
		PLA1112	海外インターンシップ	２選					①				

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：39単位

［表中の記号等について］
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
理学療法学科　１回生用（2020年度入学生）

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期							
						１回生		２回生		３回生		４回生	
						前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	１必	○	2							
		FHS0021	精神保健学	１選			2						
		FHS0021	障害者心理学	１選			2						
		FHS0021	高齢者心理学	１選		2							
		FHS0021	児童心理学	１選		2							
		FHS0022	自立生活支援論	２選				2					
		FHS0021	社会福祉論	１選			2						
	人体の構造と機能及び心身の発達	SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅰ	１必	○	1							
		SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅱ	１必	○		1						
		SFH1121	解剖学（内臓）	１必	○	1							
		SFH1121	解剖学実習	１必	○		1						
		SFH1121	分子生物学	１必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅰ	１必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅱ	１必	○	2							
		SFH1121	生理学実習	１必	○		1						
		SFH1122	運動学Ａ	２必	○			1					
		SFH1122	運動学Ｂ	２必	○			1					
		SFH1122	運動学実習	２必	○				1				
		SFH1121	病理学	１必	○		1						
		SFH1122	臨床心理学	２必	○				1				
		SFH1122	人間発達学	２必	○				1				
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HCW1121	チーム医療論	１必	○	1							
		HCW1121	チーム医療ふれあい実習	１必	○	①							
		HCW1122	保健医療福祉概論	２必	○				1				
		HCW1121	リハビリテーション概論	１必	○	1							
		HCW1122	科学英語論文講読法	２必	○				1				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	MDD1121	リハビリテーション医学	１必	○		1						
		MDD1121	内科学	１必	○		1						
		MDD1123	老年医学	３必	○					1			
		MDD1122	整形外科学Ⅰ	２必	○			1					
		MDD1122	整形外科学Ⅱ	２必	○				1				
		MDD1122	神経内科学	２必	○			2					
		MDD1122	小児科学	２必	○				1				
		MDD1121	一般臨床医学	１必	○		1						
		MDD1122	精神医学	２必	○			1					
		MDD1122	医療画像学	２必	○				1				
		MDD1123	救急医学	３必	○					1			
		MDD1121	栄養学	１必	○		1						
		MDD1121	公衆衛生学	１必	○	1							
専門基礎科目単位数合計　必修：36単位　推奨：0単位　選択：12単位													

健康科学部
理学療法学科　１回生用（2020年度入学生）

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期							
						１回生		２回生		３回生		４回生	
						前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	基礎理学療法学	PTF1131	理学療法概論	１必	○	2							
		PTF1134	理学療法総合演習	４必	○								2
		PTF1134	卒業研究	４必	○							②	
	理学療法管理学	PTM1133	理学療法管理運営学	３必	○					2			
	理学療法評価学	PTE1132	理学療法評価学演習	２必	○			1					
		PTE1132	臨床解剖学演習	２必	○			1					
		PTE1132	理学療法評価学実習	２必	○				1				
		PTE1133	理学療法研究法	３必	○					2			
		PTE1133	理学療法研究法演習	３必	○						①		
	理学療法治療学	PHT1132	物理療法学	２必	○				1				
		PHT1133	物理療法学実習	３必	○					1			
		PHT1131	運動療法学総論	１必	○		1						
		PHT1132	運動系理学療法学Ⅰ	２必	○				1				
		PHT1133	運動系理学療法学Ⅱ	３必	○					1			
		PHT1133	運動系理学療法学実習	３必	○						1		
		PHT1133	神経系理学療法学Ａ	３必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学Ｂ	３必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学実習	３必	○						1		
		PHT1132	循環呼吸系理学療法学Ａ	２必	○				1				
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学Ｂ	３必	○						1		
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学実習	３必	○					1			
		PHT1133	代謝系理学療法学	３必	○						1		
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅰ	２必	○			1					
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅱ	２必	○				1				
		PHT1133	生活技術学	３必	○					1			
		PHT1133	生活技術学実習	３必	○						1		
		PHT1133	義肢装具学	３必	○					1			
		PHT1133	義肢装具学実習	３必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習Ａ	３必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習Ｂ	３必	○						1		
		PHT1133	スポーツ系理学療法学	３必	○						1		
	地域理学療法学	CPT1133	生活環境学	３必	○					1			
		CPT1133	老年系理学療法学	３必	○					1			
		CPT1133	地域理学療法学	３必	○						1		
	臨床実習	CLP1132	通所・訪問リハビリテーション実習	２必	○				①				
		PTF1133	臨床理学療法学	３必	○						1		
		CLP1133	臨床評価実習	３必	○						③		
		CLP1134	総合臨床実習	４必	○							⑯	
専門科目単位数合計　必修：60単位　推奨：0単位　選択：0単位													

※開講時期中の丸数字は、集中講義形式で実施予定

専門準備科目	REP1101	PTへのベーシックサイエンス	１選		0								
	REP1101	PTへの物理	１選		0								

健康科学部
理学療法学科　２回生用（2019年度入学生）

※卒業要件についてはＰ.126参照
※科目名称の　　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期							
						１回生		２回生		３回生		４回生	
						前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推				２					
		PES0012	東洋思想	２推					２				
		PES0011	心理学概論	１選		２							
		PES0012	人間関係論	２選				２					
		PES0011	法学概論	１選		２							
		PES0012	日本国憲法	２選					２				
		PES0011	経済学概論	１選			２						
		PES0011	人権教育	１選			２						
		PES0012	国際社会論	２選				２					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選				２					
		HIC0012	科学史	２選					２				
		HIC0011	文化芸術論	１選			２						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選		２							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選		２							
		NSP0012	生命倫理	２必	○			２					
		NSP0012	地球環境論	２選				２					
		NSP0011	数理科学入門	１選			２						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	１必	○	２							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	１必	○		２						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	２選				２					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	２選					２				
		LAI0011	短期語学留学	１選		①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必	○	１							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必	○		１						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１選			２						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	１選			１						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	１選			①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	１必	○	１							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必	○	１							
		PLA1114	キャリア形成セミナー	４必	○								１
		PLA0011	日本語と表現	１選		１							
		PLA1112	海外インターンシップ	２選					①				
教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：39単位													

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
理学療法学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期							
						1回生		2回生		3回生		4回生	
						前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 必	○	2							
		FHS0021	精神保健学	1 選			2						
		FHS0021	障害者心理学	1 選			2						
		FHS0021	高齢者心理学	1 選		2							
		FHS0021	児童心理学	1 選		2							
		FHS0022	自立生活支援論	2 選				2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選			2						
	人体の構造と機能及び心身の発達	SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅰ	1 必	○	1							
		SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅱ	1 必	○		1						
		SFH1121	解剖学（内臓）	1 必	○	1							
		SFH1121	解剖学実習	1 必	○		1						
		SFH1121	分子生物学	1 必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅰ	1 必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅱ	1 必	○	2							
		SFH1121	生理学実習	1 必	○		1						
		SFH1122	運動学A	2 必	○			1					
		SFH1122	運動学B	2 必	○			1					
		SFH1122	運動学実習	2 必	○				1				
		SFH1121	病理学	1 必	○		1						
		SFH1122	臨床心理学	2 必	○				1				
		SFH1122	人間発達学	2 必	○				1				
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HCW1121	チーム医療論	1 必	○	1							
		HCW1121	チーム医療ふれあい実習	1 必	○	①							
		HCW1122	保健医療福祉概論	2 必	○				1				
		HCW1121	リハビリテーション概論	1 必	○	1							
		HCW1122	科学英語論文講読法	2 必	○				1				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	MDD1121	リハビリテーション医学	1 必	○		1						
		MDD1121	内科学	1 必	○		1						
		MDD1123	老年医学	3 必	○					1			
		MDD1122	整形外科学Ⅰ	2 必	○			1					
		MDD1122	整形外科学Ⅱ	2 必	○				1				
		MDD1122	神経内科学	2 必	○			2					
		MDD1122	小児科学	2 必	○				1				
		MDD1121	一般臨床医学	1 必	○		1						
		MDD1122	精神医学	2 必	○			1					
		MDD1122	医療画像学	2 必	○				1				
		MDD1123	救急医学	3 選*	○					1			
		MDD1121	栄養学	1 選*			1						
		MDD1121	公衆衛生学	1 選*		1							
専門基礎科目単位数合計　必修：33単位　推奨：0単位　選択：15単位													

※*の3科目(救急医学・栄養学・公衆衛生学）のうち1科目選択必修

健康科学部
理学療法学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	基礎理学療法学	PTF1131	理学療法概論	1 必	○	1							
		PTF1133	臨床理学療法学	3 必	○						1		
		PTF1133	管理運営学	3 必	○					1			
		PTF1134	理学療法総合演習	4 必	○								1
		PTF1134	卒業研究	4 必	○							②	
	理学療法評価学	PTE1132	理学療法評価学演習	2 必	○			1					
		PTE1132	臨床解剖学演習	2 必	○			1					
		PTE1132	理学療法評価学実習	2 必	○				1				
		PTE1133	理学療法研究法	3 必	○					1			
		PTE1133	理学療法研究法演習	3 必	○						①		
	理学療法治療学	PHT1132	物理療法学	2 必	○				1				
		PHT1133	物理療法学実習	3 必	○					1			
		PHT1131	運動療法学総論	1 必	○		1						
		PHT1132	運動系理学療法学Ⅰ	2 必	○				1				
		PHT1133	運動系理学療法学Ⅱ	3 必	○					1			
		PHT1133	運動系理学療法学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	神経系理学療法学A	3 必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学B	3 必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学実習	3 必	○						1		
		PHT1132	循環呼吸系理学療法学A	2 必	○				1				
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学B	3 必	○						1		
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学実習	3 必	○					1			
		PHT1133	代謝系理学療法学	3 必	○						1		
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅰ	2 必	○			1					
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅱ	2 必	○				1				
		PHT1133	生活技術学	3 必	○					1			
		PHT1133	生活技術学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	義肢装具学	3 必	○					1			
		PHT1133	義肢装具学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習A	3 必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習B	3 必	○						1		
		PHT1133	スポーツ系理学療法学	3 必	○						1		
	地域理学療法学	CPT1133	生活環境学	3 必	○					1			
		CPT1131	◆レクリエーション理論	1 必	○	1							
		CPT1131	◆レクリエーション実技	1 選			1						
		CPT1133	老年系理学療法学	3 必	○					1			
		CPT1133	地域理学療法学	3 必	○						1		
		CPT1133	地域理学療法学演習	3 必	○						1		
	臨床実習	CLP1132	臨床指導	2 必	○				①				
		CLP1133	臨床評価実習	3 必	○						③		
		CLP1134	総合臨床実習	4 必	○							⑯	
専門科目単位数合計　必修：58単位　推奨：0単位　選択：1単位													

専門準備科目	REP1101	PTへのベーシックサイエンス	1 選		0								
	REP1101	PTへの物理	1 選		0								

健康科学部
理学療法学科　3回生用（2018年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推				2					
		PES0012	東洋思想	2 推					2				
		PES0011	心理学概論	1 選		2							
		PES0012	人間関係論	2 選				2					
		PES0011	法学概論	1 選		2							
		PES0012	日本国憲法	2 選					2				
		PES0011	経済学概論	1 選			2						
		PES0011	人権教育	1 選			2						
		PES0012	国際社会論	2 選				2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選				2					
		HIC0012	科学史	2 選					2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選			2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選		2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選		2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	○			2					
		NSP0012	地球環境論	2 選				2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選			2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○	2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○		2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選				2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選					2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選		①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○	1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	○		1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選			2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 選			1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選			①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○	1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○	1							
		PLA1114	キャリア形成セミナー	4 必	○								1
		PLA0011	日本語と表現	1 選		1							
		PLA1112	海外インターンシップ	2 選					①				
教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：39単位													

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
理学療法学科　3回生用(2018年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 必	○	2							
		FHS0021	精神保健学	1 選			2						
		FHS0021	障害者心理学	1 選			2						
		FHS0021	高齢者心理学	1 選		2							
		FHS0021	児童心理学	1 選		2							
		FHS0022	自立生活支援論	2 選				2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選			2						
	人体の構造と機能及び心身の発達	SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅰ	1 必	○	1							
		SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅱ	1 必	○		1						
		SFH1121	解剖学（内臓）	1 必	○	1							
		SFH1121	解剖学実習	1 必	○		1						
		SFH1121	分子生物学	1 必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅰ	1 必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅱ	1 必	○	2							
		SFH1121	生理学実習	1 必	○		1						
		SFH1122	運動学A	2 必	○			1					
		SFH1122	運動学B	2 必	○			1					
		SFH1122	運動学実習	2 必	○				1				
		SFH1121	病理学	1 必	○		1						
		SFH1122	臨床心理学	2 必	○				1				
		SFH1122	人間発達学	2 必	○				1				
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HCW1121	チーム医療論	1 必	○	1							
		HCW1121	チーム医療ふれあい実習	1 必	○	①							
		HCW1122	保健医療福祉概論	2 必	○				1				
		HCW1121	リハビリテーション概論	1 必	○	1							
		HCW1122	科学英語論文講読法	2 必	○				1				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	MDD1121	リハビリテーション医学	1 必	○		1						
		MDD1121	内科学	1 必	○		1						
		MDD1123	老年医学	3 必	○					1			
		MDD1122	整形外科学Ⅰ	2 必	○			1					
		MDD1122	整形外科学Ⅱ	2 必	○				1				
		MDD1122	神経内科学	2 必	○			2					
		MDD1122	小児科学	2 必	○				1				
		MDD1121	一般臨床医学	1 必	○		1						
		MDD1122	精神医学	2 必	○			1					
		MDD1122	医療画像学	2 必	○				1				
		MDD1123	救急医学	3 選*	○					1			
		MDD1121	栄養学	1 選*			1						
		MDD1121	公衆衛生学	1 選*		1							
専門基礎科目単位数合計　必修：33単位　推奨：0単位　選択：15単位													

※*の3科目(救急医学・栄養学・公衆衛生学）のうち1科目選択必修

健康科学部
理学療法学科　3回生用(2018年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期							
						1回生		2回生		3回生		4回生	
						前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	基礎理学療法学	PTF1131	理学療法概論	1 必	○	1							
		PTF1133	臨床理学療法学	3 必	○						1		
		PTF1133	管理運営学	3 必	○					1			
		PTF1134	理学療法総合演習	4 必	○								1
		PTF1134	卒業研究	4 必	○							②	
	理学療法評価学	PTE1132	理学療法評価学演習	2 必	○			1					
		PTE1132	臨床解剖学演習	2 必	○			1					
		PTE1132	理学療法評価学実習	2 必	○				1				
		PTE1133	理学療法研究法	3 必	○					1			
		PTE1133	理学療法研究法演習	3 必	○						①		
	理学療法治療学	PHT1132	物理療法学	2 必	○				1				
		PHT1133	物理療法学実習	3 必	○					1			
		PHT1131	運動療法学総論	1 必	○		1						
		PHT1132	運動系理学療法学Ⅰ	2 必	○				1				
		PHT1133	運動系理学療法学Ⅱ	3 必	○					1			
		PHT1133	運動系理学療法学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	神経系理学療法学A	3 必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学B	3 必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学実習	3 必	○						1		
		PHT1132	循環呼吸系理学療法学A	2 必	○				1				
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学B	3 必	○						1		
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学実習	3 必	○					1			
		PHT1133	代謝系理学療法学	3 必	○						1		
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅰ	2 必	○			1					
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅱ	2 必	○				1				
		PHT1133	生活技術学	3 必	○					1			
		PHT1133	生活技術学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	義肢装具学	3 必	○					1			
		PHT1133	義肢装具学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習A	3 必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習B	3 必	○						1		
		PHT1133	スポーツ系理学療法学	3 必	○						1		
	地域理学療法学	CPT1133	生活環境学	3 必	○					1			
		CPT1131	◆レクリエーション理論	1 必	○	1							
		CPT1131	◆レクリエーション実技	1 選			1						
		CPT1133	老年系理学療法学	3 必	○					1			
		CPT1133	地域理学療法学	3 必	○						1		
		CPT1133	地域理学療法学演習	3 必	○						1		
	臨床実習	CLP1132	臨床指導	2 必	○				①				
		CLP1133	臨床評価実習	3 必	○						③		
		CLP1134	総合臨床実習	4 必	○							⑯	
専門科目単位数合計　必修：58単位　推奨：0単位　選択：1単位													

専門準備科目		REP1101	PTへのベーシックサイエンス	1 選		0							
		REP1101	PTへの物理	1 選		0							

健康科学部
理学療法学科　4回生用（2017年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推				2					
		PES0012	東洋思想	2 推					2				
		PES0011	心理学概論	1 選		2							
		PES0012	人間関係論	2 選				2					
		PES0011	法学概論	1 選		2							
		PES0012	日本国憲法	2 選					2				
		PES0011	経済学概論	1 選			2						
		PES0011	人権教育	1 選			2						
		PES0012	国際社会論	2 選				2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選				2					
		HIC0012	科学史	2 選					2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選			2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選		2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選		2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	○			2					
		NSP0012	地球環境論	2 選				2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選			2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○	2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○		2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選				2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選					2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選		①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○	1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	○		1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選			2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 選			1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選		①*							
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○	1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○	1							
		PLA1114	キャリア形成セミナー	4 必	○								1
		PLA0011	日本語と表現	1 選		1							
		PLA1112	海外インターンシップ	2 選					①				
教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：39単位													

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉1必は1回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
理学療法学科　4回生用(2017年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 必	○	2							
		FHS0021	精神保健学	1 選			2						
		FHS0021	障害者心理学	1 選			2						
		FHS0021	高齢者心理学	1 選		2							
		FHS0021	児童心理学	1 選		2							
		FHS0022	自立生活支援論	2 選				2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選			2						
	人体の構造と機能及び心身の発達	SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅰ	1 必	○	1							
		SFH1121	解剖学（骨格・筋・神経）Ⅱ	1 必	○		1						
		SFH1121	解剖学（内臓）	1 必	○	1							
		SFH1121	解剖学実習	1 必	○		1						
		SFH1121	分子生物学	1 必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅰ	1 必	○	1							
		SFH1121	生理学Ⅱ	1 必	○	2							
		SFH1121	生理学実習	1 必	○		1						
		SFH1122	運動学A	2 必	○			1					
		SFH1122	運動学B	2 必	○			1					
		SFH1122	運動学実習	2 必	○				1				
		SFH1121	病理学	1 必	○		1						
		SFH1122	臨床心理学	2 必	○				1				
		SFH1122	人間発達学	2 必	○				1				
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HCW1121	チーム医療論	1 必	○	1							
		HCW1121	チーム医療ふれあい実習	1 必	○	①							
		HCW1122	保健医療福祉概論	2 必	○				1				
		HCW1121	リハビリテーション概論	1 必	○	1							
		HCW1122	科学英語論文講読法	2 必	○				1				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	MDD1121	リハビリテーション医学	1 必	○		1						
		MDD1121	内科学	1 必	○		1						
		MDD1123	老年医学	3 必	○					1			
		MDD1122	整形外科学Ⅰ	2 必	○			1					
		MDD1122	整形外科学Ⅱ	2 必	○				1				
		MDD1122	神経内科学	2 必	○			2					
		MDD1122	小児科学	2 必	○				1				
		MDD1121	一般臨床医学	1 必	○		1						
		MDD1122	精神医学	2 必	○			1					
		MDD1122	医療画像学	2 必	○				1				
		MDD1123	救急医学	3 選*	○					1			
		MDD1121	栄養学	1 選*			1						
		MDD1121	公衆衛生学	1 選*		1							
専門基礎科目単位数合計　必修：33単位　推奨：0単位　選択：15単位													

※*の3科目(救急医学・栄養学・公衆衛生学）のうち1科目選択必修

健康科学部
理学療法学科　4回生用(2017年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士 資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	基礎理学療法学	PTF1131	理学療法概論	1 必	○	1							
		PTF1133	臨床理学療法学	3 必	○						1		
		PTF1133	管理運営学	3 必	○					1			
		PTF1134	理学療法総合演習	4 必	○								1
		PTF1134	卒業研究	4 必	○							②	
	理学療法評価学	PTE1132	理学療法評価学演習	2 必	○			1					
		PTE1132	臨床解剖学演習	2 必	○			1					
		PTE1132	理学療法評価学実習	2 必	○				1				
		PTE1133	理学療法研究法	3 必	○					1			
		PTE1133	理学療法研究法演習	3 必	○						①		
	理学療法治療学	PHT1132	物理療法学	2 必	○				1				
		PHT1133	物理療法学実習	3 必	○					1			
		PHT1131	運動療法学総論	1 必	○		1						
		PHT1132	運動系理学療法学Ⅰ	2 必	○				1				
		PHT1133	運動系理学療法学Ⅱ	3 必	○					1			
		PHT1133	運動系理学療法学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	神経系理学療法学A	3 必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学B	3 必	○					1			
		PHT1133	神経系理学療法学実習	3 必	○						1		
		PHT1132	循環呼吸系理学療法学A	2 必	○				1				
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学B	3 必	○						1		
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学実習	3 必	○					1			
		PHT1133	代謝系理学療法学	3 必	○						1		
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅰ	2 必	○			1					
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅱ	2 必	○				1				
		PHT1133	生活技術学	3 必	○					1			
		PHT1133	生活技術学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	義肢装具学	3 必	○					1			
		PHT1133	義肢装具学実習	3 必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習A	3 必	○						1		
		PHT1133	理学療法技術実習B	3 必	○						1		
		PHT1133	スポーツ系理学療法学	3 必	○						1		
	地域理学療法学	CPT1133	生活環境学	3 必	○					1			
		CPT1131	◆レクリエーション理論	1 必	○	1							
		CPT1131	◆レクリエーション実技	1 選			1						
		CPT1133	老年系理学療法学	3 必	○					1			
		CPT1133	地域理学療法学	3 必	○						1		
		CPT1133	地域理学療法学演習	3 必	○						1		
	臨床実習	CLP1132	臨床指導	2 必	○				①				
		CLP1133	臨床評価実習	3 必	○						③		
		CLP1134	総合臨床実習	4 必	○							⑯	
専門科目単位数合計　必修：58単位　推奨：0単位　選択：1単位													

専門準備科目	REP1101	PTへのベーシックサイエンス	1 選		0								
	REP1101	PTへの物理	1 選		0								

健康科学部
看護医療学科　１回生用（2020年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程	実習	臨地	保健師課程	実習	臨地	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	△								2					
		PES0012	東洋思想	2 推	△									2				
		PES0011	心理学概論	1 必	○						2							
		PES0012	人間関係論	2 必	○								2					
		PES0011	法学概論	1 選	△						2							
		PES0012	日本国憲法	2 選	△									2				
		PES0011	経済学概論	1 選	△							2						
		PES0011	人権教育	1 選	△							2						
		PES0012	国際社会論	2 選	△								2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	△								2					
		HIC0012	科学史	2 選	△									2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	△							2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選	△						2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	△						2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	○								2					
		NSP0012	地球環境論	2 選	△								2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	△							2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○						2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○							2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選	△								2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選	△									2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選	△							①*						
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○						1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	△							1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 必	○							2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 必	○							1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選	△							①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○						1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○						1							
		PLA1411	チーム医療発展セミナー	1 必	○							1						
		PLA0011	日本語と表現	1 選	△						1							
		PLA1412	海外インターンシップ	2 選	△									①				
		PLA0014	学校インターンシップ	4 選	△												①	
		PLA1412	病院・施設ボランティア活動	2 選	△								①					
教養科目単位数合計　必修：18単位　推奨：4単位　選択：34単位																		
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選	△						2							
		FHS0021	精神保健学	1 選	△							2						
		FHS0022	障害者心理学	2 選	△									2				
		FHS0021	高齢者心理学	1 選	△						2							
		FHS0021	児童心理学	1 選	△						2							
		FHS0021	自立生活支援論	1 必	○						2							
		FHS0021	社会福祉論	1 必	○						2							

［表中の記号等について］
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。
指定規則対応科目欄　○…資格必修科目　△…資格対応推奨科目

健康科学部
看護医療学科　1回生用（2020年度入学生）

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習	臨地	実習	臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	人体の構造と機能		SFH1421	人体構造・機能学Ⅰ	1 必	○					2							
			SFH1421	人体構造・機能学Ⅱ	1 必	○						2						
			SFH1421	脳科学入門	1 選	△						2						
			SFH1421	生命活動と代謝	1 必	○						1						
			SFH1422	病理学	2 必	○							1					
			SFH1421	人間工学入門	1 選	△						2						
	疾病の成り立ちと回復の促進		DMP1421	感染・免疫学	1 必	○						2						
			DMP1422	病態医学Ⅰ	2 必	○							2					
			DMP1422	病態医学Ⅱ	2 必	○								2				
			DMP1422	薬と健康	2 必	○							2					
			DMP1421	食と栄養	1 選	△						2						
			DMP1422	生活とリハビリテーション	2 選	△							2					
			DMP1422	ヒトの遺伝学	2 選	△							2					
	社会のしくみと健康		SMP1421	チーム医療論	1 必	○					1							
			SMP1421	生活科学論	1 選	△					2							
			SMP1421	公衆衛生学	1 必	○						2						
			SMP1421	人間発達学	1 選	△					2							
専門基礎科目単位数合計　必修：21単位　推奨：0単位　選択：24単位																		
専門科目	専門分野Ⅰ	基礎看護学	FUN1431	看護学原論	1 必	○					2							
			FUN1433	看護倫理	3 必	○									2			
			FUN1431	看護技術基礎論	1 必	○					1							
			FUN1431	療養生活援助技術	1 必	○						2						
			FUN1432	診療過程援助技術	2 必	○							1					
			FUN1431	フィジカルアセスメント	1 必	○						1						
			FUN1432	看護過程基礎論	2 必	○							2					
			FUN1431	チーム医療ふれあい実習	1 必		○				①							
			FUN1431	基礎看護学実習	1 必		○					②						
	専門分野Ⅱ	成人看護学	AND1432	成人看護学対象論	2 必	○							2					
			AND1432	急性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			AND1433	急性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			AND1432	慢性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			AND1433	慢性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			AND1433	急性期看護学実習	3 必		○									③		
			AND1433	慢性期看護学実習	3 必		○									③		
		母子看護学	MCN1432	小児看護学対象論	2 必	○							2					
			MCN1432	小児看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	小児看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1432	母性看護学対象論	2 必	○							2					
			MCN1432	母性看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	母性看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1433	母子看護学実習	3 必		○									④		
		老年・精神看護学	GPN1432	老年看護学対象論	2 必	○							2					
			GPN1432	老年看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			GPN1433	老年看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			GPN1433	老年看護学実習	3 必		○									④		
			GPN1432	精神看護学対象論	2 必	○							2					
			GPN1432	精神看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			GPN1433	精神看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			GPN1433	精神看護学実習	3 必		○									②		

健康科学部
看護医療学科　１回生用（2020年度入学生）

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程			保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習	臨地		実習	臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	専門分野Ⅱ	地域看護学	CHN1432	地域看護学概論	2 必	○								2					
			CHN1432	公衆衛生看護学概論	2 選				○						2				
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅰ	4 必	○			○									1	
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅱ	4 選				○										2
			CHN1432	疫学	2 選				○						2				
			CHN1432	保健統計	2 選				○						2				
			CHN1433	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3 選				○							2			
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4 選				○									2	
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅲ	4 選				○										1
			CHN1433	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3 選				○							2			
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	4 選				○									2	
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅲ	4 選				○										1
			CHN1432	健康学特論	2 選				○						2				
			CHN1434	公衆衛生看護学管理論	4 選				○									2	
			CHN1434	地域看護学実習	4 選					○								②	
			CHN1434	公衆衛生看護学実習	4 選					○									③
	統合分野	統合・発展科目	ICS1434	在宅リハビリテーション	4 選	△												2	
			ICS1433	終末期ケア論	3 必	○										2			
			ICS1434	国際看護学Ⅰ	4 必	○												1	
			ICS1434	国際看護学Ⅱ	4 選													1	
			ICS1432	学校保健	2 選									2					
			ICS1432	養護概説	2 選										2				
			ICS1434	健康相談	4 選													2	
			ICS1433	医療安全論	3 必	○										2			
			ICS1434	災害看護学Ⅰ	4 必	○													1
			ICS1434	災害看護学Ⅱ	4 選	△													1
			ICS1434	看護管理論	4 必	○												2	
			ICS1432	在宅看護学概論	2 必	○									2				
			ICS1433	ケアマネージメント論	3 必	○										2			
			ICS1433	在宅看護学実習	3 必		○										②		
			ICS1433	医療コミュニケーション演習	3 必											1			
			ICS1434	事例カンファレンス	4 必														1
			ICS1433	基礎医学総合演習	3 必											1			
			ICS1433	看護研究基礎論	3 必											2			
			ICS1432	外書講読	2 選										2				
			ICS1434	卒業研究	4 必													②	
			ICS1434	離島・へき地医療体験実習	4 必		○											②	
			ICS1434	病院インターンシップ	4 選													②	
専門科目単位数合計　必修：78単位　推奨：0単位　選択：41単位																			
教育職員免許状に関する科目（養護）			STC1444	養護実習指導	4 選													1	
			STC1444	養護実習	4 選													④	
			STC1442	教職概論（中等）	2 選									2					
			STC1442	教育原理（中等）	2 選									2					
			STC1442	教育心理学（中等）	2 選									2					
			STC1442	発達心理学（中等）	2 選										2				
			STC1442	特別支援教育入門A	2 選									1					
			STC1441	教育法制論（中等）	1 選								2						
			STC1443	教育課程論（中等）	3 選											2			
			STC1443	道徳・特別活動論	3 選											2			
			STC1442	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	2 選										2				
			STC1443	生徒指導論	3 選											2			
			STC1442	教育相談（中等）	2 選										2				
			STC1444	教職実践演習(養護教諭)	4 選														2
専門準備科目			REP1401	看護へのベーシックサイエンス	1 選						0								

健康科学部
看護医療学科　２回生用（2019年度入学生）

※卒業要件についてはＰ.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
						実習 臨地		実習 臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推	△						2					
		PES0012	東洋思想	２推	△							2				
		PES0011	心理学概論	１必	○				2							
		PES0012	人間関係論	２必	○						2					
		PES0011	法学概論	１選	△				2							
		PES0012	日本国憲法	２選	△							2				
		PES0011	経済学概論	１選	△					2						
		PES0011	人権教育	１選	△					2						
		PES0012	国際社会論	２選	△						2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選	△						2					
		HIC0012	科学史	２選	△							2				
		HIC0011	文化芸術論	１選	△					2						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選	△				2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選	△				2							
		NSP0012	生命倫理	２必	○						2					
		NSP0012	地球環境論	２選	△						2					
		NSP0011	数理科学入門	１選	△					2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	１必	○				2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	１必	○					2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	２選	△						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	２選	△							2				
		LAI0011	短期語学留学	１選	△				①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必	○				1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必	△					1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１必	○					2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	１必	○					1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	１選	△					①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	１必	○				1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必	○				1							
		PLA1411	チーム医療発展セミナー	１必	○					1						
		PLA0011	日本語と表現	１選	△				1							
		PLA1412	◆海外インターンシップ	２選	△							①				
		PLA0014	学校インターンシップ	４選	△										①	
		PLA1412	病院・施設ボランティア活動	２選	△						①					
教養科目単位数合計　必修：18単位　推奨：4単位　選択：34単位																
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	１選	△				2							
		FHS0021	精神保健学	１選	△					2						
		FHS0022	障害者心理学	２選	△							2				
		FHS0021	高齢者心理学	１選	△				2							
		FHS0021	児童心理学	１選	△				2							
		FHS0021	自立生活支援論	１必	○				2							
		FHS0021	社会福祉論	１必	○				2							

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。
指定規則対応科目欄　○…資格必修科目　△…資格対応推奨科目

健康科学部
看護医療学科　2回生用(2019年度入学生)

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程			保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習	臨地		実習 臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	人体の構造と機能		SFH1421	人体構造・機能学Ⅰ	1 必	○					2							
			SFH1421	人体構造・機能学Ⅱ	1 必	○						2						
			SFH1421	脳科学入門	1 選	△						2						
			SFH1421	生命活動と代謝	1 必	○						1						
			SFH1422	病理学	2 必	○							1					
			SFH1421	人間工学入門	1 選	△						2						
	疾病の成り立ちと回復の促進		DMP1421	感染・免疫学	1 必	○						2						
			DMP1422	病態医学Ⅰ	2 必	○							2					
			DMP1422	病態医学Ⅱ	2 必	○								2				
			DMP1422	薬と健康	2 必	○							2					
			DMP1421	食と栄養	1 選	△						2						
			DMP1422	生活とリハビリテーション	2 選	△							2					
			DMP1422	◆ヒトの遺伝学	2 選	△							2					
	社会のしくみと健康		SMP1421	チーム医療論	1 必	○					1							
			SMP1421	生活科学論	1 選	△					2							
			SMP1421	公衆衛生学	1 必	○						2						
			SMP1421	人間発達学	1 選	△					2							
専門基礎科目単位数合計　必修：21単位　推奨：0単位　選択：24単位																		
専門科目	専門分野Ⅰ	基礎看護学	FUN1431	看護学原論	1 必	○					2							
			FUN1433	看護倫理	3 必	○									2			
			FUN1431	看護技術基礎論	1 必	○					1							
			FUN1431	療養生活援助技術	1 必	○						2						
			FUN1432	診療過程援助技術	2 必	○							1					
			FUN1431	フィジカルアセスメント	1 必	○						1						
			FUN1432	看護過程基礎論	2 必	○							2					
			FUN1431	チーム医療ふれあい実習	1 必		○				①							
			FUN1431	基礎看護学実習	1 必		○					②						
	専門分野Ⅱ	成人看護学	AND1432	成人看護学対象論	2 必	○							2					
			AND1432	急性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			AND1433	急性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			AND1432	慢性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			AND1433	慢性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			AND1433	急性期看護学実習	3 必		○									③		
			AND1433	慢性期看護学実習	3 必		○									③		
		母子看護学	MCN1432	小児看護学対象論	2 必	○							2					
			MCN1432	小児看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	小児看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1432	母性看護学対象論	2 必	○							2					
			MCN1432	母性看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	母性看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1433	母子看護学実習	3 必		○									④		
		老年・精神看護学	GPN1432	老年看護学対象論	2 必	○							2					
			GPN1432	老年看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			GPN1433	老年看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			GPN1433	老年看護学実習	3 必		○									④		
			GPN1432	精神看護学対象論	2 必	○							2					
			GPN1432	精神看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			GPN1433	精神看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			GPN1433	精神看護学実習	3 必		○									②		

健康科学部
看護医療学科　２回生用(2019年度入学生)

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		指定規則対応科目 保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習地		実習地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	専門分野Ⅱ	地域看護学	CHN1432	地域看護学概論	2 必	○						2					
			CHN1432	公衆衛生看護学概論	2 選			○					2				
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅰ	4 必	○		○								1	
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅱ	4 選			○									2
			CHN1432	疫学	2 選			○					2				
			CHN1432	保健統計	2 選			○					2				
			CHN1433	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3 選			○						2			
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4 選			○								2	
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅲ	4 選			○									1
			CHN1433	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3 選			○						2			
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	4 選			○								2	
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅲ	4 選			○									1
			CHN1432	健康学特論	2 選			○					2				
			CHN1434	公衆衛生看護学管理論	4 選			○								2	
			CHN1434	地域看護学実習	4 選				○							②	
			CHN1434	公衆衛生看護学実習	4 選				○								③
	統合分野	統合・発展科目	ICS1434	在宅リハビリテーション	4 選	△										2	
			ICS1433	終末期ケア論	3 必	○								2			
			ICS1434	国際看護学Ⅰ	4 必	○										1	
			ICS1434	国際看護学Ⅱ	4 選											1	
			ICS1432	学校保健	2 選							2					
			ICS1432	養護概説	2 選								2				
			ICS1434	健康相談	4 選											2	
			ICS1433	医療安全論	3 必	○								2			
			ICS1434	災害看護学Ⅰ	4 必	○											1
			ICS1434	災害看護学Ⅱ	4 選	△											1
			ICS1434	看護管理論	4 必	○										2	
			ICS1432	在宅看護学概論	2 必	○							2				
			ICS1433	ケアマネージメント論	3 必	○								2			
			ICS1433	在宅看護学実習	3 必		○								②		
			ICS1433	医療コミュニケーション演習	3 必									1			
			ICS1434	事例カンファレンス	4 必												1
			ICS1433	基礎医学総合演習	3 必									1			
			ICS1433	看護研究基礎論	3 必									2			
			ICS1432	外書講読	2 選								2				
			ICS1434	卒業研究	4 必											②	
			ICS1434	離島・へき地医療体験実習	4 必		○									②	
			ICS1434	病院インターンシップ	4 選											②	
専門科目単位数合計　必修：78単位　推奨：0単位　選択：41単位																	
教育職員免許状に関する科目（養護）			STC1444	養護実習指導	4 選											1	
			STC1444	養護実習	4 選											④	
			STC1442	教職概論（中等）	2 選							2					
			STC1442	教育原理（中等）	2 選							2					
			STC1442	教育心理学（中等）	2 選							2					
			STC1442	発達心理学（中等）	2 選								2				
			STC1442	特別支援教育入門A	2 選							1					
			STC1441	教育法制論（中等）	1 選						2						
			STC1443	教育課程論（中等）	3 選									2			
			STC1443	道徳・特別活動論	3 選									2			
			STC1442	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	2 選								2				
			STC1443	生徒指導論	3 選									2			
			STC1442	教育相談（中等）	2 選								2				
			STC1444	教職実践演習(養護教諭)	4 選												2
専門準備科目			REP1401	看護へのベーシックサイエンス	1 選					0							

健康科学部
看護医療学科　3回生用（2018年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程	実習	臨地	保健師課程	実習	臨地	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	△								2					
		PES0012	東洋思想	2 推	△									2				
		PES0011	心理学概論	1 必	○						2							
		PES0012	人間関係論	2 必	○								2					
		PES0011	法学概論	1 選	△						2							
		PES0012	日本国憲法	2 選	△									2				
		PES0011	経済学概論	1 選	△							2						
		PES0011	人権教育	1 選	△							2						
		PES0012	国際社会論	2 選	△								2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	△								2					
		HIC0012	科学史	2 選	△									2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	△							2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選	△						2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	△						2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	○								2					
		NSP0012	地球環境論	2 選	△								2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	△							2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○						2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○							2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選	△								2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選	△									2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選	△							①*						
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○						1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	△							1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 必	○							2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 必	○							1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選	△							①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○						1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○						1							
		PLA1411	チーム医療発展セミナー	1 必	○							1						
		PLA0011	日本語と表現	1 選	△						1							
		PLA1412	◆海外インターンシップ	2 選	△									①				
		PLA0014	学校インターンシップ	4 選	△												①	
		PLA1412	病院・施設ボランティア活動	2 選	△								①					
教養科目単位数合計　必修：18単位　推奨：4単位　選択：34単位																		
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選	△						2							
		FHS0021	精神保健学	1 選	△							2						
		FHS0022	障害者心理学	2 選	△									2				
		FHS0021	高齢者心理学	1 選	△						2							
		FHS0021	児童心理学	1 選	△						2							
		FHS0021	自立生活支援論	1 必	○						2							
		FHS0021	社会福祉論	1 必	○						2							

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉 1必は1回生配当の必修科目であることを表します。
指定規則対応科目欄　○…資格必修科目　△…資格対応推奨科目

健康科学部
看護医療学科　3回生用(2018年度入学生)

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習 臨地		実習 臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	人体の構造と機能		SFH1421	人体構造・機能学Ⅰ	1 必	○				2							
			SFH1421	人体構造・機能学Ⅱ	1 必	○					2						
			SFH1421	脳科学入門	1 選	△					2						
			SFH1421	生命活動と代謝	1 必	○					1						
			SFH1422	病理学	2 必	○						1					
			SFH1421	人間工学入門	1 選	△					2						
	疾病の成り立ちと回復の促進		DMP1421	感染・免疫学	1 必	○					2						
			DMP1422	病態医学Ⅰ	2 必	○						2					
			DMP1422	病態医学Ⅱ	2 必	○							2				
			DMP1422	薬と健康	2 必	○						2					
			DMP1421	食と栄養	1 選	△					2						
			DMP1422	生活とリハビリテーション	2 選	△						2					
			DMP1422	◆ヒトの遺伝学	2 選	△						2					
	社会のしくみと健康		SMP1421	チーム医療論	1 必	○				1							
			SMP1421	生活科学論	1 選	△				2							
			SMP1421	公衆衛生学	1 必	○					2						
			SMP1421	人間発達学	1 選	△				2							
専門基礎科目単位数合計　必修：21単位　推奨：0単位　選択：24単位																	
専門科目	専門分野Ⅰ	基礎看護学	FUN1431	看護学原論	1 必	○				2							
			FUN1433	看護倫理	3 必	○								2			
			FUN1431	看護技術基礎論	1 必	○				1							
			FUN1431	療養生活援助技術	1 必	○					2						
			FUN1432	診療過程援助技術	2 必	○						1					
			FUN1431	フィジカルアセスメント	1 必	○					1						
			FUN1432	看護過程基礎論	2 必	○						2					
			FUN1431	チーム医療ふれあい実習	1 必		○			①							
			FUN1431	基礎看護学実習	1 必		○				②						
	専門分野Ⅱ	成人看護学	AND1432	成人看護学対象論	2 必	○						2					
			AND1432	急性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1				
			AND1433	急性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1			
			AND1432	慢性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1				
			AND1433	慢性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1			
			AND1433	急性期看護学実習	3 必		○								③		
			AND1433	慢性期看護学実習	3 必		○								③		
		母子看護学	MCN1432	小児看護学対象論	2 必	○						2					
			MCN1432	小児看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1				
			MCN1433	小児看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1			
			MCN1432	母性看護学対象論	2 必	○						2					
			MCN1432	母性看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1				
			MCN1433	母性看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1			
			MCN1433	母子看護学実習	3 必		○								④		
		老年・精神看護学	GPN1432	老年看護学対象論	2 必	○						2					
			GPN1432	老年看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1				
			GPN1433	老年看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1			
			GPN1433	老年看護学実習	3 必		○								④		
			GPN1432	精神看護学対象論	2 必	○						2					
			GPN1432	精神看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1				
			GPN1433	精神看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1			
			GPN1433	精神看護学実習	3 必		○								②		

健康科学部
看護医療学科　3回生用(2018年度入学生)

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習	臨地	実習	臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	専門分野Ⅱ	地域看護学	CHN1432	地域看護学概論	2 必	○							2					
			CHN1432	公衆衛生看護学概論	2 選			○						2				
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅰ	4 必	○		○									1	
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅱ	4 選			○										2
			CHN1432	疫学	2 選			○						2				
			CHN1432	保健統計	2 選			○						2				
			CHN1433	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3 選			○							2			
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4 選			○									2	
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅲ	4 選			○										1
			CHN1433	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3 選			○							2			
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	4 選			○									2	
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅲ	4 選			○										1
			CHN1432	健康学特論	2 選			○						2				
			CHN1434	公衆衛生看護学管理論	4 選			○									2	
			CHN1434	地域看護学実習	4 選				○								②	
			CHN1434	公衆衛生看護学実習	4 選				○									③
	統合分野	統合・発展科目	ICS1434	在宅リハビリテーション	4 選	△											2	
			ICS1433	終末期ケア論	3 選	△									2			
			ICS1434	国際看護論	4 必	○											2	
			ICS1432	学校保健	2 選								2					
			ICS1432	養護概説	2 選									2				
			ICS1434	健康相談	4 選												2	
			ICS1433	医療安全論	3 必	○									2			
			ICS1434	災害看護論	4 選	△												2
			ICS1434	看護管理論	4 必	○											2	
			ICS1432	在宅看護学概論	2 必	○								2				
			ICS1433	ケアマネージメント論	3 必	○									2			
			ICS1433	在宅看護学実習	3 必		○									②		
			ICS1433	医療コミュニケーション演習	3 必										1			
			ICS1434	事例カンファレンス	4 必													1
			ICS1433	基礎医学総合演習	3 必										1			
			ICS1433	看護研究基礎論	3 必										2			
			ICS1433	外書講読	3 選										2			
			ICS1434	卒業研究	4 必												②	
			ICS1434	離島・へき地医療体験実習	4 必		○										②	
			ICS1434	病院インターンシップ	4 選												②	
専門科目単位数合計　必修：76単位　推奨：0単位　選択：43単位																		
教育職員免許状に関する科目（養護）			STC1444	養護実習指導	4 選												1	
			STC1444	養護実習	4 選												④	
			STC1442	教職概論（中等）	2 選								2					
			STC1442	教育原理（中等）	2 選								2					
			STC1442	教育心理学（中等）	2 選								2					
			STC1442	発達心理学（中等）	2 選									2				
			STC1441	教育法制論（中等）	1 選							2						
			STC1443	教育課程論（中等）	3 選										2			
			STC1443	道徳・特別活動論	3 選										2			
			STC1442	教育方法・技術論（中等）	2 選									2				
			STC1443	生徒指導論	3 選										2			
			STC1442	教育相談（中等）	2 選									2				
			STC1444	教職実践演習(養護教諭)	4 選													2
専門準備科目			REP1401	看護へのベーシックサイエンス	1 選						0							

健康科学部
看護医療学科　4回生用(2017年度入学生)

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の▒は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
						実習 臨地		実習 臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	△						2					
		PES0012	東洋思想	2 推	△							2				
		PES0011	心理学概論	1 必	○				2							
		PES0012	人間関係論	2 必	○						2					
		PES0011	法学概論	1 選	△				2							
		PES0012	日本国憲法	2 選	△							2				
		PES0011	経済学概論	1 選	△					2						
		PES0011	人権教育	1 選	△					2						
		PES0012	国際社会論	2 選	△						2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	△						2					
		HIC0012	科学史	2 選	△							2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	△					2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選	△				2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	△				2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	○						2					
		NSP0012	地球環境論	2 選	△						2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	△					2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○				2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○					2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選	△						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選	△							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選	△				①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○				1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	○					1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 必	○					2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 必	○					1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選	△				①*							
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○				1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○				1							
		PLA1411	チーム医療発展セミナー	1 必	○					1						
		PLA0011	日本語と表現	1 選	△				1							
		PLA1412	◆海外インターンシップ	2 選	△							①				
		PLA0014	学校インターンシップ	4 選	△										①	
		PLA1412	病院・施設ボランティア活動	2 選	△						①					
教養科目単位数合計　必修：18単位　推奨：4単位　選択：34単位																
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選	△				2							
		FHS0021	精神保健学	1 選	△					2						
		FHS0022	障害者心理学	2 選	△							2				
		FHS0021	高齢者心理学	1 選	△				2							
		FHS0021	児童心理学	1 選	△				2							
		FHS0021	自立生活支援論	1 必	○				2							
		FHS0021	社会福祉論	1 必	○				2							

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉 1必は1回生配当の必修科目であることを表します。
指定規則対応科目欄　○…資格必修科目　△…資格対応推奨科目

健康科学部
看護医療学科　4回生用(2017年度入学生)

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程			保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習	臨地		実習 臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	人体の構造と機能		SFH1421	人体構造・機能学Ⅰ	1 必	○					2							
			SFH1421	人体構造・機能学Ⅱ	1 必	○						2						
			SFH1421	脳科学入門	1 選	△						2						
			SFH1421	生命活動と代謝	1 必	○						1						
			SFH1422	病理学	2 必	○							1					
			SFH1421	人間工学入門	1 選	△						2						
	疾病の成り立ちと回復の促進		DMP1421	感染・免疫学	1 必	○						2						
			DMP1422	病態医学Ⅰ	2 必	○							2					
			DMP1422	病態医学Ⅱ	2 必	○								2				
			DMP1422	薬と健康	2 必	○							2					
			DMP1421	食と栄養	1 選	△						2						
			DMP1422	生活とリハビリテーション	2 選	△							2					
			DMP1422	◆ヒトの遺伝学	2 選	△							2					
	社会のしくみと健康		SMP1421	チーム医療論	1 必	○					1							
			SMP1421	生活科学論	1 選	△					2							
			SMP1421	公衆衛生学	1 必	○						2						
			SMP1421	人間発達学	1 選	△					2							
専門基礎科目単位数合計　必修：21単位　推奨：0単位　選択：24単位																		
専門科目	専門分野Ⅰ	基礎看護学	FUN1431	看護学原論	1 必	○					2							
			FUN1433	看護倫理	3 必	○									2			
			FUN1431	看護技術基礎論	1 必	○					1							
			FUN1431	療養生活援助技術	1 必	○						2						
			FUN1432	診療過程援助技術	2 必	○							1					
			FUN1431	フィジカルアセスメント	1 必	○						1						
			FUN1432	看護過程基礎論	2 必	○							2					
			FUN1431	チーム医療ふれあい実習	1 必		○				①							
			FUN1431	基礎看護学実習	1 必		○					②						
	専門分野Ⅱ	成人看護学	AND1432	成人看護学対象論	2 必	○							2					
			AND1432	急性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			AND1433	急性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			AND1432	慢性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			AND1433	慢性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			AND1433	急性期看護学実習	3 必		○									③		
			AND1433	慢性期看護学実習	3 必		○									③		
		母子看護学	MCN1432	小児看護学対象論	2 必	○							2					
			MCN1432	小児看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	小児看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1432	母性看護学対象論	2 必	○							2					
			MCN1432	母性看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	母性看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1433	母子看護学実習	3 必		○									④		
		老年・精神看護学	GPN1432	老年看護学対象論	2 必	○							2					
			GPN1432	老年看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			GPN1433	老年看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			GPN1433	老年看護学実習	3 必		○									④		
			GPN1432	精神看護学対象論	2 必	○							2					
			GPN1432	精神看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			GPN1433	精神看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			GPN1433	精神看護学実習	3 必		○									②		

健康科学部
看護医療学科　4回生用(2017年度入学生)

区分			科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目 看護師課程		保健師課程		開講時期 1回生		2回生		3回生		4回生	
							実習	臨地	実習	臨地	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	専門分野Ⅱ	地域看護学	CHN1432	地域看護学概論	2 必	○							2					
			CHN1432	公衆衛生看護学概論	2 選			○						2				
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅰ	4 必	○		○									1	
			CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅱ	4 選			○										2
			CHN1432	疫学	2 選			○						2				
			CHN1432	保健統計	2 選			○						2				
			CHN1433	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3 選			○							2			
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4 選			○									2	
			CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅲ	4 選			○										1
			CHN1433	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3 選			○							2			
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	4 選			○									2	
			CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅲ	4 選			○										1
			CHN1432	健康学特論	2 選			○						2				
			CHN1434	公衆衛生看護学管理論	4 選			○									2	
			CHN1434	地域看護学実習	4 選				○								②	
			CHN1434	公衆衛生看護学実習	4 選				○									③
	統合分野	統合・発展科目	ICS1434	在宅リハビリテーション	4 選	△											2	
			ICS1433	終末期ケア論	3 選	△									2			
			ICS1434	国際看護論	4 必	○											2	
			ICS1432	学校保健	2 選								2					
			ICS1432	養護概説	2 選									2				
			ICS1434	健康相談	4 選												2	
			ICS1433	医療安全論	3 必	○									2			
			ICS1434	災害看護論	4 選	△												2
			ICS1434	看護管理論	4 必	○											2	
			ICS1432	在宅看護学概論	2 必	○								2				
			ICS1433	ケアマネージメント論	3 必	○									2			
			ICS1433	在宅看護学実習	3 必		○									②		
			ICS1433	医療コミュニケーション演習	3 必										1			
			ICS1434	事例カンファレンス	4 必													1
			ICS1433	基礎医学総合演習	3 必										1			
			ICS1433	看護研究基礎論	3 必										2			
			ICS1433	外書講読	3 選										2			
			ICS1434	卒業研究	4 必												②	
			ICS1434	離島・へき地医療体験実習	4 必		○										②	
			ICS1434	病院インターンシップ	4 選												②	
専門科目単位数合計　必修：76単位　推奨：0単位　選択：43単位																		
教育職員免許状に関する科目（養護）			STC1444	養護実習指導	4 選												1	
			STC1444	養護実習	4 選												④	
			STC1442	教職概論（中等）	2 選								2					
			STC1442	教育原理（中等）	2 選								2					
			STC1442	教育心理学（中等）	2 選								2					
			STC1442	発達心理学（中等）	2 選									2				
			STC1441	教育法制論（中等）	1 選							2						
			STC1443	教育課程論（中等）	3 選										2			
			STC1443	道徳・特別活動論	3 選										2			
			STC1442	教育方法・技術論（中等）	2 選									2				
			STC1443	生徒指導論	3 選										2			
			STC1442	教育相談（中等）	2 選									2				
			STC1444	教職実践演習(養護教諭)	4 選													2
専門準備科目			REP1401	看護へのベーシックサイエンス	1 選						0							

健康科学部
健康栄養学科　１回生用（2020年度入学生）

※卒業要件についてはＰ.126参照

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース推奨 臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養	栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推								2					
		PES0012	東洋思想	２推									2				
		PES0011	心理学概論	１選						2							
		PES0012	人間関係論	２選								2					
		PES0011	法学概論	１選						2							
		PES0012	日本国憲法	２選									2				
		PES0011	経済学概論	１選							2						
		PES0011	人権教育	１選							2						
		PES0012	国際社会論	２選								2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選								2					
		HIC0012	科学史	２選									2				
		HIC0011	文化芸術論	１選							2						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選						2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選						2							
		NSP0012	生命倫理	２必								2					
		NSP0012	地球環境論	２選								2					
		NSP0011	数理科学入門	１選							2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	１必						2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	１必							2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	２選								2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	２選									2				
		LAI0011	短期語学留学	１選						①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必						1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必							1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１選							2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	１選							1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	１選							①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	１必						1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必						1							
		PLA1211	キャリア形成セミナー	１必							1						
		PLA0011	日本語と表現	１選						1							
		PLA0012	企業インターンシップ	２選								①					
		PLA0012	海外インターンシップ	２選									①				
		PLA0012	学校インターンシップ	２選								①					
教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：41単位																	

［表中の記号等について］
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
健康栄養学科　１回生用（2020年度入学生）

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士 資格必修	管理栄養士 受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			１回生		２回生		３回生		４回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	精神保健学	１選							２						
		FHS0021	児童心理学	１選						２							
		FHS0021	高齢者心理学	１選						２							
		FHS0021	障害者心理学	１選							２						
		FHS0022	自立生活支援論	２選								２					
		FHS0021	社会福祉論	１選							２						
	社会・環境と健康	SEH1221	健康管理論	１必				○	○	２							
		SEH1222	公衆衛生学	２必				○	○			２					
		SEH1223	保健医療福祉概論	３必				○	○						２		
		SEH1222	スポーツ心理学	２選			○					２					
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	SFH1221	解剖生理学Ⅰ	１必				○	○	２							
		SFH1221	解剖生理学Ⅱ	１選					○		２						
		SFH1222	解剖生理学実験	２必				○	○				１				
		SFH1221	生化学Ⅰ	１必				○	○	２							
		SFH1221	生化学Ⅱ	１選					○		２						
		SFH1222	生化学実験	２必				○	○				１				
		SFH1222	臨床医学Ⅰ	２必				○	○			２					
		SFH1222	臨床医学Ⅱ	２選					○				２				
		SFH1223	運動生理学	３必				○	○					２			
		SFH1223	運動生理学実験	３必				○	○						１		
		SFH1223	薬理学	３選	○										２		
		SFH1222	味覚生理学演習	２選		○						２					
	食べ物と健康	FOH1221	基礎化学実験	１必					○	１							
		FOH1221	食品学総論	１必				○	○		２						
		FOH1222	食品学各論	２必				○	○			２					
		FOH1222	食品学実験	２必				○	○			１					
		FOH1221	食品衛生学	１必				○	○		２						
		FOH1221	食品衛生学実験Ⅰ	１必				○	○		１						
		FOH1222	食品衛生学実験Ⅱ	２選					○			１					
		FOH1221	調理学	１必				○	○	２							
		FOH1222	調理科学実験	２必				○	○			１					
		FOH1221	調理学実習Ⅰ	１必				○	○	１							
		FOH1221	調理学実習Ⅱ	１必				○	○		１						
		FOH1221	食文化論	１選							２						
		FOH1223	フードコーディネート論	３選											２		
		FOH1223	食品加工学	３選		○								２			
		FOH1223	食品加工学実習	３選		○									１		
		FOH1224	食品開発学演習	４選		○										２	
専門基礎科目単位数合計　必修：31単位　推奨：0単位　選択：34単位																	

健康科学部
健康栄養学科　１回生用(2020年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			１回生		２回生		３回生		４回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	基礎栄養学	FUN1231	基礎栄養学Ⅰ	１必				○	○		２						
		FUN1232	基礎栄養学Ⅱ	２必				○	○			２					
		FUN1233	基礎栄養学実験	３必				○	○					１			
	応用栄養学	APN1232	応用栄養学Ⅰ	２必				○	○			２					
		APN1232	応用栄養学Ⅱ	２選					○				２				
		APN1233	応用栄養学演習	３必				○	○					２			
		APN1232	応用栄養学実習	２必				○	○				１				
		APN1232	スポーツ栄養学	２選			○						２				
		APN1233	健康づくり運動処方演習	３選			○								２		
	栄養教育論	NUE1231	栄養教育論Ⅰ	１必				○	○		２						
		NUE1232	栄養教育論Ⅱ	２必				○	○			２					
		NUE1232	栄養教育論演習	２選					○				２				
		NUE1233	栄養教育論実習	３必				○	○					１			
		NUE1234	スポーツ栄養指導実習	４選			○									１	
	臨床栄養学	CLN1232	臨床栄養学Ⅰ	２必				○	○				２				
		CLN1232	臨床栄養学Ⅱ	２選					○				２				
		CLN1233	臨床栄養学Ⅲ	３選					○					２			
		CLN1233	臨床栄養学Ⅳ	３選					○						２		
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅰ	３必				○	○					１			
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅱ	３必				○	○						１		
		CLN1232	チーム医療論	２選	○							２					
		CLN1232	チーム医療ふれあい実習	２選	○							①					
		CLN1234	栄養マネジメント演習	４選	○											２	
	公衆栄養学	PUN1232	公衆栄養学Ⅰ	２必				○	○				２				
		PUN1233	公衆栄養学Ⅱ	３選					○					２			
		PUN1233	公衆栄養学実習	３選					○						１		
	給食経営管理論	SLM1231	給食経営管理論Ⅰ	１必				○	○		２						
		SLM1232	給食経営管理論Ⅱ	２選					○			２					
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅰ	３必				○	○					１			
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅱ	３必				○	○					１			
		SLM1232	メニュープランニング演習	２選									２				
		SLM1232	フードシステム経済学	２選									２				

健康科学部
健康栄養学科　１回生用(2020年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨 臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養	栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	総合演習	COS1233	総合演習Ⅰ	３必					○					2			
		COS1234	総合演習Ⅱ	４選					○							2	
		COS1234	特別演習Ⅰ	４選												2	
		COS1234	特別演習Ⅱ	４選													2
	臨地実習	OST1233	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	３必				○	○					①			
		OST1233	臨地実習Ⅱ（給食経営管理）	３選					★					①			
		OST1234	臨地実習Ⅲ（臨床栄養）	４選					○							②	
		OST1234	臨地実習Ⅳ（臨床栄養）	４選					★							①	
		OST1234	臨地実習Ⅴ（公衆栄養）	４選					★							①	
		GRP1234	卒業研究	４選												②	
専門科目単位数合計　必修：28単位　推奨：0単位　選択：42単位																	
教育職員免許状に関する科目（栄養）		STC1243	栄養教諭論	３選										2			
		STC1243	食に関する指導論	３選											2		
		STC1244	栄養教育実習	４選												2	
		STC1242	教職概論(中等)	２選								2					
		STC1242	教育原理（中等）	２選								2					
		STC1242	教育心理学（中等）	２選								2					
		STC1242	発達心理学（中等）	２選									2				
		STC1242	特別支援教育入門Ａ	２選								1					
		STC1241	教育法制論（中等）	１選							2						
		STC1243	教育課程論（中等）	３選										2			
		STC1243	道徳・特別活動論	３選										2			
		STC1242	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	２選									2				
		STC1243	生徒指導論	３選										2			
		STC1242	教育相談（中等）	２選									2				
		STC1244	教職実践演習（栄養教諭）	４選													2
									★いずれか1科目選択必修								
専門準備科目		REP1201	管理栄養士へのベーシックサイエンス	１選						0							

健康科学部
健康栄養学科　２回生用(2019年度入学生)

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース推奨 臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養	栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推								２					
		PES0012	東洋思想	２推									２				
		PES0011	心理学概論	１選						２							
		PES0012	人間関係論	２選								２					
		PES0011	法学概論	１選						２							
		PES0012	日本国憲法	２選									２				
		PES0011	経済学概論	１選							２						
		PES0011	人権教育	１選							２						
		PES0012	国際社会論	２選								２					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選								２					
		HIC0012	科学史	２選									２				
		HIC0011	文化芸術論	１選							２						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選						２							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選						２							
		NSP0012	生命倫理	２必								２					
		NSP0012	地球環境論	２選								２					
		NSP0011	数理科学入門	１選							２						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	１必						２							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	１必							２						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	２選								２					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	２選									２				
		LAI0011	短期語学留学	１選						①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必						１							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必							１						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１選							２						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	１選							１						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	１選							①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	１必						１							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必						１							
		PLA1211	キャリア形成セミナー	１必							１						
		PLA0011	日本語と表現	１選						１							
		PLA0012	企業インターンシップ	２選								①					
		PLA0012	◆海外インターンシップ	２選									①				
		PLA0012	学校インターンシップ	２選								①					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：41単位

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
健康栄養学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士 資格必修	管理栄養士 受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			1回生		2回生		3回生		4回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	精神保健学	1 選							2						
		FHS0021	児童心理学	1 選						2							
		FHS0021	高齢者心理学	1 選						2							
		FHS0021	障害者心理学	1 選							2						
		FHS0022	自立生活支援論	2 選								2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選							2						
	社会・環境と健康	SEH1221	健康管理論	1 必				○	○	2							
		SEH1222	公衆衛生学	2 必				○	○			2					
		SEH1223	保健医療福祉概論	3 必				○	○						2		
		SEH1222	スポーツ心理学	2 選			○					2					
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	SFH1221	解剖生理学Ⅰ	1 必				○	○	2							
		SFH1221	解剖生理学Ⅱ	1 選					○		2						
		SFH1222	解剖生理学実験	2 必				○	○				1				
		SFH1221	生化学Ⅰ	1 必				○	○	2							
		SFH1221	生化学Ⅱ	1 選					○		2						
		SFH1222	生化学実験	2 必				○	○				1				
		SFH1222	臨床医学Ⅰ	2 必				○	○			2					
		SFH1222	臨床医学Ⅱ	2 選					○				2				
		SFH1223	運動生理学	3 必				○	○					2			
		SFH1223	運動生理学実験	3 必				○	○						1		
		SFH1223	薬理学	3 選	○										2		
		SFH1222	味覚生理学演習	2 選		○						2					
	食べ物と健康	FOH1221	基礎化学実験	1 必					○	1							
		FOH1221	食品学総論	1 必				○	○		2						
		FOH1222	食品学各論	2 必				○	○			2					
		FOH1222	食品学実験	2 必				○	○			1					
		FOH1221	食品衛生学	1 必				○	○		2						
		FOH1221	食品衛生学実験Ⅰ	1 必				○	○		1						
		FOH1222	食品衛生学実験Ⅱ	2 選					○			1					
		FOH1221	調理学	1 必				○	○	2							
		FOH1222	調理科学実験	2 必				○	○			1					
		FOH1221	調理学実習Ⅰ	1 必				○	○	1							
		FOH1221	調理学実習Ⅱ	1 必				○	○		1						
		FOH1221	食文化論	1 選							2						
		FOH1223	フードコーディネート論	3 選											2		
		FOH1223	食品加工学	3 選		○								2			
		FOH1223	食品加工学実習	3 選		○									1		
		FOH1224	食品開発学演習	4 選		○										2	
専門基礎科目単位数合計　必修：31単位　推奨：0単位　選択：34単位																	

健康科学部
健康栄養学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			1回生		2回生		3回生		4回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	基礎栄養学	FUN1231	基礎栄養学Ⅰ	1必				○	○		2						
		FUN1232	基礎栄養学Ⅱ	2必				○	○			2					
		FUN1233	基礎栄養学実験	3必				○	○					1			
	応用栄養学	APN1232	応用栄養学Ⅰ	2必				○	○			2					
		APN1232	応用栄養学Ⅱ	2選					○				2				
		APN1233	応用栄養学演習	3必				○	○					2			
		APN1232	応用栄養学実習	2必				○	○				1				
		APN1232	スポーツ栄養学	2選			○						2				
		APN1233	健康づくり運動処方演習	3選			○								2		
	栄養教育論	NUE1231	栄養教育論Ⅰ	1必				○	○		2						
		NUE1232	栄養教育論Ⅱ	2必				○	○			2					
		NUE1232	栄養教育論演習	2選					○				2				
		NUE1233	栄養教育論実習	3必				○	○					1			
		NUE1234	スポーツ栄養指導実習	4選			○									1	
	臨床栄養学	CLN1232	臨床栄養学Ⅰ	2必				○	○				2				
		CLN1232	臨床栄養学Ⅱ	2選					○				2				
		CLN1233	臨床栄養学Ⅲ	3選					○					2			
		CLN1233	臨床栄養学Ⅳ	3選					○						2		
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅰ	3必				○	○					1			
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅱ	3必				○	○						1		
		CLN1232	チーム医療論	2選	○							2					
		CLN1232	チーム医療ふれあい実習	2選	○							①					
		CLN1234	栄養マネジメント演習	4選	○											2	
	公衆栄養学	PUN1232	公衆栄養学Ⅰ	2必				○	○				2				
		PUN1233	公衆栄養学Ⅱ	3選					○					2			
		PUN1233	公衆栄養学実習	3選					○						1		
	給食経営管理論	SLM1231	給食経営管理論Ⅰ	1必				○	○		2						
		SLM1232	給食経営管理論Ⅱ	2選					○				2				
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅰ	3必				○	○					1			
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅱ	3必				○	○					1			
		SLM1232	メニュープランニング演習	2選									2				
		SLM1232	フードシステム経済学	2選									2				

健康科学部
健康栄養学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨 臨床栄養	コース推奨 食品開発	コース推奨 スポーツ栄養	栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	総合演習	COS1233	総合演習Ⅰ	3 必					○					2			
		COS1234	総合演習Ⅱ	4 選					○							2	
		COS1234	特別演習Ⅰ	4 選												2	
		COS1234	特別演習Ⅱ	4 選													2
	臨地実習	OST1233	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3 必				○	○					①			
		OST1233	臨地実習Ⅱ（給食経営管理）	3 選					★					①			
		OST1234	臨地実習Ⅲ（臨床栄養）	4 選					○							②	
		OST1234	臨地実習Ⅳ（臨床栄養）	4 選					★							①	
		OST1234	臨地実習Ⅴ（公衆栄養）	4 選					★							①	
		GRP1234	卒業研究	4 選												②	
専門科目単位数合計　必修：28単位　推奨：0単位　選択：42単位																	
教育職員免許状に関する科目（栄養）		STC1243	栄養教諭論	3 選										2			
		STC1243	食に関する指導論	3 選											2		
		STC1244	栄養教育実習	4 選												2	
		STC1242	教職概論(中等)	2 選								2					
		STC1242	教育原理（中等）	2 選								2					
		STC1242	教育心理学（中等）	2 選								2					
		STC1242	発達心理学（中等）	2 選									2				
		STC1242	特別支援教育入門Ａ	2 選								1					
		STC1241	教育法制論（中等）	1 選							2						
		STC1243	教育課程論（中等）	3 選										2			
		STC1243	道徳・特別活動論	3 選										2			
		STC1242	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	2 選									2				
		STC1243	生徒指導論	3 選										2			
		STC1242	教育相談（中等）	2 選									2				
		STC1244	教職実践演習（栄養教諭）	4 選													2
									★いずれか1科目選択必修								
専門準備科目		REP1201	管理栄養士へのベーシックサイエンス	1 選						0							

健康科学部
健康栄養学科　3回生用(2018年度入学生)

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース推奨 臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養	資格必修 栄養士	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2推								2					
		PES0012	東洋思想	2推									2				
		PES0011	心理学概論	1選						2							
		PES0012	人間関係論	2選								2					
		PES0011	法学概論	1選						2							
		PES0012	日本国憲法	2選									2				
		PES0011	経済学概論	1選							2						
		PES0011	人権教育	1選							2						
		PES0012	国際社会論	2選								2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2選								2					
		HIC0012	科学史	2選									2				
		HIC0011	文化芸術論	1選							2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1選						2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1選						2							
		NSP0012	生命倫理	2必								2					
		NSP0012	地球環境論	2選								2					
		NSP0011	数理科学入門	1選							2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1必						2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1必							2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2選								2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2選									2				
		LAI0011	短期語学留学	1選						①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1必						1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1必							1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1選							2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1選							1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1選							①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1必						1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1必						1							
		PLA1211	キャリア形成セミナー	1必							1						
		PLA0011	日本語と表現	1選						1							
		PLA0012	企業インターンシップ	2選								①					
		PLA0012	◆海外インターンシップ	2選									①				
		PLA0012	学校インターンシップ	2選								①					
教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：41単位																	

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉1必は1回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
健康栄養学科　3回生用(2018年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			1回生		2回生		3回生		4回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	精神保健学	1 選							2						
		FHS0021	児童心理学	1 選						2							
		FHS0021	高齢者心理学	1 選						2							
		FHS0021	障害者心理学	1 選							2						
		FHS0022	自立生活支援論	2 選								2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選							2						
	社会・環境と健康	SEH1221	健康管理論	1 必				○	○	2							
		SEH1222	公衆衛生学	2 必				○	○			2					
		SEH1223	保健医療福祉概論	3 必				○	○						2		
		SEH1222	スポーツ心理学	2 選			○					2					
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	SFH1221	解剖生理学Ⅰ	1 必				○	○	2							
		SFH1221	解剖生理学Ⅱ	1 選					○		2						
		SFH1222	解剖生理学実験	2 必				○	○				1				
		SFH1221	生化学Ⅰ	1 必				○	○	2							
		SFH1221	生化学Ⅱ	1 選					○		2						
		SFH1222	生化学実験	2 必				○	○				1				
		SFH1222	臨床医学Ⅰ	2 必				○	○			2					
		SFH1222	臨床医学Ⅱ	2 選					○				2				
		SFH1223	運動生理学	3 必				○	○					2			
		SFH1223	運動生理学実験	3 必				○	○						1		
		SFH1223	薬理学	3 選	○										2		
		SFH1222	味覚生理学演習	2 選		○						2					
	食べ物と健康	FOH1221	基礎化学実験	1 必					○	1							
		FOH1221	食品学総論	1 必				○	○		2						
		FOH1222	食品学各論	2 必				○	○			2					
		FOH1222	食品学実験	2 必				○	○			1					
		FOH1221	食品衛生学	1 必				○	○		2						
		FOH1221	食品衛生学実験Ⅰ	1 必				○	○		1						
		FOH1222	食品衛生学実験Ⅱ	2 選					○			1					
		FOH1221	調理学	1 必				○	○	2							
		FOH1222	調理科学実験	2 必				○	○			1					
		FOH1221	調理学実習Ⅰ	1 必				○	○	1							
		FOH1221	調理学実習Ⅱ	1 必				○	○		1						
		FOH1221	食文化論	1 選							2						
		FOH1223	フードコーディネート論	3 選											2		
		FOH1223	食品加工学	3 選		○								2			
		FOH1223	食品加工学実習	3 選		○									1		
		FOH1224	食品開発学演習	4 選		○										2	
専門基礎科目単位数合計　必修：31単位　推奨：0単位　選択：34単位																	

健康科学部
健康栄養学科　3回生用(2018年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			1回生		2回生		3回生		4回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	基礎栄養学	FUN1231	基礎栄養学Ⅰ	1 必				○	○		2						
		FUN1232	基礎栄養学Ⅱ	2 必				○	○			2					
		FUN1233	基礎栄養学実験	3 必				○	○					1			
	応用栄養学	APN1232	応用栄養学Ⅰ	2 必				○	○			2					
		APN1232	応用栄養学Ⅱ	2 選					○				2				
		APN1233	応用栄養学演習	3 必				○	○					2			
		APN1232	応用栄養学実習	2 必				○	○				1				
		APN1232	スポーツ栄養学	2 選			○						2				
		APN1233	健康づくり運動処方演習	3 選			○								2		
	栄養教育論	NUE1231	栄養教育論Ⅰ	1 必				○	○		2						
		NUE1232	栄養教育論Ⅱ	2 必				○	○			2					
		NUE1232	栄養教育論演習	2 選					○				2				
		NUE1233	栄養教育論実習	3 必				○	○					1			
		NUE1234	スポーツ栄養指導実習	4 選			○									1	
	臨床栄養学	CLN1232	臨床栄養学Ⅰ	2 必				○	○				2				
		CLN1232	臨床栄養学Ⅱ	2 選					○				2				
		CLN1233	臨床栄養学Ⅲ	3 選					○					2			
		CLN1233	臨床栄養学Ⅳ	3 選					○						2		
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅰ	3 必				○	○					1			
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅱ	3 必				○	○						1		
		CLN1232	チーム医療論	2 選	○							2					
		CLN1232	チーム医療ふれあい実習	2 選	○							①					
		CLN1234	栄養マネジメント演習	4 選	○											2	
	公衆栄養学	PUN1232	公衆栄養学Ⅰ	2 必				○	○				2				
		PUN1233	公衆栄養学Ⅱ	3 選					○					2			
		PUN1233	公衆栄養学実習	3 選					○						1		
	給食経営管理論	SLM1231	給食経営管理論Ⅰ	1 必				○	○		2						
		SLM1232	給食経営管理論Ⅱ	2 選					○			2					
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅰ	3 必				○	○					1			
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅱ	3 必				○	○					1			
		SLM1232	メニュープランニング演習	2 選									2				
		SLM1232	フードシステム経済学	2 選									2				

健康科学部
健康栄養学科　3回生用(2018年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨 臨床栄養	コース推奨 食品開発	コース推奨 スポーツ栄養	栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	総合演習	COS1233	総合演習Ⅰ	3 必					○					2			
		COS1234	総合演習Ⅱ	4 選					○							2	
		COS1234	特別演習Ⅰ	4 選												2	
		COS1234	特別演習Ⅱ	4 選													2
	臨地実習	OST1233	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3 必				○	○					①			
		OST1233	臨地実習Ⅱ（給食経営管理）	3 選					★					①			
		OST1234	臨地実習Ⅲ（臨床栄養）	4 選					○							②	
		OST1234	臨地実習Ⅳ（臨床栄養）	4 選					★							①	
		OST1234	臨地実習Ⅴ（公衆栄養）	4 選					★							①	
		GRP1234	卒業研究	4 選												②	
専門科目単位数合計　必修：28単位　推奨：0単位　選択：42単位																	
教育職員免許状に関する科目（栄養）		STC1243	栄養教諭論	3 選										2			
		STC1243	食に関する指導論	3 選											2		
		STC1244	栄養教育実習	4 選												2	
		STC1242	教職概論(中等)	2 選								2					
		STC1242	教育原理（中等）	2 選								2					
		STC1242	教育心理学（中等）	2 選								2					
		STC1242	発達心理学（中等）	2 選									2				
		STC1241	教育法制論（中等）	1 選							2						
		STC1243	教育課程論（中等）	3 選										2			
		STC1243	道徳・特別活動論	3 選										2			
		STC1242	教育方法・技術論（中等）	2 選									2				
		STC1243	生徒指導論	3 選										2			
		STC1242	教育相談（中等）	2 選									2				
		STC1244	教職実践演習（栄養教諭）	4 選													2
専門準備科目		REP1201	管理栄養士へのベーシックサイエンス	1 選						0							

★いずれか1科目選択必修

健康科学部
健康栄養学科　４回生用(2017年度入学生)

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース推奨 臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養	資格必修 栄養士	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推								2					
		PES0012	東洋思想	２推									2				
		PES0011	心理学概論	１選						2							
		PES0012	人間関係論	２選								2					
		PES0011	法学概論	１選						2							
		PES0012	日本国憲法	２選									2				
		PES0011	経済学概論	１選							2						
		PES0011	人権教育	１選							2						
		PES0012	国際社会論	２選								2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選								2					
		HIC0012	科学史	２選									2				
		HIC0011	文化芸術論	１選							2						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選						2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選						2							
		NSP0012	生命倫理	２必								2					
		NSP0012	地球環境論	２選								2					
		NSP0011	数理科学入門	１選							2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	１必						2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	１必							2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	２選								2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	２選									2				
		LAI0011	短期語学留学	１選						①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必						1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必							1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１選							2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	１選							1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	１選						①*							
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	１必						1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必						1							
		PLA1211	キャリア形成セミナー	１必							1						
		PLA0011	日本語と表現	１選						1							
		PLA0012	企業インターンシップ	２選								①					
		PLA0012	◆海外インターンシップ	２選									①				
		PLA0012	学校インターンシップ	２選								①					
教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：41単位																	

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
健康栄養学科　4回生用(2017年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース推奨			栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			1回生		2回生		3回生		4回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	精神保健学	1 選							2						
		FHS0021	児童心理学	1 選						2							
		FHS0021	高齢者心理学	1 選						2							
		FHS0021	障害者心理学	1 選							2						
		FHS0022	自立生活支援論	2 選								2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選							2						
	社会・環境と健康	SEH1221	健康管理論	1 必				○	○	2							
		SEH1222	公衆衛生学	2 必				○	○				2				
		SEH1223	保健医療福祉概論	3 必				○	○						2		
		SEH1222	スポーツ心理学	2 選			○					2					
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	SFH1221	解剖生理学Ⅰ	1 必				○	○	2							
		SFH1221	解剖生理学Ⅱ	1 選					○		2						
		SFH1222	解剖生理学実験	2 必				○	○				1				
		SFH1221	生化学Ⅰ	1 必				○	○	2							
		SFH1221	生化学Ⅱ	1 選					○		2						
		SFH1222	生化学実験	2 必				○	○				1				
		SFH1222	臨床医学Ⅰ	2 必				○	○			2					
		SFH1222	臨床医学Ⅱ	2 選					○				2				
		SFH1223	運動生理学	3 必				○	○					2			
		SFH1223	運動生理学実験	3 必				○	○						1		
		SFH1223	薬理学	3 選	○									2			
		SFH1222	味覚生理学演習	2 選		○						2					
	食べ物と健康	FOH1221	基礎化学実験	1 必					○	1							
		FOH1221	食品学総論	1 必				○	○		2						
		FOH1222	食品学各論	2 必				○	○			2					
		FOH1222	食品学実験	2 必				○	○			1					
		FOH1222	食品衛生学	2 必				○	○			2					
		FOH1222	食品衛生学実験Ⅰ	2 必				○	○			1					
		FOH1223	食品衛生学実験Ⅱ	3 選					○						1		
		FOH1221	調理学	1 必				○	○	2							
		FOH1222	調理科学実験	2 必				○	○			1					
		FOH1221	調理学実習Ⅰ	1 必				○	○	1							
		FOH1221	調理学実習Ⅱ	1 必				○	○		1						
		FOH1221	食文化論	1 選							2						
		FOH1223	フードコーディネート論	3 選											2		
		FOH1222	◆地域食品開発ゼミ	2 選		○							2				
		FOH1223	食品加工学	3 選		○								2			
		FOH1223	食品加工学実習	3 選		○									1		
		FOH1224	食品開発学演習	4 選		○										2	
専門基礎科目単位数合計　必修：31単位　推奨：0単位　選択：36単位																	

健康科学部
健康栄養学科　4回生用(2017年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期							
					臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養			1回生		2回生		3回生		4回生	
										前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	基礎栄養学	FUN1231	基礎栄養学Ⅰ	1 必				○	○		2						
		FUN1232	基礎栄養学Ⅱ	2 必				○	○			2					
		FUN1233	基礎栄養学実験	3 必				○	○					1			
	応用栄養学	APN1232	応用栄養学Ⅰ	2 必				○	○			2					
		APN1232	応用栄養学Ⅱ	2 選					○				2				
		APN1233	応用栄養学演習	3 必				○	○					2			
		APN1233	応用栄養学実習	3 必				○	○						1		
		APN1232	スポーツ栄養学	2 選			○						2				
		APN1233	◆トレーニング論	3 選			○							2			
		APN1233	健康づくり運動処方演習	3 選			○								2		
	栄養教育論	NUE1231	栄養教育論Ⅰ	1 必				○	○		2						
		NUE1232	栄養教育論Ⅱ	2 必				○	○			2					
		NUE1232	栄養教育論演習	2 選					○				2				
		NUE1233	栄養教育論実習	3 必				○	○					1			
		NUE1234	スポーツ栄養指導実習	4 選			○									1	
	臨床栄養学	CLN1232	臨床栄養学Ⅰ	2 必				○	○				2				
		CLN1233	臨床栄養学Ⅱ	3 選					○					2			
		CLN1233	臨床栄養学Ⅲ	3 選					○						2		
		CLN1234	臨床栄養学Ⅳ	4 選					○							2	
		CLN1233	臨床栄養学実習Ⅰ	3 必				○	○						1		
		CLN1234	臨床栄養学実習Ⅱ	4 必				○	○							1	
		CLN1232	チーム医療論	2 選	○							2					
		CLN1232	チーム医療ふれあい実習	2 選	○							①					
		CLN1233	◆栄養アセスメント演習	3 選	○										2		
		CLN1234	栄養マネジメント演習	4 選	○											2	
	公衆栄養学	PUN1232	公衆栄養学Ⅰ	2 必				○	○				2				
		PUN1233	公衆栄養学Ⅱ	3 選					○						2		
		PUN1234	公衆栄養学実習	4 選					○							1	
	給食経営管理論	SLM1231	給食経営管理論Ⅰ	1 必				○	○		2						
		SLM1232	給食経営管理論Ⅱ	2 選					○			2					
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅰ	3 必				○	○					1			
		SLM1233	給食経営管理論実習Ⅱ	3 必				○	○					1			
		SLM1232	メニュープランニング演習	2 選									2				
		SLM1232	フードシステム経済学	2 選									2				

健康科学部
健康栄養学科　4回生用(2017年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨 臨床栄養	食品開発	スポーツ栄養	栄養士資格必修	管理栄養士受験資格必修	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	総合演習	COS1233	総合演習	3 必					○					2			
		COS1232	◆総合対策演習Ⅰ	2 必									①				
		COS1233	◆総合対策演習Ⅱ	3 必											①		
		COS1234	特別演習Ⅰ	4 選												2	
		COS1234	特別演習Ⅱ	4 選					※								2
	臨地実習	OST1233	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3 必				○	○					①			
		OST1233	臨地実習Ⅱ（給食経営管理）	3 選					★					①			
		OST1234	臨地実習Ⅲ（臨床栄養）	4 選					○							②	
		OST1234	臨地実習Ⅳ（臨床栄養）	4 選					★							①	
		OST1234	臨地実習Ⅴ（公衆栄養）	4 選					★							①	
		GRP1234	卒業研究	4 選												②	
専門科目単位数合計　必修：30単位　推奨：0単位　選択：44単位																	
教育職員免許状に関する科目（栄養）		STC1243	栄養教諭論	3 選										2			
		STC1243	食に関する指導論	3 選											2		
		STC1244	栄養教育実習	4 選												2	
		STC1242	教職概論(中等)	2 選								2					
		STC1242	教育原理（中等）	2 選								2					
		STC1242	教育心理学（中等）	2 選								2					
		STC1242	発達心理学（中等）	2 選									2				
		STC1241	教育法制論（中等）	1 選							2						
		STC1243	教育課程論（中等）	3 選										2			
		STC1243	道徳・特別活動論	3 選										2			
		STC1242	教育方法・技術論（中等）	2 選									2				
		STC1243	生徒指導論	3 選										2			
		STC1242	教育相談（中等）	2 選									2				
		STC1244	教職実践演習（栄養教諭）	4 選													2

※　「特別演習Ⅱ」は本学指定の資格必修科目
★　いずれか1科目選択必修

専門準備科目	REP1201	管理栄養士へのベーシックサイエンス	1 選						0							

健康科学部

人間環境デザイン学科　１回生用（2020年度入学生）

※卒業要件についてはＰ.126参照

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	アパレル・造形	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	○	○	○			2					
		PES0012	東洋思想	2 推	○	○	○				2				
		PES0011	心理学概論	1 選				2							
		PES0012	人間関係論	2 選						2					
		PES0011	法学概論	1 選				2							
		PES0012	日本国憲法	2 選							2				
		PES0011	経済学概論	1 選					2						
		PES0011	人権教育	1 選					2						
		PES0012	国際社会論	2 選						2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選						2					
		HIC0012	科学史	2 選							2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○		2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選				2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選				2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	●	●	●			2					
		NSP0012	地球環境論	2 選						2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	○	○	○		2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	●	●	●	2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	●	●	●		2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選				①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●		1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選					2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 選					1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選					①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●	1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●	1							
		PLA1311	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●		1						
		PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○	1							
		PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○			①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○					①			
		PLA0012	海外インターンシップ	2 選						①					
		PLA1312	フィールドワーク演習	2 選						①					
		PLA0012	学校インターンシップ	2 選						①					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

［表中の記号等について］
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。
コースカリキュラム欄の　●は卒業必修、◎はコース特別推奨、○はコース推奨科目

健康科学部
人間環境デザイン学科　１回生用(2020年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
					建築・まちづくり	インテリアデザイン	アパレル・造形	１回生		２回生		３回生		４回生	
								前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	１選				2							
		FHS0021	精神保健学	１選					2						
		FHS0021	児童心理学	１選				2							
		FHS0021	高齢者心理学	１選				2							
		FHS0021	障害者心理学	１選					2						
		FHS0022	自立生活支援論	２選						2					
		FHS0021	社会福祉論	１選					2						
	社会・環境	SOE1321	ユニバーサルデザイン	１必	●	●	●		2						
		SOE1321	色彩論Ⅰ	１選	○	◎	◎		2						
		SOE1322	色彩論Ⅱ	２選	○	◎	◎			2					
	身体機能	FHB1321	リハビリテーション入門	１選				2							
		FHB1321	日常生活活動学入門	１必	●	●	●	2							
		FHB1323	人体感覚計測実験	３選									②		
	知覚と認識	PEC1323	環境心理学	３選	○	○	○					2			
		PEC1323	認知心理学	３選									2		
		PEC1322	色彩心理学	２選		○	○				2				
	表現の技術	TEE1321	デッサンⅠ	１必	●	●	●	2							
		TEE1321	デッサンⅡ	１選	○	○	○		2						
		TEE1321	立体表現Ⅰ	１選	○	○	○	2							
		TEE1321	立体表現Ⅱ	１選		○			2						
		TEE1322	コンピュータグラフィック	２選	○	○	○				2				
専門基礎科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：36単位															
専門科目	専門分野Ⅰ	SSⅠ1332	建築設計演習Ⅰ	２選	◎	◎				2					
		SSⅠ1332	建築設計演習Ⅱ	２選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅲ	３選	◎							2			
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅳ	３選	◎								2		
		SSⅠ1332	建築ＣＡＤⅠ	２選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築ＣＡＤⅡ	３選	○	○						2			
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習A	２選		◎				2					
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習B	２選		◎					2				
		SSⅠ1333	インテリアデザイン演習C	３選		◎						2			
		SSⅠ1333	インテリアコーディネート演習	３選		◎							2		
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅰ	２選			◎			2					
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅱ	２選			◎				2				
		SSⅠ1333	アパレル構成実習Ⅲ	３選			◎					2			
		SSⅠ1333	アパレル構成実習Ⅳ	３選			◎						②		
		SSⅠ1333	アパレルデザイン演習	３選			◎					②			
		SSⅠ1332	テキスタイル実習Ⅰ	２選			◎			2					
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅱ	３選			◎					2			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅲ	３選			◎						2		
		SSⅠ1333	プロダクトデザイン	３選			○					2			

健康科学部
人間環境デザイン学科　１回生用（2020年度入学生）

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	アパレル・造形	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	専門分野Ⅱ	SSⅡ1331	建築学概論	1 選	◎			2							
		SSⅡ1331	住環境計画Ⅰ	1 選	◎	◎			2						
		SSⅡ1332	住環境計画Ⅱ	2 選	◎	◎				2					
		SSⅡ1332	住生活史	2 選	○	◎	○			2					
		SSⅡ1332	日本建築史	2 選	◎	○				2					
		SSⅡ1332	西洋･東洋建築史	2 選	◎	○					2				
		SSⅡ1333	建築環境工学	3 選	◎	◎						2			
		SSⅡ1333	建築設備学演習	3 選	◎	○							2		
		SSⅡ1333	服飾史	3 選			◎					2			
	専門分野Ⅲ	SSⅢ1331	構造力学Ⅰ	1 選	◎				2						
		SSⅢ1332	構造力学Ⅱ	2 選	◎					2					
		SSⅢ1332	建築一般構造Ⅰ	2 選	◎	○					2				
		SSⅢ1333	建築一般構造Ⅱ	3 選	◎	○						2			
		SSⅢ1332	建築材料学	2 選	◎	○				2					
		SSⅢ1333	建築材料実験	3 選	◎							2	(2)		
		SSⅢ1333	建築施工	3 選	◎	○							2		
		SSⅢ1333	建築法規	3 選	◎	○						2			
		SSⅢ1331	アパレル整理学	1 選			◎		2						
		SSⅢ1332	アパレル材料学	2 選			◎			2					
		SSⅢ1332	アパレル材料学実験	2 選			◎				2				
	専門分野Ⅳ	SSⅣ1331	景観・まちづくり演習	1 必	●	●	●		2						
		SSⅣ1331	建築図学	1 選	◎	◎			2						
		SSⅣ1333	測量実習	3 選	◎								2		
		SSⅣ1333	ランドスケープ演習	3 選	◎								2		
		SSⅣ1331	人間工学	1 必	●	●	●		2						
		SSⅣ1332	人間工学実験	2 選	○	○	○			2					
		SSⅣ1333	生活環境素材論	3 選	○	○	◎					2			
		SSⅣ1333	福祉のまちづくり（地域計画論）	3 選	○	○						2			
		SSⅣ1331	インテリアデザイン	1 選		◎	○		2						
		SSⅣ1332	インテリア設計総合演習	2 選		○				2					
		SSⅣ1332	インテリア商品と販売知識	2 選		◎	○				2				
		SSⅣ1332	インテリア計画と技術	2 選		◎					2				
		SSⅣ1331	住生活論	1 選	○	◎	○	2							
		SSⅣ1331	衣生活論	1 選			◎	2							
		SSⅣ1331	アパレル構成論	1 選			◎		2						
		SSⅣ1333	ファッションビジネス論	3 選			◎					2			
		SSⅣ1333	福祉機器論	3 選		○							2		
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン(環境)	4 選※	◎	◎								2	
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン(ファッション)	4 選※			◎							2	
		SSⅣ1333	家庭経営学	3 選								2			
		SSⅣ1333	家庭電気・機械	3 選									2		
		SSⅣ1332	健康と食生活	2 選						2					
		SSⅣ1333	調理実習	3 選								2			
		SSⅣ1332	保育学	2 選							2				
		SSⅣ1333	消費科学	3 選		○	◎						2		
	プロジェクトゼミ	PRS1332	プロジェクトゼミA	2 必	●	●	●				2				
		PRS1333	プロジェクトゼミB	3 選	◎	◎	◎						2		
		GRP1334	卒業研究	4 必	●	●	●								④
専門科目単位数合計　必修：10単位　推奨：0単位　選択：125単位															

※の2科目よりいずれか1科目選択必修

健康科学部
人間環境デザイン学科　１回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
				ちづくり	建築・まデザイン	インテリア	アパレル・造形	１回生		２回生		３回生		４回生	
								前	後	前	後	前	後	前	後
教育職員免許状に関する科目（家庭）	STC1343	家庭科指導法Ⅰ	３選									2			
	STC1343	家庭科指導法Ⅱ	３選									2			
	STC1343	家庭科指導法Ⅲ	３選									2			
	STC1343	家庭科指導法Ⅳ	３選									2			
	STC1344	家庭科教育実習指導	４選											1	
	STC1344	家庭科教育実習(中)	４選											④	
	STC1344	家庭科教育実習(高)	４選											②	
	STC1342	教職概論（中等）	２選							2					
	STC1342	教育原理（中等）	２選							2					
	STC1342	教育心理学（中等）	２選							2					
	STC1342	発達心理学（中等）	２選								2				
	STC1342	特別支援教育入門Ａ	２選							1					
	STC1341	教育法制論（中等）	１選						2						
	STC1343	教育課程論（中等）	３選									2			
	STC1343	道徳指導法（中等）	３選										2		
	STC1343	特別活動指導法（中等）	３選										2		
	STC1342	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	２選								2				
	STC1343	生徒・進路指導論（中等）	３選										2		
	STC1342	教育相談（中等）	２選								2				
	STC1344	教職実践演習（中・高）	４選												2
専門準備科目	REP1301	建築へのベーシックサイエンス	１選					0							

健康科学部
人間環境デザイン学科　2回生用（2019年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	アパレル・造形	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2推	○	○	○			2					
		PES0012	東洋思想	2推	○	○	○				2				
		PES0011	心理学概論	1選				2							
		PES0012	人間関係論	2選						2					
		PES0011	法学概論	1選				2							
		PES0012	日本国憲法	2選							2				
		PES0011	経済学概論	1選					2						
		PES0011	人権教育	1選					2						
		PES0012	国際社会論	2選						2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2選						2					
		HIC0012	科学史	2選							2				
		HIC0011	文化芸術論	1選	○	○	○		2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1選				2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1選				2							
		NSP0012	生命倫理	2必	●	●	●			2					
		NSP0012	地球環境論	2選						2					
		NSP0011	数理科学入門	1選	○	○	○		2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1必	●	●	●	2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1必	●	●	●		2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2選						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2選							2				
		LAI0011	短期語学留学	1選				①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1必	●	●	●	1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1必	●	●	●		1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1選					2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1選					1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1選					①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1必	●	●	●	1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1必	●	●	●	1							
		PLA1311	キャリア形成セミナー	1必	●	●	●		1						
		PLA0011	日本語と表現	1選	○	○	○	1							
		PLA0012	企業インターンシップA	2選	○	○	○			①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3選	○	○	○					①			
		PLA0012	海外インターンシップ	2選						①					
		PLA0012	学校インターンシップ	2選						①					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

［表中の記号等について］
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉1必は1回生配当の必修科目であることを表します。
コースカリキュラム欄の　●は卒業必修、◎はコース特別推奨、○はコース推奨科目

健康科学部
人間環境デザイン学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
					建築・まちづくり	インテリアデザイン	アパレル・造形	1回生		2回生		3回生		4回生	
								前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選				2							
		FHS0021	精神保健学	1 選					2						
		FHS0021	児童心理学	1 選				2							
		FHS0021	高齢者心理学	1 選				2							
		FHS0021	障害者心理学	1 選					2						
		FHS0022	自立生活支援論	2 選						2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選					2						
	社会・環境	SOE1321	ユニバーサルデザイン	1 必	●	●	●		2						
		SOE1321	色彩論Ⅰ	1 選	○	◎	◎		2						
		SOE1322	色彩論Ⅱ	2 選	○	◎	◎			2					
	身体機能	FHB1321	リハビリテーション入門	1 選				2							
		FHB1321	日常生活活動学入門	1 必	●	●	●	2							
		FHB1323	人体感覚計測実験	3 選									②		
	知覚と認識	PEC1323	環境心理学	3 選	○	○	○					2			
		PEC1323	認知心理学	3 選									2		
		PEC1322	色彩心理学	2 選		○	○				2				
	表現の技術	TEE1321	デッサンⅠ	1 必	●	●	●	2							
		TEE1321	デッサンⅡ	1 選	○	○	○		2						
		TEE1321	立体表現Ⅰ	1 選	○	○	○	2							
		TEE1321	立体表現Ⅱ	1 選		○			2						
		TEE1322	コンピュータグラフィック	2 選	○	○	○				2				
専門基礎科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：36単位															
専門科目	専門分野Ⅰ	SSⅠ1332	建築設計演習Ⅰ	2 選	◎	◎				2					
		SSⅠ1332	建築設計演習Ⅱ	2 選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅲ	3 選	◎							2			
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅳ	3 選	◎								2		
		SSⅠ1332	建築ＣＡＤⅠ	2 選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築ＣＡＤⅡ	3 選	○	○						2			
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習A	2 選		◎				2					
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習B	2 選		◎					2				
		SSⅠ1333	インテリアデザイン演習C	3 選		◎						1			
		SSⅠ1333	インテリアコーディネート演習	3 選		◎							2		
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅰ	2 選			◎			2					
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅱ	2 選			◎				2				
		SSⅠ1333	アパレル構成実習Ⅲ	3 選			◎					2			
		SSⅠ1333	アパレル構成実習Ⅳ	3 選			◎						②		
		SSⅠ1333	アパレルデザイン演習	3 選			◎					②			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅰ	3 選			◎					2			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅱ	3 選			◎						2		
		SSⅠ1334	テキスタイル実習Ⅲ	4 選			◎							2	
		SSⅠ1333	プロダクトデザイン	3 選			○					2			

健康科学部
人間環境デザイン学科　2回生用(2019年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
					建築・まちづくり	インテリアデザイン	アパレル・造形	1回生		2回生		3回生		4回生	
								前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	専門分野Ⅱ	SSⅡ1331	建築学概論	1選	◎			2							
		SSⅡ1331	住環境計画Ⅰ	1選	◎	◎			2						
		SSⅡ1332	住環境計画Ⅱ	2選	◎	◎				2					
		SSⅡ1332	住生活史	2選	○	◎	○			2					
		SSⅡ1332	日本建築史	2選	◎	○				2					
		SSⅡ1332	西洋･東洋建築史	2選	◎	○					2				
		SSⅡ1333	建築環境工学	3選	◎	◎						2			
		SSⅡ1333	建築設備学演習	3選	◎	○							2		
		SSⅡ1333	服飾史	3選			◎					2			
	専門分野Ⅲ	SSⅢ1331	構造力学Ⅰ	1選	◎				2						
		SSⅢ1332	構造力学Ⅱ	2選	◎					2					
		SSⅢ1332	建築一般構造Ⅰ	2選	◎	○					2				
		SSⅢ1333	建築一般構造Ⅱ	3選	◎	○						2			
		SSⅢ1332	建築材料学	2選	◎	○				2					
		SSⅢ1333	建築材料実験	3選	◎							2	(2)		
		SSⅢ1333	建築施工	3選	◎	○							2		
		SSⅢ1333	建築法規	3選	◎	○						2			
		SSⅢ1331	アパレル整理学	1選			◎		2						
		SSⅢ1332	アパレル材料学	2選			◎			2					
		SSⅢ1332	アパレル材料学実験	2選			◎				2				
	専門分野Ⅳ	SSⅣ1331	景観・まちづくり演習	1必	●	●	●		2						
		SSⅣ1331	建築図学	1選	◎	◎			2						
		SSⅣ1333	測量実習	3選	◎								2		
		SSⅣ1333	ランドスケープ演習	3選	◎								2		
		SSⅣ1331	人間工学	1必	●	●	●		2						
		SSⅣ1332	人間工学実験	2選	○	○	○			2					
		SSⅣ1333	生活環境素材論	3選	○	○	◎					2			
		SSⅣ1333	福祉のまちづくり（地域計画論）	3選	○	○						2			
		SSⅣ1331	インテリアデザイン	1選		◎	○		2						
		SSⅣ1332	インテリア設計総合演習	2選		○				2					
		SSⅣ1332	インテリア商品と販売知識	2選		◎	○				2				
		SSⅣ1332	インテリア計画と技術	2選		◎					2				
		SSⅣ1331	住生活論	1選	○	◎	○	2							
		SSⅣ1331	衣生活論	1選			◎	2							
		SSⅣ1331	アパレル構成論	1選			◎		2						
		SSⅣ1333	ファッションビジネス論	3選			◎					2			
		SSⅣ1333	福祉機器論	3選		○							2		
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン(環境)	4選※	◎	◎								2	
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン(ファッション)	4選※			◎							2	
		SSⅣ1333	家庭経営学	3選								2			
		SSⅣ1333	家庭電気・機械	3選									2		
		SSⅣ1332	健康と食生活	2選						2					
		SSⅣ1333	調理実習	3選								2			
		SSⅣ1332	保育学	2選							2				
		SSⅣ1333	消費科学	3選		○	◎						2		
	プロジェクトゼミ	PRS1332	プロジェクトゼミA	2必	●	●	●				2				
		PRS1333	プロジェクトゼミB	3選	◎	◎	◎						2		
		GRP1334	卒業研究	4必	●	●	●								④
専門科目単位数合計　必修：10単位　推奨：0単位　選択：125単位															

※の2科目よりいずれか1科目選択必修

健康科学部
人間環境デザイン学科　2回生用(2019年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
				ちづくり	建築・まインテリアデザイン	アパレル・造形	1回生		2回生		3回生		4回生	
							前	後	前	後	前	後	前	後
教育職員免許状に関する科目（家庭）	STC1343	家庭科指導法Ⅰ	3選								2			
	STC1343	家庭科指導法Ⅱ	3選								2			
	STC1343	家庭科指導法Ⅲ	3選								2			
	STC1343	家庭科指導法Ⅳ	3選								2			
	STC1344	家庭科教育実習指導	4選										1	
	STC1344	家庭科教育実習(中)	4選										④	
	STC1344	家庭科教育実習(高)	4選										②	
	STC1342	教職概論（中等）	2選						2					
	STC1342	教育原理（中等）	2選						2					
	STC1342	教育心理学（中等）	2選						2					
	STC1342	発達心理学（中等）	2選							2				
	STC1342	特別支援教育入門A	2選						1					
	STC1341	教育法制論（中等）	1選					2						
	STC1343	教育課程論（中等）	3選								2			
	STC1343	道徳指導法（中等）	3選									2		
	STC1343	特別活動指導法（中等）	3選									2		
	STC1342	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	2選							2				
	STC1343	生徒・進路指導論（中等）	3選									2		
	STC1342	教育相談（中等）	2選							2				
	STC1344	教職実践演習（中・高）	4選											2
専門準備科目	REP1301	建築へのベーシックサイエンス	1選				0							

健康科学部
人間環境デザイン学科　3回生用（2018年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	○	○	○			2					
		PES0012	東洋思想	2 推	○	○	○				2				
		PES0011	心理学概論	1 選				2							
		PES0012	人間関係論	2 選						2					
		PES0011	法学概論	1 選				2							
		PES0012	日本国憲法	2 選							2				
		PES0011	経済学概論	1 選					2						
		PES0011	人権教育	1 選					2						
		PES0012	国際社会論	2 選						2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選						2					
		HIC0012	科学史	2 選							2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○		2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選				2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選				2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	●	●	●			2					
		NSP0012	地球環境論	2 選						2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	○	○	○		2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	●	●	●	2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	●	●	●		2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選				①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●		1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選					2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 選					1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選					①						
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●	1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●	1							
		PLA1311	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●		1						
		PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○	1							
		PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○			①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○					①			
		PLA0012	海外インターンシップ	2 選						①					
		PLA0012	学校インターンシップ	2 選						①					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉 1必は1回生配当の必修科目であることを表します。
コースカリキュラム欄の　●は卒業必修、◎はコース特別推奨、○はコース推奨科目

健康科学部
人間環境デザイン学科　3回生用(2018年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
					建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	1回生		2回生		3回生		4回生	
								前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選				2							
		FHS0021	精神保健学	1 選					2						
		FHS0021	児童心理学	1 選			○	2							
		FHS0021	高齢者心理学	1 選			○	2							
		FHS0021	障害者心理学	1 選					2						
		FHS0022	自立生活支援論	2 選						2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選					2						
	社会・環境	SOE1321	ユニバーサルデザイン	1 必	●	●	●		2						
		SOE1321	色彩論Ⅰ	1 選	○	◎	◎		2						
		SOE1322	色彩論Ⅱ	2 選	○	◎	◎			2					
	身体機能	FHB1321	リハビリテーション入門	1 選				2							
		FHB1321	日常生活活動学入門	1 必	●	●	●	2							
		FHB1323	人体感覚計測実験	3 選									②		
	知覚と認識	PEC1323	環境心理学	3 選	○	○	○					2			
		PEC1323	認知心理学	3 選			○						2		
		PEC1322	色彩心理学	2 選		○	○				2				
	表現の技術	TEE1321	デッサンⅠ	1 必	●	●	●	2							
		TEE1321	デッサンⅡ	1 選	○	○	○		2						
		TEE1321	立体表現Ⅰ	1 選	○	○	○	2							
		TEE1321	立体表現Ⅱ	1 選		○			2						
		TEE1322	コンピュータグラフィック	2 選	○	○	◎				2				
専門基礎科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：36単位															
専門科目	専門分野Ⅰ	SSⅠ1332	建築設計演習Ⅰ	2 選	◎	◎				2					
		SSⅠ1332	建築設計演習Ⅱ	2 選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅲ	3 選	◎							2			
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅳ	3 選	◎								2		
		SSⅠ1332	建築ＣＡＤⅠ	2 選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築ＣＡＤⅡ	3 選	○	○						2			
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習Ⅰ	2 選	○	◎	◎			2					
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習Ⅱ	2 選	○	◎					2				
		SSⅠ1333	インテリアデザイン演習Ⅲ	3 選		◎						2			
		SSⅠ1333	インテリアコーディネート演習	3 選		◎							2		
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅰ	2 選			◎			2					
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅱ	2 選			◎				2				
		SSⅠ1333	アパレル構成実習Ⅲ	3 選			○						②		
		SSⅠ1333	アパレルデザイン演習	3 選			○					②			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅰ	3 選			◎					2			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅱ	3 選			◎						2		
		SSⅠ1333	プロダクトデザインA	3 選			◎					2			
		SSⅠ1333	プロダクトデザインB	3 選			◎						2		

健康科学部
人間環境デザイン学科　3回生用（2018年度入学生）

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	専門分野Ⅱ	SSⅡ1331	建築学概論	1 選	◎			2							
		SSⅡ1331	住環境計画Ⅰ	1 選	◎	◎			2						
		SSⅡ1332	住環境計画Ⅱ	2 選	◎	◎				2					
		SSⅡ1332	住生活史	2 選	○	◎	◎			2					
		SSⅡ1332	日本建築史	2 選	◎	○	○			2					
		SSⅡ1332	西洋･東洋建築史	2 選	◎	○	○				2				
		SSⅡ1333	建築環境工学	3 選	◎	◎						2			
		SSⅡ1333	建築設備学演習	3 選	◎	○							2		
	専門分野Ⅲ	SSⅢ1331	構造力学Ⅰ	1 選	◎				2						
		SSⅢ1332	構造力学Ⅱ	2 選	◎					2					
		SSⅢ1332	建築一般構造Ⅰ	2 選	◎	○					2				
		SSⅢ1333	建築一般構造Ⅱ	3 選	◎	○						2			
		SSⅢ1332	建築材料学	2 選	◎	○					2				
		SSⅢ1333	建築材料実験	3 選	◎							2	(2)		
		SSⅢ1333	建築施工	3 選	◎	○							2		
		SSⅢ1333	建築法規	3 選	◎	○						2			
	専門分野Ⅳ	SSⅣ1331	景観・まちづくり演習	1 必	●	●	●		2						
		SSⅣ1331	建築図学	1 選	◎	◎			2						
		SSⅣ1333	測量実習	3 選	◎								2		
		SSⅣ1333	ランドスケープ演習	3 選	◎								2		
		SSⅣ1331	人間工学	1 必	●	●	●		2						
		SSⅣ1332	人間工学実験	2 選	○	○	◎			2					
		SSⅣ1333	生活環境素材論	3 選	○	○	◎					2			
		SSⅣ1333	福祉のまちづくり（地域計画論）	3 選	○	○						2			
		SSⅣ1331	インテリアデザイン	1 選	○	◎	○		2						
		SSⅣ1332	インテリア設計総合演習	2 選		○				2					
		SSⅣ1332	インテリア商品と販売知識	2 選		◎	○				2				
		SSⅣ1332	インテリア計画と技術	2 選		◎					2				
		SSⅣ1331	住生活論	1 選	○	◎	◎	2							
		SSⅣ1331	衣生活論	1 選			◎	2							
		SSⅣ1331	アパレル構成論	1 選			◎		2						
		SSⅣ1333	ファッションビジネス論	3 選			○					2			
		SSⅣ1333	福祉機器論	3 選		○	◎						2		
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン(環境)	4 選※	◎	◎								2	
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン(ファッション)	4 選※			◎							2	
		SSⅣ1333	家庭経営学	3 選			○					2			
		SSⅣ1333	家庭電気・機械	3 選			○						2		
		SSⅣ1332	健康と食生活	2 選			○			2					
		SSⅣ1333	◆調理実習	3 選			○					2			
		SSⅣ1332	保育学	2 選			○				2				
	プロジェクトゼミ	PRS1332	プロジェクトゼミA	2 必	●	●	●				2				
		PRS1333	プロジェクトゼミB	3 選	◎	◎	◎						2		
		GRP1334	卒業研究	4 必	●	●	●								④
専門科目単位数合計　必修：10単位　推奨：0単位　選択：114単位															

※の2科目よりいずれか1科目選択必修

健康科学部
人間環境デザイン学科　3回生用(2018年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
				建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	1回生		2回生		3回生		4回生	
							前	後	前	後	前	後	前	後
教育職員免許状に関する科目（家庭）	STC1343	◆家庭科指導法Ⅰ	3選								2			
	STC1343	◆家庭科指導法Ⅱ	3選								2			
	STC1343	◆家庭科指導法Ⅲ	3選								2			
	STC1343	◆家庭科指導法Ⅳ	3選								2			
	STC1344	家庭科教育実習指導	4選										1	
	STC1344	家庭科教育実習(中)	4選										④	
	STC1344	家庭科教育実習(高)	4選										②	
	STC1342	教職概論（中等）	2選						2					
	STC1342	教育原理（中等）	2選						2					
	STC1342	教育心理学（中等）	2選						2					
	STC1342	発達心理学（中等）	2選							2				
	STC1341	教育法制論（中等）	1選					2						
	STC1343	教育課程論（中等）	3選								2			
	STC1343	道徳指導法（中等）	3選									2		
	STC1343	特別活動指導法（中等）	3選									2		
	STC1342	教育方法・技術論（中等）	2選							2				
	STC1343	生徒・進路指導論（中等）	3選									2		
	STC1342	教育相談（中等）	2選							2				
	STC1344	教職実践演習（中・高）	4選											2
専門準備科目	REP1301	建築へのベーシックサイエンス	1選				0							

健康科学部
人間環境デザイン学科　4回生用（2017年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	○	○	○			2					
		PES0012	東洋思想	2 推	○	○	○				2				
		PES0011	心理学概論	1 選				2							
		PES0012	人間関係論	2 選						2					
		PES0011	法学概論	1 選				2							
		PES0012	日本国憲法	2 選							2				
		PES0011	経済学概論	1 選					2						
		PES0011	人権教育	1 選					2						
		PES0012	国際社会論	2 選						2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選						2					
		HIC0012	科学史	2 選							2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○		2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選				2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選				2							
		NSP0012	生命倫理	2 必	●	●	●			2					
		NSP0012	地球環境論	2 選						2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	○	○	○		2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	●	●	●	2							
		LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	●	●	●		2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選				①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●		1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選					2						
		HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 選					1						
		HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選				①*							
	教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●	1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●	1							
		PLA1311	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●		1						
		PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○	1							
		PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○			①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○					①			
		PLA0012	海外インターンシップ	2 選						①					
		PLA0012	学校インターンシップ	2 選						①					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉1必は1回生配当の必修科目であることを表します。
コースカリキュラム欄の　●は卒業必修、◎はコース特別推奨、○はコース推奨科目

健康科学部
人間環境デザイン学科　4回生用(2017年度入学生)

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
					建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	1回生		2回生		3回生		4回生	
								前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選				2							
		FHS0021	精神保健学	1 選					2						
		FHS0021	児童心理学	1 選			○	2							
		FHS0021	高齢者心理学	1 選			○	2							
		FHS0021	障害者心理学	1 選					2						
		FHS0022	自立生活支援論	2 選						2					
		FHS0021	社会福祉論	1 選					2						
	社会・環境	SOE1321	ユニバーサルデザイン	1 必	●	●	●		2						
		SOE1321	色彩論Ⅰ	1 選	○	◎	◎		2						
		SOE1322	色彩論Ⅱ	2 選	○	◎	◎			2					
	身体機能	FHB1321	リハビリテーション入門	1 選				2							
		FHB1321	日常生活活動学入門	1 必	●	●	●	2							
		FHB1323	人体感覚計測実験	3 選									②		
	知覚と認識	PEC1323	環境心理学	3 選	○	○	○					2			
		PEC1323	認知心理学	3 選									2		
		PEC1322	色彩心理学	2 選							2				
	表現の技術	TEE1321	デッサンⅠ	1 必	●	●	●	2							
		TEE1321	デッサンⅡ	1 選	○	○	○		2						
		TEE1321	立体表現Ⅰ	1 選	○	○	○	2							
		TEE1321	立体表現Ⅱ	1 選		○			2						
		TEE1322	コンピュータグラフィック	2 選	○	○	○				2				
専門基礎科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：36単位															
専門科目	専門分野Ⅰ	SSⅠ1332	建築設計演習Ⅰ	2 選	◎	◎				2					
		SSⅠ1332	建築設計演習Ⅱ	2 選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅲ	3 選	◎							2			
		SSⅠ1333	建築設計演習Ⅳ	3 選	◎								2		
		SSⅠ1332	建築ＣＡＤⅠ	2 選	◎	◎					2				
		SSⅠ1333	建築ＣＡＤⅡ	3 選	○	○						2			
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習Ⅰ	2 選	○	◎				2					
		SSⅠ1332	インテリアデザイン演習Ⅱ	2 選	○	◎					2				
		SSⅠ1333	インテリアデザイン演習Ⅲ	3 選		◎						2			
		SSⅠ1333	インテリアコーディネート演習	3 選		◎							2		
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅰ	2 選			◎			2					
		SSⅠ1332	アパレル構成実習Ⅱ	2 選			◎				2				
		SSⅠ1333	アパレル構成実習Ⅲ	3 選			◎						②		
		SSⅠ1333	アパレルデザイン演習	3 選			◎					②			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅰ	3 選			◎					2			
		SSⅠ1333	テキスタイル実習Ⅱ	3 選			◎						2		
		SSⅠ1333	プロダクトデザインA	3 選			○					2			
		SSⅠ1333	プロダクトデザインB	3 選			○						2		

健康科学部
人間環境デザイン学科　4回生用（2017年度入学生）

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム 建築・まちづくり	インテリアデザイン	造形デザイン	開講時期 1回生 前	1回生 後	2回生 前	2回生 後	3回生 前	3回生 後	4回生 前	4回生 後
専門科目	専門分野Ⅱ	SSⅡ1331	建築学概論	1 選	◎	◎	○	2							
		SSⅡ1331	住環境計画Ⅰ	1 選	◎	◎	○		2						
		SSⅡ1332	住環境計画Ⅱ	2 選	◎	◎	○			2					
		SSⅡ1332	住生活史	2 選	○	◎	○			2					
		SSⅡ1332	日本建築史	2 選	◎	○				2					
		SSⅡ1332	西洋･東洋建築史	2 選	◎	○					2				
		SSⅡ1333	建築環境工学	3 選	◎	◎						2			
		SSⅡ1333	建築設備学演習	3 選	◎	◎							2		
	専門分野Ⅲ	SSⅢ1331	構造力学Ⅰ	1 選	◎				2						
		SSⅢ1332	構造力学Ⅱ	2 選	◎					2					
		SSⅢ1332	建築一般構造Ⅰ	2 選	◎	○					2				
		SSⅢ1333	建築一般構造Ⅱ	3 選	◎	○						2			
		SSⅢ1332	建築材料学	2 選	◎	○					2				
		SSⅢ1333	建築材料実験	3 選	◎							2	(2)		
		SSⅢ1333	建築施工	3 選	◎	○							2		
		SSⅢ1333	建築法規	3 選	◎	○						2			
	専門分野Ⅳ	SSⅣ1331	景観・まちづくり演習	1 必	●	●	●		2						
		SSⅣ1331	建築図学	1 選	◎	◎			2						
		SSⅣ1333	測量実習	3 選	◎								2		
		SSⅣ1333	ランドスケープ演習	3 選	◎								2		
		SSⅣ1331	人間工学	1 必	●	●	●		2						
		SSⅣ1332	人間工学実験	2 選	○	○	○			2					
		SSⅣ1333	生活環境素材論	3 選	○	○	◎					2			
		SSⅣ1333	福祉のまちづくり（地域計画論）	3 選	○	○						2			
		SSⅣ1331	インテリアデザイン	1 選	○	◎	○		2						
		SSⅣ1332	インテリア設計総合演習	2 選		◎				2					
		SSⅣ1332	インテリア商品と販売知識	2 選		◎	○				2				
		SSⅣ1332	インテリア計画と技術	2 選		◎					2				
		SSⅣ1331	住生活論	1 選	○	◎	○	2							
		SSⅣ1331	衣生活論	1 選			◎	2							
		SSⅣ1331	アパレル構成論	1 選			◎		2						
		SSⅣ1333	ファッションビジネス論	3 選			◎					2			
		SSⅣ1333	福祉機器論	3 選		○	◎						2		
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン（環境）	4 選※	◎	◎								2	
		SSⅣ1334	ユニバーサルデザイン（ファッション）	4 選※			◎							2	
		SSⅣ1333	家庭経営学	3 選			○					2			
		SSⅣ1333	家庭電気・機械	3 選			○						2		
		SSⅣ1332	健康と食生活	2 選			○			2					
		SSⅣ1333	◆調理実習	3 選			○					2			
		SSⅣ1332	保育学	2 選			○				2				
	プロジェクトゼミ	PRS1332	プロジェクトゼミA	2 必	●	●	●				2				
		PRS1333	プロジェクトゼミB	3 選	◎	◎	◎						2		
		GRP1334	卒業研究	4 必	●	●	●								④

専門科目単位数合計　必修：10単位　推奨：0単位　選択：114単位

※の2科目よりいずれか1科目選択必修

健康科学部
人間環境デザイン学科　4回生用(2017年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コースカリキュラム			開講時期							
				ちづくり	建築・まインテリアデザイン	造形デザイン	1回生		2回生		3回生		4回生	
							前	後	前	後	前	後	前	後
教育職員免許状に関する科目（家庭）	STC1343	◆家庭科指導法Ⅰ	3選								2			
	STC1343	◆家庭科指導法Ⅱ	3選								2			
	STC1343	◆家庭科指導法Ⅲ	3選								2			
	STC1343	◆家庭科指導法Ⅳ	3選								2			
	STC1344	家庭科教育実習指導	4選										1	
	STC1344	家庭科教育実習(中)	4選										④	
	STC1344	家庭科教育実習(高)	4選										②	
	STC1342	教職概論（中等）	2選						2					
	STC1342	教育原理（中等）	2選						2					
	STC1342	教育心理学（中等）	2選						2					
	STC1342	発達心理学（中等）	2選							2				
	STC1341	教育法制論（中等）	1選					2						
	STC1343	教育課程論（中等）	3選								2			
	STC1343	道徳指導法（中等）	3選									2		
	STC1343	特別活動指導法（中等）	3選									2		
	STC1342	教育方法・技術論（中等）	2選							2				
	STC1343	生徒・進路指導論（中等）	3選									2		
	STC1342	教育相談（中等）	2選							2				
	STC1344	教職実践演習（中・高）	4選											2

専門準備科目	REP1301	建築へのベーシックサイエンス	1選				0							

教育学部
現代教育学科　１回生用（2020年度入学生）

※卒業要件についてはＰ.126参照

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応				資格要件に関する科目							開講時期							
					学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	教員免許状					保育士	認定心理士	１回生		２回生		３回生		４回生	
									小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	２推	◎	◎	◎	◎										2					
		PES0012	東洋思想	２推	◎	◎	◎	◎											2				
		PES0011	心理学概論	１選	○	○	○	○						○	○	2							
		PES0013	人間関係論	３選	○	○	○	○						○	○					2			
		PES0011	法学概論	１選	○	○	○	○								2							
		PES0012	日本国憲法	２選	○	○	○	○	○	○	○	○		○					2				
		PES0011	経済学概論	１選	○	○	○	○									2						
		PES0011	人権教育	１選	○	○	○	○						○		2							
		PES0012	国際社会論	２選	○	○	○	○										2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	２選	○	○	○	○										2					
		HIC0012	科学史	２選	○	○	○	○											2				
		HIC0011	文化芸術論	１選	○	○	○	○									2						
		HIC0011	日本文芸の世界	１選	○	○	○	○								2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	１選	○	○	○	○								2							
		NSP0013	生命倫理	３必	●	●	●	●												2			
		NSP0012	地球環境論	２選	○	○	○	○										2					
		NSP0011	数理科学入門	１選	○	○	○	○									2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションA	１必	●	●	●	●	○	○	○	○		○		2							
		LAI0011	英語コミュニケーションB	１必	●	●	●	●						○			2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションA	２選	○	○	○	○				○						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションB	２選	○	○	○	○				○							2				
		LAI0011	短期語学留学	１選	○	○	○	○								①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	１必	●	●	●	●	○	○	○	○		○		1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	１必	●	●	●	●	○	○	○	○		○			1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	１選	○	○	○	○	○	○	○	○		○			2						
		HES0011	スポーツ実習A	１選	○	○	○	○	○	○	○	○		○		1							
		HES0011	スポーツ実習B	１選	○	○	○	○	○	○	○	○					①						
	教養実践プログラム	PLA2111	ベーシックセミナー	１必	●	●	●	●								1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	１必	●	●	●	●								1							
		PLA2111	キャリア形成セミナー	１必	●	●	●	●								1							
		PLA0011	日本語と表現	１選	○	○	○	○									1						
		PLA0012	企業インターンシップA	２選	○	○	○	○										①					
		PLA0013	企業インターンシップB	３選	○	○	○	○												①			
		PLA0012	海外インターンシップ	２選	○	○	○	○											①				
		PLA2112	学校インターンシップ	２選	○	○	○	○										①*					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

［表中の記号等について］
◆…今年度非開講
※開講時期欄の丸数字…集中講義形式で実施予定。＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
※配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。
※コース対応科目欄…●は卒業必修及びコース必修科目
◎はコース推奨科目
○はそのコースに対応した科目。○のついていない科目を受講することは可能で卒業単位に含まれますが時間割上必ず受講できるとは限りません。
※※１～※４は（初等）（中等）のいずれか選択必修。ただし、小学校教員免許希望者は（初等）、中高または養護教員免許希望者は（中等）の履修が必要です。また、小学校と中高の両方を志望する者は、（初等）（中等）ともに履修が必要です。
※資格要件に関する科目欄の○はその資格要件に含まれている科目。必修・選択の別については後掲の資格課程表で確認してください。
※学校教育コースで高校英語教員免許を希望し、小学校教員免許を希望しない場合は、「教育方法・技術論」「教育課程論」はいずれも（中等）の修得が必要です。

教育学部
現代教育学科　１回生用（2020年度入学生）

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応				資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	教員免許状					保育士	認定心理士	１回生		２回生		３回生		４回生	
								小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	FUP2121	教育心理学（初等）※1	１選	●	●	●	●	○	○				○	○		２						
	FUP2122	教育心理学（中等）※1	２選							○	○			○			２					
	FUP2121	現代教育論	１必	●	●	●	●	○	○	○	○				２							
	FUP2121	教育原理（初等）※2	１選	●	●	●	●	○	○				○	○		２						
	FUP2122	教育原理（中等）※2	２選							○	○			○			２					
	FUP2121	教育史	１選	○	○	○	○	○	○	○	○					２						
	FUP2122	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（初等）※3	２選	●	○	○	○	○	○								２					
	FUP2122	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）※3	２選			○	○			○	○							２				
	ESS2123	教育法制論（初等）	３選	○	○	○	○	○	○				○	○						２		
	ESS2121	教育法制論（中等）	１選	○	○	○	○			○	○			○		２						
	FUP2123	生涯学習論	３選	○	○	○	○													２		
	FEC2123	幼児理解論	３選	○	●	○			○				○							２		
	FSN2122	特別支援教育入門Ａ	２必	●	●	●	●										１					
	FSN2122	特別支援教育入門Ｂ	２必	●	●	●	●										１					
	ETP2121	教職概論（初等）	１選	○	○	○	○	○							２							
	ETP2122	教職概論（中等）	２選	○	○	○	○			○	○						２					
	ETP2121	教職概論（幼保）	１選	○	○	○			○				○			２						
	FUP2121	教育課程論（初等）※4	１選	●	○	○	○	○								２						
	FUP2121	教育課程論（中等）※4	１選		○	○	○			○	○					２						
	FEC2123	教育課程論（幼保）	３選	○	○	○			○				○						２			
	MEA2123	道徳指導法（初等）	３選	○	○	○	○	○											２			
	MEA2123	道徳指導法（中等）	３選	○	○	○	○				○									２		
	FEA2123	道徳・特別活動論	３選	○	○	○	○			○									２			
	PEA2124	道徳実践演習（つくろう！道徳授業）	４選	○	○	○	○														２	
	PEA2124	小学校英語実践演習（つくろう！小学校英語授業）	４選	○	○	○	○														２	
	MEA2122	特別活動指導法（初等）	２選	○	○	○	○	○										２				
	MEA2123	特別活動指導法（中等）	３選	○	○	○	○				○									２		
	FEA2123	生徒・進路指導論（初等）	３選	○	○	○	○	○											２			
	FEA2123	生徒・進路指導論（中等）	３選	○	○	○	○				○									２		
	FEA2123	生徒指導論	３選	○	○	○	○			○									２			
	SEE2123	子ども英語活動	３選		○														２			
	EDI2123	情報と社会	３選	◎	◎	◎	○													２		
	EDI2123	プレゼンテーション実践	３選	○	○	○	○												２			
	EDI2123	プログラミング教育実践	３選	○	○	○	○													２		
	EDI2122	統計の基礎	２選	○	○	○	○										２					
	PEA2123	レクリエーション活動	３選	○	○	○	○						○							２		
	UHM2122	発達心理学（初等）	２選	○	○	○	○	○	○				○	○			２					
	UHM2122	発達心理学（中等）	２選	○	○	○	○			○	○			○				２				
	UHM2122	人格心理学	２選	○	○	○	○							○				２				
	UHM2123	発達脳科学	３選	○	○	○	○							○					２			
	UHM2121	臨床心理学概論	１選	○	○	○	○							○	２							
	UHM2123	カウンセリング	３選	○	○	○	○							○						２		
	FSH2122	精神保健学	２選	○	○	○	○			○				○			２					
	UHM2123	教育相談(初等)	３選	○	○	○	○	○	○					○						２		
	UHM2122	教育相談(中等)	２選	○	○	○	○			○	○			○				２				
	MUE2122	欧米の文化と社会Ａ	２選	○	○	○	○				○						２					
	MUE2122	欧米の文化と社会Ｂ	２選	○	○	○	○				○							２				
	MUE2123	欧米文化と子ども	３選	○	○	○	○				○								２			
	MUE2122	文化理論講読	２選	○	○	○	○				○							２				

専門基礎科目単位数合計　必修：4単位　推奨：2単位　選択：92単位

教育学部
現代教育学科　１回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応				資格要件に関する科目						開講時期							
								教員免許状						１回生		２回生		３回生		４回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援	保育士	認定心理士	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	CSS2131	国語科概論	１選	○	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	社会科概論	２選	○	○	○	○	○										2				
	CSS2131	算数科概論	１選	○	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	理科概論	２選	○	○	○	○	○										2				
	CSS2131	生活科概論	１選	○	○	○	○	○	○							2						
	CSS2131	音楽科概論	１選	○	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	図工科概論	２選	○	○	○	○	○	○									2				
	CSS2132	家庭科概論	２選	○	○	○	○	○									2					
	CSS2131	体育科概論	１選	○	○	○	○	○	○						2							
	FEA2122	小学校英語概論	２選	○	○	○	○	○										2				
	FSS2132	算数学	２選	○	○	○	○										2					
	PSS2134	国語科実践演習（つくろう！国語科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	社会科実践演習（つくろう！社会科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	算数科実践演習（つくろう！算数科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	理科実践演習（つくろう！理科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	生活科実践演習（つくろう！生活科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	音楽科実践演習（つくろう！音楽科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	図工科実践演習（つくろう！図工科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	家庭科実践演習（つくろう！家庭科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2134	体育科実践演習（つくろう！体育科）	４選	○	○	○	○														2	
	PSS2133	授業・保育実践演習	３選	○	○	○	○												2			
	PSS2131	ピアノ入門演習A	１選	○	○										1							
	PEC2131	ピアノ入門演習B	１選	○	◎								○			1						
	PSS2132	音楽実技演習	２選	○	○				○				○				1					
	PEC2133	ピアノ実践演習A	３選	○	○			○	○				○							1		
	PEC2134	ピアノ実践演習B	４選	○	○			○	○				○								1	
	PSS2131	英語A	１選	○			●				○				2							
	PSS2131	英語B	１選	○			○				○					2						
	FSS2131	英語のしくみ	１選	○			●				○				2							
	FSS2131	英語の歴史	１選	○			○				○					2						
	FSS2132	英語学講読A	２選	○			○				○						2					
	FSS2132	英語学講読B	２選	○			○				○							2				
	PSS2132	特級英語A	２選	○			○				○						2					
	PSS2132	特級英語B	２選	○			○				○							2				
	MUE2133	異文化コミュニケーション論A	３選	○			○				○								2			
	MUE2133	異文化コミュニケーション論B	３選	○			○				○									2		
	PSS2134	英語学演習	４選	○			○				○										2	
	FSS2133	英語文学史A	３選	○			○				○								2			
	FSS2133	英語文学史B	３選	○			○				○									2		
	FSS2132	英語文学と子ども	２選	○			○				○						2					
	FSS2132	英語文学と教育	２選	○			○				○							2				
	PSS2134	英語文学演習	４選	○			○				○											2
	FSH2132	衛生学	２選			○				○								2				
	FSH2131	公衆衛生学	１選			○				○					2							
	FSH2131	学校保健	１選			○				○						2						
	FSH2132	養護概説	２選			○				○							2					
	CSH2132	健康相談	２選			○				○								2				
	FSH2132	栄養学	２選			○				○							2					
	FSH2131	解剖生理学	１選			○				○						2						

教育学部
現代教育学科　１回生用（2020年度入学生）

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応				資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	教員免許状					保育士	認定心理士	１回生		２回生		３回生		４回生	
								小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	FSH2131	微生物学	１選			○				○						2						
	FSH2132	薬理概論	２選			○				○							2					
	FSH2131	学校看護Ⅰ	１選			○				○						2						
	MSH2132	学校看護Ⅱ	２選			○				○							2					
	CSH2132	学校看護Ⅲ	２選			○				○								2				
	TPF2132	養護臨床実習	２選			○				○								②				
	FSH2132	救急医学	２選			○				○							2					
	FSN2132	特別支援教育論	２選	○	○	○						○					2					
	FSN2132	知的障害者の心理	２選	○	○	○						○					2					
	FSN2132	知的障害者の生理・病理	２選	○	○	○						○					2					
	FSN2132	肢体不自由者の心理・生理・病理	２選	○	○	○						○					2					
	FSN2132	病弱者の心理・生理・病理	２選	○	○	○						○						2				
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅰ	２選	○	○	○						○					2					
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅱ	２選	○	○	○						○						2				
	FSN2132	肢体不自由教育論	２選	○	○	○						○						2				
	FSN2132	病弱者教育論	２選	○	○	○						○						2				
	FSN2133	視覚障害者教育総論	３選	○	○	○						○							2			
	FSN2133	聴覚障害者教育総論	３選	○	○	○						○							2			
	FSN2133	重複障害等教育総論	３選	○	○	○						○								2		
	FSN2133	LD等教育総論	３選	○	○	○						○								2		
	FSN2133	発達障害教育特論	３選	○	○	○						○								2		
	SEE2132	Glocal Communication for Education	２選				○										2					
	SEE2131	Practical English A	１選				○								2							
	SEE2131	Practical English B	１選				○									2						
	SEE2133	Advanced English for Teachers A	３選				○												2			
	SEE2133	Advanced English for Teachers B	３選				○													2		
	MSS2132	国語科指導法	２選	○	○	○	○	○										2				
	MSS2133	社会科指導法	３選	○	○	○	○	○											2			
	MSS2132	算数科指導法	２選	○	○	○	○	○										2				
	MSS2133	理科指導法	３選	○	○	○	○	○											2			
	MSS2132	生活科指導法	２選	○	○	○	○	○										2				
	MSS2133	音楽科指導法	３選	○	○	○	○	○											2			
	MSS2133	図工科指導法	３選	○	○	○	○	○											2			
	MSS2132	家庭科指導法	２選	○	○	○	○	○										2				
	MSS2132	体育科指導法	２選	○	○	○	○	○									2					
	MEA2133	小学校英語指導法	３選	○				○											2			
	MSS2133	英語科指導法Ⅰ	３選	○	○	○	○				○								2			
	MSS2133	英語科指導法Ⅱ	３選	○	○	○	○				○									2		
	MSS2134	英語科指導法Ⅲ	４選	○	○	○	○				○										2	
	MSS2134	英語科指導法Ⅳ	４選	○	○	○	○				○											2
	TPF2133	小学校教育実習指導A	３選	○	○	○	○	○											1			
	TPF2134	小学校教育実習指導B	４選	○	○	○	○	○													1	
	TPF2133	小学校教育実習A	３選	○	○	○	○	○											④			
	TPF2134	小学校教育実習B	４選	○	○	○	○	○													②	
	TPF2131	小学校一日見学	１選	○	○	○	○	○		○						0						
	TPF2133	幼稚園教育実習指導A	３選	○	○				○										1			
	TPF2134	幼稚園教育実習指導B	４選	○	○				○												1	
	TPF2133	幼稚園教育実習A	３選	○	○				○										④			
	TPF2134	幼稚園教育実習B	４選	○	○				○												②	

教育学部
現代教育学科　１回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応				資格要件に関する科目						開講時期							
								教員免許状						１回生		２回生		３回生		４回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援	保育士	認定心理士	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	TPF2131	◆幼稚園一日見学	１選	○	○	○		○		○						0						
	TPF2131	幼児教育実践論	１選	○	○	○		○	○	○			○			2						
	TPF2132	幼稚園見学実習B	２選	○	○	○		○	○	○			○				①					
	TPF2134	英語科教育実習（中）	４選	○			○				○										⑤	
	TPF2134	英語科教育実習（高）	４選	○			○				○										③	
	TPF2133	養護実習指導	３選			○				○									1			
	TPF2133	養護実習	３選			○				○									④			
	TPF2134	特別支援教育実習	４選	○	○	○						○									3	
	ETP2134	保育・教職実践演習（幼稚園）	４選		○				○				○									2
	ETP2134	教職実践演習（幼・小）	４選	○	○	○	○	○	○													2
	ETP2134	教職実践演習（中・高）	４選	○		○	○				○											2
	ETP2134	教職実践演習（養護教諭）	４選			○				○												2
	PEC2132	子ども家庭支援の心理学	２選		○								○					2				
	FEC2133	子ども家庭福祉	３選		○								○						2			
	FEC2133	社会福祉論	３選		○								○						2			
	PEC2132	児童文化演習	２選		○								○				2					
	FEC2132	子ども家庭支援論	２選		○								○					2				
	FEC2131	保育原理	１選		●								○		2							
	FEC2131	保育の心理学	１選		○								○	○	2							
	FEC2132	子どもの理解と援助演習	２選		○								○	○			1					
	FEC2132	社会的養護	２選		●								○					2				
	FEC2131	子どもの保健	１選		○								○			2						
	PEC2133	子どもの健康と安全	３選		○								○						1			
	PEC2133	子どもの食と栄養演習	３選		○								○						2			
	PEC2131	乳児保育	１選		○								○			2						
	PEC2132	乳児保育演習	２選		○								○					2				
	PEC2132	障害児保育演習	２選		○								○				2					
	PEC2132	社会的養護演習	２選		○								○				1					
	PEC2133	子育て支援	３選		○								○						1			
	MEC2133	保育内容総論	３選	○	○								○							1		
	MEC2132	保育内容の指導法「健康」	２選	○	○				○				○				2					
	MEC2132	保育内容の指導法「人間関係」	２選	○	○				○				○					2				
	MEC2131	保育内容の指導法「環境」	１選	○	○				○				○			2						
	MEC2131	保育内容の指導法「言葉」	１選	○	○				○				○			2						
	MEC2132	保育内容の指導法「音楽表現」	２選	○	○				○				○				2					
	MEC2132	保育内容の指導法「造形表現」	２選	○	○				○				○				2					
	MEC2132	保育内容の指導法「運動遊び」	２選	○	○				○				○				2					
	PEC2131	絵画演習	１選	○	○								○		2							
	CEC2131	幼児と人間関係	１選	○	○				○				○			1						
	CEC2131	幼児と言葉	１選	○	○				○				○			1						
	CEC2131	幼児と環境	１選	○	○				○				○		1							
	CEC2131	幼児と表現	１選	○	○				○				○		1							
	CEC2131	幼児と健康	１選	○	○				○				○		1							
	TPF2132	保育実習指導Ⅰ	２選		○								○				2					
	TPF2132	保育実習指導ⅡA	２選		○								○					1				
	TPF2132	保育実習指導ⅡB	２選		○								○					1				
	TPF2132	保育実習Ⅰ	２選		○								○				④					
	TPF2132	保育実習ⅡA	２選		○								○					②				

教育学部
現代教育学科　１回生用（2020年度入学生）

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応				資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	教員免許状					保育士	認定心理士	１回生		２回生		３回生		４回生	
								小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	TPF2132	保育実習ⅡB	2 選		○								○					②				
	SAP2132	英語コミュニケーション実地演習Ⅰ	2 選				○											④				
	SAP2132	英語コミュニケーション実地演習Ⅱ	2 選				○											④				
	SAP2132	英語コミュニケーション実地演習Ⅲ	2 選				○											④				
	SAP2132	異文化コミュニケーション論実地演習	2 選				○											②				
	SAP2132	英語文学実地演習	2 選				○											②				
	SAP2132	英語教育学実地演習	2 選				○											②				
	SAP2132	セメスター留学実地講義	2 選				○											②				
	UHM2133	心理学研究法	3 選		○	○								○						2		
	UHM2132	心理統計学	2 選		○	●								○				2				
	UHM2132	心理学基礎実験	2 選		○	○								○				2				
	UHM2133	心理学実験	3 選		○	○								○					2			
	UHM2132	学習心理学	2 選		○	○								○				2				
	UHM2133	認知心理学	3 選		○	○								○						2		
	UHM2133	社会心理学	3 選		○	○								○					2			
	UHM2133	臨床心理学	3 選		○	○								○					2			
	TPF2133	心理検査法実習	3 選		○	○								○					2			
	UHM2133	家族心理学	3 選		○	○								○						2		
	GRP2133	卒業研究指導ゼミⅠ	3 必	●	●	●	●												2			
	GRP2134	卒業研究指導ゼミⅡ	4 必	●	●	●	●														2	
	GRP2134	卒業研究	4 必	●	●	●	●							○								2
専門科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：326単位																						

専門準備科目	REP2102	教職への初等数学	2 選														0					
	REP2102	教職への理科	2 選															0				

教育学部
現代教育学科　2回生用(2019年度入学生)

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
								教員免許状							1回生		2回生		3回生		4回生	
					学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援	保育士	認定心理士	前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	◎	◎	◎										2					
		PES0012	東洋思想	2 推	◎	◎	◎											2				
		PES0011	心理学概論	1 選	○	○	○						○	○	2							
		PES0013	人間関係論	3 選	○	○	○						○	○					2			
		PES0011	法学概論	1 選	○	○	○								2							
		PES0012	日本国憲法	2 選	○	○	○	○	○	○	○		○					2				
		PES0011	経済学概論	1 選	○	○	○									2						
		PES0011	人権教育	1 選	○	○	○						○		2							
		PES0012	国際社会論	2 選	○	○	○										2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	○	○	○										2					
		HIC0012	科学史	2 選	○	○	○											2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○									2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選	○	○	○								2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	○	○	○								2							
		NSP0013	生命倫理	3 必	●	●	●												2			
		NSP0012	地球環境論	2 選	○	○	○										2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	○	○	○									2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションA	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○		2							
		LAI0011	英語コミュニケーションB	1 必	●	●	●						○			2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションA	2 選	○	○	○				○						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションB	2 選	○	○	○				○							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選	○	○	○								①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○		1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○			1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選	○	○	○	○	○	○	○		○			2						
		HES0011	スポーツ実習A	1 選	○	○	○	○	○	○	○		○		1							
		HES0011	スポーツ実習B	1 選	○	○	○	○	○	○	○					①						
	教養実践プログラム	PLA2111	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA2111	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○									1						
		PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○										①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○												①			
		PLA0012	◆海外インターンシップ	2 選	○	○	○											①				
		PLA2112	学校インターンシップ	2 選	○	○	○										①*					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
※開講時期欄の丸数字…集中講義形式で実施予定。＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
※配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。
※コース対応科目欄…●は卒業必修及びコース必修科目
◎はコース推奨科目
○はそのコースに対応した科目。○のついていない科目を受講することは可能で卒業単位に含まれますが時間割上必ず受講できるとは限りません。
※＊１～＊４は(初等)(中等)のいずれか選択必修。ただし，小学校教員免許希望者は(初等)，中高または養護教員免許希望者は(中等)の履修が必要です。また，小学校と中高または養護の両方を志望する者は，(初等)(中等)ともに履修が必要です。
※資格要件に関する科目欄の○はその資格要件に含まれている科目。必修・選択の別については後掲の資格課程表で確認してください。

教育学部
現代教育学科　2回生用（2019年度入学生）

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	FUP2121	教育心理学（初等）※1	1 選	●	●	●	○	○				○	○		2						
	FUP2122	教育心理学（中等）※1	2 選						○	○			○			2					
	FUP2121	現代教育論	1 必	●	●	●	○	○	○	○				2							
	FUP2121	教育原理（初等）※2	1 選	●	●	●	○	○				○	○		2						
	FUP2122	教育原理（中等）※2	2 選						○	○			○			2					
	FUP2121	教育史	1 選	○	○	○	○	○							2						
	FUP2122	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（初等）※3	2 選	●	○	○	○	○								2					
	FUP2122	教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）※3	2 選		○	○			○	○							2				
	ESS2123	教育法制論（初等）	3 選	○	○	○	○	○				○	○						2		
	ESS2121	教育法制論（中等）	1 選	○	○	○			○	○			○		2						
	FUP2123	生涯学習論	3 選	○	○	○													2		
	FEC2123	幼児理解論	3 選	○	●	○		○				○							2		
	FSN2122	特別支援教育入門A	2 必	●	●	●										1					
	FSN2122	特別支援教育入門B	2 必	●	●	●										1					
	ETP2121	教職概論（初等）	1 選	○	○	○	○							2							
	ETP2122	教職概論（中等）	2 選	○	○	○			○	○						2					
	ETP2121	教職概論（幼保）	1 選	○	○	○		○				○			2						
	FUP2121	教育課程論（初等）※4	1 選	●	○	○	○								2						
	FUP2121	教育課程論（中等）※4	1 選		○	○			○	○					2						
	FEC2123	教育課程論（幼保）	3 選	○	○	○		○				○						2			
	MEA2123	道徳指導法（初等）	3 選	○	○	○	○											2			
	MEA2123	道徳指導法（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	道徳・特別活動論	3 選	○	○	○			○									2			
	PEA2124	道徳実践演習（つくろう！道徳授業）	4 選	○	○	○														2	
	PEA2124	小学校英語実践演習（つくろう！小学校英語授業）	4 選	○	○	○														2	
	MEA2122	特別活動指導法（初等）	2 選	○	○	○	○										2				
	MEA2123	特別活動指導法（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	生徒・進路指導論（初等）	3 選	○	○	○	○											2			
	FEA2123	生徒・進路指導論（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	生徒指導論	3 選	○	○	○			○									2			
	EDI2123	情報と社会	3 推	◎	◎	◎													2		
	EDI2123	プレゼンテーション実践	3 選	○	○	○												2			
	EDI2123	プログラミング教育実践	3 選	○	○	○													2		
	EDI2122	統計の基礎	2 選	○	○	○										2					
	PEA2123	レクリエーション活動	3 選	○	○	○						○							2		
	UHM2122	発達心理学（初等）	2 選	○	○	○	○	○				○	○			2					
	UHM2122	発達心理学（中等）	2 選	○	○	○			○	○			○				2				
	UHM2122	人格心理学	2 選	○	○	○							○				2				
	UHM2123	発達脳科学	3 選	○	○	○							○					2			
	UHM2121	臨床心理学概論	1 選	○	○	○							○	2							
	UHM2123	カウンセリング	3 選	○	○	○							○						2		
	FSH2122	精神保健学	2 選	○	○	○			○				○			2					
	UHM2123	教育相談（初等）	3 選	○	○	○	○	○					○						2		
	UHM2122	教育相談（中等）	2 選	○	○	○			○	○			○				2				
	MUE2122	欧米の文化と社会A	2 選	○	○					○						2					
	MUE2122	欧米の文化と社会B	2 選	○	○					○							2				
	MUE2123	欧米文化と子ども	3 選	○	○					○								2			
	MUE2122	文化理論講読	2 選	○	○					○							2				

専門基礎科目単位数合計　必修：4単位　推奨：2単位　選択：88単位

教育学部
現代教育学科　2回生用(2019年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
							教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	CSS2131	国語科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	社会科概論	2 選	○	○	○	○										2				
	CSS2131	算数科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	理科概論	2 選	○	○	○	○										2				
	CSS2131	生活科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2131	音楽科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	図工科概論	2 選	○	○	○	○	○									2				
	CSS2132	家庭科概論	2 選	○	○	○	○									2					
	CSS2131	体育科概論	1 選	○	○	○	○	○						2							
	FEA2132	小学校英語概論	2 選	○	○	○	○										2				
	FSS2132	算数学	2 選	○	○	○										2					
	PSS2134	国語科実践演習（つくろう！国語科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	社会科実践演習（つくろう！社会科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	算数科実践演習（つくろう！算数科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	理科実践演習（つくろう！理科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	生活科実践演習（つくろう！生活科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	音楽科実践演習（つくろう！音楽科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	図工科実践演習（つくろう！図工科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	家庭科実践演習（つくろう！家庭科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	体育科実践演習（つくろう！体育科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2133	授業・保育実践演習	3 選	○	○	○												2			
	PSS2131	ピアノ入門演習A	1 選	○	○									1							
	PEC2131	ピアノ入門演習B	1 選	○	○							○			1						
	PSS2132	音楽実技演習	2 選	○	○			○				○				1					
	PEC2133	ピアノ実践演習A	3 選	○	○		○	○				○							1		
	PEC2134	ピアノ実践演習B	4 選	○	○		○	○				○								1	
	PSS2131	英語A	1 選	○						○				2							
	PSS2131	英語B	1 選	○						○					2						
	FSS2131	英語のしくみ	1 選	○						○				2							
	FSS2131	英語の歴史	1 選	○						○					2						
	FSS2132	英語学講読A	2 選	○						○						2					
	FSS2132	英語学講読B	2 選	○						○							2				
	PSS2132	特級英語A	2 選	○						○						2					
	PSS2132	特級英語B	2 選	○						○							2				
	MUE2133	異文化コミュニケーション論A	3 選	○						○								2			
	MUE2133	異文化コミュニケーション論B	3 選	○						○									2		
	PSS2134	英語学演習	4 選	○						○										2	
	FSS2133	英語文学史A	3 選	○						○								2			
	FSS2133	英語文学史B	3 選	○						○									2		
	FSS2132	英語文学と子ども	2 選	○						○						2					
	FSS2132	英語文学と教育	2 選	○						○							2				
	PSS2134	英語文学演習	4 選	○						○											2
	FSH2132	衛生学	2 選			○			○								2				
	FSH2131	公衆衛生学	1 選			○			○					2							
	FSH2131	学校保健	1 選			○			○						2						
	FSH2132	養護概説	2 選			○			○							2					
	CSH2132	健康相談	2 選			○			○								2				
	FSH2132	栄養学	2 選			○			○							2					
	FSH2131	解剖生理学	1 選			○			○						2						

教育学部
現代教育学科　2回生用(2019年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目						開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状				保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援		前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	FSH2131	微生物学	1選			○			○					2						
	FSH2132	薬理概論	2選			○			○						2					
	FSH2131	学校看護Ⅰ	1選			○			○					2						
	MSH2132	学校看護Ⅱ	2選			○			○						2					
	CSH2132	学校看護Ⅲ	2選			○			○							2				
	TPF2132	養護臨床実習	2選			○			○							②				
	FSH2132	救急医学	2選			○			○						2					
	FSN2132	特別支援教育論	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の心理	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の生理・病理	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	肢体不自由者の心理・生理・病理	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	病弱者の心理・生理・病理	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅰ	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅱ	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	肢体不自由者教育論	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	病弱者教育論	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2133	視覚障害者教育総論	3選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	聴覚障害者教育総論	3選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	重複障害等教育総論	3選	○	○	○					○							2		
	FSN2133	LD等教育総論	3選	○	○	○					○							2		
	FSN2133	発達障害教育特論	3選	○	○	○					○							2		
	MSS2132	国語科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	社会科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	算数科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	理科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	生活科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	音楽科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2133	図工科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	家庭科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2132	体育科指導法	2選	○	○	○	○								2					
	MEA2133	小学校英語指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2133	英語科指導法Ⅰ	3選	○	○	○				○							2			
	MSS2133	英語科指導法Ⅱ	3選	○	○	○				○								2		
	MSS2134	英語科指導法Ⅲ	4選	○	○	○				○									2	
	MSS2134	英語科指導法Ⅳ	4選	○	○	○				○										2
	TPF2133	小学校教育実習指導A	3選	○	○	○	○										1			
	TPF2134	小学校教育実習指導B	4選	○	○	○	○												1	
	TPF2133	小学校教育実習A	3選	○	○	○	○										④			
	TPF2134	小学校教育実習B	4選	○	○	○	○												②	
	TPF2131	小学校一日見学	1選	○	○	○	○		○					⓪						
	TPF2133	幼稚園教育実習指導A	3選	○	○			○									1			
	TPF2134	幼稚園教育実習指導B	4選	○	○			○											1	
	TPF2133	幼稚園教育実習A	3選	○	○			○									④			
	TPF2134	幼稚園教育実習B	4選	○	○			○											②	
	TPF2131	◆幼稚園一日見学	1選	○	○	○	○		○					⓪						
	TPF2131	幼児教育実践論	1選	○	○	○	○	○	○			○		2						
	TPF2134	英語科教育実習（中）	4選	○						○									⑤	
	TPF2134	英語科教育実習（高）	4選	○						○									③	

教育学部
現代教育学科　2回生用(2019年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	TPF2133	養護実習指導	3 選			○			○									1			
	TPF2133	養護実習	3 選			○			○									④			
	TPF2134	特別支援教育実習	4 選	○	○	○					○									3	
	ETP2134	保育・教職実践演習（幼稚園）	4 選		○			○				○									2
	ETP2134	教職実践演習（幼・小）	4 選	○	○	○	○	○													2
	ETP2134	教職実践演習（中・高）	4 選	○		○				○											2
	ETP2134	教職実践演習（養護教諭）	4 選			○			○												2
	PEC2132	子ども家庭支援の心理学	2 選		○							○					2				
	FEC2133	子ども家庭福祉	3 選		○							○						2			
	FEC2133	社会福祉論	3 選		○							○						2			
	PEC2132	児童文化演習	2 選		○							○				2					
	FEC2132	子ども家庭支援論	2 選		○							○					2				
	FEC2131	保育原理	1 選		●							○		2							
	FEC2131	保育の心理学	1 選		○							○	○	2							
	FEC2132	子どもの理解と援助演習	2 選		○							○	○			1					
	FEC2132	社会的養護	2 選		●							○					2				
	FEC2131	子どもの保健	1 選		○							○			2						
	PEC2133	子どもの健康と安全	3 選		○							○						1			
	PEC2133	子どもの食と栄養演習	3 選		○							○						2			
	PEC2131	乳児保育	1 選		○							○			2						
	PEC2132	乳児保育演習	2 選		○							○					2				
	PEC2132	障害児保育演習	2 選		○							○				2					
	PEC2132	社会的養護演習	2 選		○							○				1					
	PEC2133	子育て支援	3 選		○							○						1			
	MEC2133	保育内容総論	3 選	○	○							○							1		
	MEC2132	保育内容の指導法「健康」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の指導法「人間関係」	2 選	○	○			○				○					2				
	MEC2131	保育内容の指導法「環境」	1 選	○	○			○				○			2						
	MEC2131	保育内容の指導法「言葉」	1 選	○	○			○				○			2						
	MEC2132	保育内容の指導法「音楽表現」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の指導法「造形表現」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の指導法「運動遊び」	2 選	○	○			○				○				2					
	PEC2131	絵画演習	1 選	○	○							○		2							
	CEC2131	幼児と人間関係	1 選	○	○			○				○			1						
	CEC2131	幼児と言葉	1 選	○	○			○				○			1						
	CEC2131	幼児と環境	1 選	○	○			○				○		1							
	CEC2131	幼児と表現	1 選	○	○			○				○		1							
	CEC2131	幼児と健康	1 選	○	○			○				○		1							
	TPF2132	保育実習指導Ⅰ	2 選		○							○				2					
	TPF2132	保育実習指導ⅡA	2 選		○							○					1				
	TPF2132	保育実習指導ⅡB	2 選		○							○					1				
	TPF2132	保育実習Ⅰ	2 選		○							○				④					
	TPF2132	保育実習ⅡA	2 選		○							○					②				
	TPF2132	保育実習ⅡB	2 選		○							○					②				
	UHM2133	心理学研究法	3 選		○	○							○						2		
	UHM2132	心理統計学	2 選		○	●							○				2				

教育学部
現代教育学科　2回生用(2019年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
							教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	UHM2132	心理学基礎実験	2 選		○	○							○				2				
	UHM2133	心理学実験	3 選		○	○							○					2			
	UHM2132	学習心理学	2 選		○	○							○				2				
	UHM2133	認知心理学	3 選		○	○							○						2		
	UHM2133	社会心理学	3 選		○	○							○					2			
	UHM2133	臨床心理学	3 選		○	○							○					2			
	TPF2133	心理検査法実習	3 選		○	○							○					2			
	UHM2133	家族心理学	3 選		○	○							○						2		
	GRP2133	卒業研究指導ゼミⅠ	3 必	●	●	●												2			
	GRP2134	卒業研究指導ゼミⅡ	4 必	●	●	●														2	
	GRP2134	卒業研究	4 必	●	●	●							○								2
専門科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：289単位																					

専門準備科目	REP2102	教職への初等数学	2 選													0					
	REP2102	教職への理科	2 選														0				

教育学部
現代教育学科　3回生用(2018年度入学生)

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の　は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
								教員免許状							1回生		2回生		3回生		4回生	
					学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援	保育士	認定心理士	前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	◎	◎	◎										2					
		PES0012	東洋思想	2 推	◎	◎	◎											2				
		PES0011	心理学概論	1 選	○	○	○						○	○	2							
		PES0013	人間関係論	3 選	○	○	○						○	○					2			
		PES0011	法学概論	1 選	○	○	○								2							
		PES0012	日本国憲法	2 選	○	○	○	○	○	○	○		○					2				
		PES0011	経済学概論	1 選	○	○	○									2						
		PES0011	人権教育	1 選	○	○	○						○		2							
		PES0012	国際社会論	2 選	○	○	○										2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	○	○	○										2					
		HIC0012	科学史	2 選	○	○	○											2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○									2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選	○	○	○								2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	○	○	○								2							
		NSP0013	生命倫理	3 必	●	●	●												2			
		NSP0012	地球環境論	2 選	○	○	○										2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	○	○	○									2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションA	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○		2							
		LAI0011	英語コミュニケーションB	1 必	●	●	●						○			2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションA	2 選	○	○	○				○						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションB	2 選	○	○	○				○							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選	○	○	○								①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○		1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○			1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選	○	○	○	○	○	○	○		○			2						
		HES0011	スポーツ実習A	1 選	○	○	○	○	○	○	○		○		1							
		HES0011	スポーツ実習B	1 選	○	○	○	○	○	○	○					①						
	教養実践プログラム	PLA2111	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA2111	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○									1						
		PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○										①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○												①			
		PLA0012	◆海外インターンシップ	2 選	○	○	○											①				
		PLA2112	学校インターンシップ	2 選	○	○	○										①*					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
※開講時期欄の丸数字…集中講義形式で実施予定。＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
※配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉１必は１回生配当の必修科目であることを表します。
※コース対応科目欄…●は卒業必修及びコース必修科目
◎はコース推奨科目
○はそのコースに対応した科目。○のついていない科目を受講することは可能で卒業単位に含まれますが時間割上必ず受講できるとは限りません。
※＊１～＊４は(初等)(中等)のいずれか選択必修。ただし，小学校教員免許希望者は(初等)，中高または養護教員免許希望者は(中等)の履修が必要です。また，小学校と中高または養護の両方を志望する者は，(初等)(中等)ともに履修が必要です。
※資格要件に関する科目欄の○はその資格要件に含まれている科目。必修・選択の別については後掲の資格課程表で確認してください。

教育学部
現代教育学科　3回生用(2018年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	FUP2121	教育心理学（初等）※1	1 選	●	●	●	○	○				○	○		2						
	FUP2122	教育心理学（中等）※1	2 選						○	○			○			2					
	FUP2121	現代教育論	1 必	●	●	●	○	○	○	○				2							
	FUP2121	教育原理（初等）※2	1 選	●	●	●	○	○				○	○		2						
	FUP2122	教育原理（中等）※2	2 選						○	○			○			2					
	FUP2121	教育史	1 選	○	○	○	○	○		○					2						
	FUP2122	教育方法・技術論(初等)※3	2 選	●	○	○	○	○								2					
	FUP2122	教育方法・技術論(中等)※3	2 選		○	○			○	○							2				
	ESS2123	教育法制論（初等）	3 選	○	○	○	○	○				○	○						2		
	ESS2121	教育法制論（中等）	1 選	○	○	○			○	○			○		2						
	FUP2123	生涯学習論	3 選	○	○	○													2		
	FEC2123	幼児理解論	3 選	○	●	○		○				○							2		
	FSN2122	特別支援教育入門	2 必	●	●	●										2					
	ETP2121	教職概論（初等）	1 選	○	○	○	○							2							
	ETP2122	教職概論（中等）	2 選	○	○	○			○	○						2					
	ETP2121	教職概論（幼保）	1 選	○	○	○		○				○			2						
	FUP2121	教育課程論（初等）※4	1 選	●	○	○	○								2						
	FUP2121	教育課程論（中等）※4	1 選		○	○			○	○					2						
	FEC2123	教育課程論（幼保）	3 選	○	○	○		○				○						2			
	MEA2123	道徳指導法（初等）	3 選	○	○	○	○											2			
	MEA2123	道徳指導法（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	MEA2123	小学校英語指導法	3 選	○	○	○												2			
	FEA2123	道徳・特別活動論	3 選	○	○	○			○									2			
	PEA2124	道徳実践演習(つくろう!道徳授業)	4 選	○	○	○														2	
	PEA2124	小学校英語実践演習(つくろう!小学校英語授業)	4 選	○	○	○														2	
	MEA2122	特別活動指導法（初等）	2 選	○	○	○	○										2				
	MEA2123	特別活動指導法（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	生徒・進路指導論（初等）	3 選	○	○	○	○											2			
	FEA2123	生徒・進路指導論（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	生徒指導論	3 選	○	○	○			○									2			
	FEA2122	小学校英語概論	2 選	○	○	○											2				
	EDI2123	情報と社会	3 推	◎	◎	◎													2		
	EDI2123	プレゼンテーション実践	3 選	○	○	○												2			
	EDI2123	DTP実践	3 選	○	○	○													2		
	EDI2122	統計の基礎	2 選	○	○	○										2					
	PEA2123	レクリエーション活動	3 選	○	○	○						○							2		
	UHM2122	発達心理学（初等）	2 選	○	○	○	○	○				○	○			2					
	UHM2122	発達心理学（中等）	2 選	○	○	○			○	○			○				2				
	UHM2122	人格心理学	2 選	○	○	○							○				2				
	UHM2123	発達脳科学	3 選	○	○	○							○					2			
	UHM2121	臨床心理学概論	1 選	○	○	○							○	2							
	UHM2123	カウンセリング	3 選	○	○	○							○						2		
	FSH2122	精神保健学	2 選	○	○	○			○				○			2					
	UHM2123	教育相談(初等)	3 選	○	○	○	○	○					○						2		
	UHM2122	教育相談(中等)	2 選	○	○	○			○	○			○				2				
	MUE2122	欧米の文化と社会A	2 選	○	○	○				○						2					
	MUE2122	欧米の文化と社会B	2 選	○	○	○				○							2				
	MUE2123	欧米文化と子ども	3 選	○	○	○				○								2			
	MUE2122	文化理論講読	2 選	○	○	○				○							2				

専門基礎科目単位数合計　必修：4単位　推奨：2単位　選択：94単位

教育学部
現代教育学科　3回生用(2018年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目						開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援	保育士	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	CSS2131	国語科概論	1 選	○	○	○	○	○						2						
	CSS2132	社会科概論	2 選	○	○	○	○									2				
	CSS2131	算数科概論	1 選	○	○	○	○	○						2						
	CSS2132	理科概論	2 選	○	○	○	○									2				
	CSS2131	生活科概論	1 選	○	○	○	○	○						2						
	CSS2131	音楽科概論	1 選	○	○	○	○	○						2						
	CSS2132	図工科概論	2 選	○	○	○	○	○								2				
	CSS2132	家庭科概論	2 選	○	○	○	○								2					
	CSS2131	体育科概論	1 選	○	○	○	○	○					2							
	FSS2132	算数学	2 選	○	○	○									2					
	PSS2134	国語科実践演習（つくろう！国語科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	社会科実践演習（つくろう！社会科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	算数科実践演習（つくろう！算数科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	理科実践演習（つくろう！理科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	生活科実践演習（つくろう！生活科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	音楽科実践演習（つくろう！音楽科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	図工科実践演習（つくろう！図工科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	家庭科実践演習（つくろう！家庭科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2134	体育科実践演習（つくろう！体育科）	4 選	○	○	○													2	
	PSS2133	授業・保育実践演習	3 選	○	○	○											2			
	PSS2131	ピアノ入門演習A	1 選	○	○								1							
	PEC2131	ピアノ入門演習B	1 選	○	○									1						
	PSS2132	音楽実技演習	2 選	○	○			○				○			1					
	PEC2133	ピアノ実践演習A	3 選	○	○		○	○				○						1		
	PEC2134	ピアノ実践演習B	4 選	○	○		○	○				○							1	
	PSS2131	英語A	1 選	○		○				○			2							
	PSS2131	英語B	1 選	○		○				○				2						
	FSS2131	英語のしくみ	1 選	○		○				○			2							
	FSS2131	英語の歴史	1 選	○		○				○				2						
	FSS2132	英語学講読A	2 選	○		○				○					2					
	FSS2132	英語学講読B	2 選	○		○				○						2				
	PSS2132	特級英語A	2 選	○		○				○					2					
	PSS2132	特級英語B	2 選	○		○				○						2				
	MUE2133	異文化コミュニケーション論A	3 選	○		○				○							2			
	MUE2133	異文化コミュニケーション論B	3 選	○		○				○								2		
	PSS2134	英語学演習	4 選	○		○				○									2	
	FSS2133	英米文学史A	3 選	○		○				○							2			
	FSS2133	英米文学史B	3 選	○		○				○								2		
	FSS2132	英米文学と子ども	2 選	○		○				○					2					
	FSS2132	英米文学と教育	2 選	○		○				○						2				
	PSS2134	英米文学演習	4 選	○		○				○										2
	FSH2132	衛生学	2 選			○			○							2				
	FSH2131	公衆衛生学	1 選			○			○				2							
	FSH2131	学校保健	1 選			○			○					2						
	FSH2132	養護概説	2 選			○			○						2					
	CSH2132	健康相談	2 選			○			○							2				
	FSH2132	栄養学	2 選			○			○						2					
	FSH2131	解剖生理学	1 選			○			○					2						

教育学部
現代教育学科　3回生用(2018年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目						開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状				保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援		前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	FSH2131	微生物学	1 選			○			○					2						
	FSH2132	薬理概論	2 選			○			○						2					
	FSH2131	学校看護Ⅰ	1 選			○			○					2						
	MSH2132	学校看護Ⅱ	2 選			○			○						2					
	CSH2132	学校看護Ⅲ	2 選			○			○							2				
	TPF2132	養護臨床実習	2 選			○			○							②				
	FSH2132	救急医学	2 選			○			○						2					
	FSN2132	特別支援教育論	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の心理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の生理・病理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	肢体不自由者の心理･生理･病理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	病弱者の心理・生理・病理	2 選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅰ	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅱ	2 選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	肢体不自由者教育論	2 選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	病弱者教育論	2 選	○	○	○					○					2				
	FSN2133	視覚障害者教育総論	3 選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	聴覚障害者教育総論	3 選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	重複障害等教育総論	3 選	○	○	○					○							2		
	FSN2133	LD等教育総論	3 選	○	○	○					○							2		
	FSN2133	発達障害教育特論	3 選	○	○	○					○							2		
	MSS2132	国語科指導法	2 選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	社会科指導法	3 選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	算数科指導法	2 選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	理科指導法	3 選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	生活科指導法	2 選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	音楽科指導法	3 選	○	○	○	○										2			
	MSS2133	図工科指導法	3 選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	家庭科指導法	2 選	○	○	○	○									2				
	MSS2132	体育科指導法	2 選	○	○	○	○								2					
	MSS2133	英語科指導法Ⅰ	3 選	○	○	○				○							2			
	MSS2133	英語科指導法Ⅱ	3 選	○	○	○				○								2		
	MSS2134	英語科指導法Ⅲ	4 選	○	○	○				○									2	
	MSS2134	英語科指導法Ⅳ	4 選	○	○	○				○										2
	TPF2133	小学校教育実習指導A	3 選	○	○	○	○										1			
	TPF2134	小学校教育実習指導B	4 選	○	○	○	○												1	
	TPF2133	小学校教育実習A	3 選	○	○	○	○										④			
	TPF2134	小学校教育実習B	4 選	○	○	○	○												②	
	TPF2131	小学校一日見学	1 選	○	○	○	○		○					⓪						
	TPF2133	幼稚園教育実習指導A	3 選	○	○			○									1			
	TPF2134	幼稚園教育実習指導B	4 選	○	○			○											1	
	TPF2133	幼稚園教育実習A	3 選	○	○			○									④			
	TPF2134	幼稚園教育実習B	4 選	○	○			○											②	
	TPF2131	◆幼稚園一日見学	1 選	○	○	○	○		○					⓪						
	TPF2131	幼児教育実践論	1 選	○	○	○	○	○	○			○		2						
	TPF2134	英語科教育実習（中）	4 選	○		○				○									⑤	
	TPF2134	英語科教育実習（高）	4 選	○		○				○									③	

教育学部
現代教育学科　3回生用(2018年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
							教員免許状							1回生		2回生		3回生		4回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援	保育士	認定心理士	前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	TPF2133	養護実習指導	3 選			○			○									1			
	TPF2133	養護実習	3 選			○			○									④			
	TPF2134	特別支援教育実習	4 選	○	○	○					○									③	
	ETP2134	保育・教職実践演習（幼稚園）	4 選		○			○				○									2
	ETP2134	教職実践演習（幼・小）	4 選	○	○	○	○	○													2
	ETP2134	教職実践演習（中・高）	4 選	○		○				○											2
	ETP2134	教職実践演習（養護教諭）	4 選			○			○												2
	PEC2132	相談援助演習	2 選		○							○					1				
	FEC2133	児童家庭福祉論	3 選		○							○						2			
	FEC2133	社会福祉論	3 選		○							○						2			
	PEC2132	児童文化演習	2 選		○							○				2					
	FEC2132	家庭支援論	2 選		○							○					2				
	FEC2131	保育原理	1 選		●							○		2							
	FEC2131	◆保育の心理学A	1 選		○							○	○	2							
	FEC2132	保育の心理学B	2 選		○							○	○			1					
	FEC2132	社会的養護	2 選		●							○					2				
	FEC2131	子どもの保健A	1 選		○							○		2							
	FEC2131	子どもの保健B	1 選		○							○			2						
	PEC2133	子どもの保健演習	3 選		○							○						1			
	PEC2133	子どもの食と栄養演習	3 選		○							○						2			
	PEC2131	乳児保育演習	1 選		○							○			2						
	PEC2132	障害児保育演習	2 選		○							○				2					
	PEC2132	社会的養護内容演習	2 選		○							○				1					
	PEC2133	保育相談支援演習	3 選		○							○						1			
	MEC2133	保育内容総論	3 選	○	○							○							1		
	MEC2132	保育内容の研究「健康」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の研究「人間関係」	2 選	○	○			○				○					2				
	MEC2131	保育内容の研究「環境」	1 選	○	○			○				○			2						
	MEC2131	保育内容の研究「言葉」	1 選	○	○			○				○			2						
	MEC2132	保育内容の研究「音楽表現」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の研究「造形表現」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の研究「運動遊び」	2 選	○	○			○				○				2					
	PEC2131	絵画演習	1 選	○	○							○		2							
	PEC2133	◆保育実践研究A	3 選	○	○							○							2		
	PEC2134	保育実践研究B	4 選	○	○							○								2	
	TPF2132	保育実習指導Ⅰ	2 選		○							○				2					
	TPF2132	保育実習指導ⅡA	2 選		○							○					1				
	TPF2132	保育実習指導ⅡB	2 選		○							○					1				
	TPF2132	保育実習Ⅰ	2 選		○							○				④					
	TPF2132	保育実習ⅡA	2 選		○							○					②				
	TPF2132	保育実習ⅡB	2 選		○							○					②				
	UHM2133	心理学研究法	3 選		○	○							○						2		
	UHM2132	心理統計学	2 選		○	●							○				2				
	UHM2132	心理学基礎実験	2 選		○	○							○				2				
	UHM2133	心理学実験	3 選		○	○							○					2			
	UHM2132	学習心理学	2 選		○	○							○				2				
	UHM2133	認知心理学	3 選		○	○							○						2		
	UHM2133	社会心理学	3 選		○	○							○					2			

教育学部
現代教育学科　3回生用(2018年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
							教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	UHM2133	臨床心理学	3 選		○	○							○					2			
	TPF2133	心理検査法実習	3 選		○	○							○					2			
	UHM2133	家族心理学	3 選		○	○							○						2		
	GRP2133	卒業研究指導ゼミⅠ	3 必	●	●	●												2			
	GRP2134	卒業研究指導ゼミⅡ	4 必	●	●	●														2	
	GRP2134	卒業研究	4 必	●	●	●							○								2
専門科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：283単位																					

専門準備科目	REP2102	教職への初等数学	2 選													0					
	REP2102	教職への理科	2 選														0				

教育学部
現代教育学科　4回生用（2017年度入学生）

※卒業要件についてはP.126参照
※科目名称の▒は過年度科目

区分		科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
					学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
								小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	◎	◎	◎										2					
		PES0012	東洋思想	2 推	◎	◎	◎											2				
		PES0011	心理学概論	1 選	○	○	○						○	○	2							
		PES0013	人間関係論	3 選	○	○	○						○	○					2			
		PES0011	法学概論	1 選	○	○	○								2							
		PES0012	日本国憲法	2 選	○	○	○	○	○	○	○		○					2				
		PES0011	経済学概論	1 選	○	○	○									2						
		PES0011	人権教育	1 選	○	○	○						○		2							
		PES0012	国際社会論	2 選	○	○	○										2					
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	○	○	○										2					
		HIC0012	科学史	2 選	○	○	○											2				
		HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○									2						
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選	○	○	○								2							
	自然・科学と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	○	○	○								2							
		NSP0013	生命倫理	3 必	●	●	●												2			
		NSP0012	地球環境論	2 選	○	○	○										2					
		NSP0011	数理科学入門	1 選	○	○	○									2						
	言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションA	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○		2							
		LAI0011	英語コミュニケーションB	1 必	●	●	●						○			2						
		LAI0012	オーラルコミュニケーションA	2 選	○	○	○				○						2					
		LAI0012	オーラルコミュニケーションB	2 選	○	○	○				○							2				
		LAI0011	短期語学留学	1 選	○	○	○								①*							
		LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○		1							
		LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●	○	○	○	○		○			1						
	健康とスポーツ	HES0011	運動の科学	1 選	○	○	○	○	○	○	○		○			2						
		HES0011	スポーツ実習A	1 選	○	○	○	○	○	○	○		○		1							
		HES0011	スポーツ実習B	1 選	○	○	○	○	○	○	○				①*							
	教養実践プログラム	PLA2111	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA2111	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●								1							
		PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○									1						
		PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○										①					
		PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○												①			
		PLA0012	◆海外インターンシップ	2 選	○	○	○											①				
		PLA2112	学校インターンシップ	2 選	○	○	○										①					

教養科目単位数合計　必修：11単位　推奨：4単位　選択：42単位

[表中の記号等について]
◆…今年度非開講
※開講時期欄の丸数字…集中講義形式で実施予定。＊の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
※配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉 1必は1回生配当の必修科目であることを表します。
※コース対応科目欄…●は卒業必修及びコース必修科目
◎はコース推奨科目
○はそのコースに対応した科目。○のついていない科目を受講することは可能で卒業単位に含まれますが時間割上必ず受講できるとは限りません。
※＊1～＊4は（初等）（中等）のいずれか選択必修。ただし，小学校教員免許希望者は（初等），中高または養護教員免許希望者は（中等）の履修が必要です。また，小学校と中高または養護の両方を志望する者は，（初等）（中等）ともに履修が必要です。
※資格要件に関する科目欄の○はその資格要件に含まれている科目。必修・選択の別については後掲の資格課程表で確認してください。

教育学部
現代教育学科　4回生用(2017年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	FUP2121	教育心理学（初等）※1	1 選	●	●	●	○	○				○	○		2						
	FUP2122	教育心理学（中等）※1	2 選						○	○			○			2					
	FUP2121	現代教育論	1 必	●	●	●	○	○	○	○				2							
	FUP2121	教育原理（初等）※2	1 選	●	●	●	○	○				○	○		2						
	FUP2122	教育原理（中等）※2	2 選						○	○			○			2					
	FUP2121	教育史	1 選	○	○	○	○	○							2						
	FUP2122	教育方法・技術論(初等)※3	2 選	●	○	○	○	○								2					
	FUP2122	教育方法・技術論(中等)※3	2 選		○	○			○	○							2				
	ESS2123	教育法制論（初等）	3 選	○	○	○	○	○				○	○						2		
	ESS2121	教育法制論（中等）	1 選	○	○	○			○	○			○		2						
	FUP2123	生涯学習論	3 選	○	○	○													2		
	FEC2123	幼児理解論	3 選	○	●	○		○				○							2		
	FSN2122	特別支援教育入門	2 必	●	●	●										2					
	ETP2121	教職概論（初等）	1 選	○	○	○	○							2							
	ETP2122	教職概論（中等）	2 選	○	○	○			○	○						2					
	ETP2121	教職概論（幼保）	1 選	○	○	○		○				○			2						
	FUP2121	教育課程論（初等）※4	1 選	●	○	○	○								2						
	FUP2121	教育課程論（中等）※4	1 選		○	○			○	○					2						
	FEC2123	教育課程論（幼保）	3 選	○	○	○		○				○						2			
	MEA2123	道徳指導法（初等）	3 選	○	○	○	○											2			
	MEA2123	道徳指導法（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	MEA2123	小学校英語指導法	3 選	○	○	○												2			
	FEA2123	道徳・特別活動論	3 選	○	○	○			○									2			
	PEA2124	道徳実践演習(つくろう道徳授業)	4 選	○	○	○														2	
	PEA2124	小学校英語実践演習(つくろう小学校英語授業)	4 選	○	○	○														2	
	MEA2122	特別活動指導法（初等）	2 選	○	○	○	○										2				
	MEA2123	特別活動指導法（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	生徒・進路指導論（初等）	3 選	○	○	○	○											2			
	FEA2123	生徒・進路指導論（中等）	3 選	○	○	○				○									2		
	FEA2123	生徒指導論	3 選	○	○	○			○									2			
	FEA2122	小学校英語概論	2 選	○	○	○											2				
	EDI2123	情報と社会	3 推	◎	◎	◎													2		
	EDI2123	プレゼンテーション実践	3 選	○	○	○												2			
	EDI2123	DTP実践	3 選	○	○	○													2		
	EDI2122	統計の基礎	2 選	○	○	○										2					
	PEA2123	レクリエーション活動	3 選	○	○	○						○							2		
	UHM2122	発達心理学（初等）	2 選	○	○	○	○	○				○	○			2					
	UHM2122	発達心理学（中等）	2 選	○	○	○			○	○			○				2				
	UHM2122	人格心理学	2 選	○	○	○							○				2				
	UHM2123	発達脳科学	3 選	○	○	○							○					2			
	UHM2121	臨床心理学概論	1 選	○	○	○							○	2							
	UHM2123	カウンセリング	3 選	○	○	○							○						2		
	FSH2122	精神保健学	2 選	○	○	○			○				○			2					
	UHM2123	教育相談(初等)	3 選	○	○	○	○	○					○						2		
	UHM2122	教育相談(中等)	2 選	○	○	○			○	○			○				2				
	MUE2122	欧米の文化と社会A	2 選	○	○	○				○						2					
	MUE2122	欧米の文化と社会B	2 選	○	○	○				○							2				
	MUE2123	欧米文化と子ども	3 選	○	○	○				○								2			
	MUE2122	文化理論講読	2 選	○	○	○				○							2				

専門基礎科目単位数合計　必修：4単位　推奨：2単位　選択：94単位

教育学部
現代教育学科　4回生用(2017年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
							教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	CSS2131	国語科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	社会科概論	2 選	○	○	○	○										2				
	CSS2131	算数科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	理科概論	2 選	○	○	○	○										2				
	CSS2131	生活科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2131	音楽科概論	1 選	○	○	○	○	○							2						
	CSS2132	図工科概論	2 選	○	○	○	○	○									2				
	CSS2132	家庭科概論	2 選	○	○	○	○									2					
	CSS2131	体育科概論	1 選	○	○	○	○	○						2							
	FSS2132	算数学	2 選	○	○	○										2					
	PSS2134	国語科実践演習（つくろう！国語科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	社会科実践演習（つくろう！社会科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	算数科実践演習（つくろう！算数科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	理科実践演習（つくろう！理科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	生活科実践演習（つくろう！生活科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	音楽科実践演習（つくろう！音楽科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	図工科実践演習（つくろう！図工科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	家庭科実践演習（つくろう！家庭科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2134	◆体育科実践演習（つくろう！体育科）	4 選	○	○	○														2	
	PSS2133	授業・保育実践演習	3 選	○	○	○												2			
	PSS2131	ピアノ入門演習A	1 選	○	○									1							
	PEC2131	ピアノ入門演習B	1 選	○	○										1						
	PSS2132	音楽実技演習	2 選	○	○			○				○				1					
	PEC2133	ピアノ実践演習A	3 選	○	○		○	○				○							1		
	PEC2134	ピアノ実践演習B	4 選	○	○		○	○				○								1	
	PSS2131	英語A	1 選	○		○				○				2							
	PSS2131	英語B	1 選	○		○				○					2						
	FSS2131	英語のしくみ	1 選	○		○				○				2							
	FSS2131	英語の歴史	1 選	○		○				○					2						
	FSS2132	英語学講読A	2 選	○		○				○						2					
	FSS2132	英語学講読B	2 選	○		○				○							2				
	PSS2132	特級英語A	2 選	○		○				○						2					
	PSS2132	特級英語B	2 選	○		○				○							2				
	MUE2133	異文化コミュニケーション論A	3 選	○		○				○								2			
	MUE2133	異文化コミュニケーション論B	3 選	○		○				○									2		
	PSS2134	英語学演習	4 選	○		○				○										2	
	FSS2133	英米文学史A	3 選	○		○				○								2			
	FSS2133	英米文学史B	3 選	○		○				○									2		
	FSS2132	英米文学と子ども	2 選	○		○				○						2					
	FSS2132	英米文学と教育	2 選	○		○				○							2				
	PSS2134	英米文学演習	4 選	○		○				○											2
	FSH2132	衛生学	2 選			○			○								2				
	FSH2131	公衆衛生学	1 選			○			○					2							
	FSH2131	学校保健	1 選			○			○						2						
	FSH2132	養護概説	2 選			○			○							2					
	CSH2132	健康相談	2 選			○			○								2				
	FSH2132	栄養学	2 選			○			○							2					
	FSH2131	解剖生理学	1 選			○			○						2						

教育学部
現代教育学科　4回生用(2017年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目						開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状				保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援		前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	FSH2131	微生物学	1選			○			○					2						
	FSH2132	薬理概論	2選			○			○						2					
	FSH2131	学校看護Ⅰ	1選			○			○					2						
	MSH2132	学校看護Ⅱ	2選			○			○						2					
	CSH2132	学校看護Ⅲ	2選			○			○							2				
	TPF2132	養護臨床実習	2選			○			○							②				
	FSH2132	救急医学	2選			○			○						2					
	FSN2132	特別支援教育論	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の心理	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の生理・病理	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	肢体不自由者の心理･生理･病理	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	病弱者の心理・生理・病理	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅰ	2選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者教育論Ⅱ	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	肢体不自由者教育論	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2132	病弱者教育論	2選	○	○	○					○					2				
	FSN2133	視覚障害者教育総論	3選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	聴覚障害者教育総論	3選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	重複障害等教育総論	3選	○	○	○					○							2		
	FSN2133	LD等教育総論	3選	○	○	○					○							2		
	FSN2133	発達障害教育特論	3選	○	○	○					○							2		
	MSS2132	国語科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	社会科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	算数科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	理科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	生活科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2133	音楽科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2133	図工科指導法	3選	○	○	○	○										2			
	MSS2132	家庭科指導法	2選	○	○	○	○									2				
	MSS2132	体育科指導法	2選	○	○	○	○								2					
	MSS2133	英語科指導法Ⅰ	3選	○	○	○				○							2			
	MSS2133	英語科指導法Ⅱ	3選	○	○	○				○								2		
	MSS2134	英語科指導法Ⅲ	4選	○	○	○				○									2	
	MSS2134	英語科指導法Ⅳ	4選	○	○	○				○										2
	TPF2133	小学校教育実習指導A	3選	○	○	○	○										1			
	TPF2134	小学校教育実習指導B	4選	○	○	○	○												1	
	TPF2133	小学校教育実習A	3選	○	○	○	○										④			
	TPF2134	小学校教育実習B	4選	○	○	○	○												②	
	TPF2131	小学校一日見学	1選	○	○	○	○		○					⓪						
	TPF2133	幼稚園教育実習指導A	3選	○	○			○									1			
	TPF2134	幼稚園教育実習指導B	4選	○	○			○											1	
	TPF2133	幼稚園教育実習A	3選	○	○			○									④			
	TPF2134	幼稚園教育実習B	4選	○	○			○											②	
	TPF2131	◆幼稚園一日見学	1選	○	○	○	○		○					⓪						
	TPF2131	幼児教育実践論	1選	○	○	○	○	○	○			○		2						
	TPF2134	英語科教育実習（中）	4選	○		○				○									⑤	
	TPF2134	英語科教育実習（高）	4選	○		○				○									③	

教育学部
現代教育学科　4回生用(2017年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
				学校教育	幼児教育	保健教育	教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
							小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	TPF2133	養護実習指導	3 選			○			○									1			
	TPF2133	養護実習	3 選			○			○									④			
	TPF2134	特別支援教育実習	4 選	○	○	○					○									③	
	ETP2134	保育・教職実践演習（幼稚園）	4 選		○			○				○									2
	ETP2134	教職実践演習（幼・小）	4 選	○	○	○	○	○													2
	ETP2134	教職実践演習（中・高）	4 選	○		○				○											2
	ETP2134	教職実践演習（養護教諭）	4 選			○			○												2
	PEC2132	相談援助演習	2 選		○							○					1				
	FEC2133	児童家庭福祉論	3 選		○							○						2			
	FEC2133	社会福祉論	3 選		○							○						2			
	PEC2132	児童文化演習	2 選		○							○				2					
	FEC2132	家庭支援論	2 選		○							○					2				
	FEC2131	保育原理	1 選		●							○		2							
	FEC2131	保育の心理学A	1 選		○							○	○	2							
	FEC2132	保育の心理学B	2 選		○							○	○			1					
	FEC2132	社会的養護	2 選		●							○					2				
	FEC2131	◆子どもの保健A	1 選		○							○		2							
	FEC2131	子どもの保健B	1 選		○							○			2						
	PEC2133	子どもの保健演習	3 選		○							○						1			
	PEC2133	子どもの食と栄養演習	3 選		○							○						2			
	PEC2131	乳児保育演習	1 選		○							○			2						
	PEC2132	障害児保育演習	2 選		○							○				2					
	PEC2132	社会的養護内容演習	2 選		○							○				1					
	PEC2133	保育相談支援演習	3 選		○							○						1			
	MEC2133	保育内容総論	3 選		○							○							1		
	MEC2132	保育内容の研究「健康」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の研究「人間関係」	2 選	○	○			○				○					2				
	MEC2131	保育内容の研究「環境」	1 選	○	○			○				○			2						
	MEC2131	保育内容の研究「言葉」	1 選	○	○			○				○			2						
	MEC2132	保育内容の研究「音楽表現」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の研究「造形表現」	2 選	○	○			○				○				2					
	MEC2132	保育内容の研究「運動遊び」	2 選	○	○			○				○				2					
	PEC2131	絵画演習	1 選		○							○		2							
	PEC2133	◆保育実践研究A	3 選		○							○							2		
	PEC2134	◆保育実践研究B	4 選		○							○								2	
	TPF2132	保育実習指導Ⅰ	2 選		○							○				2					
	TPF2132	保育実習指導ⅡA	2 選		○							○					1				
	TPF2132	保育実習指導ⅡB	2 選		○							○					1				
	TPF2132	保育実習Ⅰ	2 選		○							○				④					
	TPF2132	保育実習ⅡA	2 選		○							○					②				
	TPF2132	保育実習ⅡB	2 選		○							○					②				
	UHM2133	心理学研究法	3 選		○	○							○					2			
	UHM2132	心理統計学	2 選		○	●							○				2				
	UHM2132	心理学基礎実験	2 選		○	○							○				2				
	UHM2133	心理学実験	3 選		○	○							○					2			
	UHM2132	学習心理学	2 選		○	○							○				2				
	UHM2133	認知心理学	3 選		○	○							○						2		
	UHM2133	社会心理学	3 選		○	○							○					2			

教育学部
現代教育学科　4回生用(2017年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応			資格要件に関する科目							開講時期							
							教員免許状					保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
				学校教育	幼児教育	保健教育	小学校	幼稚園	養護	中高英語	特別支援			前	後	前	後	前	後	前	後
専門科目	UHM2133	臨床心理学	3 選		○	○							○					2			
	TPF2133	心理検査法実習	3 選		○	○							○					2			
	UHM2133	家族心理学	3 選		○	○							○						2		
	GRP2133	卒業研究指導ゼミⅠ	3 必	●	●	●												2			
	GRP2134	卒業研究指導ゼミⅡ	4 必	●	●	●														2	
	GRP2134	卒業研究	4 必	●	●	●							○								2
専門科目単位数合計　必修：6単位　推奨：0単位　選択：283単位																					

専門準備科目	REP2102	教職への初等数学	2 選													0					
	REP2102	教職への理科	2 選														0				

取得できる資格とその要件

取得できる資格とその要件

本学ではすべての学部・学科で、社会で役立つ専門的資格の取得を可能としています。とりわけ理学療法学科や看護医療学科では国家試験の受験資格を取得することが卒業要件になっています。

本学で取得できる国家試験受験資格は理学療法士、看護師、保健師、管理栄養士、二級建築士、一級建築士（免許登録には実務経験が必要）であり、これらの職業は試験に合格することではじめて専門職として社会で活躍することが可能です。健康栄養学科では、申請をすれば卒業と同時に栄養士資格を取得することが可能です。また各種の教員免許状は本学で必要な単位を修得することで取得できますが、教員採用試験に合格しなければ教壇に立つことはできません。そのためには授業内容を理解し身に付ける学修に加えて、国家試験対策、教員採用試験対策の勉強を同時並行で進めていくことが不可欠です。時々に大学で行なう模擬試験を受験し、弱点を早めに発見してそれを克服することも大切です。必要な内容はオリエンテーションやガイダンスでレクチャーしますので、必ず出席してください。

健康科学部 理学療法学科

理学療法士国家試験受験資格取得に必要な科目

理学療法学科の専門基礎科目・専門科目のほとんどが資格取得に必要な必修科目となっています。詳細は前掲のカリキュラムを参照してください。

▶トピックス◀

理学療法士国家試験とは

理学療法士の国家試験は毎年２月下旬から３月に行われ、３月下旬に合格者が発表されます。試験はすべて５肢選択のマークシート形式です。

出題は理学療法に関係する「実地問題」と一般医学に関係する作業療法士国家試験との「一般問題」が午前、午後とも混合して出題されます。出題形式は問題文や選択肢に図や写真を配したものや、簡単な症例を設定した事例問題で、正解するためには実践的な深い理解が求められています。

国家試験に出題される試験科目は、右表のようになっています。大学での授業科目の専門科目にあたる実地問題ももちろんですが、「解剖学」や「生理学」といった大学での専門基礎科目の内容も比重が高いことが特色です。

これらの専門基礎の科目は１回生から学びます。「解剖学」や「生理学」をしっかりと理解できてこそ理学療法の専門的な科目の学修が可能になるからですが、別の角度から見ると国家試験対策は１回生から始まるということでもあります。苦手科目を残さない、たゆまぬ努力が国家試験合格につながります。

全国および本学の国家試験合格率は表のようになっています。今までに全国平均を下回ったことがなく、学生１人１人が真剣に試験対策に取り組んでいます。

理学療法士国家試験出題科目

	試験科目
実地問題（専門科目）	運動学
	臨床心理学
	リハビリテーション医学
	臨床医学大要及び理学療法
一般問題（専門基礎科目）	解剖学
	生理学
	運動学
	病理学概論
	臨床心理学
	リハビリテーション医学
	臨床医学大要及び理学療法

試験内容と合格基準

	出題数	配　点	満　点
専門実地問題	40（午前20）	3	120
専　門　問　題	60（午前30）	1	60
共　通　問　題	100（午前50）	1	100

試験時間：午前、午後とも２時間40分

第54回合格基準：①専門実地問題が60点以上②合計点が168点以上

①②両方ともクリアした場合、合格

理学療法士国家試験合格状況（過去５年間）

実施回数	本学	全国
	合格者数/受験者数（合格率）	合格者数/受験者数（合格率）
第54回　（2019年）	64　/　64（100.0%）	10,809　/　12,605（85.8%）
第53回　（2018年）	72　/　72（100.0%）	9,885　/　12,148（81.4%）
第52回　（2017年）	67　/　67（100.0%）	12,388　/　13,719（90.3%）
第51回　（2016年）	62　/　62（100.0%）	9,272　/　12,515（74.1%）
第50回　（2015年）	52　/　53（98.1%）	9,952　/　12,035（82.7%）

健康科学部 看護医療学科

看護師及び保健師国家試験受験資格取得に必要な科目

看護医療学科では、看護師国家試験の受験資格を取得することが卒業要件になっています。詳細は前掲のカリキュラムを参照してください。

保健師国家試験の受験資格は選択制です。保健師国家試験受験資格取得要件は、巻末の看護医療学科内規を参照してください。

▷トピックス◁

看護師国家試験・保健師国家試験とは

看護師国家試験と保健師国家試験は毎年２月に行われ、３月に合格者が発表されます。試験は全てマークシートによる客観式です。

看護師国家試験合格状況（過去５年間）

実施回数	本学				全国			
	合格者数	/	受験者数	（合格率）	合格者数	/	受験者数	（合格率）
第108回 （2019年）	91	/	91	（100.0%）	56,767	/	63,603	（89.3%）
第107回 （2018年）	93	/	93	（100.0%）	58,682	/	64,488	（91.0%）
第106回 （2017年）	90	/	92	（97.8%）	55,367	/	62,534	（88.5%）
第105回 （2016年）	84	/	84	（100.0%）	55,585	/	62,154	（89.4%）
第104回 （2015年）	85	/	85	（100.0%）	54,871	/	60,947	（90.0%）

保健師国家試験合格状況（過去５年間）

実施回数	本学				全国			
	合格者数	/	受験者数	（合格率）	合格者数	/	受験者数	（合格率）
第105回（2019年）	20	/	20	（100.0%）	6,852	/	8,376	（81.8%）
第104回（2018年）	19	/	19	（100.0%）	6,666	/	8,191	（81.4%）
第103回（2017年）	22	/	22	（100.0%）	7,450	/	8,207	（90.8%）
第102回（2016年）	29	/	32	（90.6%）	7,901	/	8,799	（89.8%）
第101回（2015年）	66	/	66	（100.0%）	16,517	/	16,622	（99.4%）

［第108回（2019年２月実施）看護師国家試験］

必修問題50問/一般問題130問/状況設定問題60問

必修問題および一般問題を１問１点、状況設定問題を１問２点とし、次の①②をすべて満たすものが合格となりました。

①必修問題　40点以上/49点満点（採点対象除外を除く）

②一般問題・状況設定問題　155点以上/250点満点

①の基準は80%以上となっています。②の合格ラインは毎年変動します。

［第105回（2019年２月実施）保健師国家試験］

一般問題75問/状況設定問題35問

一般問題を１問１点、状況設定問題を１問２点とし、145点満点の87点以上が合格ラインでした。

看護師国家試験について

看護師国家試験の分野別の出題は以下のようになっています。分野別の設問数があらかじめ決まっているわけではありませんが、毎年の傾向に大きな変更はありませんので、全分野にわたる遍りのない学習が必要です。また、状況設定問題に正解するためには実践的で総合的な力が求められます。

科　目		2017年 第106回	2018年 第107回	2019年 第108回
専門基礎分野	人体の構造と機能	16	18	22
	疾病の成り立ちと回復の促進	11	16	14
	健康支援と社会保障制度	25	24	21
専門分野Ⅰ・Ⅱ	基礎看護学	37	39	32
	成人看護学	51	56	53
	老年看護学	19	17	19
	小児看護学	19	15	19
	母性看護学	18	15	19
	精神看護学	17	18	20
統合分野	在宅看護論	14	13	14
	看護の統合と実践	13	9	7
合　計		240	240	240

保健師国家試験について

保健師国家試験の出題方式、出題数、時間は以下のようになっています。

第105回試験

	方式	出題数	時間
午前	客観式一般問題	40問	75分
	客観式状況設定問題	15問 （2連問又は3連問）	
午後	客観式一般問題	35問	80分
	客観式状況設定問題	20問 （1問又は2連問又は3連問）	

時間割

養護教諭一種免許状

看護医療学科に所属し、教育職員免許法、同施行規則に規定する下表の要件を充足した者は、養護教諭一種免許状を取得できます。なお、「保健師」の資格取得者は教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目（日本国憲法２単位、体育２単位、外国語コミュニケーション２単位及び情報機器の操作２単位）の単位を修得した上で、申請をすると養護教諭二種免許状取得が可能です。

「保健師国家試験受験資格」と「養護教諭一種免許状」の両方を取得することはできませんので、よく検討した上で取得資格を決めてください。

養護教諭一種免許状　１・２回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、

①「養護に関する科目」から35単位以上
②「教育の基礎的理解に関する科目等」から26単位以上
③「教免法施行規則第66条の６に定める科目」から８単位以上
↓
総計69単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			受講資格	教育実習		
			必修	必選修択	選択			科目名	配当年次	
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	4	2			◇		地域看護学概論	2	
			1					保健医療福祉システム論Ⅰ	4	
			2			◇		公衆衛生学	1	
	学校保健	2	2			◇		学校保健	2	
	養護概説	2	2			◇		養護概説	2	
	健康相談活動の理論･健康相談活動の方法	2	2					健康相談	4	
	栄養学（食品学を含む。）	2	2			◇		食と栄養	1	
			1			◇		生命活動と代謝	1	
	解剖学・生理学	2	2			◇		人体構造・機能学Ⅰ	1	
			2			◇		人体構造・機能学Ⅱ	1	
	「微生物、免疫学、薬理概論」	2	2			◇		感染・免疫学	1	
			2			◇		薬と健康	2	
	精神保健	2	2			◇		精神保健学	1	
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	2			◇		看護学原論	1	
			1			◇		看護技術基礎論	1	
			2			◇		療養生活援助技術	1	
			1			◇		診療過程援助技術	2	
			1			◇		フィジカルアセスメント	1	
			2			◇		基礎看護学実習	1	
			1			◇		急性期看護学援助論Ⅰ	2	
			1			◇		急性期看護学援助論Ⅱ	3	
①	「養護に関する科目」の要件単位数	28	35							

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必修選択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	2			◇	教育原理（中等）	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2			◇	教職概論（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		2				教育法制論（中等）	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2			◇	教育心理学（中等）	2	
						2		発達心理学（中等）	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1			◇	特別支援教育入門A	2	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		2			◇	教育課程論（中等）	3	
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	2				道徳・特別活動論	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		2				教育方法・技術論（中等）	2	
		生徒指導の理論及び方法		2			◇	生徒指導論	3	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2			◇	教育相談（中等）	2	
	教育実践に関する科目	養護実習	5	1			◇	養護実習指導	4	
				4				養護実習	4	
		教職実践演習	2	2				教職実践演習（養護教諭）	4	
②	「教育の基礎的理解に関する科目等」の要件単位数		15	26						

さらに「養護に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」から選択(①②以外)	7	←上記①②の要件を充足することでクリアされます。

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習Ⅰ	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習Ⅱ	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションⅠ	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
③	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8						

必要な単位数の総計（①+②+③）	64	69

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて履修済であること

養護教諭一種免許状　3・4回生（2017・2018年度入学生）

この資格を取得するためには、

①「養護に関する科目」から35単位以上

②「教職に関する科目」から25単位以上

③「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上

↓

総計68単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			教育実習			
			必修	必選修択	選択	受講資格	科目名	配当年次	
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2			◇	地域看護学概論	2	
			1				保健医療福祉システム論Ⅰ	4	
			2			◇	公衆衛生学	1	
	学校保健	2	2			◇	学校保健	2	
	養護概説	2	2			◇	養護概説	2	
	健康相談活動の理論及び方法	2	2				健康相談	4	
	栄養学（食品学を含む。）	2	2			◇	食と栄養	1	
			1			◇	生命活動と代謝	1	
	解剖学及び生理学	2	2			◇	人体構造・機能学Ⅰ	1	
			2			◇	人体構造・機能学Ⅱ	1	
	「微生物、免疫学、薬理概論」	2	2			◇	感染・免疫学	1	
			2			◇	薬と健康	2	
	精神保健	2	2			◇	精神保健学	1	
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	10	2			◇	看護学原論	1	
			1			◇	看護技術基礎論	1	
			2			◇	療養生活援助技術	1	
			1			◇	診療過程援助技術	2	
			1			◇	フィジカルアセスメント	1	
			2			◇	基礎看護学実習	1	
			1			◇	急性期看護学援助論Ⅰ	2	
			1			◇	急性期看護学援助論Ⅱ	3	
①	「養護に関する科目」の要件単位数	28	35						

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	対応する開設授業科目						備考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（中等）	2	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2			◇	教育原理（中等）	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（中等）	2	
						2		発達心理学（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（中等）	1	
	教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	4	2			◇	教育課程論（中等）	3	
		道徳及び特別活動に関する内容		2				道徳・特別活動論	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		2				教育方法・技術論（中等）	2	
	生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	2			◇	生徒指導論	3	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2			◇	教育相談（中等）	2	
	教育実習		5	1			◇	養護実習指導	4	
				4				養護実習	4	
	教職実践演習		2	2				教職実践演習（養護教諭）	4	
② 「教職に関する科目」の要件単位数			21	25						

さらに「養護に関する科目」「教職に関する科目」から選択(①②以外)	7	←上記①②の要件を充足することでクリアされます。

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習Ⅰ	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習Ⅱ	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションⅠ	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
③ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8	8						

必要な単位数の総計（①+②+③）	64	68

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて履修済であること

健康科学部 健康栄養学科

管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な科目

健康栄養学科の専門基礎科目・専門科目のほとんどが管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な必修科目となっています。

管理栄養士課程　1～3回生（2018～2020年度入学生）

	管理栄養士学校指定規則に定める教育内容	単位数 講義または演習	単位数 実験または実習	本学が開講する授業科目（新課程）	単位数 講義または演習	単位数 実験または実習
専門基礎科目	社会・環境と健康	6	10	健康管理論	2	
				公衆衛生学	2	
				保健医療福祉概論	2	
				小計	6	0
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		解剖生理学Ⅰ	2	
				解剖生理学Ⅱ	2	
				解剖生理学実験		1
				生化学Ⅰ	2	
				生化学Ⅱ	2	
				生化学実験		1
				臨床医学Ⅰ	2	
				臨床医学Ⅱ	2	
				運動生理学	2	
				運動生理学実験		1
				小計	14	3
	食べ物と健康	8		基礎化学実験		1
				食品学総論	2	
				食品学各論	2	
				食品学実験		1
				食品衛生学	2	
				食品衛生学実験Ⅰ		1
				食品衛生学実験Ⅱ		1
				調理学	2	
				調理科学実験		1
				調理学実習Ⅰ		1
				調理学実習Ⅱ		1
				小計	8	7
	計	28	10	計	28	10

	管理栄養士学校指定規則に定める教育内容	単位数		本学が開講する授業科目（新課程）	単位数	
		講義または演習	実験または実習		講義または演習	実験または実習
専門科目	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学Ⅰ	2	
				基礎栄養学Ⅱ	2	
				基礎栄養学実験		1
				小計	4	1
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2	
				応用栄養学Ⅱ	2	
				応用栄養学演習	2	
				応用栄養学実習		1
				小計	6	1
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ	2	
				栄養教育論Ⅱ	2	
				栄養教育論演習	2	
				栄養教育論実習		1
				小計	6	1
	臨床栄養学	8		臨床栄養学Ⅰ	2	
				臨床栄養学Ⅱ	2	
				臨床栄養学Ⅲ	2	
				臨床栄養学Ⅳ	2	
				臨床栄養学実習Ⅰ		1
				臨床栄養学実習Ⅱ		1
				小計	8	2
	公衆栄養学	4		公衆栄養学Ⅰ	2	
				公衆栄養学Ⅱ	2	
				公衆栄養学実習		1
				小計	4	1
	給食経営管理論	4		給食経営管理論Ⅰ	2	
				給食経営管理論Ⅱ	2	
				給食経営管理論実習Ⅰ		1
				給食経営管理論実習Ⅱ		1
				小計	4	2
	総合演習	2		総合演習Ⅰ	2	
				総合演習Ⅱ	2	
				小計	4	0
	臨地実習		4	臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1
				臨地実習Ⅱ（給食経営管理）★		(1)
				臨地実習Ⅲ（臨床栄養）		2
				臨地実習Ⅳ（臨床栄養）★		(1)
				臨地実習Ⅴ（公衆栄養）★		(1)
				★のいずれかを選択		
				小計	0	4
	計	32	12	計	36	12
合計		60	22	合計	64	22
		82			86	

管理栄養士課程　4回生（2017年度入学生）

	管理栄養士学校指定規則に定める教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	単位数	
		講義または演習	実験または実習		講義または演習	実験または実習
専門基礎科目	社会・環境と健康	6	10	健康管理論	2	
				公衆衛生学	2	
				保健医療福祉概論	2	
				小計	6	0
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		解剖生理学Ⅰ	2	
				解剖生理学Ⅱ	2	
				解剖生理学実験		1
				生化学Ⅰ	2	
				生化学Ⅱ	2	
				生化学実験		1
				臨床医学Ⅰ	2	
				臨床医学Ⅱ	2	
				運動生理学	2	
				運動生理学実験		1
				小計	14	3
	食べ物と健康	8		基礎化学実験		1
				食品学総論	2	
				食品学各論	2	
				食品学実験		1
				食品衛生学	2	
				食品衛生学実験Ⅰ		1
				食品衛生学実験Ⅱ		1
				調理学	2	
				調理科学実験		1
				調理学実習Ⅰ		1
				調理学実習Ⅱ		1
				小計	8	7
	計	28	10	計	28	10

	管理栄養士学校指定規則に定める教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	単位数	
		講義または演習	実験または実習		講義または演習	実験または実習
専門科目	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学Ⅰ	2	
				基礎栄養学Ⅱ	2	
				基礎栄養学実験		1
				小計	4	1
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2	
				応用栄養学Ⅱ	2	
				応用栄養学演習	2	
				応用栄養学実習		1
				小計	6	1
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ	2	
				栄養教育論Ⅱ	2	
				栄養教育論演習	2	
				栄養教育論実習		1
				小計	6	1
	臨床栄養学	8		臨床栄養学Ⅰ	2	
				臨床栄養学Ⅱ	2	
				臨床栄養学Ⅲ	2	
				臨床栄養学Ⅳ	2	
				臨床栄養学実習Ⅰ		1
				臨床栄養学実習Ⅱ		1
				小計	8	2
	公衆栄養学	4		公衆栄養学Ⅰ	2	
				公衆栄養学Ⅱ	2	
				公衆栄養学実習		1
				小計	4	1
	給食経営管理論	4		給食経営管理論Ⅰ	2	
				給食経営管理論Ⅱ	2	
				給食経営管理論実習Ⅰ		1
				給食経営管理論実習Ⅱ		1
				小計	4	2
	総合演習	2		総合演習	2	
				小計	2	0
	臨地実習		4	臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1
				臨地実習Ⅱ（給食経営管理）★		(1)
				臨地実習Ⅲ（臨床栄養）		2
				臨地実習Ⅳ（臨床栄養）★		(1)
				臨地実習Ⅴ（公衆栄養）★		(1)
				★のいずれかを選択		
				小計	0	4
	計	32	12	計	34	12
合計		60	22	合計	62	22
		82			84	

栄養士免許取得に必要な科目

健康栄養学科の専門基礎科目・専門科目のうち、指定された科目の単位を修得すれば「栄養士免許」が取得できます。

栄養士課程　1～4回生（2017～2020年度入学生）

栄養士学校指定規則に定める教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	単位数	
	講義または演習	実験または実習		講義または演習	実験または実習
社会生活と健康	4	4	健康管理論	2	
			公衆衛生学	2	
			保健医療福祉概論	2	
			小計	6	0
人体の構造と機能	8		解剖生理学Ⅰ	2	
			解剖生理学実験		1
			生化学Ⅰ	2	
			生化学実験		1
			臨床医学Ⅰ	2	
			運動生理学	2	
			運動生理学実験		1
			小計	8	3
食品と衛生	6		食品学総論	2	
			食品学各論	2	
			食品学実験		1
			食品衛生学	2	
			食品衛生学実験Ⅰ		1
			調理科学実験		1
			小計	6	3
計	18	4	計	20	6

栄養士学校指定規則に定める教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	単位数	
	講義または演習	実験または実習		講義または演習	実験または実習
栄養と健康	8	10	基礎栄養学Ⅰ	2	
			基礎栄養学Ⅱ	2	
			基礎栄養学実験		1
			応用栄養学Ⅰ	2	
			応用栄養学演習	2	
			応用栄養学実習		1
			臨床栄養学Ⅰ	2	
			臨床栄養学実習Ⅰ		1
			臨床栄養学実習Ⅱ		1
			小計	10	4
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2	
			栄養教育論Ⅱ	2	
			栄養教育論実習		1
			公衆栄養学Ⅰ	2	
			小計	6	1
給食の運営	4		調理学	2	
			給食経営管理論Ⅰ	2	
			調理学実習Ⅰ		1
			調理学実習Ⅱ		1
			給食経営管理論実習Ⅰ		1
			給食経営管理論実習Ⅱ		1
			臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1
			小計	4	5
計	18	10	計	20	10
合計	36	14	合計	40	16
	50			56	

▶トピックス◀

管理栄養士国家試験とは

管理栄養士国家試験は毎年３月上旬に行われ、３月中に合格が発表されます。試験は午前午後にわたって計200問出題され、配点は１問１点です。正答率60％が合格基準なので、120点以上の者が合格ということになります。

分野別の設問数は下表の通りですが、広い分野にわたっていて相当の受験準備が必要です。早くから学修を積み重ねることで合格を確実にすることができます。

第34回管理栄養士国家試験（2020年３月実施予定）出題数の配分

	分野	出題数		試験時間
午前	社会・環境と健康	16	97	２時間30分
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	26		
	食べ物と健康	25		
	基礎栄養学	14		
	応用栄養学	16		
午後	栄養教育論	13	103	２時間35分
	臨床栄養学	26		
	公衆栄養学	16		
	給食経営管理論	18		
	応用力試験	30		
合計		200		

管理栄養士国家試験合格状況（過去５年間）

実施回数（年）	本学				全国			
	合格者数	／	受験者数	（合格率）	合格者数	／	受験者数	（合格率）
第33回　（2019年）	85	／	85	（100.0%）	10,796	／	17,864	（60.4%）
第32回　（2018年）	88	／	89	（98.9%）	10,472	／	17,222	（60.8%）
第31回　（2017年）	65	／	66	（98.5%）	10,622	／	19,472	（54.6%）
第30回　（2016年）	59	／	63	（93.7%）	8,538	／	19,086	（44.7%）
第29回　（2015年）	68	／	68	（100.0%）	11,068	／	19,884	（55.7%）

フードスペシャリスト

フードスペシャリストとして必要とされる下表の科目の単位を修得（履修中を含む）すれば受験資格が取得でき、３回生の12月に実施される公益社団法人日本フードスペシャリスト協会の認定試験を受験することができます。

フードスペシャリスト　１～４回生（2017～2020年度入学生）

区　分	協会指定単位数	対応する授業科目名			
		資格取得要件		科目名	配当年次
		必修	選択		
フードスペシャリスト論	2	2		食文化論	1
食品の官能評価・鑑別論	2	2		給食経営管理論Ⅰ	1
		1		調理科学実験	2
食物学に関する科目	5	1		食品学実験	2
		2		食品学各論	2
		2		食品加工学	3
食品の安全性に関する科目	2	2		食品衛生学	1(※1)
調理学に関する科目	4	2		調理学	1
		1		調理学実習Ⅰ	1
		1		調理学実習Ⅱ	1
栄養と健康に関する科目	2	2		基礎栄養学Ⅰ	1
		2		基礎栄養学Ⅱ	2
食品流通・消費に関する科目	2	2		フードシステム経済学	2
		2		給食経営管理論Ⅱ	2
フードコーディネート論	2	2		フードコーディネート論	3
必要な単位数の総計	21	26			

※１　「食品衛生学」は2017年度入学生は２年次配当。

専門フードスペシャリスト

フードスペシャリストの上位資格として、より高い専門性や実用性を深めた専門フードスペシャリスト（食品開発）と専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）の２部門が、2014年に新設されました。この認定試験はフードスペシャリスト認定試験に続き、同日実施されます。受験することができるのは、フードスペシャリスト認定試験の受験者または合格者です。

栄養教諭一種免許状

健康栄養学科に所属し、管理栄養士養成課程を修了し、かつ栄養士免許状を取得した者で、教育職員免許法、同施行規則に規定する次頁の科目及び単位数を修得した者は、栄養教諭一種免許状を取得できます。

栄養教諭一種免許状　1・2回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「栄養に係る教育に関する科目」から4単位以上
②「教育の基礎的理解に関する科目等」から23単位以上
③「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計35単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必修選択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	2			◇	栄養教諭論	3	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項								
	食生活に関する歴史的及び文化的事項		2			◇	食に関する指導論	3	
	食に関する指導の方法に関する事項								
① 「栄養に係る教育に関する科目」の要件単位数		4	4						

教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	2				教育原理（中等）	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2			◇	教職概論（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携および学校安全への対応を含む。）		2				教育法制論（中等）	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2				教育心理学（中等）	2	
						2		発達心理学（中等）	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1				特別支援教育入門A	2	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		2			◇	教育課程論（中等）	3	
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	2				道徳・特別活動論	3	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2				教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	2	
		生徒指導の理論及び方法		2			◇	生徒指導論	3	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2			◇	教育相談（中等）	2	
	教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	2				栄養教育実習	4	事前事後指導含む
		教職実践演習	2	2				教職実践演習（栄養教諭）	4	
② 「教育の基礎的理解に関する科目等」の要件単位数			18	23						

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習Ⅰ	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習Ⅱ	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションⅠ	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
③ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③）	30	35

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて履修済であること

栄養教諭一種免許状　3・4回生（2017・2018年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「栄養に係る教育に関する科目」から４単位以上
②「教職に関する科目」から22単位以上
③「教免法施行規則第66条の６に定める科目」から８単位以上
↓
総計34単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
			必修	必修選択	選択				
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 食生活に関する歴史的及び文化的事項	2	2			◇	栄養教諭論	3	
	食に関する指導の方法に関する事項	2	2			◇	食に関する指導論	3	
① 「栄養に係る教育に関する科目」の要件単位数		4	4						

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2			◇	教職概論（中等）	2	
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2				教育原理（中等）	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2				教育心理学（中等）	2	
						2		発達心理学（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（中等）	1	
	教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	4	2			◇	教育課程論（中等）	3	
		道徳及び特別活動に関する内容		2				道徳・特別活動論	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		2				教育方法・技術論（中等）	2	
	生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	2			◇	生徒指導論	3	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2			◇	教育相談（中等）	2	
	教育実習		2	2				栄養教育実習	4	事前事後指導含む
	教職実践演習		2	2				教職実践演習（栄養教諭）	4	
② 「教職に関する科目」の要件単位数			18	22						

教免法施行規則第66条の６に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習Ⅰ	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習Ⅱ	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションⅠ	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
③ 「教免法施行規則第66条の６に定める科目」の要件単位数			8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③）	30	34

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて履修済であること

健康科学部 人間環境デザイン学科

一級建築士、二級・木造建築士受験資格

建築士法施行規則に基づき資格に必要な要件を充足すれば、一級建築士、二級建築士および木造建築士の受験資格が取得できます。

【建築士の種別と業務範囲】

一級建築士：全ての構造・規模・用途の建築物について、設計・工事監理を行うことができます。
二級建築士：比較的小規模な建築物についてのみ、設計・工事監理を行うことができます。
木造建築士：より小規模な木造建築物についてのみ、設計・工事監理を行うことができます。

各建築士別の業務範囲

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">延べ面積　S(㎡)</td><td colspan="3">木造</td><td colspan="2">木造以外</td><td>全ての構造</td></tr>
<tr><td colspan="3">高さ≦13mかつ軒高≦9m</td><td colspan="2">高さ≦13mかつ軒高≦9m</td><td rowspan="2">高さ＞13m
又は
軒高＞9m</td></tr>
<tr><td>階数1</td><td>階数2</td><td>階数3以上</td><td>階数2以下</td><td>階数3以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">S≦30</td><td colspan="2" rowspan="2">A</td><td rowspan="3">C</td><td>A</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="2">30＜S≦100</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">100＜S≦300</td><td colspan="2">B</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">300＜S≦500</td><td colspan="5" rowspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">500＜S≦1000</td><td>一般</td></tr>
<tr><td>特定※</td><td colspan="6" rowspan="3">D</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1000＜S</td><td>一般</td><td colspan="2">C</td></tr>
<tr><td>特定※</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

A：だれにでもできる。
B：一級建築士、二級建築士、木造建築士でなければできない。
C：一級建築士又は二級建築士でなければできない。
D：一級建築士でなければできない。
※特定とは、学校、病院、劇場、映画館、観覧場、公会堂、オーディトリアムを有する集会場、百貨店をいう。

（財団法人建築技術教育普及センター『建築士制度の概要』より）

一級建築士、二級・木造建築士受験資格・免許登録要件

1・2 回生(2019・2020年度入学生)

建築士法施行規則指定科目の分類（単位数）		対応する開設授業科目		
二級・木造 実務経験：0～2年	一級 実務経験：2～4年	単位数	科目名	配当年次
①建築設計製図 3 単位以上	①建築設計製図 7 単位以上	2	建築設計演習Ⅰ	2
		2	建築設計演習Ⅱ	2
		2	建築設計演習Ⅲ	3
		2	建築設計演習Ⅳ	3
		2	インテリアデザイン演習A	2
		2	建築CADⅠ	2
		2	建築CADⅡ	3
②～④建築計画、建築環境工学又は建築設備 2 単位以上	②建築計画 7 単位以上	2	建築学概論	1
		2	住環境計画Ⅰ	1
		2	住環境計画Ⅱ	2
		2	住生活史	2
		2	日本建築史	2
		2	西洋・東洋建築史	2
	③建築環境工学 2 単位以上	2	建築環境工学	3
	④建築設備 2 単位以上	2	建築設備学演習	3
⑤～⑦構造力学、建築一般構造又は建築材料 3 単位以上	⑤構造力学 4 単位以上	2	構造力学Ⅰ	1
		2	構造力学Ⅱ	2
	⑥建築一般構造 3 単位以上	2	建築一般構造Ⅰ	2
		2	建築一般構造Ⅱ	3
	⑦建築材料 2 単位	2	建築材料学	2
		2	建築材料実験	3
⑧建築生産 1 単位以上	⑧建築生産 2 単位以上	2	建築施工	3
⑨建築法規 1 単位以上	⑨建築法規 1 単位以上	2	建築法規	3
①～⑨計 **10**単位以上	①～⑨計 **30**単位以上			
⑩その他	⑩その他	2	建築図学	1
		2	測量実習	3
		2	ランドスケープ演習	3
		2	人間工学	1
		2	人間工学実験	2
		2	インテリアデザイン	1
		2	ユニバーサルデザイン（環境）	4
		2	福祉のまちづくり（地域計画論）	3
		2	住生活論	1
①～⑨＋⑩ 実務 0 年：**40**単位以上 実務 1 年：**30**単位以上 実務 2 年：**20**単位以上	①～⑨＋⑩ 実務 2 年：**60**単位以上 実務 3 年：**50**単位以上 実務 4 年：**40**単位以上			

一級建築士、二級・木造建築士受験資格・免許登録要件

3・4回生(2017・2018年度入学生)

建築士法施行規則指定科目の分類（単位数）		対応する開設授業科目		
二級・木造 実務経験：0～2年	一級 実務経験：2～4年	単位数	科目名	配当年次
①建築設計製図 3単位以上	①建築設計製図 7単位以上	2	建築設計演習Ⅰ	2
		2	建築設計演習Ⅱ	2
		2	建築設計演習Ⅲ	3
		2	建築設計演習Ⅳ	3
		2	インテリアデザイン演習Ⅰ	2
		2	建築CADⅠ	2
		2	建築CADⅡ	3
②～④建築計画、建築環境工学又は建築設備 2単位以上	②建築計画 7単位以上	2	建築学概論	1
		2	住環境計画Ⅰ	1
		2	住環境計画Ⅱ	2
		2	住生活史	2
		2	日本建築史	2
		2	西洋・東洋建築史	2
	③建築環境工学 2単位以上	2	建築環境工学	3
	④建築設備 2単位以上	2	建築設備学演習	3
⑤～⑦構造力学、建築一般構造又は建築材料 3単位以上	⑤構造力学 4単位以上	2	構造力学Ⅰ	1
		2	構造力学Ⅱ	2
	⑥建築一般構造 3単位以上	2	建築一般構造Ⅰ	2
		2	建築一般構造Ⅱ	3
	⑦建築材料 2単位	2	建築材料学	2
		2	建築材料実験	3
⑧建築生産 1単位以上	⑧建築生産 2単位以上	2	建築施工	3
⑨建築法規 1単位以上	⑨建築法規 1単位以上	2	建築法規	3
①～⑨計 **10**単位以上	①～⑨計 **30**単位以上			
⑩その他	⑩その他	2	建築図学	1
		2	測量実習	3
		2	ランドスケープ演習	3
		2	人間工学	1
		2	人間工学実験	2
		2	インテリアデザイン	1
		2	ユニバーサルデザイン（環境）	4
		2	福祉のまちづくり（地域計画論）	3
		2	住生活論	1
①～⑨＋⑩ 実務0年：**40**単位以上 実務1年：**30**単位以上 実務2年：**20**単位以上	①～⑨＋⑩ 実務2年：**60**単位以上 実務3年：**50**単位以上 実務4年：**40**単位以上			

インテリアプランナー登録資格

インテリアプランナー資格制度はインテリア設計等に従事する者の知識および技術の水準についての審査、証明等を行うものです。インテリアプランナー試験を受験・合格した者は定められた年数の実務経験を経たうえで、登録することによってインテリアプランナーと称することが出来ますが、本学において所定科目の単位を取得することによって実務経験年数０年で登録することができます。また2016年度インテリアプランナー試験から、それまで一体として実施していた学科試験と設計製図試験が分離して実施されることになり、学科試験の合格者は「アソシエイト・インテリアプランナー（通称：准インテリアプランナー）」の資格が付与されることになりました。

インテリアプランナー登録資格　１・２回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、
①Ａ領域から（36－Ｂ－Ｃ）単位以上
②Ｂ領域から（24－Ｃ）単位以上
③Ｃ領域から２単位以上
↓
総計36単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	資格取得要件	単位数	科目名	配当年次
A	①36－Ｂ－Ｃ単位以上	2	文化芸術論	1
		2	色彩論Ⅰ	1
		2	色彩論Ⅱ	2
		2	色彩心理学	2
		2	デッサンⅠ	1
		2	デッサンⅡ	1
		2	建築図学	1
		2	立体表現Ⅰ	1
		2	立体表現Ⅱ	1
		2	ユニバーサルデザイン（環境）	4
		2	住生活史	2
		2	日本建築史	2
		2	西洋・東洋建築史	2
		2	ユニバーサルデザイン	1
		2	住生活論	1
B	②24－Ｃ単位以上	2	建築学概論	1
		2	インテリアデザイン	1
		2	人間工学	1
		2	人間工学実験	2
		2	建築環境工学	3
		2	建築設備学演習	3
		2	生活環境素材論	3
		2	建築材料学	2
		2	構造力学Ⅰ	1
		2	構造力学Ⅱ	2
		2	建築一般構造Ⅰ	2
		2	建築一般構造Ⅱ	3
		2	建築施工	3
		2	インテリア商品と販売知識	2
		2	福祉機器論	3
		2	建築法規	3
		2	建築CADⅠ	2
		2	建築CADⅡ	3
		2	住環境計画Ⅰ	1
		2	住環境計画Ⅱ	2
		2	インテリアデザイン演習Ａ	2
		2	インテリアデザイン演習Ｂ	2
C	③2単位以上	2	建築設計演習Ⅰ	2
		2	建築設計演習Ⅱ	2
	36	必要な単位数の総計（①＋②＋③）		

インテリアプランナー登録資格　3・4回生(2017・2018年度入学生)

この資格を取得するためには、
①Ａ領域から（36－Ｂ－Ｃ）単位以上
②Ｂ領域から（24－Ｃ）単位以上
③Ｃ領域から２単位以上
↓
総計36単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	資格取得要件	単位数	科目名	配当年次
A	①36－Ｂ－Ｃ 単位以上	2	文化芸術論	1
		2	色彩論Ⅰ	1
		2	色彩論Ⅱ	2
		2	色彩心理学	2
		2	デッサンⅠ	1
		2	デッサンⅡ	1
		2	建築図学	1
		2	立体表現Ⅰ	1
		2	立体表現Ⅱ	1
		2	ユニバーサルデザイン（環境）	4
		2	住生活史	2
		2	日本建築史	2
		2	西洋・東洋建築史	2
		2	ユニバーサルデザイン	1
		2	住生活論	1
B	②24－Ｃ 単位以上	2	建築学概論	1
		2	インテリアデザイン	1
		2	人間工学	1
		2	人間工学実験	2
		2	建築環境工学	3
		2	建築設備学演習	3
		2	生活環境素材論	3
		2	建築材料学	2
		2	構造力学Ⅰ	1
		2	構造力学Ⅱ	2
		2	建築一般構造Ⅰ	2
		2	建築一般構造Ⅱ	3
		2	建築施工	3
		2	インテリア商品と販売知識	2
		2	福祉機器論	3
		2	建築法規	3
		2	建築CADⅠ	2
		2	建築CADⅡ	3
		2	住環境計画Ⅰ	1
		2	住環境計画Ⅱ	2
		2	インテリアデザイン演習Ⅰ	2
		2	インテリアデザイン演習Ⅱ	2
C	③2単位以上	2	建築設計演習Ⅰ	2
		2	建築設計演習Ⅱ	2
	36	必要な単位数の総計（①＋②＋③）		

施工管理技術検定受検資格について

施工管理技士は日本の建設業において特定業種の技術を認定した国家資格です。施工管理技術検定試験（国家試験）を受検するには実務経験が必要ですが、本学において所定科目の単位を取得することによって実務経験年数を短縮することができます（１級は卒業後４年６ヶ月以上を３年以上に、２級は卒業後１年６ヶ月以上を１年以上に）。

そのためには、①Ａ群から１単位以上、②Ｂ群から17単位以上、③Ｃ群から（26－Ａ－Ｂ）単位以上、総計26単位以上（①＋②＋③）の単位を修得する必要があります。

区分	資格取得要件	単位数	科目名	配当年次
A	**①1単位以上**	2	生命科学入門	1
		2	数理科学入門	1
B	**②17単位以上**	2	建築学概論	1
		2	建築図学	1
		2	建築設計演習Ⅰ	2
		2	建築設計演習Ⅱ	2
		2	建築設計演習Ⅲ	3
		2	建築設計演習Ⅳ	3
		2	建築CADⅠ	2
		2	建築CADⅡ	3
		2	建築材料学	2
		2	構造力学Ⅰ	1
		2	構造力学Ⅱ	2
		2	建築一般構造Ⅰ	2
		2	建築一般構造Ⅱ	3
		2	建築材料実験	3
		2	建築施工	3
		2	日本建築史	2
		2	西洋・東洋建築史	2
		2	建築法規	3
C	**③26－Ａ－Ｂ単位以上**	2	住環境計画Ⅰ	1
		2	住環境計画Ⅱ	2
		2	福祉のまちづくり（地域計画論）	3
		2	ユニバーサルデザイン（環境）	4
		2	建築環境工学	3
		2	建築設備学演習	3
		2	測量実習	3
		2	プロジェクトゼミA	2
		2	プロジェクトゼミB	3
		2	景観・まちづくり演習	1
		2	ランドスケープ演習	3
	26	必要な単位数の総計（①＋②＋③）		

注）実務経験については次の別表にある経験が必要

別表

受検しようとする種目		１級	２級
建築機械施工		受検しようとする種目に関し指導監督的実務経験１年以上を含む３年以上の実務経験を有する者	建築機械施工に関し、受検しようとする種別に関する６ヶ月以上の実務経験を含む１年以上の実務経験を有する者
土木施工管理（鋼構造物塗装及び薬液注入）及び建築施工管理（躯体及び仕上げ）			受検しようとする種別に関し１年以上の実務経験を有する者
その他の種目及び土木施工管理（土木）及び建築施工管理（建設）	学科試験		実務経験の規定なし
	実地試験		受検しようとする種目（種別）に関し１年以上の実務経験を有する者

中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）

教育職員免許法及び施行規則に規定されている下表の要件を充足した者は、中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得できます。

中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校一種免許状(家庭)　1・2回生(2019・2020年度入学生)

この資格を取得するためには、

①『教科及び教科の指導法に関する科目」から中学校は22単位以上、高等学校は20単位以上
②「教育の基礎理解に関する科目」から中学校は28単位以上、高等学校は24単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教育の基礎理解に関する科目」から①②以外に中学校は9単位以上、高等学校は15単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計67単位以上(①＋②＋③＋④)の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数 中	基準単位数 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修択	中 選択	高 必修	高 必選修択	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係及び家庭経済学含む。）	28	24	2			2			△	家庭経営学	3	高免のみ
							2			2		人間関係論	2	
		被服学（被服製作実習を含む。）			2			2			△	アパレル構成論	1	
					2			2				アパレル構成実習Ⅰ	2	
							2			2		アパレル構成実習Ⅱ	2	
							2			2		ユニバーサルデザイン（ファッション）	4	
							2			2	△	衣生活論	1	
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)			2			2			△	健康と食生活	3	
					2			2			△	調理実習	3	
		住居学			2			2			△	住生活論	1	
							2			2		建築学概論	1	
							2			2		住環境計画Ⅰ	1	
							2			2		住環境計画Ⅱ	2	
		保育学（実習を含む。）			2			2			△	保育学	2	
		家庭電気・家庭機械・情報処理						2			△	家庭電気・機械	3	
	各教科の指導法				2			2			△	家庭科指導法Ⅰ	3	
					2			2			△	家庭科指導法Ⅱ	3	
					2					2		家庭科指導法Ⅲ	3	
					2					2		家庭科指導法Ⅳ	3	
①	「教科及び教科の指導法に関する科目」の要件単位数		28	24	22			20						

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数 中	基準単位数 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修択	中 選択	高 必修	高 必選修択	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教育の基礎理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10		2			2			◇	教育原理（中等）	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			2			2			◇	教職概論（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			2			2				教育法制論（中等）	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			2			2			◇	教育心理学（中等）	2	
							2			2		発達心理学（中等）	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			1			1				特別支援教育入門A	2	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			2			2			◇	教育課程論（中等）	3	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	2							道徳指導法（中等）	3	
		総合的な学習の時間の指導法			2			2				教育方法・技術論（総合的な学習の指導法を含む）（中等）	2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）												
		特別活動の指導法			2			2			◇	特別活動指導法（中等）	3	
		生徒指導の理論及び方法			2			2			◇	生徒･進路指導論（中等）	3	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			2			2			◇	教育相談（中等）	2	
	教育実習		5	3	1			1			◇	家庭科教育実習指導	4	
					4					4		家庭科教育実習（中）	4	
							2	2				家庭科教育実習（高）	4	
	教職実践演習		2		2			2				教職実践演習（中・高）	4	
② 「教育の基礎理解に関する科目」の要件単位数			27	23	28			24						

③ さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」から選択（①②以外）	4	12	9 / 15

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2			2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			1			スポーツ実習Ⅰ	1	2単位選択必修
					1			1			スポーツ実習Ⅱ	1	
					2			2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2			2				英語コミュニケーションⅠ	1	
	情報機器の操作		2	1			1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1			1				情報処理演習Ⅱ	1	
④ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8	8									

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	67	67

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて修得済（「家庭科教育実習指導」は履修済）であること
△　ここから８科目以上履修済であること

中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校一種免許状(家庭)　3・4回生(2017・2018年度入学生)

この資格を取得するためには、
①『教科に関する科目」から20単位以上
②「教職に関する科目」から中学校は29単位以上、高等学校は25単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に中学校は10単位以上、高等学校は14単位以上
④「教免法施行規則第66条の６に定める科目」から８単位以上
↓
総計67単位以上(①＋②＋③＋④)の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数 中	基準単位数 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修	中 選択	高 必修	高 必選修	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科に関する科目	家庭経営学（家族関係及び家庭経済学含む。）	20	20	2			2			△	家庭経営学	3	
						2			2		人間関係論	2	
	被服学（被服製作実習を含む。）			2			2			△	アパレル構成論	1	
				2			2				アパレル構成実習Ⅰ	2	
						2			2		アパレル構成実習Ⅱ	2	
						2			2		ユニバーサルデザイン（ファッション）	4	
						2			2	△	衣生活論	1	
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）			2			2			△	健康と食生活	2	
				2			2			△	調理実習	3	
	住居学（製図を含む。）			2			2			△	住生活論	1	
						2			2		建築学概論	1	
						2			2		住環境計画Ⅰ	1	
						2			2		住環境計画Ⅱ	2	
	保育学（実習及び家庭看護を含む。）			2			2			△	保育学	2	
	家庭電気・機械及び情報処理						2			△	家庭電気・機械	3	高免のみ
① 「教科に関する科目」の要件単位数		20	20	20									

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			2			◇	教職概論（中等）	2	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む）											
		進路選択に資する各種の機会の提供等											
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			2			◇	教育原理（中等）	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)		2			2			◇	教育心理学（中等）	2	
						2			2		発達心理学（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2			2				教育法制論（中等）	1	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数 中	基準単位数 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修	中 選択	高 必修	高 必選修	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	6	2			2			◇	教育課程論（中等）	3	
		各教科の指導法			2			2			△	家庭科指導法Ⅰ	3	
							2			2	△	家庭科指導法Ⅱ	3	
							2			2		家庭科指導法Ⅲ	3	
							2			2		家庭科指導法Ⅳ	3	
		道徳の指導法			2							道徳指導法（中等）	3	
		特別活動の指導法			2			2			◇	特別活動指導法（中等）	3	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			2			2				教育方法・技術論（中等）	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4		2			2			◇	生徒・進路指導論（中等）	3	
		進路指導の理論及び方法												
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			2			2			◇	教育相談（中等）	2	
	教育実習		5	3	1			1			◇	家庭科教育実習指導	4	
					4					4		家庭科教育実習（中）	4	
							2	2				家庭科教育実習（高）	4	
	教職実践演習		2		2			2				教職実践演習（中・高）	4	
② 「教職に関する科目」の要件単位数			31	23	29			25						

③ さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	8	16	10 / 14

区分	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	基準単位数	中 必修	中 必選修	中 選択	高 必修	高 必選修	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	2			2				日本国憲法	2	
	体育	2		1			1			スポーツ実習Ⅰ	1	2単位選択必修
				1			1			スポーツ実習Ⅱ	1	
				2			2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション	2	2			2				英語コミュニケーションⅠ	1	
	情報機器の操作	2	1			1				情報処理演習Ⅰ	1	
			1			1				情報処理演習Ⅱ	1	
④ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8									

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	67	67

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて修得済（「家庭科教育実習指導」は履修済）であること
△　ここから８科目以上履修済であること

教育学部 現代教育学科

現代教育学科では、必要な課程を履修すれば小学校・幼稚園・中学校（英語）・高等学校（英語）・養護教諭・特別支援学校教諭の一種免許状に加えて、保育士、認定心理士の資格が卒業と同時に取得できます。ただし、所属するコース、入学年度により、取得できる免許状、資格が異なります。

また、複数の資格取得をめざす場合は、当然それだけ負担が大きくなります。よく検討したうえで、将来必要な資格をめざしてください。

小学校教諭一種免許状

小学校教諭一種免許状　1・2回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、

①「教科及び教科の指導法に関する科目」から30単位以上
②「教育の基礎的理解に関する科目」から28単位以上
③さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」から①②以外に1単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計67単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	2			△	国語科概論	1	
		社会		2			△	社会科概論	2	
		算数		2			△	算数科概論	1	
		理科		2			△	理科概論	2	
		生活				2	△	生活科概論	1	
		音楽				2	△	音楽科概論	1	
						1		ピアノ実践演習A	3	
						1		ピアノ実践演習B	4	
		図画工作				2	△	図工科概論	2	
		家庭				2	△	家庭科概論	2	
		体育				2	△	体育科概論	1	
		外国語		2			△	小学校英語概論	2	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		2			☆	国語科指導法	2	
		社会		2			☆	社会科指導法	3	
		算数		2			☆	算数科指導法	2	
		理科		2			☆	理科指導法	3	
		生活		2			☆	生活科指導法	2	
		音楽		2			☆	音楽科指導法	3	
		図画工作		2			☆	図工科指導法	3	
		家庭		2			☆	家庭科指導法	2	
		体育		2			☆	体育科指導法	2	
		外国語		2			☆	小学校英語指導法	3	
①	「教科及び教科の指導法に関する科目」の要件単位数		30	30						

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法施行規則第66条の6に定める科目	対応する開設授業科目						備考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	2			◇	教育原理（初等）	1	
						2		教育史	1	
	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2			◇	教職概論（初等）	1	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		2				教育法制論（初等）	3	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2			◇	教育心理学（初等）	1	
						2		発達心理学（初等）	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1			◇	特別支援教育入門B	2	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		2			◇	教育課程論（初等）	1	
	道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	2			☆	道徳指導法（初等）	3	
		総合的な学習の時間の指導法		2			☆	教育方法・技術論(総合的な学習の時間の指導法を含む)(初等)	2	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)								
		特別活動の指導法		2			☆	特別活動指導法（初等）	2	
		生徒指導の理論及び方法		2			◇	生徒・進路指導論（初等）	3	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2				教育相談（初等）	3	
	教育実践に関する科目	教育実習	5		1		◇	小学校教育実習指導A	3	いずれか選択必修
					1			小学校教育実習指導B	4	
					4			小学校教育実習A	3	いずれか選択必修
					2(4)			小学校教育実習B	4	
		教職実践演習	2	2				教職実践演習（幼・小）	4	
②	「教育の基礎的理解に関する科目等」の要件単位数		27	28						
③	さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」から選択（①②以外）		2	1						
教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8						
必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）			67	67						
上記以外に単位取得が必要な科目				2			◇	現代教育論	1	
					ー		◇	小学校一日見学	1	いずれか選択必修
				2				幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済（「生徒・進路指導論（初等）」「小学校教育実習指導」は実習履修時に履修でも可）であること
△　ここから8科目以上単位修得済であること
☆　ここから4科目以上単位修得済であること（なお、実習開始時に9科目以上履修するか、または単位修得済としておくこと）

注）「小学校教育実習指導B」及び「小学校教育実習B」は、「幼稚園教育実習A」または「英語科教育実習（中）」履修済の者のみ登録可とする。

小学校教諭一種免許状　3回生（2018年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「教科に関する科目」から8単位以上
②「教職に関する科目」から45単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に6単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計67単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
			必修	必選修択	選択				
教科に関する科目	国語（書写を含む。）	8	2			△	国語科概論	1	
	社会		2			△	社会科概論	2	
	算数		2			△	算数科概論	1	
	理科		2			△	理科概論	2	
	生活				2	△	生活科概論	1	
	音楽				2	△	音楽科概論	1	
					1		ピアノ実践演習A	3	
					1		ピアノ実践演習B	4	
	図画工作				2	△	図工科概論	2	
	家庭				2	△	家庭科概論	2	
	体育				2	△	体育科概論	1	
① 「教科に関する科目」の要件単位数		8	8						

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（初等）	1	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			◇	教育原理（初等）	1	
						2		教育史	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（初等）	1	
						2		発達心理学（初等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（初等）	3	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法施行規則第66条の6に定める科目	対応する開設授業科目						備考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	22	2			◇	教育課程論（初等）	1	
		各教科の指導法		2			☆	国語科指導法	2	
				2			☆	社会科指導法	3	
				2			☆	算数科指導法	2	
				2			☆	理科指導法	3	
				2			☆	生活科指導法	2	
				2			☆	音楽科指導法	3	
				2			☆	図工科指導法	3	
				2			☆	家庭科指導法	2	
				2			☆	体育科指導法	2	
		道徳の指導法		2			☆	道徳指導法（初等）	3	
		特別活動の指導法		2			☆	特別活動指導法（初等）	2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2			☆	教育方法・技術論（初等）	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	2			◇	生徒・進路指導論（初等）	3	
		進路指導の理論及び方法								
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（初等）	3	
	教育実習		5		1		◇	小学校教育実習指導A	3	いずれか選択必修
					1			小学校教育実習指導B	4	
					4			小学校教育実習A	3	いずれか選択必修
					2(4)			小学校教育実習B	4	
	教職実践演習		2	2				教職実践演習（幼・小）	4	
②	「教職に関する科目」の要件単位数		41	45						

「小学校教育実習B」を履修した場合、本学卒業要件としては2単位分であるが、免許取得に必要な教育実習は4単位分と見なすことができる。

③	さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	10	6

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	2単位選択必修
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	67	67

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
		ー		◇	小学校一日見学	1	いずれか選択必修
		ー			幼稚園一日見学	1	
		2			幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方

◇　すべて単位修得済（「生徒・進路指導論（初等）」「小学校教育実習指導」は実習履修時に履修でも可）であること

△　ここから7科目以上単位修得済であること

☆　ここから4科目以上単位修得済であること（なお、実習開始時に8科目以上履修するか、または単位修得済としておくこと）

注）「小学校教育実習指導B」及び「小学校教育実習B」は、「幼稚園教育実習A」または「英語科教育実習（中）」履修済の者のみ登録可とする。

小学校教諭一種免許状　4回生（2017年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「教科に関する科目」から8単位以上
②「教職に関する科目」から45単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に6単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計67単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科に関する科目	国語（書写を含む。）	8	2			△	国語科概論	1	
	社会		2			△	社会科概論	2	
	算数		2			△	算数科概論	1	
	理科		2			△	理科概論	2	
	生活				2	△	生活科概論	1	
	音楽				2	△	音楽科概論	1	
					1		ピアノ実践演習A	3	
					1		ピアノ実践演習B	4	
	図画工作				2	△	図工科概論	2	
	家庭				2	△	家庭科概論	2	
	体育				2	△	体育科概論	1	
① 「教科に関する科目」の要件単位数		8	8						

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（初等）	1	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			◇	教育原理（初等）	1	
						2		教育史	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（初等）	1	
						2		発達心理学（初等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（初等）	3	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法施行規則第66条の6に定める科目 等基準単位	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	22	2			◇	教育課程論（初等）	1	
		各教科の指導法		2			☆	国語科指導法	2	
				2			☆	社会科指導法	3	
				2			☆	算数科指導法	2	
				2			☆	理科指導法	3	
				2			☆	生活科指導法	2	
				2			☆	音楽科指導法	3	
				2			☆	図工科指導法	3	
				2			☆	家庭科指導法	2	
				2			☆	体育科指導法	2	
		道徳の指導法		2			☆	道徳指導法（初等）	3	
		特別活動の指導法		2			☆	特別活動指導法（初等）	2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2			☆	教育方法・技術論（初等）	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	2			◇	生徒・進路指導論（初等）	3	
		進路指導の理論及び方法								
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（初等）	3	
	教育実習		5		1		◇	小学校教育実習指導A	3	いずれか選択必修
					1			小学校教育実習指導B	4	
					4			小学校教育実習A	3	いずれか選択必修
					2(4)			小学校教育実習B	4	
	教職実践演習		2	2				教職実践演習（幼・小）	4	
②	「教職に関する科目」の要件単位数		41	45						

「小学校教育実習B」を履修した場合、本学卒業要件としては2単位分であるが、免許取得に必要な教育実習は4単位分と見なすことができる。

③	さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	10	6

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	67	67

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
		1		◇	小学校一日見学	1	いずれか選択必修
		1			幼稚園一日見学	1	
		2			幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
△　ここから7科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること
☆　ここから8科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること
注）「小学校教育実習指導B」及び「小学校教育実習B」は、「幼稚園教育実習A」または「英語科教育実習（中）」履修済の者のみ登録可とする。

幼稚園教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状　1・2回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「領域及び保育内容の指導法に関する科目」から18単位以上
②「教育の基礎的理解に関する科目等」から 24単位以上
③さらに「領域及び保育内容の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関するに科目等」から①②以外に 9 単位以上
④「教免法施行規則第66条の 6 に定める科目」から 8 単位以上
↓
総計59単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	対応する開設授業科目						備考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	国語	16	2			◇	国語科概論	1	
		算数		2			◇	算数科概論	1	
		生活				2		生活科概論	1	
		音楽				2		音楽科概論	1	
						1		ピアノ実践演習A	3	
						1		ピアノ実践演習B	4	
						1		音楽実技演習	2	
		図画工作				2		図工科概論	2	
		体育				2		体育科概論	1	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			2			☆	保育内容の指導法「健康」	2	
				2			☆	保育内容の指導法「人間関係」	2	
				2			☆	保育内容の指導法「環境」	1	
				2			☆	保育内容の指導法「言葉」	1	
				2			☆	保育内容の指導法「音楽表現」	2	
				2			☆	保育内容の指導法「造形表現」	2	
				2			☆	保育内容の指導法「運動遊び」	2	
①	「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の要件単位数		16	18						

教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	2			◇	教育原理（初等）	1	
						2		教育史	1	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2			◇	教職概論（幼保）	1	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		2				教育法制論（初等）	3	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2			◇	教育心理学（初等）	1	
						2		発達心理学（初等）	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1			◇	特別支援教育入門B	2	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		2			◇	教育課程論（幼保）	3	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法施行規則第66条の6に定める科目	対応する開設授業科目							備考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次		
				必修	必選修択	選択					
教育の基礎的理解に関する科目等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	2				教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（初等）	2		
		幼児理解の理論及び方法		2				幼児理解論	3		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2				教育相談（初等）	3		
	教育実践に関する科目	教育実習	5		1		◇	幼稚園教育実習指導A	3	いずれか選択必修	
					1			幼稚園教育実習指導B	4		
					4			幼稚園教育実習A	3	いずれか選択必修	
					2(4)			幼稚園教育実習B	4		
		教職実践演習	2		2			保育・教職実践演習（幼稚園）	4	いずれか選択必修	
					2			教職実践演習（幼・小）	4		
② 「教育の基礎的理解に関する科目等」の要件単位数			21	24							

③ さらに「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」から選択（①②以外）	14	9

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	2				日本国憲法	2		
	体育	2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修	
				1			スポーツ実習B	1		
				2			運動の科学	1		
	外国語コミュニケーション	2	2				英語コミュニケーションA	1		
	情報機器の操作	2	1				情報処理演習Ⅰ	1		
			1				情報処理演習Ⅱ	1		
「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8							

④ 必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	59	59

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
	2			◇	幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済（「教育課程論（幼保）」「幼稚園教育実習指導」は実習履修時に履修でも可）であること
☆　ここから４科目以上単位修得済であること
注）「幼稚園教育実習指導B」及び「幼稚園教育実習B」は、「小学校教育実習A」履修済の者のみ履修可とする。

幼稚園教諭一種免許状　3回生（2018年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「教科に関する科目」から6単位以上
②「教職に関する科目」から37単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に 8単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計59単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習資格	科目名	配当年次	備考
教科に関する科目	国語	6	2			◇	国語科概論	1	
	算数		2			◇	算数科概論	1	
	生活				2		生活科概論	1	
	音楽				2		音楽科概論	1	
					1		ピアノ実践演習A	3	
					1		ピアノ実践演習B	4	
					1		音楽実技演習	2	
	図画工作				2		図工科概論	2	
	体育				2		体育科概論	1	
① 「教科に関する科目」の要件単位数		6	6						

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	必修	必選修択	選択	教育実習資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（幼保）	1	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			◇	教育原理（初等）	1	
						2		教育史	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（初等）	1	
						2		発達心理学（初等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（初等）	3	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法等基準単位	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	18	2			◇	教育課程論（幼保）	3	
		保育内容の指導法		2			☆	保育内容の研究「健康」	2	
				2			☆	保育内容の研究「人間関係」	2	
				2			☆	保育内容の研究「環境」	1	
				2			☆	保育内容の研究「言葉」	1	
				2			☆	保育内容の研究「音楽表現」	2	
				2			☆	保育内容の研究「造形表現」	2	
				2			☆	保育内容の研究「運動遊び」	2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2				教育方法・技術論（初等）	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	2	2				幼児理解論	3	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（初等）	3	
	教育実習		5		1		◇	幼稚園教育実習指導A	3	いずれか選択必修
					1			幼稚園教育実習指導B	4	
					4			幼稚園教育実習A	3	いずれか選択必修
					2(4)			幼稚園教育実習B	4	
	教職実践演習		2		2			保育・教職実践演習（幼稚園）	4	いずれか選択必修
					2			教職実践演習（幼・小）	4	
②	「教職に関する科目」の要件単位数		35	37						

「幼稚園教育実習B」を履修した場合、本学卒業要件としては2単位分であるが、免許取得に必要な教育実習は4単位分と見なすことができる。

③	さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	10	8

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	59	59

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
	2			◇	幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済（「教育課程論（幼保）」「幼稚園教育実習指導」は実習履修時に履修でも可）であること
☆　ここから4科目以上単位修得済であること
注）「幼稚園教育実習指導B」及び「幼稚園教育実習B」は、「小学校教育実習A」履修済の者のみ履修可とする。

幼稚園教諭一種免許状　4回生（2017年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「教科に関する科目」から6単位以上
②「教職に関する科目」から37単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に 8単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計59単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科に関する科目	国語	6	2			◇	国語科概論	1	
	算数		2			◇	算数科概論	1	
	生活				2		生活科概論	1	
	音楽				2		音楽科概論	1	
					1		ピアノ実践演習A	3	
					1		ピアノ実践演習B	4	
					1		音楽実技演習	2	
	図画工作				2		図工科概論	2	
	体育				2		体育科概論	1	
① 「教科に関する科目」の要件単位数		6	6						

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（幼保）	1	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			◇	教育原理（初等）	1	
						2		教育史	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（初等）	1	
						2		発達心理学（初等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（初等）	3	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法等基準単位	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	18	2			◇	教育課程論（幼保）	3	
		保育内容の指導法		2			☆	保育内容の研究「健康」	2	
				2			☆	保育内容の研究「人間関係」	2	
				2			☆	保育内容の研究「環境」	1	
				2			☆	保育内容の研究「言葉」	1	
				2			☆	保育内容の研究「音楽表現」	2	
				2			☆	保育内容の研究「造形表現」	2	
				2			☆	保育内容の研究「運動遊び」	2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2				教育方法・技術論（初等）	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	2	2				幼児理解論	3	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（初等）	3	
	教育実習		5		1		◇	幼稚園教育実習指導A	3	いずれか選択必修
					1			幼稚園教育実習指導B	4	
					4			幼稚園教育実習A	3	いずれか選択必修
					2(4)			幼稚園教育実習B	4	
	教職実践演習		2		2			保育・教職実践演習（幼稚園）	4	いずれか選択必修
					2			教職実践演習（幼・小）	4	
②	「教職に関する科目」の要件単位数		35	37						

「幼稚園教育実習B」を履修した場合、本学卒業要件としては2単位分であるが、免許取得に必要な教育実習は4単位分と見なすことができる。

③	さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	10	8

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	59	59

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
	2			◇	幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
☆　ここから4科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること
注）「幼稚園教育実習指導B」及び「幼稚園教育実習B」は、「小学校教育実習A」履修済の者のみ履修可とする。

養護教諭一種免許状

養護教諭一種免許状　1・2回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「養護に関する科目」から28単位以上
②「教育の基礎的理解に関する科目」から26単位以上
③さらに「養護に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目」から①②以外に2単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から8単位以上
↓
総計64単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目 資格取得要件 必修	必選修択	選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2			△	衛生学	2	
			2			△	公衆衛生学	1	
	学校保健	2	2			◇	学校保健	1	
	養護概説	2	2			◇	養護概説	2	
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	2			◇	健康相談	2	
	栄養学（食品学を含む。）	2	2			△	栄養学	2	
	解剖学・生理学	2	2			△	解剖生理学	1	
	「微生物、免疫学、薬理概論」	2		2			微生物学	1	いずれか選択必修
				2			薬理概論	2	
	精神保健	2	2			△	精神保健学	2	
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	2			◇	学校看護Ⅰ	1	
			2			◇	学校看護Ⅱ	2	
			2			◇	学校看護Ⅲ	2	
			2				養護臨床実習	2	
			2			△	救急医学	2	
① 「養護に関する科目」の要件単位数		28	28						

教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	2			◇	教育原理（中等）	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2			◇	教職概論（中等）	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		2				教育法制論（中等）	1
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2			◇	教育心理学（中等）	2
						2		発達心理学（中等）	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1			◇	特別支援教育入門A	2
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		2			◇	教育課程論（中等）	1
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	2				道徳・特別活動論	3
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2				教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等）	2
		生徒指導の理論及び方法		2				生徒指導論	3
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（中等）	2

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法等基準単位	対応する開設授業科目						備　考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
教育の基礎的理解に関する科目等	教育実践に関する科目	教育実習	5	1			◇	養護実習指導	3	
				4				養護実習	3	
		教職実践演習	2	2				教職実践演習（養護教諭）	4	
② 「教育の基礎的理解に関する科目等」の要件単位数			21	26						

③ さらに「養護に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」から選択（①②以外）	10	2

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	64	64

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	いずれか選択必修
		ー		◇	小学校一日見学	1	
	2				幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済（「養護実習指導」は実習履修時に履修でも可）であること
△　ここから３科目以上単位修得済であること

養護教諭一種免許状　3回生（2018年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「養護に関する科目」から28単位以上
②「教職に関する科目」から25単位以上
③さらに「養護に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に3単位以上
④「教免法施行規則第66条の6に定める科目」から 8単位以上
↓
総計64単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
			必修	必選修択	選択				
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2			△	衛生学	2	
			2			△	公衆衛生学	1	
	学校保健	2	2			◇	学校保健	1	
	養護概説	2	2			◇	養護概説	2	
	健康相談活動の理論及び方法	2	2			◇	健康相談	2	
	栄養学（食品学を含む。）	2	2			△	栄養学	2	
	解剖学及び生理学	2	2			△	解剖生理学	1	
	「微生物、免疫学、薬理概論」	2		2			微生物学	1	いずれか選択必修
				2			薬理概論	2	
	精神保健	2	2			△	精神保健学	2	
	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10	2			◇	学校看護Ⅰ	1	
			2			◇	学校看護Ⅱ	2	
			2			◇	学校看護Ⅲ	2	
			2				養護臨床実習	2	
			2			△	救急医学	2	
① 「養護に関する科目」の要件単位数		28	28						

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（中等）	2	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2			◇	教育原理（中等）	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（中等）	2	
						2		発達心理学（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（中等）	1	
	教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	4	2			◇	教育課程論（中等）	1	
		道徳及び特別活動に関する内容		2				道徳・特別活動論	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		2				教育方法・技術論（中等）	2	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法等基準単位	対応する開設授業科目						備考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
教職に関する科目	生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	2				生徒指導論	3	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（中等）	2	
	教育実習		5	1			◇	養護実習指導	3	
				4				養護実習	3	
	教職実践演習		2	2				教職実践演習（養護教諭）	4	
② 「教職に関する科目」の要件単位数			21	25						

③	さらに「養護に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	7	3

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習B	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	64	64

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
		ー		◇	小学校一日見学	1	いずれか選択必修
		ー			幼稚園一日見学	1	
		2			幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済（「養護実習指導」は実習履修時に履修でも可）であること
△　ここから３科目以上単位修得済であること

養護教諭一種免許状　4回生（2017年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「養護に関する科目」から28単位以上
②「教職に関する科目」から25単位以上
③さらに「養護に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に３単位以上
④「教免法施行規則第66条の６に定める科目」から ８単位以上
↓
総計64単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	基準単位数	対応する開設授業科目						備　考
			資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
			必修	必選修択	選択				
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2			△	衛生学	2	
			2			△	公衆衛生学	1	
	学校保健	2	2			◇	学校保健	1	
	養護概説	2	2			◇	養護概説	2	
	健康相談活動の理論及び方法	2	2			◇	健康相談	2	
	栄養学（食品学を含む。）	2	2			△	栄養学	2	
	解剖学及び生理学	2	2			△	解剖生理学	1	
	「微生物、免疫学、薬理概論」	2		2			微生物学	1	いずれか選択必修
				2			薬理概論	2	
	精神保健	2	2			△	精神保健学	2	
	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10	2			◇	学校看護Ⅰ	1	
			2			◇	学校看護Ⅱ	2	
			2			◇	学校看護Ⅲ	2	
			2				養護臨床実習	2	
			2			△	救急医学	2	
① 「養護に関する科目」の要件単位数		28	28						

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2			◇	教職概論（中等）	2	
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）								
		進路選択に資する各種の機会の提供等								
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2			◇	教育原理（中等）	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			◇	教育心理学（中等）	2	
						2		発達心理学（中等）	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2				教育法制論（中等）	1	
	教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	4	2			◇	教育課程論（中等）	1	
		道徳及び特別活動に関する内容		2				道徳・特別活動論	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		2				教育方法・技術論（中等）	2	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		教員免許法等基準単位	対応する開設授業科目						備　考
				資格取得要件			教育実習受講資格	科目名	配当年次	
				必修	必選修択	選択				
教職に関する科目	生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	2				生徒指導論	3	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2				教育相談（中等）	2	
	教育実習		5	1			◇	養護実習指導	3	
				4				養護実習	3	
	教職実践演習		2	2				教職実践演習（養護教諭）	4	
② 「教職に関する科目」の要件単位数			21	25						

③	さらに「養護に関する科目」「教職に関する科目」から選択（①②以外）	7	3

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2				日本国憲法	2	
	体育		2		1			スポーツ実習Ａ	1	2単位選択必修
					1			スポーツ実習Ｂ	1	
					2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1				情報処理演習Ⅰ	1	
				1				情報処理演習Ⅱ	1	
④ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8	8						

必要な単位数の総計（①＋②＋③＋④）	64	64

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	現代教育論	1	
		ー		◇	小学校一日見学	1	いずれか選択必修
		ー			幼稚園一日見学	1	
		2			幼児教育実践論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇　すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
△　ここから３科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること

中学校教諭・高等学校教諭一種免許状（英語）

中学校教諭一種免許状（英語）・高等学校教諭一種免許状（英語）　1・2回生（2019・2020年度入学生）

この資格を取得するためには、
①「教科及び教科の指導法に関する科目」から中学校は28単位以上、高等学校は24単位以上
②「教育の基礎的理解に関する科目等」から 中学校は28単位以上、高等学校は24単位以上
③さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目」から①②以外に中学校は３単位以上、高等学校は７単位以上
④「教免法施行規則第66条の６に定める科目」から８単位以上
↓
総計67単位以上（①＋②＋③＋④）の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		単位数 基準 中	単位数 基準 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修択	中 選択	高 必修	高 必選修択	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	28	24	2			2			◇	英語のしくみ	1	6単位以上
						2			2		◇	英語の歴史	1	
						2			2		■	英語学講読A	2	
						2			2		■	英語学講読B	2	
						2			2			英語学演習	4	
		英語文学			2			2			★	英語文学史A	3	★高のみ
						2			2		★	英語文学史B	3	★高のみ
						2			2		☆	英語文学と子ども	2	6単位以上
						2			2		☆	英語文学と教育	2	
						2			2			英語文学演習	4	
		英語コミュニケーション			2			2			◇	英語A	1	
							2			2	◇	英語B	1	
							2			2	◇	特級英語A	2	
							2			2	◇	特級英語B	2	
							2			2	◇	オーラルコミュニケーションA	2	
							2			2	◇	オーラルコミュニケーションB	2	
		異文化理解			2			2			♯	欧米の文化と社会A	2	4単位以上
						2			2		♯	欧米の文化と社会B	2	
						2			2			欧米文化と子ども	3	
						2			2		◇	異文化コミュニケーション論A	3	
						2			2		◇	異文化コミュニケーション論B	3	
						2			2			文化理論講読	2	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				2			2			△	英語科指導法Ⅰ	3	
					2			2			△	英語科指導法Ⅱ	3	
					2					2	△	英語科指導法Ⅲ	4	
					2					2	△	英語科指導法Ⅳ	4	
①	「教科及び教科の指導法に関する科目」の要件単位数		28	24	28									

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		単位数基準 中	単位数基準 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修	中 選択	高 必修	高 必選修	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10		2			2			◇	教育原理(中等)	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			2			2			◇	教職概論(中等)	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			2			2				教育法制論(中等)	1	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			2			2			◇	教育心理学(中等)	2	
							2			2		発達心理学(中等)	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			1			1			◇	特別支援教育入門A	2	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			2			2			◇	教育課程論(中等)	1	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	2							道徳指導法(中等)	3	
		総合的な学習の時間の指導法			2			2			◇	教育方法・技術論(総合的な学習の時間の指導法を含む)(中等)	2	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)												
		特別活動の指導法			2			2				特別活動指導法(中等)	3	
		生徒指導の理論及び方法			2			2				生徒・進路指導論(中等)	3	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			2			2			◇	教育相談(中等)	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	5							英語科教育実習(中)	4	
								3				英語科教育実習(高)	4	
		教職実践演習	2	2	2			2				教職実践演習(中・高)	4	
②	「教育の基礎的理解に関する科目等」の要件単位数		27	23	28			24						
③	さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」から選択(①②以外)		4	12	3			7						
教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2		2			2				日本国憲法	2	
	体育		2			1			1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
						1			1			スポーツ実習B	1	
						2			2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2		2			2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2		1			1				情報処理演習Ⅰ	1	
					1			1				情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8		8									
必要な単位数の総計(①+②+③+④)			67		67									
上記以外に単位取得が必要な科目					2			2			◇	現代教育論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇ すべて単位修得済であること
☆＃★■ それぞれ1科目以上単位修得済(ただし「異文化コミュニケーション論A・B」「英語文学史A・B」は実習当該年度に履修でも可)であること(★■は高等学校のみ)
△ ここから2科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること

中学校教諭一種免許状(英語)・高等学校教諭一種免許状(英語)　3回生(2018年度入学生)

この資格を取得するためには、
①「教科に関する科目」から20単位以上
②「教職に関する科目」から 中学校は27単位以上、高等学校は23単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に中学校は12単位以上、高等学校は16単位以上
④「教免法施行規則第66条の 6 に定める科目」から 8 単位以上
↓
総計67単位以上(①＋②＋③＋④)の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位数 基準 中	単位数 基準 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修択	中 選択	高 必修	高 必選修択	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科に関する科目	英語学	20		2			2			◇	英語のしくみ	1	6単位以上
					2			2		◇	英語の歴史	1	
					2			2		■	英語学講読A	2	
					2			2		■	英語学講読B	2	
					2			2			英語学演習	4	
	英米文学			2			2			★	英米文学史A	3	6単位以上
					2			2		★	英米文学史B	3	
					2			2		☆	英米文学と子ども	2	
					2			2		☆	英米文学と教育	2	
					2			2			英米文学演習	4	
	英語コミュニケーション			2			2			◇	英語A	1	
						2			2	◇	英語B	1	
						2			2	◇	特級英語A	2	
						2			2	◇	特級英語B	2	
						2			2	◇	オーラルコミュニケーションA	2	
						2			2	◇	オーラルコミュニケーションB	2	
	異文化理解			2			2			♯	欧米の文化と社会A	2	4単位以上
					2			2		♯	欧米の文化と社会B	2	
					2			2			欧米文化と子ども	3	
					2			2		◇	異文化コミュニケーション論A	3	
					2			2		◇	異文化コミュニケーション論B	3	
					2			2			文化理論講読	2	
①	「教科に関する科目」の要件単位数	20		20									

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2			2			◇	教職概論(中等)	2	
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			2			◇	教育原理(中等)	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			2			◇	教育心理学(中等)	2	
						2			2		発達心理学(中等)	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2			2				教育法制論(中等)	1	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		単位数 基準 中	単位数 基準 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修	中 選択	高 必修	高 必選修	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	6	2			2			◇	教育課程論(中等)	1	
		各教科の指導法					2			2	△	英語科指導法Ⅰ	3	
							2			2	△	英語科指導法Ⅱ	3	
							2			2	△	英語科指導法Ⅲ	4	
							2			2	△	英語科指導法Ⅳ	4	
		道徳の指導法			2							道徳指導法(中等)	3	
		特別活動の指導法			2			2				特別活動指導法(中等)	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			2			2			◇	教育方法・技術論(中等)	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4		2			2				生徒・進路指導論(中等)	3	
		進路指導の理論及び方法												
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			2			2			◇	教育相談(中等)	2	
	教育実習		5	3	5							英語科教育実習(中)	4	
								3				英語科教育実習(高)	4	
	教職実践演習		2		2			2				教職実践演習(中・高)	4	
②	「教職に関する科目」の要件単位数		31	23	27			23						

③	さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択(①②以外)	8	16
		12	16

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2			2					日本国憲法	2	
	体育		2		1			1				スポーツ実習A	1	2単位選択必修
					1			1				スポーツ実習B	1	
					2			2				運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2	2			2					英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2	1			1					情報処理演習Ⅰ	1	
				1			1					情報処理演習Ⅱ	1	
④	「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数		8	8										

必要な単位数の総計(①+②+③+④)	67	67

上記以外に単位取得が必要な科目	2			2			◇	現代教育論	1	

「教育実習受講資格」の見方

◇ すべて単位修得済であること

☆＃★■ それぞれ1科目以上単位修得済(ただし「異文化コミュニケーション論Ａ・Ｂ」「英米文学史Ａ・Ｂ」は実習当該年度に履修でも可)であること(★■は高等学校のみ)

△ ここから2科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること

中学校教諭一種免許状(英語)・高等学校教諭一種免許状(英語)　4回生(2017年度入学生)

この資格を取得するためには、
①「教科に関する科目」から20単位以上
②「教職に関する科目」から 中学校は27単位以上、高等学校は23単位以上
③さらに「教科に関する科目」または「教職に関する科目」から①②以外に中学校は12単位以上、高等学校は16単位以上
④「教免法施行規則第66条の 6 に定める科目」から 8 単位以上
↓
総計67単位以上(①＋②＋③＋④)の単位を修得する必要があります。

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位数 基準 中	単位数 基準 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修択	中 選択	高 必修	高 必選修択	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教科に関する科目	英語学	20		2			2			◇	英語のしくみ	1	6単位以上
					2			2		◇	英語の歴史	1	
					2			2		■	英語学講読A	2	
					2			2		■	英語学講読B	2	
					2			2			英語学演習	4	
	英米文学			2			2			★	英米文学史A	3	6単位以上
					2			2		★	英米文学史B	3	
					2			2		☆	英米文学と子ども	2	
					2			2		☆	英米文学と教育	2	
					2			2			英米文学演習	4	
	英語コミュニケーション			2			2			◇	英語A	1	
						2			2	◇	英語B	1	
						2			2	◇	特級英語A	2	
						2			2	◇	特級英語B	2	
						2			2	◇	オーラルコミュニケーションA	2	
						2			2	◇	オーラルコミュニケーションB	2	
	異文化理解			2			2			♯	欧米の文化と社会A	2	4単位以上
					2			2		♯	欧米の文化と社会B	2	
					2			2			欧米文化と子ども	3	
					2			2		◇	異文化コミュニケーション論A	3	
					2			2		◇	異文化コミュニケーション論B	3	
					2			2			文化理論講読	2	
①	「教科に関する科目」の要件単位数	20		20									

教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2		2		2			◇	教職概論(中等)	2	
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	2			2			◇	教育原理(中等)	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		2			2			◇	教育心理学(中等)	2	
						2			2		発達心理学(中等)	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2			2				教育法制論(中等)	1	

区分	教育職員免許法施行規則に規定する科目		単位数 基準 中	単位数 基準 高	対応する開設授業科目 資格取得要件 中 必修	中 必選修	中 選択	高 必修	高 必選修	高 選択	教育実習受講資格	科目名	配当年次	備考
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	6	2			2			◇	教育課程論(中等)	1	
		各教科の指導法					2			2	△	英語科指導法Ⅰ	3	
							2			2	△	英語科指導法Ⅱ	3	
							2			2	△	英語科指導法Ⅲ	4	
							2			2	△	英語科指導法Ⅳ	4	
		道徳の指導法			2							道徳指導法(中等)	3	
		特別活動の指導法			2			2				特別活動指導法(中等)	3	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			2			2			◇	教育方法・技術論(中等)	2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4		2			2				生徒・進路指導論(中等)	3	
		進路指導の理論及び方法												
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			2			2			◇	教育相談(中等)	2	
	教育実習		5	3	5							英語科教育実習(中)	4	
								3				英語科教育実習(高)	4	
	教職実践演習		2		2			2				教職実践演習(中・高)	4	
② 「教職に関する科目」の要件単位数			31	23	27			23						

③ さらに「教科に関する科目」「教職に関する科目」から選択(①②以外)	8	16	12 / 16

教免法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		2		2			2				日本国憲法	2	
	体育		2			1			1			スポーツ実習A	1	2単位選択必修
						1			1			スポーツ実習B	1	
						2			2			運動の科学	1	
	外国語コミュニケーション		2		2			2				英語コミュニケーションA	1	
	情報機器の操作		2		1			1				情報処理演習Ⅰ	1	
					1			1				情報処理演習Ⅱ	1	
④ 「教免法施行規則第66条の6に定める科目」の要件単位数			8		8									

必要な単位数の総計(①+②+③+④)	67	67

上記以外に単位取得が必要な科目	2			2			◇	現代教育論	1	

「教育実習受講資格」の見方
◇ すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
☆＃★■ それぞれ1科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること(★■は高等学校のみ)
△ ここから2科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること

特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状　1～3回生(2018～2020年度入学生)

教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	対応する開設授業科目				
			資格取得要件		教育実習受講資格	科目名	配当年次
			必修	選択			
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	2		○	特別支援教育論	2
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	2		○	知的障害者の心理	2
			2		○	知的障害者の生理・病理	2
			2		○	肢体不自由者の心理・生理・病理	2
			2		○	病弱者の心理・生理・病理	2
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		2		○	知的障害者教育論Ⅰ	2
			2		○	知的障害者教育論Ⅱ	2
			2		○	肢体不自由者教育論	2
			2		○	病弱者教育論	2
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5	2			視覚障害者教育総論	3
			2			聴覚障害者教育総論	3
			2			重複障害等教育総論	3
			2			LD等教育総論	3
			2			発達障害教育特論	3
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	3			特別支援教育実習	4
必要な単位数の総計		26	31				

「教育実習受講資格」の見方
　○　すべて単位修得済であること

注)特別支援学校教諭一種免許状は小学校、中学校・高等学校、幼稚園いずれかの免許状と併せて取得する必要がある。
「特別支援教育実習」に参加するためには「小学校教育実習」「幼稚園教育実習」「英語科教育実習(中)」「英語科教育実習(高)」のいずれか履修済または同年度に履修見込であること。

特別支援学校教諭一種免許状　4回生(2017年度入学生)

教育職員免許法施行規則に規定する科目		基準単位数	対応する開設授業科目				
			資格取得要件		教育実習受講資格	科目名	配当年次
			必修	選択			
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	2		○	特別支援教育論	2
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	2		○	知的障害者の心理	2
			2		○	知的障害者の生理・病理	2
			2		○	肢体不自由者の心理・生理・病理	2
			2		○	病弱者の心理・生理・病理	2
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		2		○	知的障害者教育論Ⅰ	2
			2		○	知的障害者教育論Ⅱ	2
			2		○	肢体不自由者教育論	2
			2		○	病弱者教育論	2
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5	2			視覚障害者教育総論	3
			2			聴覚障害者教育総論	3
			2			重複障害等教育総論	3
			2			LD等教育総論	3
			2			発達障害教育特論	3
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	3			特別支援教育実習	4
必要な単位数の総計		26	31				

「教育実習受講資格」の見方
　○　すべて単位修得済または実習履修時に履修していること

注)特別支援学校教諭一種免許状は小学校、中学校・高等学校、幼稚園いずれかの免許状と併せて取得する必要がある。
「特別支援教育実習」に参加するためには「小学校教育実習」「幼稚園教育実習」「英語科教育実習(中)」「英語科教育実習(高)」のいずれか履修済または同年度に履修見込であること。

保育士

保育士　1・2回生(2019・2020年度入学生)

この資格を取得するためには、
①「教養科目」から11単位以上
②「保育の本質・目的に関する科目」～「総合演習」から64単位以上
↓
総計75単位以上(①＋②)の単位を修得する必要があります。

告示による教科目		基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			保育実習受講資格			
系列	教科目		必修	必選修択	選択		科目名	配当年次	
教養科目	外国語・体育以外の科目	6		2			日本国憲法	2	いずれか選択必修
				2			人権教育	1	
					2		心理学概論	1	
					2		人間関係論	3	
			1				情報処理演習Ⅰ	1	
			1				情報処理演習Ⅱ	1	
	外国語	2	2				英語コミュニケーションA	1	
			2				英語コミュニケーションB	1	
	体育	1	2				運動の科学	1	
		1	1				スポーツ実習A	1	
① 「教養科目」の要件単位数		10	11						

保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	2			△	保育原理	1	
					2		幼児理解論	3	
	教育原理	2	2			△	教育原理(初等)	1	
	子ども家庭福祉	2	2				子ども家庭福祉	3	
	社会福祉	2	2				社会福祉論	3	
	子ども家庭支援論	2	2				子ども家庭支援論	2	
	社会的養護Ⅰ	2	2				社会的養護	2	
	保育者論	2	2			△	教職概論(幼保)	1	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	2			△	保育の心理学	1	
					2		発達心理学(初等)	2	
			2				教育心理学(初等)	1	
	子ども家庭支援の心理学	2	2				子ども家庭支援の心理学	2	
	子どもの理解と援助	1	1			△	子どもの理解と援助演習	2	
	子どもの保健	2	2			△	子どもの保健	1	
	子どもの食と栄養	2	2				子どもの食と栄養演習	3	

告示による教科目		基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			保育実習受講資格			
系列	教科目		必修	必選修	選択		科目名	年配次当	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	2				教育課程論(幼保)	3	
	保育内容総論	1	1				保育内容総論	3	
	保育内容演習	5	2			△	保育内容の指導法「健康」	2	
			2			△	保育内容の指導法「言葉」	1	
			2				保育内容の指導法「人間関係」	2	
			2			△	保育内容の指導法「環境」	1	
			2			△	保育内容の指導法「造形表現」	2	
					2	△	保育内容の指導法「音楽表現」	2	
					2		保育内容の指導法「運動遊び」	2	
	保育内容の理解と方法	4	1				ピアノ実践演習A	3	
					1		ピアノ実践演習B	4	
					1		ピアノ入門演習B	1	
					1		音楽実技演習	2	
			2				レクリエーション活動	3	
			2			△	絵画演習	1	
			2				児童文化演習	2	
					1	△	幼児と人間関係	1	
					1	△	幼児と言葉	1	
					1	△	幼児と環境	1	
					1	△	幼児と表現	1	
					1	△	幼児と健康	1	
	乳児保育Ⅰ	2	2			△	乳児保育	1	
	乳児保育Ⅱ	1	1				乳児保育演習	2	
	子どもの健康と安全	1	1				子どもの健康と安全	3	
	障害児保育	2	2			△	障害児保育演習	2	
	社会的養護Ⅱ	1	1			△	社会的養護演習	2	
	子育て支援	1	1				子育て支援	3	
保育実習	保育実習Ⅰ	6	4				保育実習Ⅰ	2	
	保育実習指導Ⅰ		2			☆	保育実習指導Ⅰ	2	
	保育実習Ⅱ			2			保育実習ⅡA	2	A・Bいずれかの組合せで必修3単位
	保育実習指導Ⅱ			1		☆	保育実習指導ⅡA	2	
	保育実習Ⅲ			2			保育実習ⅡB	2	
	保育実習指導Ⅲ			1		☆	保育実習指導ⅡB	2	
総合演習	保育実践演習	2	2				保育・教職実践演習(幼稚園)	4	
② 「保育の本質・目的に関する科目」～「総合演習」の要件単位数		51	64						
さらに「保育の本質・目的に関する科目」「保育対象の理解に関する科目」「保育の内容・方法に関する科目」「保育の表現技術」「保育実習」から選択		9	←上記②の要件を充足することでクリアできます。						
必要な単位数の総計(①+②)		70	75						
上記以外に単位取得が必要な科目			2			◇	幼児教育実践論	1	

「保育実習受講資格」の見方
- ◇　単位修得済であること
- △　ここから29単位以上単位修得済または実習履修時に履修していること
- ☆　単位修得済または実習履修時に履修していること

保育士　3・4回生(2017・2018年度入学生)

この資格を取得するためには、
①「教養科目」から11単位以上
②「保育の本質・目的に関する科目」～「総合演習」から64単位以上
↓
総計75単位以上(①＋②)の単位を修得する必要があります。

告示による教科目		基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			受講資格	保育実習		
系列	教科目		必修	必選修択	選択			科目名	年配次当	
教養科目	外国語・体育以外の科目	6		2				日本国憲法	2	いずれか選択必修
				2				人権教育	1	
					2			心理学概論	1	
					2			人間関係論	3	
			1					情報処理演習Ⅰ	1	
			1					情報処理演習Ⅱ	1	
	外国語	2	2					英語コミュニケーションA	1	
			2					英語コミュニケーションB	1	
	体育	2	2					運動の科学	1	
			1					スポーツ実習A	1	
① 「教養科目」の要件単位数		10	11							

保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	2			△		保育原理	1
					2			幼児理解論	3
	教育原理	2	2			△		教育原理(初等)	1
	児童家庭福祉	2	2					児童家庭福祉論	3
	社会福祉	2	2					社会福祉論	3
	相談援助	1	1					相談援助演習	2
	社会的養護	2	2					社会的養護	2
	保育者論	2	2			△		教職概論(幼保)	1
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	2			2			発達心理学(初等)	2
			2			△		保育の心理学A	1
			2					教育心理学(初等)	1
	保育の心理学Ⅱ	1	1			△		保育の心理学B	2
	子どもの保健Ⅰ	4	2			△		子どもの保健A	1
			2			△		子どもの保健B	1
	子どもの保健Ⅱ	1	1					子どもの保健演習	3
	子どもの食と栄養	2	2					子どもの食と栄養演習	3
	家庭支援論	2	2					家庭支援論	2

告示による教科目		基準単位数	対応する開設授業科目						備考
			資格取得要件			保育実習受講資格			
系列	教科目		必修	必選修	選択		科目名	配当年次	
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	2	2				教育課程論(幼保)	3	
	保育内容総論	1	1				保育内容総論	3	
	保育内容演習	5	2			△	保育内容の研究「健康」	2	
			2				保育内容の研究「人間関係」	2	
			2			△	保育内容の研究「環境」	1	
			2			△	保育内容の研究「言葉」	1	
					2	△	保育内容の研究「音楽表現」	2	
			2			△	保育内容の研究「造形表現」	2	
					2		保育内容の研究「運動遊び」	2	
					2		保育実践研究A	3	
					2		保育実践研究B	4	
	乳児保育	2	2			△	乳児保育演習	1	
	障害児保育	2	2			△	障害児保育演習	2	
	社会的養護内容	1	1			△	社会的養護内容演習	2	
	保育相談支援	1	1				保育相談支援演習	3	
保育の表現技術		4	2				レクリエーション活動	3	
					1		音楽実技演習	2	
			1				ピアノ実践演習A	3	
					1		ピアノ実践演習B	4	
			2				児童文化演習	2	
			2			△	絵画演習	1	
保育実習	保育実習Ⅰ	6	4				保育実習Ⅰ	2	
	保育実習指導Ⅰ		2			☆	保育実習指導Ⅰ	2	
	保育実習Ⅱ			2			保育実習ⅡA	2	A・B いずれかの組合せで必修3単位
	保育実習指導Ⅱ			1		☆	保育実習指導ⅡA	2	
	保育実習Ⅲ			2			保育実習ⅡB	2	
	保育実習指導Ⅲ			1		☆	保育実習指導ⅡB	2	
総合演習	保育実践演習	2	2				保育・教職実践演習(幼稚園)	4	
② 「保育の本質・目的に関する科目」～「総合演習」の要件単位数		51	64						

さらに「保育の本質・目的に関する科目」「保育対象の理解に関する科目」「保育の内容・方法に関する科目」「保育の表現技術」「保育実習」から選択	9	←上記②の要件を充足することでクリアできます。

必要な単位数の総計(①+②)	70	75

上記以外に単位取得が必要な科目	2			◇	幼児教育実践論	1	

「保育実習受講資格」の見方
- ◇　単位修得済であること
- △　ここから26単位以上単位修得済または実習履修時に履修していること
- ☆　単位修得済または実習履修時に履修していること

認定心理士

教育学部現代教育学科において、以下の表の学会指定基準単位を充足した者は、社団法人日本心理学会に認定心理士の資格審査を申請できます。

認定心理士　1・2回生(2019・2020年度入学生)

この資格の審査を申請するためには、
①ａ～ｃ領域から12単位以上(ただしａｂ各領域から４単位以上、ｃ領域から３単位以上を含む)
②ｄ～ｈ領域から16単位以上(ただし３領域×各４単位の12単位以上を含む)
③上記①②以外にｄ～ｈ領域から８単位以上
↓
総計36単位以上(①＋②＋③)の単位を修得する必要があります。

学会で定められる領域等					対応する開設授業科目		
	領域	基準単位数		学会で認められる単位数	本学課程上の単位数	科目名	配当年次
【基礎科目】ａｂ各領域４単位以上、ｃ領域３単位以上でａ～ｃ領域の合計12単位以上							
a	心理学概論	4	8	2	2	心理学概論	1
				1	2	臨床心理学概論	1
				2	2	教育心理学 ※1	1
b	心理学研究法	4		2	2	心理学研究法	3
				2	2	心理統計学	2
c	心理学実験・実習	4		2	2	心理学基礎実験	2
				2	2	心理学実験	3
				1	2	心理検査法実習	3
① a～c領域の合計		12					

【選択科目】ｄ～ｈの内３領域以上で各４単位以上の12単位以上、かつ５領域の合計16単位以上						
d	知覚心理学・学習心理学	3領域各4↓12	2	2	認知心理学	3
			2	2	学習心理学	2
e	生理心理学・比較心理学		1	2	発達脳科学	3
f	教育心理学・発達心理学		2	2	発達心理学 ※2	2
			1	2	保育の心理学	1
			1	1	子ども家庭支援の心理学	2
g	臨床心理学・人格心理学		2	2	臨床心理学	3
			2	2	人格心理学	2
			2	2	カウンセリング	3
			2	2	教育相談 ※3	3
			1	2	精神保健学	2
h	社会心理学・産業心理学		2	2	社会心理学	3
			2	2	人間関係論	3
			2	2	家族心理学	3
d～h 5領域から		4				
② d～h領域の合計		16				

その他の科目	2	2	卒業研究 (心理学関連科目を担当する教員の指導による心理学に関連するテーマが必要)	4

③	上記①②以外にa～h及び「その他の科目」領域から	8

必要な単位数の総計(①＋②＋③)	36

注)「本学課程上の単位数」と「学会で認められる単位数」とが異なる科目があるので、注意すること。

たとえば「臨床心理学概論」は本学では2単位の科目ですが、学会では1単位の科目として扱われます。

※1　「教育心理学(初等)」「教育心理学(中等)」のいずれかを履修すること。
※2　「発達心理学(初等)」「発達心理学(中等)」のいずれかを履修すること。
※1　「教育相談(初等)」「教育相談(中等)」のいずれかを履修すること。

●認定心理士資格の取得を目指す学生へ

登録申請時に以下の情報が必要になるので、把握しておくこと。

・各科目を履修した年度のシラバス

認定心理士　3・4回生(2017・2018年度入学生)

この資格の審査を申請するためには、
①a～c領域から12単位以上(ただしabc各領域から4単位以上)
②d～h領域から16単位以上(ただし3領域×各4単位の12単位以上を含む)
③上記①②以外にa～h及び「その他の科目」領域から8単位以上
↓
総計36単位以上(①＋②＋③)の単位を修得する必要があります。

学会で定められる領域等				対応する開設授業科目		
領域		基準単位数	学会で認められる単位数	本学課程の単位数	科目名	配当年次
【基礎科目】ab各領域4単位以上でa～c領域の合計12単位以上						
a	心理学概論	4	2	2	心理学概論	1
			1	2	臨床心理学概論	1
			2	2	教育心理学　※1	1/2
b	心理学研究法	4	2	2	心理学研究法	3
			2	2	心理統計学	2
c	心理学実験・実習	4	2	2	心理学基礎実験	2
			2	2	心理学実験	3
			1	2	心理検査法実習	3
① a～c領域の合計		12				

【選択科目】d～hの内3領域以上で各4単位以上の12単位以上、かつ5領域の合計16単位以上						
d	知覚心理学・学習心理学	3領域各4↓12	2	2	認知心理学	3
			2	2	学習心理学	2
e	生理心理学・比較心理学		1	2	発達脳科学	3
f	教育心理学・発達心理学		2	2	発達心理学　※2	2
			1	2	保育の心理学A	1
g	臨床心理学・人格心理学		1	1	保育の心理学B	2
			2	2	臨床心理学	3
			2	2	人格心理学	2
			2	2	カウンセリング	3
			2	2	教育相談　※3	3/2
			1	2	精神保健学	2
h	社会心理学・産業心理学		2	2	社会心理学	3
			2	2	人間関係論	3
			2	2	家族心理学	3
d～h 5領域から		4				
② d～h領域の合計		16				

その他の科目	2	2	卒業研究 (心理学関連科目を担当する教員の指導による心理学に関連するテーマが必要)	4

③	上記①②以外にa～h及び「その他の科目」領域から	8

必要な単位数の総計(①＋②＋③)	36

注)「本学課程上の単位数」と「学会で認められる単位数」とが異なる科目があるので、注意すること。
たとえば「臨床心理学概論」は本学では2単位の科目ですが、学会では1単位の科目として扱われます。
※1　「教育心理学(初等)」「教育心理学(中等)」のいずれかを履修すること。
※2　「発達心理学(初等)」「発達心理学(中等)」のいずれかを履修すること。
※3　「教育相談(初等)」「教育相談(中等)」のいずれかを履修すること。

●認定心理士資格の取得を目指す学生へ
登録申請時に以下の情報が必要になるので、把握しておくこと。
・各科目を履修した年度のシラバス

介護等体験・教員免許更新制

教員免許状の取得を目指す人は以下の内容を確認しておいてください。

介護等体験

小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状を取得するためには、前ページまでの課程表に定められた要件をすべて充足するとともに「介護等体験」への参加が「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律(介護等体験特例法)」で義務付けられています。

２年次後期に「介護等体験」オリエンテーションを実施しますので、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状の取得を目指す皆さんは必ず参加してください(幼稚園一種免許状、高等学校教諭一種免許状、養護教諭一種免許状、栄養教諭一種免許状を取得しようとする場合は「介護等体験」への参加は不要です)

なお「介護等体験」は原則として３年次に実施します。ただし、小学校教諭一種免許状を取得しようとする学生で小学校教育実習の履修が４年次になる場合(３年次で養護実習、幼稚園教育実習を履修する場合を除く)は、「介護等体験」も４年次で参加することになります。

教員免許更新制

2009年４月に施行された改正教育職員免許法により、教員免許更新制が導入されました。これにより、免許状の有効期間が授与後10年間に限られ、それまでに教員免許状更新講習を修了しなければ免許状は失効してしまいます。

更新講習の受講対象者や実施時期の詳細等は文部科学省のホームページ等で随時確認できますので、卒業後も最新の情報を必ず確認しておくようにしてください。

規　程　集

畿央大学学則 ……278
履修に関する規則 ……286
授業に関する規則 ……287
試験に関する規則 ……291
理学療法学科　内規 ……294
看護医療学科　内規 ……295
健康栄養学科　内規 ……296
人間環境デザイン学科　内規 ……298
現代教育学科　内規 ……299
学納金納入規則 ……306
学生生活に関する規則 ……307
学生懲戒規程 ……310
ハラスメントの防止等に関する指針 ……312
畿友会　会則 ……316
畿桜会　会則 ……319

畿　央　大　学　学　則

第１章　総　　則

第１節　目　　的

（目的）

第１条　本学は、「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」を教育の基本理念におき、高潔な人格と幅広く高度な学識・技術を身につけ、地域社会および国際社会の発展に創造的に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。

２　本学の各学部学科等における人材養成の目的は、別に定める。

（自己評価等）

第２条　本学は、教育研究の向上をはかり、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行なう。

２　前項の点検・評価の結果については、学外者による評価・検証を行なうように努める。

３　本学は、教育研究活動等の状況、自己点検・評価等の結果について、刊行物等により、積極的に情報を公開するものとする。

４　本条第１項および第２項に関する事項は、別に定める。

第２節　教育研究の組織

（大学の名称）

第３条　本学は、畿央大学と称する。

（学部および学科）

第４条　本学に次の学部、学科を置く。

健康科学部
　理学療法学科
　健康栄養学科
　人間環境デザイン学科
　看護医療学科
教育学部
　現代教育学科

２　前項の各学科の入学定員および収容定員は、別表第１のとおりとする。

（大学院）

第４条の２　本学に大学院を置く。

２　大学院に関する規則は、別に定める。

（専攻科）

第４条の３　本学に次の専攻科を置く。

助産学専攻科

２　専攻科に関する規則は、別に定める。

（別科）

第４条の４　本学に次の別科を置く。

臨床細胞学別科

２　別科に関する規則は、別に定める。

（付置機関）

第４条の５　本学に次の付置機関を置く。

畿央大学図書館
畿央大学健康科学研究所
畿央大学現代教育研究所
畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
畿央大学看護実践研究センター

２　前項の付置機関に関する規則は、別に定める。

第３節　教職員組織

（教員）

第５条　本学に、教授、准教授、助教および助手を置く。

２　本学に、講師その他必要な教員を置くことができる。

（役職）

第５条の２　本学に学長および学部長を置く。

２　本学に副学長、学科長、学科主任その他必要に応じて役職者を置くことができる。

（事務職員）

第６条　本学に事務職員を置く。

第４節　教　授　会

（教授会）

第７条　本学に教授会を置く。

２　教授会は、学長、副学長、学部長、学科長、学科主任および専任教授で構成する。ただし、学長が必要と認める場合は、准教授その他の教職員を加えることができる。

３　教授会に関する必要な事項は、別に定める。

第５節　学年、学期および休業日

（学年）

第８条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

（学期）

第９条　前条の学年は、次の２学期に分ける。

前学期　４月１日より９月15日まで

後学期　９月16日より翌年３月31日まで

（休業日）

第10条　本学の休業日は、次のとおりとする。

(1)　国民の祝日に関する法律に規定する休日

(2)　日曜日

(3)　学校法人冬木学園創立記念日

(4)　春期休業日

(5)　夏期休業日

(6)　冬期休業日

２　前項第４号から第６号の各年度の休業日については、教授会の議を経て学長が定める。

３　学長が必要と認める場合は、教授会の議を経て、前２項の休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

第６節　修業年限および在学年限

（修業年限）

第11条　本学の修業年限は、４年とする。

（在学年限）

第12条　在学年数は、８年を超えてはならない。

２　編入学、転入学および再入学した学生は、その者の修業年限の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

３　教授会の議を経て、学長がやむを得ないと認める場合は、在学年限を超えて在学できる。

第２章　入　　学

（入学）

第13条　入学の時期は、毎学年始めとする。

２　前項の規定にかかわらず、学長が必要と認める場合は、学期の区分に従い入学することができる。

（入学資格）

第14条　本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1)　高等学校または中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6)　文部科学大臣の指定した者

(7)　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8)　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学志願）

第15条　本学への入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて、定められた期日までに提出しなければならない。

２　入学検定料の金額は、別に定める。

（入学者の選考）

第16条　試験は、高等学校卒業程度により行なう。選考方法に関しては、別に定める。

（入学手続きおよび入学許可）

第17条　入学試験の合格者は、本学所定の書類に所定の納付金を添えて、定められた期日までに入学手続きをしなければならない。

２　学長は、前項の入学手続きを完了した者に対して入学を許可する。

（保証人）

第18条　入学を許可された者は、保証人を定

めなければならない。

（編入学）

第19条　健康科学部の理学療法学科、健康栄養学科、人間環境デザイン学科は、次の各号の一に該当する者について、欠員がある場合に限り、所定の審査を経て第２年次または第３年次への編入学を許可することがある。

⑴　短期大学を卒業した者または大学の２年修了者で、本学の各学科の教育課程に準じる課程を履修した者

⑵　専修学校の２年修了者で、本学の各学科の教育課程に準じる課程を履修した者。ただし、健康栄養学科にあっては、厚生労働大臣の指定する管理栄養士または栄養士養成施設を卒業または修了した者、理学療法学科にあっては、厚生労働大臣の指定する理学療法士養成施設または文部科学大臣が指定する理学療法士養成校を卒業または修了した者に限る。

２　健康科学部の看護医療学科にあっては、次の各号の一に該当する者について、欠員がある場合に限り、所定の審査を経て第２年次または第３年次への編入学を許可することがある。

⑴　保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第21条第１号の規定する文部科学大臣の指定した短期大学を卒業した者

⑵　保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第21条第２号の規定する厚生労働大臣の指定した看護師養成所のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者（学校教育法第56条に規定する入学資格を有する者に限る。）

３　教育学部は、短期大学を卒業した者またはそれに準ずる者で、３年次編入学を希望する者に対して、所定の審査を経て３年次からの編入学を許可することができる。

４　本条第１項から第３項の所定の審査に関しては、別に定める。

第３章　学籍

（休学）

第20条　疾病その他やむを得ない事由により３か月以上修学することができない者は、本学所定の休学願に保証人連署の上、医師の診断書またはその事由を証明する書類を添えて提出し、学長の許可を得て休学することができる。

２　疾病その他の事由により修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

３　休学の期間は、休学を許可された日から当該学期末または当該年度末までとする。ただし、特別の事由がある場合は、連続して２年まで認める場合がある。

４　休学の期間は、通算して３年を超えることはできない。

５　休学の期間は、第12条に定める在学年数に算入しない。

（退学、転学）

第21条　疾病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、本学所定の退学願を保証人連署の上提出し、学長の許可を得なければならない。

２　他の大学等に転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

（留学）

第22条　本学が協定もしくは認定した外国の大学または本学が協定もしくは認定した外国の短期大学で学修することを志願する者は、本学所定の留学願を保証人連署の上提出し、学長の許可を得なければならない。

２　前項の許可を得て留学した期間は、第11条に定める修業年限に含めることができる。

（転学部および転学科）

第23条　本学の学生が転学部または転学科を志願する場合は、選考の上、転学部または転学科を許可することがある。転学部および転学科に関し必要な事項については、別に定める。

（除籍）

第24条　次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 第12条に定める在学年限を超えた者。ただし、学長が所定の年限を超えて在学することもやむをえないと認めたものを除く。
(2) 第20条第3項に定める休学の期間を超えた者
(3) 授業料および教育充実費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
(4) 死亡または長期にわたり行方不明の者

（復学および再入学）
第25条　休学している者がその事由の消滅により復学する場合は、本学所定の復学願を保証人連署の上提出し、学長の許可を得なければならない。
2　転学した者、退学した者および除籍となった者が在籍した学部・学科への再入学を希望する場合は、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。再入学に関し必要な事項については、別に定める。

（異動の届出）
第26条　学生または保証人に死亡、転居または改名等の異動が生じたときおよび保証人がその資格を失ったときは、ただちに届出なければならない。

第4章　教育課程および履修方法

（教育課程および授業科目）
第27条　本学の教育課程は、別表第2のとおりとする。

（教育課程の編成）
第28条　学部および学科の設置の趣旨に従い、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。
2　教育課程の編成にあたっては、当該学部・学科に関わる専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう配慮する。
3　本学は、授業の内容および方法の改善をはかるための組織的な研修および研究の実施に努めるものとする。

（授業科目）
第29条　授業科目は、教養科目、専門基礎科目、専門科目および教育職員免許状に関する科目に区分して配置する。
2　授業科目を必修科目、選択科目に分け、各年次に配当して編成する。
3　多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修できる科目については、別に定める。

（履修科目の登録）
第30条　学生は、履修する授業科目を選択し、学期ごとに本学が指定する期間内に履修登録しなければならない。

（履修登録の上限）
第31条　各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、1学期に履修科目として登録することができる単位数を定めるものとする。単位数の上限は、別に定める。

（単位の計算方法）
第32条　各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
(1) 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
(2) 実験・実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
(3) 卒業研究については、その成果を評価して単位を与えることができる。

（成績の評価）
第33条　成績の評価は、秀、優、良、可もしくは不可、または、合もしくは否で行ない、秀、優、良、可または合の者に対しては、それぞれの科目について定められた単位を与える。

（1年間の授業期間）
第34条　1年間の授業を行なう期間は、定期試験等の期間を含めて35週にわたることを原則とする。

（試験の時期）
第34条の2　試験は、学期末または学年末に

その履修した科目について行なう。
2　前項の規定にかかわらず、試験は、随時これを行なうことがある。
（資格の取得）
第35条　本学において取得できる資格およびその取得要件は、別に定める。
（他の大学または短期大学における授業科目の履修等）
第35条の2　教授会が教育上有益と認める場合は、学生に他の大学または短期大学の授業科目を履修させることができる。
2　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
3　前2項の規定は、学生が外国の大学または短期大学に留学する場合に準用する。
（大学または短期大学以外の教育施設等における学修）
第35条の3　教授会が教育上有益と認める場合は、学生が行なう短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
2　前項により与えることができる単位数は、前条第2項により修得したものとみなした単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
（入学前の既修得単位の認定）
第35条の4　教授会が教育上有益と認める場合は、学生が入学する前に大学または短期大学、高等専門学校、または専修学校専門課程等において修得した単位を、入学後本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
2　学生が入学する前に行なった前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
3 前2項により修得したものとみなし、または与えることができる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第35条の2第2項および前条第1項により本学における授業科目の履修により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
4　編入学した学生が、本学入学以前の大学等において修得した単位の認定に関する必要な事項は、別に定める。
（他大学等の単位認定の権限）
第35条の5　第35条の2から第35条の4に基づく単位の認定または単位の授与は、教授会の議を経て学長が決定する。

第5章　卒業および学位

第36条　削除
（卒業の認定）
第37条 本学に4年（第19条の規定により入学した者は別に定める年数）以上在学し、所定の授業科目を履修し、別表第2に定める卒業要件単位を取得した者は、教授会の議を経て学長が卒業を認め、学士の学位を授与する。
（学位）
第38条　学士の学位は、卒業した学部学科に応じて次のとおりとする。
健康科学部
理学療法学科
学士（理学療法学）
健康栄養学科
学士（健康栄養学）
人間環境デザイン学科
学士（人間環境デザイン学）
看護医療学科
学士（看護学）
教育学部
現代教育学科
学士（教育学）
第39条　削除
第40条　削除
第41条　削除
第42条　削除

第6章　学納金

（学納金）
第43条 学納金は、入学金、授業料、教育充実

費およびその他の納付金とする。
2　入学金、授業料および教育充実費は、別表第３に定める。
3　その他の納付金は、諸費用および手数料等としその金額は、別に定める。

（納入方法）

第44条　入学する者は、入学手続きの際に入学金を納めなければならない。
2　授業料および教育充実費（以下「授業料等」という。）は、年額の２分の１ずつを前期、後期に分けて納入するものとする。
3　その他の納付金の納入方法は、別に定める。

（学期の途中で休学または復学する場合）

第45条　学期の途中において休学または復学した者は、当該学期の授業料等を納付しなければならない。

（学年の途中で卒業する場合の授業料）

第46条　学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

（退学および停学の場合の授業料）

第47条　前期または後期の途中で退学または除籍された者の当該学期の授業料等は、徴収する。
2　停学期間中の授業料等は、徴収する。

（休学中の場合）

第48条　休学を許可または命じられた者の在籍料については、別に定める。

（学納金の返還）

第49条　いったん納入された学納金は、返還しないことを原則とする。

第７章　科目等履修生、聴講生等

（科目等履修生）

第50条　本学の学部および専攻科に在籍する学生以外の者で、本学の一または複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、学長は科目等履修生として入学を許可する場合がある。

（聴講生）

第50条の２　本学の学部および専攻科に在籍する学生以外の者で、本学の一または複数の授業科目の聴講を志願する者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、学長は聴講生として入学を許可する場合がある。

（研究生）

第51条　本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、研究教育に支障のない場合に限り、選考の上、学長は研究生として入学を許可する場合がある。
2　研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
3　研究期間は１年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

（特別聴講生）

第52条　他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、学長は特別聴講生として入学を許可する場合がある。

（外国人留学生）

第53条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、学長は外国人留学生として入学を許可する場合がある。
2　前項の外国人留学生に対しては、第27条に掲げる授業科目のほか、日本語科目および日本事情に関する科目をおくことができる。

第54条　科目等履修生、聴講生、研究生、特別聴講生および外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第８章　奨学制度

（奨学制度）

第55条　奨学のため、別に定める奨学制度を設ける。

第９章　賞罰

（表彰）
第56条　学生として表彰に価する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰する。
（懲戒）
第57条　本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。
２　前項の懲戒の種類は、退学、停学および戒告とする。
３　停学期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。ただし、停学期間が３か月以内の場合には、修業年限に算入することができる。
４　懲戒に関する事項は、別に定める。
第58条　削除

第10章　公開講座

（公開講座）
第59条　社会人の教養を高め、地域の文化の向上と発展に資するため、公開講座を開設するものとする。公開講座の実施については、別に定める。

第11章　細則および改廃

（学則細則その他）
第60条　本学則施行についての細則その他必要な事項は、別に定める。
（改廃）
第61条　本学則の改廃は、教授会の議を経て学長が行なう。

附　　則
この学則は、平成15年４月１日から施行する。
〈中略〉
附　　則
この学則は、平成31年４月１日から施行する。

別表第１－１（平成31年度以降入学者）入学定員・収容定員（人）

学　　部	学　　科	入学定員	収容定員
健康科学部	理学療法学科	76	304
	健康栄養学科	90	360
	人間環境デザイン学科	60	240
	看護医療学科	94	376
教育学部	現代教育学科	195	780

別表第１－２（平成26年度以降平成30年度までの入学者）入学定員・収容定員（人）

学　　部	学　　科	入学定員	収容定員
健康科学部	理学療法学科	70	280
	健康栄養学科	90	360
	人間環境デザイン学科	50	200
	看護医療学科	90	360
教育学部	現代教育学科	195 ３年次より編入学５	790

別表第３－１（平成29年度以降入学者）　入学金、授業料、教育充実費（円）

学　　部	学　　科	入学金	授業料	教育充実費
健康科学部	理学療法学科	150,000	860,000	750,000
	健康栄養学科	150,000	860,000	450,000
	人間環境デザイン学科	150,000	860,000	340,000
	看護医療学科	150,000	860,000	750,000
教育学部	現代教育学科	150,000	860,000	340,000

別表第３－２（平成27年度、平成28年度入学者）　入学金、授業料、教育充実費（円）

学　　部	学　　科	入学金	授業料	教育充実費
健康科学部	理学療法学科	170,000	860,000	720,000
	健康栄養学科	170,000	860,000	420,000
	人間環境デザイン学科	170,000	860,000	300,000
	看護医療学科	170,000	860,000	720,000
教育学部	現代教育学科	170,000	860,000	300,000

別表第３－３（平成25年度、平成26年度入学者）　入学金、授業料、教育充実費（円）

学　　部	学　　科	入学金	授業料	教育充実費
健康科学部	理学療法学科	190,000	860,000	680,000
	健康栄養学科	190,000	860,000	400,000
	人間環境デザイン学科	190,000	860,000	250,000
	看護医療学科	190,000	860,000	680,000
教育学部	現代教育学科	190,000	860,000	250,000

畿央大学　履修に関する規則

（目的）

第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）の授業科目の履修に関し、必要な事項を定める。

２　本学の授業科目の履修については、本学学則に別段の定めがある場合のほかこの規則に定めるところによる。

（履修登録）

第２条　本学の学生は単位を修得しようとする授業科目について、各学期の本学が指定する期間に履修登録をしなければならない。

２　履修登録をしていない授業科目については単位を与えない。

３　単位を修得した授業科目の再履修はできない。また、同一年度に同一の授業科目を重複して履修することはできない。

（履修科目の制限）

第３条　本学の学生が、各学期に履修できる単位数は原則として30単位以下とする。

２　学生が、資格・免許の取得等の理由により30単位を超えて履修することを希望する場合は、申請し許可を受けなければならない。

（履修登録の配当年次制限）

第４条　上級年次に配当されている授業科目を、下級年次の学生が履修することはできない。

（クラス指定科目の履修登録）

第５条　クラス指定のある授業科目は、指定のクラスで履修登録することとする。

２　やむをえない事情で異なるクラスでの履修を希望する場合は、申請し許可を受けなければならない。

３　再履修の場合ならびに編入学生の場合は第１項の規定は適用しない。

（授業科目の受講制限）

第６条　授業科目により、受講定員を設ける場合がある。この場合には、選考または抽選により受講者を決定する。

（授業科目の開講取消）

第７条　履修登録者数が２名以下の授業科目は、開講を取り消すことがある。

２　前項により授業科目の開講取消があった場合、当該授業科目を履修登録していた者は、その単位数内で追加の履修登録をすることができる。

（履修登録の変更・取消）

第８条　履修登録の変更・取消は、各学期の本学の定める期間に限り、学生本人の申請により認める。

２　通年科目の履修の変更・取消は、前期にのみ認める。

（単位の授与）

第９条　各科目の成績は、試験の成績または平常の成績、あるいは両方を総合して評価するものとし合格した者に対して、その授業科目の単位を与える。

（成績評価）

第10条　第９条の規定による授業科目の成績評価は、100 点満点で60 点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

２　成績評価は、以下の成績基準によって行なう。

秀：90点以上、優：80点以上89点以下、良：70点以上79点以下、可：60点以上69点以下、不可：60点未満

３　前項の成績基準によることができない授業科目については、「合格」（60 点以上）、「不合格」（60点未満）の２段階判定とすることができる。対象の授業科目については別に定める。

４　出席時数が授業時間数の３分の２に満たない者は、原則としてその授業科目の単位は認定されない。また、専門科目・実習科目等について各学科で別に定められた成績評価に関する基準時数がある場合はそれに従う。

（ＧＰＡ）

第11 条　前条の成績評価をもとに、単位あたりの成績評価の平均値を示すＧＰＡ（Grade Point Average）を算出して成績通知書に記載する。

２　前項のＧＰＡの算出方法は、別に定める。

（成績の開示と通知）

第12条　学生の成績評価については、所定の日に学生に開示し、成績通知書を保証人へ送付する。

2　前項にかかわらず、実習科目の先修条件となっている科目、卒業の判定に係る科目については、学科長の判断で先行して学生に開示することができる。

（成績確認申立）

第13条　学生の成績評価について疑問がある場合は、成績通知後１か月以内に学生本人が成績の確認を学生支援センターに申請することができる。ただし、前条第２項に係る科目の場合は、成績の開示の翌日から３日以内に限り申請することができるものとする。

（改廃）

第14条　この規則の改廃は、教授会の議を経て学長が行なう。

附　則

この規則は、平成24年４月１日から施行する。

＜中略＞

附　則

この規則は、平成31年４月１日から施行する。

畿央大学　授業に関する規則

（目的）

この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）の授業に関し、必要な事項を定める。

2　本学の授業については、本学学則に別段の定めがある場合のほかこの規則の定めるところによる。

（授業時間）

第２条　本学の通常の授業時間は、次のとおりとする。ただし、集中講義および変則での授業時間は、当該学部・学科でこれを定める。

時限	授業時間
第１時限	９：00～10：30
第２時限	10：40～12：10
第３時限	13：00～14：30
第４時限	14：40～16：10
第５時限	16：20～17：50
第６時限	18：00～19：30

（暴風警報、特別警報が発令された場合の授業の取扱い）

第３条　奈良県北葛城郡広陵町を含む地域に暴風警報または特別警報が発令された場合の授業の取扱いは、別表１のとおりとする。

（ストライキ・自然災害により交通機関が始発から不通になった場合の授業の取扱い）

第４条　ストライキ・自然災害により交通機関が始発から不通となった場合の授業の取扱いは、別表２のとおりとする。

（出欠等の定義）

第５条　出席、欠席、遅刻、早退、欠課の定義は、次のとおりとする。

出席：授業開始時から終了時まで受講した場合

欠席：出席確認時に出席を確認できず、かつ受講しなかった場合または講義開始後20分を経過した以降に入室した場合

遅刻：出席確認時に出席を確認できなかった者が講義開始後20分以内に入室した場合。ただし、授業担当教員により一切の遅刻を認めないことがある。

早退：理由に関わらず授業中に受講を中断した場合。ただし、授業時間の３分の２を超えてからの受講中断であることを原則とする。

欠課：遅刻、早退あわせて２回になった場合、欠課（欠席）１回とみなす。

（公欠・忌引の定義）

第６条　公欠または忌引とは、別表３に定める要件に該当し、かつ所定の手続きを行った者について、当該授業を欠席扱いとしないことをいう。

（公欠・忌引の手続き）

第７条　公欠または忌引を許可する期間・申請方法は、別表３に定める。

（公欠・忌引による授業の取扱い）

第８条　公欠または忌引を許可された期間の授業は欠席扱いとせず、授業日数から減じて出席率の算定を行なう。

（学生証による出席確認の取扱い）

第９条　学生証使用による出欠記録については、授業担当教員が特別に認める場合を除いて一切の修正は行なわない。

２　出席確認時において次各号の一に該当する学生証の不正利用を行なった者は、学部長または学科長の厳重注意に処する。学生証の不正利用が同一科目で複数回におよぶ者は、当該の科目を失格とする。また、本学学則第57条に基づき懲戒処分を行なうことがある。

(1)　出席確認後授業担当教員の許可無く退室し、かつ所定の届け出をしていない場合

(2)　出席確認を目的とし、他人に学生証を貸与した場合

(3)　代人として他人の学生証を出席確認に使用した場合

(4)　前３号に準じる行為を行なったと授業担当教員または大学が認めた場合

（改廃）

第10条　この規則の改廃は、教授会の議を経て学長が行なう。

附　則

この規則は、平成24年４月１日から施行する。

〈中略〉

附　則

この規則は、平成31年４月１日から施行する。

別表１　暴風警報または特別警報が発令された場合の授業の取扱い（その他の警報は対象としない。）

暴風警報または特別警報の解除時刻	授業の取扱い
６：00以前に解除された場合	平常通り１時限から授業を実施する
８：00以前に解除された場合	２時限から授業を実施する
10：00以前に解除された場合	３時限から授業を実施する
12：00以前に解除された場合	４時限から授業を実施する
12：00の時点で解除されていない場合	全日休講とする

※　授業開始後に暴風警報が発令された場合は、その時限終了までは授業を実施する。
※　授業開始後に特別警報が発令された場合は、ただちに授業を中止する。
※　連続時限で実施している授業については、途中時限からの授業開始は行なわない。
※　上記規則を原則とするが、鉄道の運行状況や天候の変動（授業開始直前の警報発令）等に応じて休講措置、あるいは時限終了を待たずに授業を中止すること等がある。

別表２　ストライキ・自然災害により交通機関が始発から不通になった場合の授業の取扱い

<table>
<tr><th>交通機関の状況</th><th>授業の取り扱い</th></tr>
<tr><td>近鉄大阪線（布施駅～大和八木駅の全区間）で「不通」が生じた場合</td><td>1.　対象交通機関が運行を再開した場合は、次のとおりの運行再開時刻にもとづき、授業を開始する。
<table>
<tr><th>運行再開時刻</th><th>授業の取扱い</th></tr>
<tr><td>６：00以前</td><td>平常通り１時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>８：00以前</td><td>２時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>10：00以前</td><td>３時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>12：00以前</td><td>４時限から授業を実施する</td></tr>
<tr><td>12：00の時点で再開していない場合</td><td>全日休講とする</td></tr>
</table>
2.　連続時限で開講している授業については、途中時限からの授業開始は行なわない。</td></tr>
</table>

※　上記区間以外で「不通」「遅延」等が生じた場合は平常どおり授業を実施する。

※　上記区間であっても事故等による「一時的な運転見合わせ」「遅延」等が生じた場合は平常どおり授業を実施する。ただし、運転見合わせが長時間にわたり休講措置を取る場合は大学ホームページまたは学内Ｗｅｂサイトにて告知する。

※　その他、緊急の事態が生じた場合等も大学ホームページまたは学内Ｗｅｂサイトにて措置を告知する。

別表３　公欠・忌引に関する事項

	事由	必要な書類	公欠・忌引期間	申請期限※
公欠	公欠の対象となる実習科目（別表４参照）	公欠届	各実習や体験に要する日程ならびに実習事前（または事後）訪問１日	事前申請　公欠処理は実習の出席確認後事務局で行なう
	学校保健安全法施行規則第19条に定められた感染症	公欠届＋医師の診断書等	医師の診断による治療に要する期間	登学可能日から３日以内
	裁判員選任	公欠届＋裁判所からの呼出状	裁判所から指定された期間	事前申請
	通学区間の公共交通機関の遮断による登学不能	公欠届＋交通機関のＨＰ等交通遮断を証明する書類	交通遮断の日	登学可能日から３日以内
	授業実施日に、学生が居住する地域または通学中通過する地域に暴風（特別）警報が発令された場合	公欠届＋気象庁等のＨＰ等暴風（特別）警報が発令＋解除された時刻を示す書類	公欠となる時限の基準は別表１の休講となる時限に準じる	登学可能日から３日以内
	学科長の申請により教務委員会が特別に認める場合	公欠届＋事情を証明する書類	教務委員会が認めた期間	事前申請
忌引		忌引届＋死亡に関する公的証明書、または会葬礼状等証明となるもの	一親等：告別式または通夜の日を含み連続した５日間以内（本学の休業日を含む） 二親等：告別式または通夜の日を含み連続した３日間以内（本学の休業日を含む）	登学可能日から３日以内

※申請は学生支援センターにて受付ける。窓口の受付終了時刻を期限とする。
（月～金：18時まで、土：17時まで、本学の休業日を除く。）
※申請期限には本学の休業日は含まない。

別表４　公欠の対象となる実習科目

学　科	実習名
理学療法学科	チーム医療ふれあい実習
	臨床指導
	臨床評価実習
	総合臨床実習
看護医療学科	チーム医療ふれあい実習
	基礎看護学実習
	看護学実習（急性期・慢性期・老年・精神・母子・在宅）
	公衆衛生看護学実習
	離島・へき地医療体験実習
	地域看護学実習
	病院インターンシップ
健康栄養学科	チーム医療ふれあい実習
	臨地実習
現代教育学科	幼稚園見学実習
	小学校（または幼稚園）一日見学
	保育実習
	養護臨床実習
教　職	教育実習（小学校／幼稚園／養護／特別支援／中・高英語／中・高家庭科／栄養教諭）
	介護等体験

畿央大学　試験に関する規則

（目的）

この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）の試験に関し、必要な事項を定める。

2　本学の試験については、本学学則に別段の定めがある場合のほかこの規則の定めるところによる。

（試験の種類）

第２条　本学の試験の種類は、平常試験、定期試験、追試験および再試験とする。

（試験の方法）

第３条　本学の試験の方法は、筆記試験、レポート試験または実技試験によるものとする。

2　前項の規定にかかわらず、実験、実習、演習および卒業研究等の科目については、成果物の提出をもって定期試験に代えることができる。

3　科目ごとの試験の方法は、授業担当教員が定める。

（平常試験）

第４条　平常試験は、授業期間中に授業担当教員が随時に行なうことができる。

2　平常試験の実施は、全て授業担当教員の責任で行なう。

（定期試験）

第５条　定期試験とは、前学期末および後学期末の大学が定める期間に行なうものをいう。ただし、集中講義の試験については適宜に行なうことができる。

2　定期試験の時間割、関連事項はすべて試験開始の２週間前までに所定の掲示板に掲示する。

3　定期試験の試験時間は、60分間から90分間の間で授業担当教員が定める。

（定期試験の受験資格）

第６条　定期試験は、履修登録を行なった科目についてのみ受験資格を有する。

2　試験室では、受験者本人の学生証（または仮学生証）を、机上に提示しなければならない。

3　定期試験において、試験開始時刻に20分を超えて遅刻した者は、受験資格を失なう。

4　試験日当日に停学中または自宅待機を命ぜられた者は受験することができない。

（定期試験の途中退室）

第７条　定期試験において、試験開始後40分を経過したのちは退室することができる。ただし、試験形態等により途中退室を認めない場合がある。

（追試験）

第８条　定期試験を別表１に定める事由により受験できなかった者に対し追試験を行なう。

2　追試験の受験を必要とする者は、別表１に定める期間内に本人がその授業科目ごとに受験を願出なければならない。

3　追試験の受験料は、無料とする。

4　追試験の試験結果は、当該授業科目の定期試験の成績とする。

5　授業担当教員が認めた場合、事前に定められた追試験期間を超えて追試験を実施することができる。この場合の追試験実施期限は、当該学期成績提出締切日の前日とする。

6　追試験による不合格科目についての再試験は行なわない。

7　追試験の再度の追試験は実施しない。ただし、本規則別表第１に定められた事由で受験できなかった場合、授業担当教員の判断で再度の追試験を実施できる。

（再試験）

第９条　定期試験の結果が不合格であった者に対して再試験を行なうことができる。再試験の実施の有無は、授業担当教員が定める。ただし、教養科目のうち卒業必修でない科目の再試験は、原則として行なわない。

2　再試験を実施する授業科目について、その受験を必要とする者は、別表２に定める期間内に本人が授業科目ごとに受験を願出なければならない。

3　再試験の受験資格は、定期試験その他の成績により授業担当教員が決定するが、単

位取得の可能性のある者のみに与えられる。
4　再試験の受験料は、１科目につき1,500円とする。
5　再試験の試験結果により単位認定される者の成績評価は、すべて60点として可を与え、60点未満の者は不可とする。
6　再試験の追試験、再試験は行なわない。再試験の欠席者にはいかなる理由があっても単位を与えない。

（追試験および再試験における受験許可証等の取扱い）

第10条　追試験および再試験の受験においては、所定の受験許可証を携帯し、受験者本人の学生証（または仮学生証）を、机上に提示しなければならない。

（答案の無効）

第11条　定期試験、追試験および再試験において次の各号の一に該当する答案を無効とする。
⑴　第６条に規定する受験資格を有しない者の答案
⑵　受験者が特定できない答案
⑶　持ち帰り、置き忘れ、破棄または紛失等により提出されていない答案
⑷　その他授業担当教員によって無効とせざるを得ないと判断された答案

（不正行為の種類）

第12条　定期試験、追試験および再試験における不正行為とは次の各号の一に該当する行為をいう。
⑴　代人に受験させる、または代人になって受験する行為
⑵　持込を許可されていない図書類、ペーパー類またはノート類等を使用する行為
⑶　机、壁または所持品等への書き込み。許可されていない情報源を使用する行為
⑷　答案の交換、他人の答案を見る行為ならびに答案を他人に見せる行為
⑸　同室受験者の答案作成または同室受験者に答案を作成してもらう行為
⑹　不正行為をする目的をもっての準備行為
⑺　その他、監督者の指示に従わないなど公正な試験の実施を阻害すると認められる行為

（不正行為の取扱い）

第13条　定期試験、追試験または再試験において不正行為を行なった者は、原則として当該学期全履修科目を失格とする。また、学則第57条に基づき懲戒処分を行なうことがある。

（暴風警報、特別警報、交通機関の不通による試験の取扱い）

第14条　暴風警報および特別警報の発令ならびに自然災害の発生等により交通機関が不通になった場合の試験の取扱いは、本学授業に関する規則第３条および第４条の規定に準じる。

（改廃）

第15条　この規則の改廃は、教授会の議を経て学長が行なう。

附　則

この規則は、平成19年４月１日から施行する。

〈中略〉

附　則

この規則は、令和２年４月１日から施行する。

別表１　追試験該当事項および手続き一覧

<table>
<tr><th>試験欠席の事由</th><th>必要な書類</th><th>申請期限※</th></tr>
<tr><td>病気・負傷・不慮の事故等</td><td>追試験願＋医師の診断書等</td><td rowspan="4">当該科目の定期試験実施日の翌日まで</td></tr>
<tr><td>二親等内親族の死亡</td><td>追試験願＋死亡に関する公的証明書または会葬礼状等証明となるもの
一親等：告別式または通夜の日を含み連続した５日間以内（本学の休業日を含む）
二親等：告別式または通夜の日を含み連続した３日間以内（本学の休業日を含む）</td></tr>
<tr><td>通学区間の公共交通機関の遮断による登学不能</td><td>追試験願＋交通機関のＨＰ等交通遮断を証明する書類</td></tr>
<tr><td>試験実施日に、学生が居住する地域または通学中通過する地域に暴風（特別）警報が発令された場合</td><td>追試験願＋気象庁等のＨＰ等暴風（特別）警報が発令＋解除された時刻を示す書類</td></tr>
<tr><td>通学区間の公共交通機関の延着</td><td>追試験願＋事故・延着証明（20分以上の延着時間が記載されたもの）</td><td>当該科目の定期試験実施日の当日中</td></tr>
<tr><td>本学の正課授業との重複（学外実習・介護等体験を含む）</td><td>追試験願</td><td rowspan="3">当該科目の定期試験実施日の前日まで</td></tr>
<tr><td>就職試験・教員採用試験</td><td>追試験願＋試験日を証明する書類（追試験願にキャリアセンターの認印を受けること）</td></tr>
<tr><td>裁判員選任</td><td>追試験願＋裁判所からの呼出状</td></tr>
<tr><td>その他やむをえない事由</td><td>追試験願＋事由を証明できるもの（届出により教務委員長が判断する）</td><td>当該科目の定期試験実施日の翌日まで</td></tr>
</table>

※申請は学生支援センターにて受け付ける。窓口の受付終了時刻を期限とする。（月～金：18時まで、土：17時まで、本学の休業日を除く。）
※申請期限に本学の休業日は含まない。
※病気・負傷・不慮の事故、二親等内親族の死亡、その他やむをえない事由により申請期限までに窓口への申請ができない場合は、期限内に学生支援センターに連絡し、追試験実施当日の試験開始までに学生支援センター窓口にて所定の申請手続きを済ませること。

別表２　再試験の手続き

必要な書類	申請期限※
再試験願	当該科目の再試験実施日の前日まで

※申請は学生支援センターにて受け付ける。窓口の受付終了時刻を期限とする。（月～金：18時まで、土：17時まで、本学の休業日を除く。）
※申請期限に本学の休業日は含まない。

健康科学部 理学療法学科　内規

（目的）

第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）学則ならびに本学履修に関する規則、授業に関する規則および試験に関する規則に定めるもののほか、健康科学部理学療法学科（以下「本学科」という。）にかかる授業科目の履修方法等に関し、必要な事項を定める。

（出席等）

第２条　全ての講義・演習・実習科目は、全日出席を原則とする。

２　学内における演習および実習科目については、出席時数が５分の４に満たない場合は、原則として単位は修得できない。

３　臨床実習は、全日出席を原則とする。少なくとも各実習において出席日数が５分の４に満たない場合は、原則として単位は修得できない。

（臨床実習）

第３条　臨床実習は次のとおり行なう。

⑴「臨床指導」または「通所・訪問リハビリテーション実習」を２年次に行ない、その期間は１週間とする。原則、平成31年度以前の入学者は「臨床指導」を履修し、令和２年度以降の入学者は「通所・訪問リハビリテーション実習」を履修する。ただし、平成31年度以前の入学者であっても、令和２年度までに「臨床指導」の単位を修得していない者は、「通所・訪問リハビリテーション実習」を履修し、「臨床指導」に読み替えるものとする。

⑵「臨床評価実習」を３年次に行ない、その期間は３週間とする。

⑶「総合臨床実習」を４年次に行ない、８週間を２期行なう。

２　次の各号に該当する者に対して臨床実習の履修を認める。

⑴「臨床指導」または「通所・訪問リハビリテーション実習」の履修は，次の科目の単位をすべて修得している者

「解剖学（骨格・筋・神経）Ⅰ」「解剖学（骨格・筋・神経）Ⅱ」「解剖学（内臓）」「解剖学実習」「生理学Ⅰ」「生理学Ⅱ」「生理学実習」

⑵「臨床評価実習」の履修は、３年次後期までに開講される専門基礎科目および専門科目のすべての必修科目と「臨床理学療法学」の単位を修得している者

⑶「総合臨床実習」の履修は、「臨床評価実習」の単位を修得している者

３　臨床実習の単位認定は、実習指導者の評価およびセミナー（実習報告会）などを含め、本学科会議で総合的に判定し決定する。

４　臨床実習において、次の各号のいずれかに該当する者は補習を受けることができる。

⑴　試験に関する規則別表の追試験該当事項により出席時数を満たさなかった者

⑵　前号以外の理由により本学科会議で補習が必要であると認められた者

５　その他、臨床実習にかかる規則等は、原則として臨床実習の手引きに従う。

（科目の履修）

第４条　３年次に開講される専門基礎科目および専門科目は、本内規第３条２項１号に掲げる科目の単位をすべて修得した者のみ履修できる。

２「理学療法総合演習」は、「総合臨床実習」の単位を修得した者のみ履修できる。

３「卒業研究」は「理学療法研究法」および「理学療法研究法演習」の単位を修得した者のみ履修できる。

（改廃）

第５条　この内規の改廃は、本学教務委員会ならびに教授会の議を経て学長が行なう。

附　則　この内規は、平成15年12月１日から施行する。

＜中略＞

附　則　この内規は、令和２年４ 月１日から施行する。

健康科学部　看護医療学科　内規

（目的）

第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）学則ならびに本学履修に関する規則、授業に関する規則および試験に関する規則に定めるもののほか、健康科学部看護医療学科（以下「本学科」という。）にかかる授業科目の履修方法等に関し、必要な事項を定める。

（出席等）

第２条　全ての講義・演習・実習科目は、全日出席を原則とする。

２　臨地実習科目においては、出席時数が５分の４に満たない場合は、原則として単位は修得できない。

（看護学実習科目）

第３条　看護学実習科目の履修について次のとおり定める。なお、看護学臨地実習の実施詳細については別に定める。

⑴　「基礎看護学実習」を履修するためには、専門科目の「専門分野Ⅰ」に含まれる科目のうち、「チーム医療ふれあい実習」をのぞく１年次に配当されている必修科目の単位をすべて修得していること。

⑵　３年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、３年次前期までに開講される専門基礎科目および専門科目の必修科目の単位をすべて修得していること。

⑶　「病院インターンシップ」、「離島・へき地医療体験実習」および「地域看護学実習」を履修するためには、「在宅看護学実習」をのぞく各看護学実習科目の単位をすべて修得していること。

⑷　「病院インターンシップ」および「地域看護学実習」のうち１科目の単位を修得すること。

（保健師国家試験受験資格取得要件）

第４条　保健師国家試験の受験資格ならびに関連する科目の履修について次のとおり定める。

⑴　「地域看護学概論」の単位を修得した者のみが、地域看護学領域の選択科目を履修することができる。

⑵　保健師国家試験の受験資格を得るには「地域看護学実習」の単位を修得していること。

⑶　「公衆衛生看護学実習」を履修するためには、地域看護学の区分にある４年次前期までのすべての科目の単位を修得していること。

（地域看護学実習履修制限）

第５条　「地域看護学実習」を履修するためには、３年次前期までの地域看護学の区分にあるすべての科目の単位を修得していること。ただし、その対象となる学生数が、自治体が指定する実習受入人数を超えた場合、３年次前期までに開講される専門基礎科目および専門科目の必修科目の成績と地域看護学の区分にあるすべての科目の成績により「地域看護学実習」の履修者を選考する。選考の方法は別に定める。

２　本条は平成27年度入学生より適用する。

（養護実習）

第６条　「養護実習」は、４年次以降に行なう。

２　「養護実習」を履修するためには、３年次前期までに開講される専門基礎科目および専門科目の必修科目の単位をすべて修得すること。また、養護教諭資格必修科目のうち、３年次後期までに開講される教育実習受講資格の科目の単位はすべて修得し、４年次に開講される「教職実践演習（養護教諭）」以外の科目については実習と併せて履修すること。

３　「養護実習」で出席日数が５分の４に満たない場合および「養護実習指導」で出席時数が５分の４に満たない場合は、それぞれの科目の単位を修得できない。

（教職実践演習）

第７条　「教職実践演習（養護教諭）」を履修するためには、当該年度中に養護教諭一種免許状の取得要件を充足する見込みでなければならない。

（教職免許状科目の単位）
第８条　教養科目、専門基礎科目および専門科目に属さない教育職員免許状（養護）にかかる科目の単位は卒業要件の単位として認めない。
（履修先修条件）
第９条　第３条、第４条および第５条に関わらない科目の履修における先修条件は、本学科会議の議を経てシラバスに明示するものとする。
（改廃）
第10条　この内規の改廃は、本学教務委員会ならびに教授会の議を経て学長が行なう。

附　則　この内規は、平成20年８月21日から施行する。
＜中略＞
附　則　この内規は、令和２年４月１日から施行する。

健康科学部　健康栄養学科　内規

（目的）
第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）学則ならびに本学履修に関する規則、授業に関する規則および試験に関する規則に定めるもののほか、健康科学部健康栄養学科（以下「本学科」という。）にかかる授業科目の履修方法等に関し、必要な事項を定める。
（コースの所属）
第２条　本学科に入学した者は、次のいずれかのコースに所属しなければならない。
⑴　臨床栄養コース
⑵　スポーツ栄養コース
⑶　食品開発コース
２　各コースへの配属は２年次開始時とする。
３　履修科目とその扱いについては別に定める。
４　原則としてコース変更は認めない。
（出席等）
第３条　全ての講義・演習・実験・実習科目は、全日出席を原則とする。
２　演習・実験・実習科目については、出席時数が５分の４に満たない場合は、原則として単位は修得できない。ただし、「特別演習Ⅰ・Ⅱ」は、講義科目と同じ扱いにする。また、平成29年度以前の入学生が履修する「総合対策演習Ⅰ・Ⅱ」は、講義科目と同じ扱いにする。
（臨地実習）
第４条　臨地実習を履修するためには、原則、次の条件をすべて満たしていなければならない。
⑴　２年次終了までに60単位以上を修得していること。
⑵　１、２年次に開講される専門基礎科目および専門科目の必修科目のうち、単位を修得できていない科目が２科目以下であること。
⑶　各臨地実習について、次に示す科目の単位を修得済みまたは履修中であること。
平成27年度以前の入学生
「臨地実習Ⅰ」については、「給食経営管理論Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅱ」および「総合演習」
「臨地実習Ⅱ」および「臨地実習Ⅲ」については、「給食経営管理論Ⅰ」、「給食経営管理論Ⅱ」、「給食経営管理論実習Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅰ」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養学Ⅳ」、「臨床栄養学実習Ⅰ」、「臨床栄養学実習Ⅱ」および「総合演習」
「臨地実習Ⅳ」については、「公衆栄養学」、「地域栄養活動論」、「地域栄養活動論実習」および「総合演習」
平成28年度および平成29年度の入学生
「臨地実習Ⅰ」および「臨地実習Ⅱ」については、「給食経営管理論Ⅰ」、「給食

経営管理論実習Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅱ」および「総合演習」
「臨地実習Ⅲ」および「臨地実習Ⅳ」については、「給食経営管理論Ⅰ」、「給食経営管理論Ⅱ」、「給食経営管理論実習Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅰ」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養学Ⅳ」、「臨床栄養学実習Ⅰ」、「臨床栄養学実習Ⅱ」および「総合演習」
「臨地実習Ⅴ」については、「公衆栄養学Ⅰ」、「公衆栄養学Ⅱ」、「公衆栄養学実習」および「総合演習」

平成30年度以降の入学生
「臨地実習Ⅰ」および「臨地実習Ⅱ」については、「給食経営管理論Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅱ」および「総合演習Ⅰ」
「臨地実習Ⅲ」および「臨地実習Ⅳ」については、「給食経営管理論Ⅰ」、「給食経営管理論Ⅱ」、「給食経営管理論実習Ⅰ」、「給食経営管理論実習Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅰ」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学実習Ⅰ」、「総合演習Ⅰ」および「総合演習Ⅱ」
「臨地実習Ⅴ」については、「公衆栄養学Ⅰ」および「総合演習Ⅱ」

（科目の履修）

第５条　平成29年度以前の入学生が専門科目の「総合演習」を履修するためには、１、２年次に開講される専門基礎科目および専門科目の必修科目のうち、単位を修得できていない科目が２科目以下であること。平成30年度以降の入学生が専門科目の「総合演習Ⅰ」および「総合演習Ⅱ」を履修するためには、１、２年次に開講される専門基礎科目および専門科目の必修科目のうち、単位を修得できていない科目が２科目以下であること。

２　専門科目の「特別演習Ⅱ」を履修するためには、「特別演習Ⅰ」の単位を修得済みまたは履修中であること。

（通年科目の単位認定）

第６条　平成29年度以前の入学生が「総合演習」を再履修する場合に限り、その単位認定を前期終了時に行なうことができる。平成30年度以降の入学生が「総合演習Ⅰ」を再履修する場合に限り、その単位認定を前期終了時に行なうことができる。

（管理栄養士国家試験）

第７条　平成29年度以前の入学生が管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、「特別演習Ⅱ」の単位を修得済みであること。

（栄養教育実習）

第８条　「栄養教育実習」を履修するためには、次の栄養教諭免許課程の単位を修得済みであること。

平成27年度以前の入学生
「教職概論」「教育課程論（中等）」「生徒指導論」「教育相談」「栄養教諭論」「食に関する指導論」

平成28年度以降の入学生
「教職概論（中等）」「教育課程論（中等）」「生徒指導論」「教育相談（中等）」「栄養教諭論」「食に関する指導論」

２　「栄養教育実習」は４年次に行なう。

３　「栄養教育実習」で、実習の出席日数および事前事後指導の出席時数のいずれかでも５分の４に満たない場合は、成績評価を行なわない。

（教職実践演習）

第９条　「教職実践演習（栄養教諭）」を履修するためには、当年度中に栄養教諭一種免許状の取得要件を充足する見込みでなければならない。

（教職免許状科目の単位）

第10条　教養科目、専門基礎科目および専門科目に属さない教育職員免許状（栄養）にかかる科目の単位は卒業要件の単位として認めない。

（改廃）

第11条　この内規の改廃は、本学教務委員会ならびに教授会の議を経て学長が行なう。

附　則　この内規は、平成19年４月12日から施行する。

＜中略＞

附　則　この内規は、平成30年４月１日から施行する。

健康科学部　人間環境デザイン学科　内規

（目的）

第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）学則ならびに本学履修に関する規則、授業に関する規則および試験に関する規則に定めるもののほか、健康科学部人間環境デザイン学科（以下「本学科」という。）にかかる授業科目の履修方法等に関し、必要な事項を定める。

（コースの所属）

第２条　本学科に入学した者は次のいずれかのコースに所属しなければならない。

⑴　建築・まちづくりコース

⑵　インテリアデザインコース

⑶　造形デザインコース（平成30年度以前の入学生）

アパレル・造形コース（平成31年度以降の入学生）

２　各コースの選択は２年次開始時とする

３　所属するコース以外の科目については履修できないことがある。

４　コース変更は、学生本人からの申請により本学科会議の議を経て行なう。

（出席等）

第３条　全ての講義・演習・実験・実習科目は、全日出席を原則とする。

（科目の履修）

第４条　科目名称にⅠ、Ⅱ、ⅢおよびⅣの数字がつけられた科目は数の小さい科目から順に履修するものとし、原則として数の小さい科目の単位を修得していなければ、次の科目を履修することはできない。上記のことは、専門基礎科目および専門科目に限り適用する。

（卒業研究）

第５条　「卒業研究」を履修するためには原則として次の条件をすべて満たしていなければならない。

⑴　修得単位数が３年次終了時点で90単位以上であること。

⑵　「プロジェクトゼミA」の単位を修得していること。

２　「卒業研究」の単位修得のためには、中間発表をした上で、研究発表で合格しなければならない。

３　「卒業研究」を再履修する場合および前期末で在学期間が通算４年以上となる場合、その単位認定を前期終了時に行なうことができる。

（教育実習）

第６条　中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）に必要な教育実習は４年次に行なう。

２　「家庭科教育実習」で出席日数が５分の４に満たない場合および「家庭科教育実習指導」で出席時数が５分の４に満たない場合は、当該科目の単位は認定しない。

３　実習を履修するためには次の各号に掲げる条件をすべて満たしていなければならない。

⑴　次の科目の単位をすべて修得済みであること。

平成26年度以前の入学生

「教職概論」「教育原理」「教育心理学」「特別活動指導法（中等）」「教育課程論（中等）」「生徒・進路指導論（中等）」「教育相談」

平成27年度入学生

「教職概論」「教育原理（中等）」「教育心理学（中等）」「特別活動指導法（中等）」「教育課程論（中等）」「生徒・進路指導論（中等）」「教育相談」

平成28年度以降の入学生

「教職概論（中等）」「教育原理（中等）」「教育心理学（中等）」「特別活動指導法（中等）」「教育課程論（中等）」「生徒・進路指導論（中等）」「教育相談（中等）」

⑵　次の科目より８科目以上の単位を修得済みであること。

「家庭経営学」「アパレル構成論」「衣生活論」「健康と食生活」「住生活論」「調理実習」「保育学」「家庭電気・機械」「家庭科指導法Ⅰ」「家庭科指導法Ⅱ」

⑶　「家庭科教育実習指導」を履修済みであること。

（教職実践演習）
第７条　「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、当年度中に中学校教諭一種免許状（家庭）または高等学校教諭一種免許状（家庭）の取得要件を充足する見込みでなければならない。
（教職免許状科目の単位）
第８条　教養科目、専門基礎科目および専門科目に属さない教育職員免許状（家庭）にかかる科目の単位は卒業要件の単位として認めない。
（改廃）
第９条　この内規の改廃は、本学教務委員会ならびに教授会の議を経て学長が行なう。

附　則　この内規は、平成19年７月12日から施行する。
＜中略＞
附　則　この内規は、令和２年４月１日から施行する。

教育学部　現代教育学科　内規

（目的）
第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）学則ならびに本学履修に関する規則、授業に関する規則および試験に関する規則に定めるもののほか、教育学部現代教育学科（以下「本学科」という。）にかかる授業科目の履修方法等に関し、必要な事項を定める。
（コースの所属）
第２条　本学科に入学した者は次のいずれかのコースに所属しなければならない。
⑴　学校教育コース
⑵　幼児教育コース
⑶　保健教育コース
⑷　英語教育コース
２　各コースの選択は入学時とする。
３　原則としてコースの変更は認めない。
（出席等）
第３条　全ての講義・演習・実験・実習科目は全日出席を原則とする。
２　教育実習にかかる科目においては、出席日数が５分の４に満たない場合は、成績評価を行なわない。
３　教育実習指導にかかる科目においては、出席時数が５分の４に満たない場合は、成績評価を行なわない。
４　「養護臨床実習」においては、病院実習の出席日数および演習の出席時数のいずれかでも５分の４に満たない場合は、成績評価を行なわない。
５　「保育実習」の実習時間が10日間80時間に満たない場合は、成績評価を行なわない。また、「保育実習指導」においては、出席時数が５分の４に満たない場合および事前連絡なく２回以上欠席した場合には成績評価を行なわない。
（科目の履修）
第４条　科目名称にⅠ、Ⅱ、ⅢおよびⅣの数字がつけられた科目は数の小さい科目から順に履修するものとし、数の小さい科目の単位を修得していなければ、次の科目を履修することはできない。
２　「英語科指導法Ⅰ」は、「英語Ａ」、「英語Ｂ」および「英語のしくみ」の単位を修得した者のみ履修できる。
３　「養護臨床実習」を履修するためには、「学校看護Ⅲ」を単位修得済または履修していること。
（教育実習）
第５条　教育実習は次のとおり行なうことを原則とする。
⑴　「小学校教育実習Ａ」は３年次以降に行ない、その期間は４週間とする。「小学校教育実習Ｂ」は４年次に行ない、その期間は２週間とする。
⑵　「幼稚園教育実習Ａ」は３年次以降に行ない、その期間は４週間とする。「幼稚園教育実習Ｂ」は４年次に行ない、その期間は２週間とする。
⑶　「養護実習」は３年次以降に行ない、

その期間は４週間とする。

(4)「英語科教育実習（中）」は４年次に行ない、その期間は４週間とする。

(5)「英語科教育実習（高）」は４年次に行ない、その期間は２週間とする。

(6)「特別支援教育実習」は４年次に行ない、その期間は２週間とする。

2　実習を履修するための条件は次のとおりとする。

(1)「小学校教育実習Ａ」「小学校教育実習Ｂ」を履修するためには、次表ア～オの条件をすべて満たしていなければならない。

ア	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	教職概論（初等） 教育原理（初等） 教育心理学（初等） 教育課程論（初等） 特別支援教育入門Ｂ 現代教育論	すべて単位修得済であること	教職概論（初等） 教育原理（初等） 教育心理学（初等） 教育課程論（初等） 現代教育論	すべて単位修得済であること	教職概論（初等） 教育原理（初等） 教育心理学（初等） 教育課程論（初等） 生徒･進路指導論（初等） 現代教育論	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
	生徒･進路指導論（初等）	単位修得済または実習履修時に履修していること	生徒･進路指導論（初等）	単位修得済または実習履修時に履修していること		

イ	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	国語科概論 社会科概論 算数科概論 理科概論 生活科概論 音楽科概論 図工科概論 家庭科概論 体育科概論 小学校英語概論	左記10科目のうち８科目以上の単位修得済であること	国語科概論 社会科概論 算数科概論 理科概論 生活科概論 音楽科概論 図工科概論 家庭科概論 体育科概論	左記９科目のうち７科目以上の単位修得済であること	国語科概論 社会科概論 算数科概論 理科概論 生活科概論 音楽科概論 図工科概論 家庭科概論 体育科概論	左記９科目のうち７科目以上の単位修得済または実習履修時に履修していること

ウ	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 小学校英語指導法 道徳指導法（初等） 特別活動指導法（初等） 教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（初等）	左記13科目のうち４科目以上の単位修得済であること（なお、実習履修時に９科目以上履修するか、または単位修得済としておくこと）	国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 道徳指導法（初等） 特別活動指導法（初等） 教育方法･技術論（初等）	左記12科目のうち４科目以上の単位修得済であること（なお、実習履修時に８科目以上履修するか、または単位修得済としておくこと）	国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 道徳指導法（初等） 特別活動指導法（初等） 教育方法･技術論（初等）	左記12科目のうち８科目以上の単位修得済または実習履修時に履修していること

エ	科目名	条件
	小学校教育実習指導A 小学校教育実習指導B	「小学校教育実習Ａ」を履修する場合には「小学校教育実習指導Ａ」を、「小学校教育実習Ｂ」を履修する場合には「小学校教育実習指導Ｂ」を併せて履修すること

オ	科目名	条件
	小学校一日見学 幼稚園一日見学	いずれか単位修得済であること、ただし「幼児教育実践論」をもってこれに代えることができる

⑵ 「幼稚園教育実習Ａ」「幼稚園教育実習Ｂ」を履修するためには、次表ア～オの条件をすべて満たしていなければならない。

ア	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	教職概論（幼保） 教育原理（初等） 教育心理学（初等） 現代教育論 特別支援教育入門B	すべて単位修得済であること	教職概論（幼保） 教育原理（初等） 教育心理学（初等） 現代教育論	すべて単位修得済であること	教職概論（幼保） 教育原理（初等） 教育心理学（初等） 教育課程論（幼保） 現代教育論	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
	教育課程論（幼保）	単位修得済または実習履修時に履修していること	教育課程論（幼保）	単位修得済または実習履修時に履修していること		

イ	平成30年度以降の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件
	国語科概論 算数科概論	すべて単位修得済であること	国語科概論 算数科概論	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること

ウ	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	保育内容の指導法「健康」 保育内容の指導法「人間関係」 保育内容の指導法「環境」 保育内容の指導法「言葉」 保育内容の指導法「音楽表現」 保育内容の指導法「造形表現」 保育内容の指導法「運動遊び」	左記７科目のうち４科目以上の単位修得済であること	保育内容の研究「健康」 保育内容の研究「人間関係」 保育内容の研究「環境」 保育内容の研究「言葉」 保育内容の研究「音楽表現」 保育内容の研究「造形表現」 保育内容の研究「運動遊び」	左記７科目のうち４科目以上の単位修得済であること	保育内容の研究「健康」 保育内容の研究「人間関係」 保育内容の研究「環境」 保育内容の研究「言葉」 保育内容の研究「音楽表現」 保育内容の研究「造形表現」 保育内容の研究「運動遊び」	左記７科目のうち４科目以上の単位修得済または実習履修時に履修していること

エ	科目名	条件
	幼稚園教育実習指導A 幼稚園教育実習指導B	「幼稚園教育実習Ａ」を履修する場合には「幼稚園教育実習指導Ａ」を、「幼稚園教育実習Ｂ」を履修する場合には「幼稚園教育実習指導Ｂ」を併せて履修すること

オ	科目名	条件
	幼児教育実践論	単位修得済であること

⑶ 「養護実習」を履修するためには、次表ア～オの条件をすべて満たしていなければならない。

ア	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	教職概論（中等） 教育原理（中等） 教育心理学（中等） 教育課程論（中等） 現代教育論 特別支援教育入門A	すべて単位修得済であること	教職概論（中等） 教育原理（中等） 教育心理学（中等） 教育課程論（中等） 現代教育論	すべて単位修得済であること	教職概論（中等） 教育原理（中等） 教育心理学（中等） 教育課程論（中等） 現代教育論	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること

イ	平成30年度以降の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件
	学校保健 養護概説 健康相談 学校看護Ⅰ 学校看護Ⅱ 学校看護Ⅲ	すべて単位修得済であること	学校保健 養護概説 健康相談 学校看護Ⅰ 学校看護Ⅱ 学校看護Ⅲ	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること

ウ	平成30年度以降の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件
	衛生学 公衆衛生学 栄養学 解剖生理学 精神保健学 救急医学	左記６科目のうち３科目以上の単位修得済であること	衛生学 公衆衛生学 栄養学 解剖生理学 精神保健学 救急医学	左記６科目のうち３科目以上単位修得済または実習履修時に履修していること

エ	科目名	条件
	養護実習指導	単位修得済または実習履修時に履修していること

オ	科目名	条件
	小学校一日見学 幼稚園一日見学	いずれか単位修得済であること、ただし「幼児教育実践論」をもってこれに代えることができる

⑷ 「英語科教育実習（中）」「英語科教育実習（高）」を履修するためには、次表ア～ウの条件をすべて満たしていなければならない。

ア	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	教職概論（中等） 教育原理（中等） 教育心理学（中等） 教育課程論（中等） 教育方法・技術論（総合的な学習の時間の指導法を含む）（中等） 教育相談（中等） 現代教育論 特別支援教育入門A	すべて単位修得済であること	教職概論（中等） 教育原理（中等） 教育心理学（中等） 教育課程論（中等） 教育方法・技術論（中等） 教育相談（中等） 現代教育論	すべて単位修得済であること	教職概論（中等） 教育原理（中等） 教育心理学（中等） 教育課程論（中等） 教育方法・技術論（中等） 教育相談（中等） 現代教育論	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること

イ	平成31年度以降の入学生		平成30年度の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件	科目名	条件
	英語A 英語B オーラルコミュニケーションA オーラルコミュニケーションB 英語のしくみ 英語の歴史 特級英語A 特級英語B	すべて単位修得済であること	英語A 英語B オーラルコミュニケーションA オーラルコミュニケーションB 英語のしくみ 英語の歴史 特級英語A 特級英語B	すべて単位修得済であること	英語A 英語B オーラルコミュニケーションA オーラルコミュニケーションB 英語のしくみ 英語の歴史 特級英語A 特級英語B 異文化コミュニケーション論A 異文化コミュニケーション論B	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること
	異文化コミュニケーション論A 異文化コミュニケーション論B	すべて単位修得済または実習当該年度に履修すること	異文化コミュニケーション論A 異文化コミュニケーション論B	すべて単位修得済または実習当該年度に履修すること		
	欧米の文化と社会A 欧米の文化と社会B	いずれか単位修得済であること	欧米の文化と社会A 欧米の文化と社会B	いずれか単位修得済であること	欧米の文化と社会A 欧米の文化と社会B	いずれか単位修得済または実習履修時に履修していること
	英語文学と子ども 英語文学と教育	いずれか単位修得済であること	英米文学と子ども 英米文学と教育	いずれか単位修得済であること	英米文学と子ども 英米文学と教育	いずれか単位修得済または実習履修時に履修していること
	英語文学史A 英語文学史B	いずれか単位修得済または実習当該年度に履修すること	英米文学史A 英米文学史B	いずれか単位修得済または実習当該年度に履修すること	英米文学史A 英米文学史B	いずれか単位修得済または実習履修時に履修していること
	英語学講読A 英語学講読B	いずれか単位修得済であること	英語学講読A 英語学講読B	いずれか単位修得済であること	英語学講読A 英語学講読B	いずれか単位修得済または実習履修時に履修していること

ウ	科目名	条件
	英語科指導法Ⅰ 英語科指導法Ⅱ 英語科指導法Ⅲ 英語科指導法Ⅳ	左記４科目のうち２科目以上の単位修得済または実習履修時に履修していること

⑸ 「特別支援教育実習」を履修するためには、次表ア、イの条件、さらに平成31年度以降の入学生はウに定めるGPA基準の条件をすべて満たしていなければならない。

ア	実習種別	条件
	小学校教育実習 幼稚園教育実習 英語科教育実習（中） 英語科教育実習（高）	いずれか実習済または特別支援教育実習と同年度に実習を行うこと

イ	平成30年度以降の入学生		平成29年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件
	特別支援教育論 知的障害者の心理 知的障害者の生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 知的障害者教育論Ⅰ 知的障害者教育論Ⅱ 肢体不自由者教育論 病弱者教育論	すべて単位修得済であること	特別支援教育論 知的障害者の心理 知的障害者の生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 知的障害者教育論Ⅰ 知的障害者教育論Ⅱ 肢体不自由者教育論 病弱者教育論	すべて単位修得済または実習履修時に履修していること

ウ　原則として２年次終了時点で全履修科目の累積GPAが2.00以上であること。または特別支援教諭一種免許状の課程に含まれる科目のみの累積GPAが2.50以上であること。

（保育実習）

第６条　保育実習は以下のとおり行なうことを原則とする。

⑴ 「保育実習Ⅰ」は２年次に行ない、その期間は保育所10日間、施設10日間の20日間とする。

⑵ 「保育実習ⅡＡ」もしくは「保育実習ⅡＢ」のいずれかは２年次に行ない、その期間は10日間とする。

２　「保育実習Ⅰ」「保育実習ⅡＡ」「保育実習ⅡＢ」を履修するためには次表ア～ウの条件をすべて満たしていなければならない。

ア	平成31年度以降の入学生		平成29・30年度の入学生	
	科目名	条件	科目名	条件
	保育原理 教育原理（初等） 教職概論（幼保） 保育の心理学 子どもの理解と援助演習 子どもの保健 保育内容の指導法「健康」 保育内容の指導法「言葉」 保育内容の指導法「環境」 保育内容の指導法「造形表現」 保育内容の指導法「音楽表現」 絵画演習 幼児と人間関係 幼児と言葉 幼児と環境 幼児と表現 幼児と健康 乳児保育 障害児保育演習 社会的養護演習	29単位以上を修得済または実習履修時に履修していること	保育原理 教育原理（初等） 教職概論（幼保） 保育の心理学A 保育の心理学B 子どもの保健A 子どもの保健B 保育内容の研究「健康」 保育内容の研究「言葉」 保育内容の研究「音楽表現」 保育内容の研究「環境」 保育内容の研究「造形表現」 乳児保育演習 障害児保育演習 社会的養護内容演習 絵画演習	26単位以上を修得済または実習履修時に履修していること

イ	科目名	条件
	保育実習指導Ⅰ 保育実習指導ⅡA 保育実習指導ⅡB	「保育実習Ⅰ」を履修する場合は「保育実習指導Ⅰ」を、「保育実習ⅡA」を履修する場合は「保育実習指導ⅡA」を、「保育実習ⅡB」を履修する場合には「保育実習指導ⅡB」を併せて履修すること

ウ	科目名	条件
	幼児教育実践論	単位修得済であること

（教職実践演習）

第７条　「教職実践演習」を履修するためには、当該年度中に次表に示す対象となる免許状・資格の取得要件を充足する見込みでなければならない。

科目名	対象となる免許状・資格
保育・教職実践演習（幼稚園）	幼稚園教諭一種または保育士
教職実践演習（幼・小）	幼稚園教諭一種または小学校教諭一種
教職実践演習（中・高）	中学校教諭一種（英語）または高等学校教諭一種（英語）
教職実践演習（養護教諭）	養護教諭一種

（セメスター留学）

第８条　「セメスター留学」とは、「英語コミュニケーション実地演習Ⅰ」、「英語コミュニケーション実地演習Ⅱ」、「英語コミュニケーション実地演習Ⅲ」、「異文化コミュニケーション論実地演習」、「英語文学実地演習」、「英語教育学実地演習」および「セメスター留学実地講義」を総称するも

のとする。
2　「セメスター留学」は、「英語Ａ」、「英語Ｂ」および「英語のしくみ」の単位を修得した者のみ履修できる。
（通年科目の単位認定）
第９条　休学・留学等により特に必要と認められる場合、「卒業研究指導ゼミⅠ」および「卒業研究指導ゼミⅡ」は、その履修を後期からとすることができる。
2　「卒業研究指導ゼミⅠ」および「卒業研究指導ゼミⅡ」は、休学・留学などの期間を除いた通算１年間の履修後に単位認定を受けることができる。
（卒業研究）
第10条　「卒業研究」の履修にはそれまでに通算３年６か月以上の在学期間が必要である。
2　「卒業研究」の単位認定は、前期末で在学期間が通算４年以上となる場合、それを前期終了時に行なうことができる。
3　前項の前期で履修した「卒業研究」については、本人の願い出により取り消すことができる。
（改廃）
第11条　この内規の改廃は、本学教務委員会ならびに教授会の議を経て学長が行なう。
附　則　この内規は、平成18年５月11日から施行する。
＜中略＞
附　則　この内規は、令和２年４月１日から施行する。ただし、平成28年度以前の入学生については、従前の内規による。

畿央大学学納金納入規則

（目的）
第１条　この規則は、畿央大学（以下「本学」という。）学則に規定する学納金の納入方法に関し必要な事項を定める。
2　本学の学納金の納入方法については、本学諸規則に別段の定めがある場合のほか、この規則の定めるところによる。
（定義）
第２条　この規則において使用する表記は、本学学則のとおりとする。
2　「授業料」と「教育充実費」を合わせ「授業料等」と表記する。
3　諸費用および手数料等と規定される「その他の納付金」には、本学関連諸規則に規定される諸会費を含むものとする。諸会費は、学生自治会費（畿友会費）、後援会費および同窓会費（畿桜会費）等とする。ただし、それぞれの会則により本学が徴収すると規定されているものに限る。
（納入期日）
第３条　授業料等は前学期および後学期の２回に分けて、当該年度の次の期日までに納入しなければならない。
前学期分　４月20日
後学期分　10月20日
2　新入学生（編入学生および転入学生を含む）の入学時における入学金、授業料等は、別に定める期日までに納入しなければならない。
3　その他の納付金は、別に定める期日までに納入しなければならない。
（延納）
第４条　経済的な事情により前条の期日までに学納金の全額を納入できない者は、当該年度の次に定める期日までにその事情を詳記し、保証人連署捺印の上、「延納許可願」を提出し、本学学長（以下「学長」という。）に延納の許可を受けなければならない。
前学期分　４月20日
後学期分　10月20日
2　延納を許可された者は、学納金の全額を当該年度の次の期日までに納入しなければならない。
前学期分　６月30日
後学期分　12月20日
（分納）
第５条　経済的な事情により第３条の期日までに学納金の一部を納入できない者は、当

該年度の次に定める期日までにその事情を詳記し、保証人連署捺印の上、「分納許可願」を提出し、学長に分納の許可を受けなければならない。

前学期分　4月20日
後学期分　10月20日

2　分納は2回均等分割納入とする。

3　分納を許可された者は、当該年度の次の期日までに納入しなければならない。

前学期分（第1回）5月31日
（第2回）6月30日
後学期分（第1回）11月20日
（第2回）12月20日

4　分納を許可された者が、前項に規定する期日までに納入しないときは、その翌日をもって分納の許可を取消す。

（未納者の措置）

第6条　前3条に規定する納入期日までに授業料等を納入しなかった者は、本学学則第24条の規定により、督促の上教授会の議を経て学長が除籍する。

2　前項に関わらず、やむを得ない事情があると学長が認めた場合の扱いは、別に定める。

（休学中の在籍料）

第7条　休学が認められた者または休学を命じられた者は、その休学期間中は学期を単位として授業料等の納入に代え、在籍料を納入するものとする。在籍料は、学期につき30,000円とする。また、その他の納付金を徴収しないことがある。

2　学期途中から、または学期の途中までの休学期間については、当該学期に関して、在籍料ではなく、授業料等を全額納入するものとする。

（修業年限を超えて在学する者の特例）

第8条　単位の未修得により学部の修業年限を超えて在学する者の授業料等は半額とする。また、その他の納付金を徴収しないことがある。

（事務）

第9条　この規則に関する事務は、本学大学事務局教育推進部および大学総務部が行なう。

（雑則）

第10条　この規則に定めのない事項については、学長が定める。

（改廃）

第11条　この規則の改廃は、教授会の議を経て学長が行なう。

附　則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。
これにより、学納金の納入時期・方法に関する内規は廃止する。
〈中略〉
附則
この規則は、令和2年4月1日から施行する。

学生生活に関する規則

第1章　総則

（目的）

第1条　この規則は、畿央大学（以下、「本学」という。）に在学する学生（以下「学生」という。）が、建学の精神と教育目標に基づき充実した学生生活をおくるために必要な事項を定める。

（諸規則の遵守）

第2条　学生は、この規則のほか、本学が別に定める諸規則を遵守するとともに社会の一員として自らの行動に責任を持たなければならない。

第2章　学生証

（学生証の交付）

第3条　本学は、入学と同時に学生証を交付する。

2　学生は、学生証を常に携帯し、本学教職員の求めがあったときは、これを提示しなければならない。

3　学生は、学生証を他人に貸与または譲与してはならない。

（学生証の返納）

第４条　学生証は、卒業、退学、除籍またはその有効期間を過ぎたときは、直ちに学生支援センターに返納しなければならない。

（学生証の再交付）

第５条　学生証を紛失、汚損したときは、直ちに学生支援センターに届け出て再交付を受けなければならない。

第３章　生活・健康

（通学）

第６条　学生は、通学の経路、手段について学生支援センターに届け出なければならない。

2　通学は、原則として公共交通機関を利用するものとし、自動車による通学は禁止する。

3　原付、単車および自転車で通学し、学内に駐輪する者は、学生支援センターに届け出て許可を得るものとする。

4　原付、単車および自転車は、所定の駐輪場に駐輪するものとする。

5　学内に駐輪する原付・単車は別表に定める条件を満たすものについて許可する。

6　特別の事情により、自動車による通学、学内乗り入れの必要が生じた場合は、学生支援センターに届け出て許可を得るものとする。

（学生への連絡）

第７条　本学から学生への通知・告知、その他の連絡は、学内の掲示板への掲示、KiTss（学生総合支援システム）への掲出にて行なう。また、学生の便宜のため、内容によっては本学が学生に付与するメールアドレスへの配信を行なう。

2　学外からの学生への私的な電話、郵便物等の連絡は原則として取りつがない。

3　学生団体等への郵便物等については学生支援センターで保管し、代表者へ通知する。

（学内秩序）

第８条　学生は、個人、団体を問わず学内の秩序を乱してはならない。

2　学生は、いかなる場合においても暴力、ハラスメントにあたる行為をしてはならない。また、個人または集団による教育研究活動の妨害や物的破損行為を行なってはならない。

3　危険物の学内への持ち込みは禁止する。

（禁煙等）

第９条　本学敷地内および周辺道路での喫煙を禁止する。

2　学生は、学内において飲酒してはならない。ただし、学長が特に認めた場合はこの限りでない。

（健康管理）

第10条　学生は、毎年１回学校保健安全法の定めによって行なう健康診断を受診しなければならない。

2　学生は、健康診断の結果により本学が行なう健康上の指導に従い健康管理に努めなければならない。

（警報発令時の活動）

第11条　暴風警報、特別警報が発令された場合の学内諸活動の取り扱いは、授業に関する規則に準じるものとし、授業が中止された場合は、全ての学内活動を中止するものとする。

（海外渡航）

第12条　学生が海外渡航する場合は、「海外渡航届」に必要事項を記入し、学生支援センターに届け出るものとする。

第４章　課外活動

（課外活動の目的）

第13条　課外活動は、学生自身を主体とした活動を通して自主性と協力の精神を培い、人格の形成と個性の伸長をめざすことを目的とする。

2　前項の活動は、入学と同時に全学生が会員となる学生自治会（畿友会）の活動、その傘下のクラブ、サークルおよび有志等による団体の活動を指し、原則として、それぞれの団体の責任の下に運営される。

（入退会の自由）

第14条　クラブ、サークルおよび有志による団体等は、加入、脱退について学生個人の

意思を尊重しなければならない。

（活動の停止、解散）

第15条　学生または団体の活動が、本学の教育理念に反し、または本学の秩序を乱す恐れがあると認めたときは、学長は、活動を停止または当該団体を解散させることができる。

（サークルの結成、昇格、継続等）

第16条　サークルの結成、クラブへの昇格および外部団体への加入は、学生自治会（畿友会）の承認受けたものに対して学生支援センターが許可する。

2　サークルおよびクラブが、翌年度も引き続き活動する場合は、３月末日までに学生自治会（畿友会）に申請し、承認を受け、学生支援センターに許可されなければならない。

3　前項の申請を行なわない団体は解散したものとみなす。

4　サークルおよびクラブは、本学専任教員を顧問としなければならない。

（学外活動）

第17条　団体が研修旅行・合宿または対外試合等、学外で活動するときは、所定の様式により学生支援センターに届け出なければならない。

（掲示、立看板等）

第18条　学生または団体が、掲示および立看板等の設置をするときは、事前に当該掲示物等を学生支援センターに提出し、許可を得なければならない。

2　学生支援センターの許可のない掲示物、立看板等は、これを撤去する。

（放送）

第19条　学生または団体が本学の放送施設を使用したいときは学生支援センターに届け出て許可を受けなければならない。

2　放送は原則として授業時間外とする。

3　学生が、拡声機による放送あるいは演説等を行なおうとするときは、学生支援センターに届け出て許可を受けなければならない。

第５章　学内施設、設備の使用

（学内施設、設備の使用）

第20条　学生または団体が、教室その他の施設、設備を使用しようとするときは、施設使用願を学生支援センターに提出し、許可を受けなければならない。施設、設備使用の詳細は、学生ハンドブックに定める。

2　学生または団体が、故意または重大な過失により施設、設備を汚損、損傷または滅失させたときは、その責任に応じて賠償するものとする。

（ロッカーの使用）

第21条　学生は、実習科目用のロッカーおよび個人用貸出ロッカー（有料）を使用できる。

2　学生がロッカーを不正に占有し、または使用期限を過ぎても明け渡さない場合、本学の管理担当部署は、強制的に解錠し収納物を処分することができる。

第６章　雑則

（改廃）

第22条　この規則の改廃は、教授会の議を経て学長が行なう。

附　　則

この規則は、平成17年12月９日から施行する。

＜中略＞

附　　則

この規則は、平成27年４月１日から施行する。

別表（第６条５項関係）

車両の所有者	本人または家族
原付・単車の任意保険加入	対人賠償（１名につき）無制限
	対物賠償（額は任意）
単車の排気量	400CC以下

畿央大学学生懲戒規程

（目　的）

第１条　この規程は、畿央大学学則第57条および畿央大学大学院学則第44条（以下「学則」という。）に規定する学生の懲戒に関して必要な事項を定める。

（懲戒の基本方針）

第２条　懲戒は、学生が第４条の懲戒の対象となる行為を行なった場合に、学校教育法第11条および学校教育法施行規則第26条に基づき行うものである。

２　懲戒は、その対象となる行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮に基づいて行なうものとする。

（懲戒の対象となる者）

第３条　この規程において懲戒の対象となる者は、畿央大学および畿央大学大学院（以下「本学」という。）に在籍する学部学生および大学院生（以下「学生」という。）とする。

２　本学の科目等履修生、研究生、特別聴講生については別に定める。

（懲戒の事由）

第４条　懲戒の対象となりうる行為は、次の各号に掲げるものとする。

⑴　犯罪行為

⑵　人権を侵害する行為

⑶　ハラスメント行為

⑷　試験等における不正行為および論文等の作成における学問的倫理に反する行為

⑸　学生の学習、研究および教職員の教育研究活動等の正当な活動を妨害する行為

⑹　本学の規則に違反する行為

⑺　その他学生の本分に反する行為

（懲戒の種類）

第５条　懲戒は、次のとおりとする。

⑴　退学は、学生としての身分を剥奪し、再入学は認めない。

⑵　停学は、一定期間の登学を禁止する。停学の期間は、無期または１か月以上６か月以下の有期とする。

⑶　戒告は、文書により注意を与える。

（厳重注意）

第６条　学部長または研究科長は、懲戒に相当しない場合でも、文書または口頭により厳重注意を行うことができる。

（事実関係の調査）

第７条　学生に懲戒の対象となる行為またはその疑いの生じたときは、学部長または研究科長は、速やかに調査委員会を設置する。

２　調査委員会は次に掲げる者をもって構成し、委員長は学部長または研究科長が指名する。

⑴　当該学生が所属する学科または研究科の教員　　若干名

⑵　事務局長が推薦する事務職員若干名

⑶　その他、学部長または研究科長が必要と認めた教員　　若干名

３　調査委員会は、当該学生に対する面談を含め、事実関係の調査および確認を行なう。なお、面談による事実確認を行なうことができない場合、文書等によって行なうことができる。

４　前項の調査にあたり、調査委員会委員長は、事前に学生に対して、調査する旨を口頭または文書で告知し、当該事実に関する弁明の機会を与えなければならない。

５　前二項の定めにかかわらず、行為が重大犯罪であり、事実が明白と認められる等特段の事情がある場合はこの限りではない。

６　調査委員会は調査の結果を文書により可及的速やかに学部長または研究科長に報告する。

７　第４条に定める懲戒の対象となる行為のうちハラスメント行為に該当する場合の事実関係の調査等は「学校法人冬木学園ハラスメントの防止等に関する規則」に定める手続きによるものとする。

（自宅待機）

第８条　学部長または研究科長は、懲戒が決定するまでの間、当該学生に対して自宅待機の措置をとることができる。

２　教育的観点から特に必要があると認めら

れるときは、自宅待機の期間の全部または一部を停学期間に算入することができるものとする。

（懲戒決定までの手続き）

第９条　学部長または研究科長は、調査委員会の報告を受け、懲戒が相当と判断した場合、学生懲戒委員会に発議し、懲戒手続きを開始する。

２　学生懲戒委員会は、当該学生の懲戒を必要と認めた場合、適切な懲戒内容を教授会または大学院委員会の審議に付す。

３　懲戒は、教授会または大学院委員会の議を経て学長が決定する。

４　ハラスメント行為にかかる懲戒の場合は「学校法人冬木学園　ハラスメントの防止等に関する規則」17条２項にもとづき、理事長が学生懲戒委員会に付託することにより懲戒手続きを開始する。

（学生懲戒委員会）

第10条　学部学生に対する学生懲戒委員会（以下、「委員会」という。）は、本学専任教職員より次に掲げる者をもって構成する。

⑴　学部長
⑵　学科長
⑶　事務局長
⑷　教育推進部長
⑸　学長が指名する者　　若干名

２　大学院生に対する委員会は前項の学部長を研究科長、学科長を研究科主任に読み替える。

３　委員の互選により選出された委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

４　委員会は、委員の３分の２の出席をもって成立する。

５　委員会の議事は、出席委員の３分の２をもって決する。

６　委員会が必要と認めたときは、当該学生その他関係者、専門家の出席を求めて事情を聴取し、または意見を求めることができる。

（通告および通知）

第11条　学長は、学生に対し懲戒の内容を文書により通告する。

２　学長は、学生の保証人に対し懲戒の内容を文書により通知する。

（告示）

第12条　懲戒を行なった場合、学長は遅滞なく告示を行う。

２　告示する事項は、学部または研究科、学科、回生、懲戒の種類、懲戒理由とする。

３　告示期間は、１か月とする。

４　特段の事情がある場合、教授会または大学院委員会の議を経て、当該告示の一部または全部を告示しないことができる。

（不服申し立て）

第13条　懲戒を受けた学生は、告知日より30日以内に、文書により学長に不服申し立てを行なうことができる。

２　学長は、申し立ての趣旨、理由等を勘案の上再審議を決定したときは、委員会に対して再審議を命じるとともに、その旨を当該学生に通知する。なお再審議は、本規程第９条の規定を準用する。

３　学長は当該学生からの異議申し立てを却下する場合、その旨を当該学生に通知する。

（懲戒対象者の退学申し出の取扱い）

第14条　第７条において事情聴取等調査の対象となった学生が、懲戒の決定前に退学の申し出をした場合、懲戒が決定するまでこの申し出を受理しない。

（停学中の指導）

第15条　停学期間中は、担任等が必要に応じて面接等により教育的指導を行なう。

２　学部長または研究科長は、必要と判断される場合、学生の施設利用等を認めることができる。

（無期停学の解除）

第16条　無期停学は、懲戒の発効日から６か月を経過した後でなければ解除できない。

２　学部長または研究科長が、６か月を経過した後に、無期停学の解除が適当であると認めたときは、その解除を発議する。

３　無期停学の解除は、教授会または大学院委員会の議を経て学長が行なう。

４　無期停学解除の学生への通告、保証人への通知は、文書で行なう。

（懲戒に関する記録）

第17条　学部長または研究科長は、懲戒の事

実を学籍簿に記録する。

（事務処理）

第18条　学生の懲戒に関する事務は、教育推進部が行なう。

（改廃）

第19条　この規程の改廃は、教授会および大学院委員会の議を経て学長が行なう。

附　則

この規程は、平成23年２月17日から施行する。

＜中略＞

附　則

平成28年４月１日の学内組織の名称変更により、条文中の「学生支援」を「教育推進」に修正する。

学校法人冬木学園
ハラスメントの防止等に関する指針

平成29年11月16日改定

学校法人冬木学園（以下「学園」という。）は、建学の精神「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」に基づいた教育研究活動を行なっています。その実現のために、学園のすべての学生および職員（教育職員および事務職員、以下同じ）は公正、安全で快適な環境の下に、学習、教育、研究および就業の機会と権利を保障されています。学園では教職員や学生・生徒等すべての構成員が互いの立場を尊重しあう人間関係をつくりあげ、維持することをめざしますが、もしハラスメントが発生した場合、厳正、迅速な手続きによって公正かつ適正に対処します。

Ⅰ　ハラスメントとは

ここでいうハラスメントは、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント（以下「マタニティ･ハラスメント」という。）およびその他のハラスメント（併せて以下「ハラスメント」という。）をさしています。

ハラスメントは、構成員が快適な環境の下で教育・研究活動や管理的業務を行なう場合に大きな障害となり、個人の尊厳や人格を侵害する行為です。ハラスメントにあたるか否かは、行為者の意識に関わらず、「私にとって望まない行動である」という受け手の判断基準が重要です。

1. セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントとは、他の者の意に反する性的な言動であって、他の者に不快感その他の不利益を与え、または学習、教育、研究および就業環境を悪化させるものをいいます。セクシュアル・ハラスメントが発生しないようにするために、職員は他の職員、学生および関係者と接するときには、一人ひとりが次の内容を大切にする必要があります。

・お互いの人格を尊重しあうこと
・お互いが大切なパートナーであるという意識を持つこと
・相手を性的な関心の対象としてのみ見る意識をなくすこと
・異性を劣った性として見る意識をなくすこと

セクシュアル・ハラスメントを行なわないための心構えは、次の通りです。

(1)　性的な言動に対する受止め方には個人間や男女間、その人物の立場等により差があり、セクシュアル・ハラスメントにあたるか否かについては、相手の判断が重要になります。具体的には、次の点について注意する必要があります。

・.親しさを表すつもりの言動であったとしても、本人の意図とは関係なく相手を不快にさせてしまう場合があること

・不快に感じるか否かには個人差があること
・この程度のことは相手も許容するだろうという勝手な憶測をしないこと
・相手との良好な人間関係ができていると勝手な思い込みをしないこと

⑵　相手が拒否し、または嫌がっていることが分かった場合には、同じ言動を決して繰返さないことが大切です。

⑶　セクシュアル・ハラスメントを受けた者が、上司、職員等との人間関係を考え、拒否することができないなど、相手からいつも明確な意志表示があるとは限りません。拒否の意志表示がないことを同意・合意と勘違いしてはいけません。

⑷　勤務時間内または職場内におけるセクシュアル・ハラスメントにだけ注意するのでは不十分です。例えば、職場の人間関係がそのまま持続する歓迎会のような場合において、職員が他の職員、学生にセクシュアル・ハラスメントを行なうことについても同様に注意しましょう。

2. アカデミック・ハラスメント

アカデミック・ハラスメントとは教育・研究活動上指導的立場にある者が、その指導を受ける者に対し、その意に反する差別的な発言や行動を行ない、その指導を受ける者の自由で主体的な学修活動や研究活動、円滑な職務遂行活動を妨げ、個人の尊厳または人格を侵害することを言います。教育・研究活動上指導的立場にある者が、教育・研究上の指導に関連して、不適切な発言や行動をして指導を受ける者に不利益を与えることにより、学生や研究者の自由で主体的な学修活動や研究活動等を妨げることは許されません。高校生徒の学習活動や教員の教育・研究活動についても同様です。

アカデミック・ハラスメントにあたるかどうかは、客観的に判断されます。教育・研究活動上指導的立場にある者が、指導を受ける者の活動を妨げる意図を有しているかいないかは、アカデミック・ハラスメントの存在不存在の判断基準にはなりません。

3. パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントとは、管理上業務上優越的な立場にある者が、その監督し、指導し、育成する権限を不当に行使し、または職務遂行上従属的立場にある者に対し就業の環境を悪化させることを示唆することにより、職務遂行上従属的立場にある者に対し、その意に反する不当な取扱いを行ない、不利益や損害を与え、または個人の尊厳もしくは人格を侵害することを言います。また就業の場で行なわれる言葉や態度による精神的な暴力で、特定の人の人格を傷つける行為も許されるものではありません。

このような行為は、弱い立場にある者の自由意志や自発性を抑圧し、職場のモラルダウン（勤労意欲の低下）等を引起こすことになりかねません。

4. マタニティ・ハラスメント

マタニティ・ハラスメントとは、職場において上司や同僚が、職員の妊娠・出産および育児・介護等に関する制度または措置の利用に関する言動により職員の就業環境を害すること、ならびに妊娠・出産等に関する言動により女性職員の就業環境を害することを言います。

なお、業務分担や安全配慮等の観点から、客観的にみて業務上の必要性に基づく言動によるものは、マタニティ・ハラスメントに該当しません。

5. その他のハラスメント

就労、就学、教育または研究の場におけるハラスメントについて、前述のセクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントの他に、性別による差別意識に基づく言動であって、他の者に不快感その他の不利益を与える「ジェンダー・ハラスメント」等のケースも考えられます。このように、ハラスメントはこの前述の 4 つに限定されるものではありません。

また、ハラスメントはこの 4 つのいずれかに典型的にあてはまる場合もありますが、相互に複雑にからみあいながら発生することも

多く、それぞれの境界は明確なものではありません。

Ⅱ　ハラスメント防止等に関する指針の対象範囲

⑴　学園の構成員

学　生：学園に設置する各学校の大学院生、学生、生徒、園児のほか、留学生、研究生、科目等履修生など、当該学校で教育および研究指導を受ける全ての者

職　員：常勤、非常勤を問わず、学園に設置する学校において学生の教育および研究指導にあたる者および学園の業務を担当する全ての者

⑵　関係者

教育、研究、生活サービス等で広く本学に関係する者（学外機関との間に雇用契約を有し学内で就労する各種職員、臨床実習・教育実習・インターンシップなど学外実習の関係者、進路選択・就職などの関係者、食堂関係業者社員など）学生の課外活動（ボランティア活動、アルバイト、サークル活動など）に関係する者など

⑶　ハラスメントについては生じた場所や時間を問わず対象とします。（過去の被害についても相談することができます。）

⑷　卒業生、講座修了生、退学または除籍により離籍した学生など、現に在籍しているかどうかにかかわりなく相談することができます。

Ⅲ　懲戒処分

ハラスメントの態様等によっては、信用失墜行為、職員または学生・生徒たるにふさわしくない非行等に該当して、しかるべき対応の上で懲戒処分に付されることがあることを十分認識してください。

Ⅳ　就労上または就学上の適正な環境を確保するために認識すべき事項

就労上または就学上の環境は、職員、学生および関係者の協力の下に形成される部分が大きいものです。ハラスメントにより就労上または就学上の環境が害されることを防ぐため、職員は、次の事項について積極的に意を尽くすように努めなくてはいけません。

1. 適正な環境の確保

ハラスメントについて問題提起をする職員、学生および関係者をいわゆるトラブルメーカーと見たり、ハラスメントに関する問題を当事者間の個人的な問題として片づけないこと。職場におけるミーティングを活用することなどにより解決することができる問題については、問題提起を契機として、就労上または就学上の適正な環境の確保のために皆で取組むことを日頃から心がけることが必要です。

2. 周囲に対する気配り

ハラスメントに関する問題の加害者や被害者を出さないようにするために、周囲に対する気配りをし、必要な行動をとること。具体的には、次の事項について十分留意して必要な行動をとる必要があります。

⑴　ハラスメントが見受けられる場合は、注意を促すこと

ハラスメントを契機として、就労上または就学上の環境に重大な悪影響が生じたりしないうちに、機会をとらえて注意を促すなどの対応をとることが必要です。

⑵　被害を受けていることを見聞きした場合には、声をかけて相談に乗ること

被害者は「恥ずかしい」「トラブルメーカーとのレッテルを貼られたくない」「仕返しが怖い」などの考えから、他の人に対する相談をためらうことがあります。被害を深刻にしないように、気が付いたことがあれば、声をかけて気軽に相談に乗ることが大切です。

3. 環境づくり

職場においてハラスメントがある場合には、立場にかかわらず、気持ちよく就労や就学ができる環境づくりをするために、相談窓口や

相談員等に相談するなどの方法をとることをためらわないようにしましょう。

Ⅴ　ハラスメントに起因する問題が生じた場合

1. 基本的な心構え

ハラスメントを受けた場合に、その被害を深刻にしないために、次の事項について認識しておくことが望まれます。

(1)　一人で我慢しているだけでは、問題は解決しないこと。ハラスメントを無視したり、受流したりしているだけでは、必ずしも状況は改善されないということをまず認識することが大切です。

(2)　ハラスメント防止の為の行動をためらわないこと
「トラブルメーカーというレッテルを貼られたくない」「恥ずかしい」などと考えがちですが、被害を深刻なものにしない、他に被害者をつくらない、さらにはハラスメントをなくすことは自分だけの問題ではなく就労上または就学上の適正な環境の形成に重要であるとの考えに立って、勇気を出して行動することが求められます。

2. ハラスメントの被害を受けたと思うときに望まれる対応

教職員および学生はハラスメントを受けた場合、次のような行動をとるよう努めることが望まれます。

(1)　嫌なことは相手に対して明確に意志表示をすること
ハラスメントに対しては毅然とした態度をとること、すなわち、はっきりと自分の意志を相手に伝えることが重要です。しかし、背景に上下関係等が存在する場合には直接相手に言いにくい場合が考えられます。そうした場合には相応する上司に報告し、措置してもらうことも考えられます。

(2)　信頼できる人に相談すること
まず、同僚や友人等身近な信頼できる人に相談することが大切です。また学園の各種相談窓口、相談員に相談してみましょう。

3. 苦情・相談や訴えに対する対応について

学園では、万一、教職員・学生へのハラスメントが起き、苦情・相談や訴えがあったときは、責任を持って次のような対応を取ります。

(1)　ハラスメントの相談窓口は、職員、幼稚園関係者については法人総務部、学生については畿央大学学生支援センター、生徒については関西中央高等学校人権教育部です。

(2)　学園では相談員を置き、公表しています。所属部署に限定されませんので、気軽に相談してください。

(3)　職員・学生からの苦情、相談や訴えが相談窓口や相談員に寄せられた場合には、すみやかに実態を明らかにし、本人が同意した場合には、ハラスメント対策委員会に報告を行ないます。

(4)　ハラスメントの事実調査が必要と認めた場合は、調査委員会を設けて事実関係を明らかにすると同時に、被害者の救済措置について対応し、また再発防止にかかる改善策を実施します。

(5)　上記のようなハラスメントの訴えへの対応に際して、情報を知得た者は関係者のプライバシーの保護を最優先にし、その内容について守秘義務を負います。

Ⅵ　指針の改廃

ハラスメント防止等に関する指針の改廃は、社会情勢や運用状況をふまえてハラスメント防止委員会およびハラスメント対策委員会で必要な見直しを行ない、理事長が行ないます。

以上

畿央大学 畿友会会則

第一章　総則

（名称）
第１条　本会は、畿央大学畿友会と称する。
（組織）
第２条　本会は、畿央大学の学部在籍の全学生をもって組織する。
（本部）
第３条　本会は、本部を奈良県北葛城郡広陵町馬見中４－２－２ 畿央大学（以下「大学」という。）内に置く。
（目的）
第４条　本会は、大学の建学の精神に基づき、本会会員（以下「会員」という。）の自治を確立し、自主的な諸活動により会員相互の親睦をはかり、学生生活の発展向上に努め、併せて大学の発展に寄与することを目的とする。
（機関）
第５条　本会に次の各号に掲げる機関を置く。
⑴　クラス代表者会議
⑵　執行委員会
⑶　学生総会
⑷　クラブ・サークル代表者会議

第二章　クラス代表者会議およびクラス代表者

（クラス代表者会議）
第６条　クラス代表者会議は、本会の最高議決機関とする。ただし、本会則に特別の定めがある場合は、その最高意思の決定に関し、本会則の特別の定めが優先する。
（構成）
第７条　クラス代表者会議は、クラス代表者を議決権をもつ構成員とし、陪席者として執行委員会の役員を加え構成する。
（クラス代表者）
第８条　クラス代表者は、１回生時のクラス毎に互選により２名を選出する。
２　クラス代表者の任期は４年間とする。ただし、休学、退学および除籍の場合はその限りではない。
（招集）
第９条　クラス代表者会議は、毎年５月に執行委員会会長が招集する。
２　前項の他に、次の各号の一に該当する場合に執行委員会会長はクラス代表者会議を招集しなければならない。
⑴　クラス代表者総数の５分の１以上の連名による要求があった場合
⑵　執行委員会が必要と認めた場合
３　招集は開会の７日前までに、開会の場所、日時ならびに議題を構成員全員に通知する。ただし、緊急を要すると執行委員会会長が判断した場合は、通知後ただちに招集することができる。
（議長・書記）
第10条　クラス代表者会議の議長および書記は、その都度出席者の立候補により選出する。ただし、立候補がない場合は、執行委員会役員がその任にあたる。
（成立・議決）
第11条　クラス代表者会議はクラス代表者の４分の１以上の出席で成立し、出席者の過半数をもって議決する。
２　会議の欠席者は、事前に書面または電磁的記録により意思を表すことで出席者とみなし、議決に加えることができる。
（議決事項）
第12条　クラス代表者会議は、次の各号に掲げる事項を審議し、決定する。
⑴　本会運営に関する基本方針
⑵　本会の予算、決算の承認
⑶　執行委員会役員の選任承認
⑷　本会会則および諸規則の制定、改廃
⑸　その他、執行委員会が必要と認めた事項

第三章　執行委員会および役員、運営委員、専門部等

（執行委員会）

第13条　執行委員会は、クラス代表者会議の決議に基づいて本会の会務を執行する。

（執行委員会の構成員）

第14条　執行委員会は、次の各号に掲げる役員によって構成される。

(1)　会長　　1名
(2)　副会長　　1名以上
(3)　会計　　1名以上
(4)　課外活動　1名以上
(5)　企画　　1名以上
(6)　広報　　1名以上
(7)　監査　　1名以上

（本会運営委員）

第15条　本会運営委員（以下「運営委員」という。）は、執行委員会を補佐する。

2　執行委員会は、当該年度の会員より新たな運営委員を公募し、運営委員の辞任も合わせ当該年度の運営委員を確定する。

（執行委員会役員の選任および任期）

第16条　執行委員会役員（以下「役員」という。）は、運営委員の互選により候補者を選出し、クラス代表者会議の承認によって選任される。

2　役員の任期は、選任された次年度のクラス代表者会議の日までとする。ただし、再任を妨げない。

（成立・議決）

第17条　執行委員会は、役員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

（任務）

第18条　役員の任務は、次の各号のとおりとする。

(1)　会長は、執行委員会を代表し、また、執行委員会を統括する。
(2)　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
(3)　会計は、本会会計に関する諸般の事務を担当する。
(4)　課外活動は、クラブ・サークルを統括する。
(5)　企画は、行事の企画運営を担当する。ただし、専門委員会、特別部局にかかるものを除く。
(6)　広報は、本会の広報を担当する。
(7)　監査は、本会および所属団体の会計を監査する。

（専門部）

第19条　執行委員会は、そのもとに次の専門部を置くことができる。

会計部　課外活動部　企画部　広報部
監査部

2　専門部は、運営委員により構成し、専門部に部長等を置くことができる。

（専門委員会・特別部局）

第20条　執行委員会は、本会の事業を推進するために、大学祭実行委員会等、必要な専門委員会および特別部局を置くことができる。

2　専門委員会および特別部局は、会員により構成する。

第四章　学生総会

（学生総会）

第21条　学生総会による決定は、本会の最高意思となる。

（招集）

第22条　執行委員会会長は、以下の次の各号の一に該当する場合に学生総会を招集しなければならない。

(1)　会員の10分の1以上の署名による要求があった場合
(2)　クラス代表者会議が招集を議決した場合

（成立・議決）

第23条　学生総会は、会員の5分の1以上の出席（委任状を含む）をもって成立し、委任状を除く出席の過半数により議決する。

（議長・書記）

第24条　学生総会の議長および書記は立候補により選出する。ただし、立候補がない場合は、執行委員会役員がその任にあたる。

（告示）

第25条　学生総会の招集は、開催の7日前ま

でに会員に告示しなければならない。

第五章　クラブ・サークル代表者会議

（クラブ・サークル代表者会議）
第26条　執行委員会のもとにクラブ・サークル代表者会議を置く。
（構成）
第27条　クラブ・サークル代表者会議は、執行委員会課外活動部部長とクラブ・サークルの代表者各１名によって構成する。
（任務）
第28条　クラブ・サークル代表者会議は、クラブ・サークル代表者会議の規定に従い、各クラブ・サークルの活動等を調整し、その発展に貢献する。
（運営）
第29条　執行委員会課外活動部部長は、クラブ・サークル代表者会議を統括する。
２　クラブ・サークル代表者会議の決定事項は、執行委員会の承認をもって有効となる。

第六章　会計

（経費）
第30条　本会の経費は、会費、寄付金および補助金等をもってこれに充てる。
２　会費は、会員１人年額6,000円とする。
３　前項の規定に関わらず、年度のすべての日を休学する場合は、当該年度の会費の全額を免除する。また、前期または後期のすべての日を休学する場合は、当該年度の会費の半額を免除する。
４　会費の徴収は、大学に委託して行なう。
（会計年度）
第31条　本会の会計年度は、毎年４月１日より翌年３月31日までとする。
（予算・決算）
第32条　本会の予算および決算は、クラス代表者会議において決定する。
（会計監査）
第33条　本会および本会所属団体は、監査役員による会計監査を受けなければならない。

第七章　顧問

（顧問）
第34条　本会に顧問を若干名置くことができる。

第八章　改廃

（改廃）
第35条　本会則の改廃は、クラス代表者会議の議決を必要とする。

附　則
この会則は、平成15年５月31日から施行する。
＜中略＞
附　則
この会則は、令和２年４月１日から施行する。

畿桜会 会則

（畿央大学、畿央大学大学院、畿央大学短期大学部、桜井女子短期大学 同窓会）

（名称）

第１条　本会は畿桜会（きおうかい）と称する。

（目的）

第２条　本会は会員相互の親睦、協力をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。

（事務局）

第３条　本会は事務局を畿央大学に置く。

（会員）

第４条　本会は正会員、準会員及び特別会員によって構成する。

２　正会員は畿央大学、畿央大学短期大学部、桜井女子短期大学の卒業生とする。

３　準会員は畿央大学の在学生とする。

４　中途退学した者のうち本会への入会を希望する者は、役員会の承認を得た後、同窓会費を完納することにより正会員となることができる。

５　準会員は畿央大学の卒業と同時に自動的に正会員となる。

６　特別会員は畿央大学の現教職員、及び退職教職員で申請のあった者とする。

７　準会員及び特別会員は総会における議決権、選挙権を有しない。

（部会）

第５条　本会に理学療法部会、健康栄養部会、人間環境デザイン部会、教育学部会、看護医療部会、助産学部会、大学院部会、及び短期大学部会の各部会を置くことができる。

２　部会は正会員及び準会員で構成する。

３　部会は部会規則を定めなければならない。

４　部会は１名以上の代表幹事を選出しなければならない。

（支部）

第６条　本会は10名以上の正会員により支部を置くことができる。

２　支部は支部規則を定めなければならない。

３　支部を設立した場合は遅滞なく総会に報告し、承認を得なければならない。

４　支部は１名以上の代表幹事を選出しなければならない。

（事業）

第７条　本会は目的を達成するために次の事業を行う。

一　会誌、名簿等の発行

二　会員の親睦をはかるための事業

①ホームカミングデイの母校との共催

②会員の生涯学習と専門職としての交流・研鑽をすすめる研修会等の事業

③クラブ・サークル同窓会、年次同窓会、地域同窓会及び本学校法人内教育機関卒業生の同窓会との共同事業および支援

④その他会員親睦のための事業

三　母校発展のための諸事業

①在籍生の教育・就職・ボランティア活動等に対する協力

②母校の研究者との共同研究

③リカレント教育、公開講座等に対する協力および参加

④保護者懇談会、入試説明会等に関する協力および広報

⑤その他母校発展に寄与する事業

四　その他本会の目的達成に必要な事業

（会費）

第８条　正会員は終身会費として16,000円を納入しなければならない。但し、準会員として納付した金額は終身会費の全部または一部に充当することができる。

２　特別会員は会費を免除する。

３　本会に納付した会費は原則として返却しない。

（会計）

第９条　本会の会計年度は毎年４月１日より始まり翌年３月31日に終わる。

２　本会の運営に要する経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

（役員）

第10条　本会は次の役員を置く。

一　会　長　　１名　正会員より総会において選出する。

二　副会長　　若干名　正会員より総会において選出する。
三　代表幹事　若干名　部会及び支部から選出された者の他、各卒業年次の幹事及び特別会員より総会において選出することができる。
四　会　計　　２名　１名は正会員より、他の１名は特別会員より総会において選出する。
五　監　査　　２名　正会員より総会において選出する。
六　幹　事　　各卒業年次の学科ごとに幹事１名を選出する。
七　顧　問　　若干名　特別会員より会長が依嘱する。

（役員の任務）

第11条　役員の任務は次のとおりとする。
一　会長は本会を代表し、会務を統括する。
二　副会長は会長を補佐するとともに、会長事故あるときはその職務を代行する。
三　代表幹事は本会の運営に関する会務の執行にあたる。
四　会計は本会の収支、会計を掌る。
五　監査は会計の監査を行う。
六　幹事は、各卒業年次の同窓会を適宜開催する。
七　顧問は、会長及び役員会の諮問に応じ、又これに意見を述べることができる。

（役員の任期）

第12条　役員の任期は１ヶ年とする。但し再任は妨げない。
2　役員は辞任又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を遂行しなければならない。

（総会）

第13条　総会は定期総会と臨時総会がある。
2　総会は会長が招集し、議長は会長が務める。
3　定期総会は毎事業年度終了後速やかに開催しなければならない。
4　臨時総会は会長が必要と認めた場合のほか、過半数の幹事から書面による開催要請があった場合には速やかに開催しなければならない。
5　総会の議事は議長を除く出席正会員の過半数によって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

（総会の議決事項）

第14条　次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならない。
一　会則の改定
二　事業計画及び予算
三　事業報告及び決算
四　役員の選出
五　本会の解散
六　その他役員会において必要と認めた事項

（役員会）

第15条　会長、副会長、代表幹事、会計、監査の役員をもって役員会を構成する。
2　役員会は会長が随時招集し、会務の企画及び実施に関する事項を協議する。

附　則
この会則は平成19年５月27日より施行する。
＜中略＞
附　則
この会則は平成28年６月19日より施行する。

学歌・応援歌

畿央大学　学歌

作　詞　冬木智子
作　曲　荒井敦子

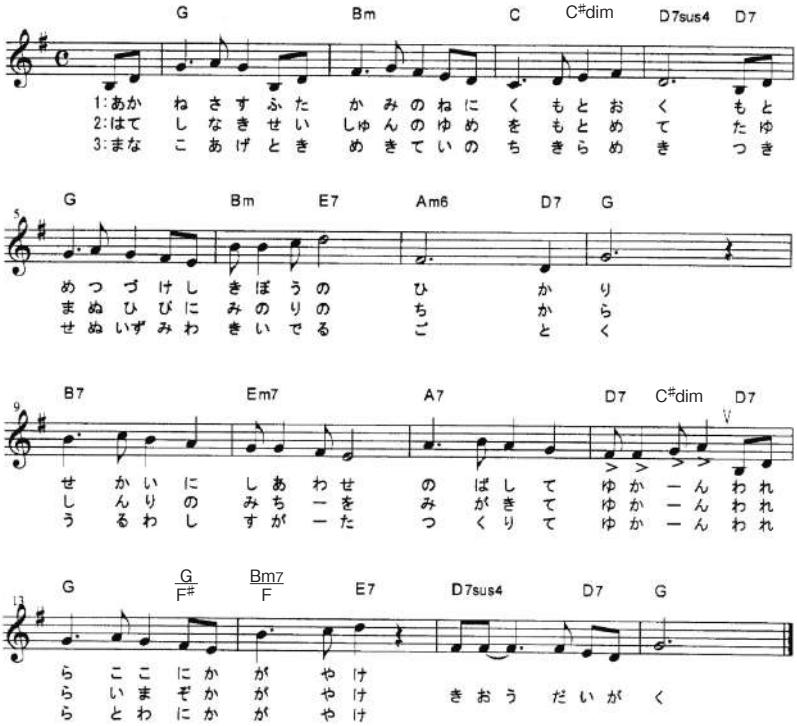
一　茜(あかね)さす　ふたかみの峯(ね)に　雲遠(くもとお)く
求(もと)めつづけし　希望(きぼう)の光(ひかり)
世界(せかい)に幸(しあわ)せ　伸(の)ばしてゆかん
我(われ)らここに輝(かがや)け　畿央大学(きおうだいがく)

二　果(はて)てしなき　青春(せいしゅん)の夢(ゆめ)を求めて
たゆまぬ日々(ひび)に　みのりのちから
真理(しんり)のみちを　みがきてゆかん
我(われ)ら今(いま)ぞ輝(かがや)け　畿央大学(きおうだいがく)

三　まなこ上(あ)げ　ときめきて　生命(いのち)きらめき
つきせぬ泉(いずみ)　わき出(い)でる如(ごと)く
美(うる)わしすがた　創(つく)りてゆかん
我(われ)ら永久(とわ)に輝(かがや)け　畿央大学(きおうだいがく)
我(われ)ら永久(とわ)に輝(かがや)け　畿央大学(きおうだいがく)

畿央大学　学歌

作詞：冬木　智子
作曲：荒井　敦子



畿央大学　応援歌

作　詞　冬木智子
作　曲　大中　恩

一　たぎり立つ　青春(せいしゅん)の血潮(ちしお)　さわかに
伝統(でんとう)きづく　我(われ)らが力(ちから)
いざ　たけき若人(わこうど)
いざいざ示(しめ)さん　畿央大学(きおうだいがく)

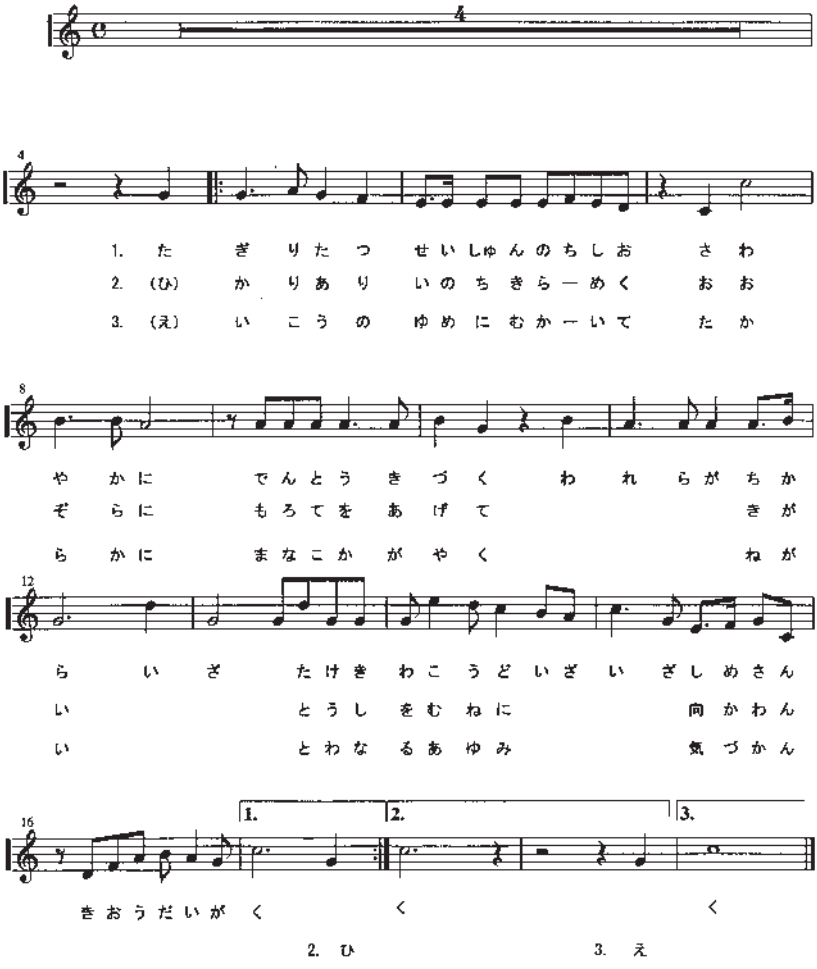
二　光(ひかり)あり　生命(いのち)きらめく　大空(おおぞら)に
双手(もろて)をあげて　我(われ)らが気概(きがい)
いざ　闘志(とうし)を胸(むね)に
いざいざ向(む)かわん　畿央大学(きおうだいがく)

三　栄光(えいこう)の　夢(ゆめ)にむかいて　高(たか)らかに
まなこ輝(かがや)く　我(われ)らが願い
いざ　永久(とわ)なる歩(あゆ)み
いざいざ築(きづ)かん　畿央大学(きおうだいがく)

畿央大学　応援歌

冬木智子　作詞
大中　恩　作曲

♩= 80



畿央大学　学生ハンドブック2020
2020年４月１日発行
編集・発行　畿央大学
〒635−0832　奈良県北葛城郡広陵町馬見中４−　２−　２
TEL　0745−54−1601　FAX　0745−54−1600
http://www.kio.ac.jp/

Kio
畿 央 大 学

ロゴの解説

知的で清潔感のあるブルーに、爽やかなグリーンをプラス。
「健康」を科学し、「教育」に貢献する大学にふさわしい、アカデミックで初々しいカラーリングで構成しています。
Ｋの一部とｉの・を表わすグリーンの部分は、呼吸を司ることで植物の生命線ともいえる葉っぱを「健康」と「教育」の象徴として使用し、それが未来に向って伸びやかに飛翔しているイメージを表現しています。

Handbook
for Students
2020